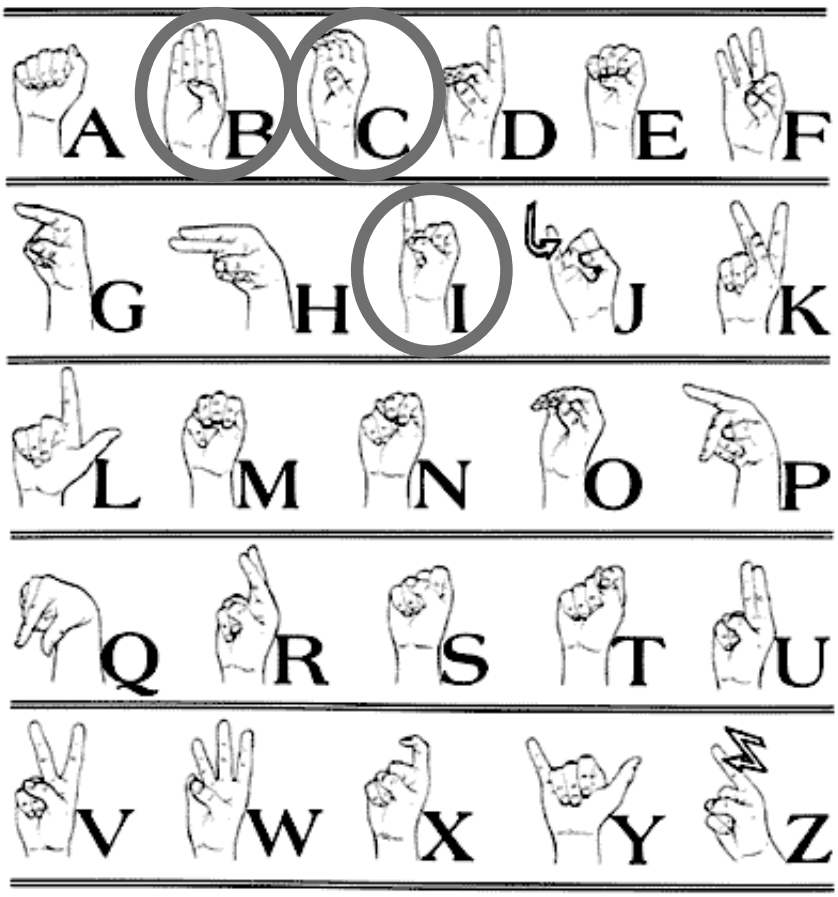
２０２０年度 前期

シ　ラ　バ　ス

Ⅰ

Ｂ

Ｃ



クラス		名前	

西鉄国際ビジネスカレッジ

＜目次＞

共通 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P1～20
ホテル・ブライダル ・・・・・・・・・P21～40
観光・鉄道 ・・・・・・・・・・・・・・・・・P41～74
エアライン ・・・・・・・・・・・・・・・・・P75～105
夜間総合観光 ・・・・・・・・・・・・・・・P106～114
国際ホテルマネジメント ・・・・・P115～144
観光ビジネス進学 ・・・・・・・・・・・・P145～159

共　通

学年	科目名	クラス	ページ
1	TOEIC　Ⅰ	AKOPVZ①	1
1	TOEIC　Ⅱ	AKOPVZ	2
1	英検対策　Ⅰ	AKOPVZ	3
1	英検対策　Ⅱ	AKOPVZ	4
1	ビジネスマナー	AKMOPZ	5
1	コンピュータ	KMOPZS	6
1	SPI言語対策・筆記試験対策Ⅰ	全科共通（ﾎﾃﾙ･ﾌﾞﾗｲﾀﾞﾙ、観光、国際ﾎﾃﾙﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ留学生科を除く）	7
1	SPI非言語対策	全科共通（ﾎﾃﾙ･ﾌﾞﾗｲﾀﾞﾙ、観光、国際ﾎﾃﾙﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ留学生科を除く）	8
1	ホテル英会話	AS	9
1、2	手話	VN	10
1、2、3	韓国語	KMT　OPV	11
1、2、3	中国語	KMT　OPV	12
2	中国語	QR	13
2	韓国語	QR	14
2	ホテル英会話	ET	15
2	コンピュータ	LNQR	16
2	コミュニケーションイングリッシュ	NQR	17
2	手話	EQR	18
2	SPI言語対策	全科共通	19
2、3	SPI非言語対策	全科共通	20

対象学年	1年	学期	通年	学科	ホテル・ブライダル・観光・鉄道・エアライン・夜間総合観光科
科目名	TOEIC Ⅰ			クラス	AKOPVZ①
担当講師(フルネーム)	挽田雅子			実務経験	無
授業概要(内容)	TOEICの試験形式に慣れ、聴解力、語彙力、読解力の強化をめざす。 TOEIC頻出の文法事項を理解する。			授業形態	講義
到達目標	TOEIC試験で目標スコアを獲得する。				
使用テキスト	公式TOEIC LISTENING & READING 問題集 5				
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施				

	テーマ	授業内容
1回	オリエンテーション	授業の進め方、評価方法の説明 TOEICテストの説明 サンプル問題を解く
2回	Part2(1)	Part2の攻略の基本を学ぶ WH疑問文を聞き取る キーワードをとらえる
3回	Part2(3)	「許可」「依頼」「提案」の応答の典型を覚える 音のひっかけに注意する 練習問題
4回	Part3(2)	設問を先に読む 設問の意味を単純化する 選択肢を読む
5回	Part4(1)	Part4の攻略の基本を学ぶ 設問の順番に沿ってヒントを聞き取る アナウンスや公共放送を聞く
6回	Part4(3)	図・イラスト問題を攻略する 設問を先読みする 練習問題
7回	Part5(2)	名詞の形と役割を理解する 名詞と数量詞の関連を知る 練習問題
8回	Part5(4)	形容詞の形と役割を理解する 副詞の形と役割を理解する 形容詞と副詞の練習問題
9回	Part5(6)	前置詞の用法について理解する 接続詞の用法について理解する 前置詞と接続詞の練習問題
10回	Part6(1)	Part6の攻略の基本を学ぶ 設問を分類する 文法・語彙問題を解く
11回	Part7(1)	Part7の攻略の基本を学ぶ 短い文章から取り組む メール・お知らせ・メッセージを読む
12回	Part7(3)	記事・取扱説明書・手紙を読む 時間を管理する シングルパッセージの後半を最後に解く
13回	Part7(5)	ダブルパッセージ 求人広告とメール 設問の焦点となる情報を一方の文書で探し、もう一方の文書で関連情報を探す
14回	Part7(7)	トリプルパッセージ Eメール・目次・ウェブページ 要約力を身につける
15回	応用問題	ストーリーを理解する ほのめかされた情報が問われたときの解答法 「位置選択問題」の解き方

対象学年	1年	学期	通年	学科	ホテル・ブライダル・観光・鉄道・エアライン・夜間総合観光科
科目名	TOEICⅡ			クラス	AKOPVZ①
担当講師(フルネーム)	挽田雅子			実務経験	無
授業概要(内容)	TOEICの試験形式に慣れ、聴解力、語彙力、読解力の強化をめざす。 TOEIC頻出の文法事項を理解する。			授業形態	講義
到達目標	TOEIC試験で目標スコアを獲得する。				
使用テキスト	公式TOEIC LISTENING & READING 問題集 5				
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施				

	テーマ	授業内容
1回	Part1	Part1の攻略の基本を学ぶ 人物、風景と物、乗り物についての表現を学ぶ 練習問題
2回	Part2(2)	Yes/No疑問文の応答 付加疑問文の応答 平叙文の応答
3回	Part3(1)	Part3の攻略の基本を学ぶ 設問を読み、全体を聞いて解答できるものとピンポイントで聞いて解答するものを見分ける 練習問題
4回	Part3(3)	設問を先に読む 図・イラスト問題を攻略する 選択肢を読む
5回	Part4(2)	場所を問う問題を解く 職業を問う問題を解く 次の行動を問う問題を解く
6回	Part5(1)	Part5の攻略の基本を学ぶ 品詞問題の解き方を学ぶ 文型・修飾語について理解する
7回	Part5(3)	動詞の形と役割を理解する 能動態と受動態 練習問題
8回	Part5(5)	準動詞の形と役割を理解する 不定詞・動名詞の練習問題 分詞の形と用法を理解する
9回	Part5(7)	主語と述語の一致について理解する 主語の見分け方と対応する動詞の選び方を学習する 練習問題
10回	Part6(2)	「文挿入問題」の解き方を学ぶ 空所の前後の内容をリンクさせるキーワードに注意する 練習問題
11回	Part7(2)	広告・オンラインチャット・求人広告を読む 流れを意識して読む テキストメッセージは書き手の関係を整理して読む
12回	Part7(4)	ダブルパッセージの解き方を学ぶ メールと予定表を読む 練習問題
13回	Part7(6)	トリプルパッセージの解き方を学ぶ ウェブページとメールを読む 練習問題
14回	Part7(8)	トリプルパッセージ 記事・文書・ウェブページを読む 要約力を身につける
15回	まとめと復習	TEST1を復習する 語彙・語法の確認 文法問題の確認

対象学年	1年	学期	通年	学科	ホテル・ブライダル・観光・エアライン・夜間総合観光科
科目名	英検対策Ⅰ			クラス	AKOPVZ
担当講師(フルネーム)	日高郁子、加藤亜希、平島千華				
授業概要(内容)	英検各級の語彙、文法についての解説等 注;各クラスで取得目標級が異なる為、授業内容や進度はそれぞれ異なる			授業形態	講義
到達目標	5月30日(土)(2020年度第1回検定)及び10月3日(土)(2020年度第2回検定)実施の英検に合格できる力をつける。				
使用テキスト	2020年度版　英検過去6回全問題集(旺文社)				
成績評価方法	・期末試験70%　平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施				

	テーマ	授業内容
1回	**2019年第2回検定問題**	語彙問題 会話問題 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。
2回	**2019年第2回検定問題**	語彙問題 会話問題 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。
3回	**2019年第2回検定問題**	長文問題、語彙を学ぶとともに英文の基本構成を学ぶ。 作文指導(取得目標級により異なる) 文型、熟語の習得及び作文指導に於いては、自己の意見を表現できるようにする。
4回	**進度調整・リスニング**	リスニング 2019年度第2回検定問題での未修得箇所の再学習。 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。
5回	**2019年第1回検定問題**	語彙問題 会話問題 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。
6回	**2019年第1回検定問題**	長文問題、語彙を学ぶとともに英文の基本構成を学ぶ。 作文指導(取得目標級により異なる) 文型、熟語の習得及び作文指導に於いては、自己の意見を表現できるようにする。
7回	**2019年第1回検定問題 英検直前対策**	リスニング 2019年度第1回検定問題での未修得箇所の再学習。
8回	**リスニング・英作文対策 英検直前対策**	リスニング 英作文対策 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。
9回	**2019年度第1回検定解答 2018年第3回検定問題**	2020年度第1回検定解答、解説 語彙問題　会話問題 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。
10回	**2018年第3回検定問題**	長文問題、語彙を学ぶとともに英文構成を学ぶ。 作文指導(取得目標級により異なる) 文型、熟語の習得及び作文指導に於いては、自己の意見を表現できるようにする。
11回	**2018年第3回検定問題 二次試験対策**	リスニング 二次試験対策　面接指導
12回	**進度調整・二次試験対策**	リスニング 二次試験対策　面接指導
13回	**2018年第3回検定問題**	長文問題、語彙を学ぶとともに英文構成を学ぶ。 作文指導(取得目標級により異なる) 文型、熟語の習得及び作文指導に於いては、自己の意見を表現できるようにする。
14回	**進度調整・リスニング**	リスニング 2018年度第3回検定問題での未修得箇所の再学習。
15回	**期末試験対策**	前期授業総括 期末試験対策

対象学年	1年	学期	通年	学科	ホテル・ブライダル・観光・エアライン・夜間総合観光科
科目名	英検対策Ⅱ			クラス	AKOPVZ
担当講師(フルネーム)	日高郁子、加藤亜希、平島千華				
授業概要(内容)	英検各級の語彙、文法についての解説等 注;各クラスで取得目標級が異なる為、授業内容や進度はそれぞれ異なる			授業形態	講義
到達目標	5月30日(土)(2020年度第1回検定)及び10月3日(土)(2020年度第2回検定)実施の英検に合格できる力をつける。				
使用テキスト	2020年度版　英検過去6回全問題集(旺文社)				
成績評価方法	・期末試験70%　平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施				

	テーマ	授業内容
1回	**2019年第2回検定問題**	語彙問題 会話問題 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。
2回	**2019年第2回検定問題**	語彙問題 会話問題 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。
3回	**2019年第2回検定問題**	長文問題、語彙を学ぶとともに英文の基本構成を学ぶ。 作文指導(取得目標級により異なる) 文型、熟語の習得及び作文指導に於いては、自己の意見を表現できるようにする。
4回	**進度調整・リスニング**	リスニング 2019年度第2回検定問題での未修得箇所の再学習。 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。
5回	**2019年第1回検定問題**	語彙問題 会話問題 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。
6回	**2019年第1回検定問題**	長文問題、語彙を学ぶとともに英文の基本構成を学ぶ。 作文指導(取得目標級により異なる) 文型、熟語の習得及び作文指導に於いては、自己の意見を表現できるようにする。
7回	**2019年第1回検定問題 英検直前対策**	リスニング 2019年度第1回検定問題での未修得箇所の再学習。
8回	**リスニング・英作文対策 英検直前対策**	リスニング 英作文対策 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。
9回	**2019年度第1回検定解答 2018年第3回検定問題**	2020年度第1回検定解答、解説 語彙問題　会話問題 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。
10回	**2018年第3回検定問題**	長文問題、語彙を学ぶとともに英文構成を学ぶ。 作文指導(取得目標級により異なる) 文型、熟語の習得及び作文指導に於いては、自己の意見を表現できるようにする。
11回	**2018年第3回検定問題 二次試験対策**	リスニング 二次試験対策　面接指導
12回	**進度調整・二次試験対策**	リスニング 二次試験対策　面接指導
13回	**2018年第3回検定問題**	長文問題、語彙を学ぶとともに英文構成を学ぶ。 作文指導(取得目標級により異なる) 文型、熟語の習得及び作文指導に於いては、自己の意見を表現できるようにする。
14回	**進度調整・リスニング**	リスニング 2018年度第3回検定問題での未修得箇所の再学習。
15回	**期末試験対策**	前期授業総括 期末試験対策

対象学年	1年	学期	通年	学科	ホテルブライダル・観光・鉄道・エアライン・夜間総合観光	
科目名	ビジネスマナー				クラス	AKMOPZ
担当講師(フルネーム)	徳永美千留・榎本美和子・田中友加利					
授業概要(内容)	・社会人になるための心構え、また専門学校での過ごし方を学ぶ				授業形態	講義
到達目標	・社会の仕組みの理解と社会人としてのビジネスマナーを習得させる。					
使用テキスト	ビジネス能力検定　3級テキスト　2020年度版					
成績評価方法	・期末試験60%平常点40%　※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○　授業中に実施・・・△期末試験なし・・・×　を枠に選択				
事前・事後学習について	ビジネス用語の小テストを行う					

	テーマ	授業内容
1回	**オリエンテーション**	授業内容、成績評価方法
2回	**第1編 ビジネスと コミュニケーションの基本**	第1章　キャリアと仕事へのアプローチ
3回	**第1編 ビジネスと コミュニケーションの基本**	第2章　仕事の基本となる8つの意識
4回	**第1編 ビジネスと コミュニケーションの基本**	第3章　コミュニケーションとビジネスマナーの基本 ・身だしなみ、あいさつ、おじぎ、仕事中のマナー
5回	**第1編 ビジネスと コミュニケーションの基本**	第4章　指示の受け方と報告・連絡・相談
6回	**第1編 ビジネスと コミュニケーションの基本**	第4章　指示の受け方と報告・連絡・相談
7回	**第1編 ビジネスと コミュニケーションの基本**	第5章　話し方と聞き方のポイント ・敬語の種類と必要性
8回	**第1編 ビジネスと コミュニケーションの基本**	第6章　来客応対と訪問の基本マナー
9回	**第1編 ビジネスと コミュニケーションの基本**	第7章　会社関係でのつき合い
10回	**第2編 仕事の実践と ビジネスツール**	第1章　仕事への取り組み方 第2章　ビジネス文書の基本
11回	**第2編 仕事の実践と ビジネスツール**	第1章　仕事への取り組み方 第2章　ビジネス文書の基本
12回	**第2編 仕事の実践と ビジネスツール**	第3章　電話応対
13回	**第2編 仕事の実践と ビジネスツール**	第4章　統計・データの読み方・まとめ方
14回	**第2編 仕事の実践と ビジネスツール**	第5章　情報収集とメディアの活用
15回	**期末試験対策**	期末試験前対策 前期授業のまとめ

対象学年	1年	学期	通年	学科	観光・鉄道・エアライン・夜間総合観光・国際ﾎﾃﾙﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ科
科目名	コンピュータ			クラス	K M O P Z S
担当講師(フルネーム)	乙咩 清美			実務経験	有
授業概要(内容)	タイピング、ビジネスレター(文書、メール等)を繰り返し練習する。 ビジネス文書のルール、ファイル管理を練習する。			授業形態	講義＆演習
到達目標	Microsoft Wordの基礎知識を学び、タイピングスキルと、就活や社会人として必要な文書作成スキルを身につける				
使用テキスト	実教出版　30時間でマスターOffice2019				
成績評価方法	・期末試験70%　平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施				

	テーマ	授業内容
1回	オリエンテーション	OAルームの使用について 授業の進め方・その他の確認、ファイルとフォルダの操作・クラウドについて タイピングスキルチェック、自己紹介カードの入力
2回	Word基礎	キーボード操作(様々な入力方法やショートカットキーの活用) 文章入力 ※ページ設定、文字書式、文字のコピー・削除・移動など、ファイル保存について
3回	Word基礎	タイピング練習 ビジネス文書作成(社内文書) ※表作成、ビジネス文書の基本など
4回	Word基礎	タイピング練習 ビジネス文書作成(社内文書) ※画像の挿入、図形描画など
5回	Word基礎	タイピング練習 ビジネス文書作成(ビジネスレター、ビジネスメール) ※ビジネスメールの基本、書き方
6回	Word基礎	タイピング練習 ビジネス文書作成(ビジネスレター、ビジネスメール) ※ビジネスメールの基本、書き方
7回	Word基礎	タイピング練習 ビジネス文書作成(社外文書) ※ビジネス文書の基本、箇条書きなど
8回	Word基礎	タイピング練習 ビジネス文書作成(社外文書) ※ページ設定、文字書式、段落書式(箇条書き・均等割り付け)
9回	Word基礎	タイピング練習 ビジネス文書作成(社外文書) ※送付状やお礼状の練習
10回	Word基礎	タイピング練習 ビジネス文書作成(社外文書) ※送付状やお礼状の練習
11回	Word基礎	タイピング練習 ビジネス文書作成(チラシ・ポスター作成) ※画像の挿入、図形描画・ワードアートなど
12回	Word基礎	タイピング練習 ビジネス文書作成(チラシ・ポスター作成) ※画像の挿入、図形描画・ワードアートなど
13回	前期期末試験	前期期末試験実施
14回	Word基礎	タイピング練習 期末試験解説・ビジネス文書作成(ポストカード作成) 写真や画像の挿入・スマホ画像の活用など
15回	Word基礎	タイピング練習 ビジネス文書作成(チラシ・ポスター作成) 写真や画像の挿入・スクリーンショットなど

対象学年	1年	学期	通年	学科	鉄道科・エアライン・夜間総合観光科	
科目名	SPI言語/就職筆記対策Ⅰ				クラス	MOPZクラス
担当講師(フルネーム)	前田恭子・山本真美				実務経験	無
授業概要(内容)	就職試験における筆記試験分野・言語系の対策授業				授業形態	講義
到達目標	筆記試験の点数を確実に取るために基礎学力の向上を目指す					
使用テキスト	・一般常識＆SPI （各科共通）　　・一般常識/一問一答 （鉄道科）					
成績評価方法	・期末試験80%　平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					

	テーマ	授業内容
1回	目指せ『漢検二級』	授業の進め方、評価方法の確認 漢字検定 / 模擬試験 （合格している級より上の級の問題を解く） （ 校内で実施される漢字検定に向けての準備 / 任意受検 ）
2回	都道府県を極める	日本の白地図を使用して都道府県を確認する うろ覚えの知識を確かな知識に変える一歩
3回	世界地図を見る①	白地図で主要な国の位置と首都を把握しよう
4回	世界地図を見る②	世界で注目されている国々の場所を確認し、時事問題に対応できる基礎固めをします
5回	グローバル社会の住人①	世界の『今』を知るために、国際連合とその諸機関を学びます 中学・高校で学んだILOやWHOの登場です
6回	グローバル社会の住人②	程よい付き合いは、人によっても国にとっても重要 国同士の『付き合い』を地域協定（EU、ASEANなど）を通して考えます
7回	グローバル社会の住人③	『summit』の意味は『頂上』。時事用語の『サミット』は？ G7サミットはアメリカ合衆国で6月開催予定。G20サミットはサウジアラビアで11月開催予定
8回	あなたの『1票』の重さ	政治① 国会議員の人数・任期を知るとともに国会の仕組みについて
9回	霞ヶ関	政治② 内閣と1府12省庁と関連機関を確認します
10回	地方公共団体	政治③ 地方政治
11回	裁判員制度	裁判所や裁判員制度の仕組みについて
12回	循環する『お金』	銀行に預けたお金はどこに行く？お金の流れを考え『経済』をもっと身近に
13回	『お札』は技術の結晶	『お札』から、『電子決済』まで、世界の今、日本の今を考えます
14回	経済用語を覚える	CEO、COO、CFO、代表取締役社長、さまざまな呼び方があります。あわせて覚えましょう
15回	前期の総復習＆課題	前期の復習と夏休みの課題説明

対象学年	1年	学期	通年	学科	全科
科目名	SPI非言語対策			クラス	全クラス
担当講師(フルネーム)	北村正雄・榎木田祐夫			実務経験	無
授業概要(内容)	数学の授業は週に1回なので、鉄道　ホテル・ブライダル、観光　エアライン系企業の過去問を中心に出題が予想される問題をできるだけわかりやすく講義します。この科目は予習よりも復習に力を入れてください。SPI能力検査試験に合格しなければ面接には進めません。キツイけど一緒に頑張りましょう。			授業形態	講義
到達目標	鉄道　ホテル・ブライダル　観光　エアライン系などの企業の就職試験に合格するのに必要な非言語分野の学力を修得することが出来ます。				
使用テキスト	SPI基本問題集　大和書房				
成績評価方法	・期末試験70%　平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施				

	テーマ	授業内容
1回	オリエンテーション・基礎事項の確認	講義指針、内容などに関する事項　各業界の採用試験形式と最近の試験傾向　SPIなどは公務員試験に採用されている数的推理・判断推理に似ています。できるだけ方程式を使わないで問題を処理する能力が要求されます。 特に最近の推論という分野は、問題文を見て論理的な思考を用いてその場で解答を導きます。数学ができるからと言っても、推論が解けるとは限りません。逆に数学ができなくても推論は解けます。問題が発生したとき、その場で考えて問題を推理し論理的に処理する能力があればそれでいいのです。数学苦手な人も自信を持ってくださいね。
2回	鶴亀算1連立方程式	約1300年前の奈良時代に中国から伝わった考え方。鶴と亀が合わせて20匹(羽)　鶴と亀合わせた足の数は70本　鶴と亀はそれぞれ何匹？大人料金1300円子供料金600円　消しゴム35円鉛筆60円など。鶴亀算の出題率は非言語のベスト5に入ります。最近のテストセンターでは、鶴亀算が働く条件も出題されています。 連立方程式を使って解くのが一般的ですが、自分の解きやすい解き方で解いて短時間で正解にたどり着ければそれでよいのです。
3回	鶴亀算2連立方程式賠償算	約1300年前の奈良時代に中国から伝わった考え方。鶴と亀が合わせて20匹(羽)　鶴と亀合わせた足の数は70本　鶴と亀はそれぞれ何匹？　HONNDAのバイクとトヨタの車が合わせて20台あります。バイクと車のタイヤの数を数えたら64本ありました。バイクと車はそれぞれ何台ありますか？ある仕事をするのに、商品1個を仕上げると、1500円のバイト料がもらえる。商品を壊してしまうと、商品1個につきバイト料はもらえないどころか、1個につき2000円弁償しなければならない。バイトの学生が20個仕上げて、バイト料16000円をもらった。この学生は商品を何個壊しましたか
4回	速さ・時間・距離　1　旅人算	この問題は旅人算・追いかけ算・出会い算と呼ばれています。 この分野もほとんどすべての試験形式で、出題されます。距離と時間と速さの関係性がポイントです。速さとかかる時間が逆比の関係性にあることがキモです。実際の入社試験の過去問を解いていきましょう。有名な問題は、Aが分速60mで寮から駅に向かって信号機のない直線道路歩き始めた。その15分後、Bが分速80mで追いかけた。Bは何分後寮から何mの地点でAに追いつけますか？　また鉄橋通過算もあります。時速と列車と鉄橋の長さが与えられている場合、列車がこの鉄橋を通過するのに何秒かかりますか？ポイントは時速を秒速に変換する点です。
5回	速さ・時間・距離　2　旅人算と　流水算	この問題は旅人算・追いかけ算・出会い算と呼ばれています。　出会い算とは、寮から勤務のホテルまで、信号機なしの直線道路で、17km離れています。Aが寮から勤務先のホテルに出勤するため、午前8時に自転車で時速時速7kmで向かいました。他方勤務明けのBは寮に戻るため、バイクで、午前8時に時速21kmでホテルを出発しました。AとBは何時何分に寮から何m？ホテルから何mの地点で出会いますか？　流水算とは、川の上流A地点と、川の下流のB地点を船で往復する場合の、静水時の船の速さや、川の流れの速さを求める問題です。
6回	食塩水の濃度1	SPI・SCOAの分野で最重要の問題　出題率の2トップのうちの一つです。毎年航空・旅行・ホテルなどの企業で出題されています。 食塩水の問題の正体をあばいてみせます。 なぜ出題頻度が高いのか？　食塩水の問題は数学的思考を見るのに適しているからだと思います。　実際、鉄道の駅　ホテル、空港、ブライダル式場で、濃度7%の食塩水100g下さいと言われることはないと思います。①食塩水Aに、食塩を混ぜて、できた食塩水Bの濃度は何%？②濃度の異なる食塩水Aと食塩水Bを混ぜ合わせた時に出来る食塩水Cの濃度は何%？
7回	食塩水の濃度2	SPI・SCOAの分野で最重要の問題　出題率の2トップのうちの一つです。毎年航空・旅行・ホテルなどの企業で出題されています。 食塩水の問題の正体をあばいてみせます。 なぜ出題頻度が高いのか？　食塩水の問題は数学的思考を見るのに適しているからだと思います。　実際、ホテル、空港、ブライダル式場で、濃度7%の食塩水100g下さいと言われることはないと思います。③食塩水Aに水または食塩を混ぜて、食塩水Bを作るには水、または食塩を何g加えるといいですか？④食塩水A(濃度13%重さ270g)を煮沸して出来合た食塩水B(重さ190g)の濃度は？煮沸して、蒸発するのは水だけがポイント
8回	年齢算	年齢算の正体を明らかにします。年齢算にはいろいろな解き方があります。自分の解きやすい解き方で解いて構いません。大切なことは早く、正確に正解することです。SPI非言語は小学校高学年の文章題で学習した内容が非常に多いです。 小学校で習ったから，簡単ではありませんよ。中学・高校の数学のほうが問題によっては簡単なケースがたくさんあります。 SPI非言語と数学は必ずしも同じではありません。それが数学と言わずに、SPI非言語と命名されている理由だと思います。
9回	比と割合　玉手箱(計数理解)	割合の考え方を基本に問題演習を実践します　割引・割り増しの考え方を理解できるようにまります。 この理解は損益算につながっていきます。また比の問題はいろいろな形でよく出題されます。例えばバラが全部で90本　赤バラと白バラの日が6：3の時赤バラをさらに30本増やしたとき赤バラと白バラの比率は何：何になりますか？比の問題のポイントは比の差と比の和です。SPI・3でも頻出分野です。玉手箱は計数理解という簡単な方程式を使った問題が50問　1問平均8秒以内まさに時間との闘い。
10回	確率1　Probability	確率は必ず出題されます。絶対に理解しておきましょう。　確率については最大が1です。100%でも10割でもかまいません。 公式は0＜P＜1　Probability　試験のポイントは(少なくとも)余事象の理解です。余事象の場合、解答欄の選択肢は、必ず【1－分数】を選択することになります。とても大事なので1年後期でも学習します。 ある日のホテルの宿泊客35名。内訳は男性は21名女性14名。翌朝2人がチェックアウトしました。①チェックアウトした二人が二人とも女性だった確率は？②二人のうち少なくとも一人が女性だった確率は？
11回	順列1　Permutation	順列の基本的な考えは難しくありません。小学校中学校の時に理解できていない学生もたくさんいます。もう一度じっくり考えてみると必ず理解できます 。公式は、nPr　P＝permutation＝順列　nは全体の数字rはn個(人)の中から取り出して並べた時の数です。公式に当てはめるだけですから絶対に落とせません。 順列も1年後期でさらに難しい問題に挑戦します。 SPI・3になってから、重複順列・円順列も出題されています。数珠順列は出題されていません
12回	組み合わせ1　Combination	順列が理解できないと組合せは理解できません。順列ではABC　ACB　BAC　BCA　CAB　CBAはすべて別と考えます。 つまり並び方が違うと別物と考えます。組合せは列(並び方)ではなく、中身・内容で考えるので、ABC～CBAまで全て同じと考えます。 つまり組み合わせとしては、1個です。 公式　nCr　C＝Combination公式の意味も理解しましょう。　組み合わせも1年後期でさらに難しい問題に挑戦します。
13回	仕事算1	仕事算の意味＝ある人、ある機械が一日又は一時間一分間当たりどれだけの仕事をするかの問題　仕事算の基本問題・公式①一日(一時間)当たりの仕事量＝1÷かかった日数(時数分数秒数)　Aがホテルのある業務21日かけて完了した。Aの一日当たりの仕事量は21分の1　数学では全体を1とする場合がとても多い。この場合の1(いち)はoneではなく、allの意味です。日本語としても、いちはallの意味に使われています。詳しくは講義の中で。
14回	仕事算2　暗号問題	仕事算の応用問題　　A一人だと27日(27時間)、B一人だと33日(33時間)、C一人では40日(40時間)かかる仕事をABCの3人ですると何日(何時間)で終わるか？　ABC3人で二日間仕事をしたが、Aが途中でサボった為BC二人で残りの仕事をした場合最初から数えて何日(何時間)に完了する？など　暗号問題は公務員採用試験には出題されていますが、従来SPI・2には出題、されていませんでした。SPI・3には暗号問題があります。知能検査みたいな問題で、センスがためされます。何問かチャレンジしましょう。頭の柔らかさとセンスがためされます。
15回	前期学習の総まとめ	鶴亀算　速さ・時間・距離　食塩水の濃度　確率　順列　組み合わせ　玉手箱の計数処理　と　後期学習の最重要分野の推論について

対象学年	1年	学期	通年	学科	ホテルブライダル・国際ホテルマネジメント科
科目名	ホテル英会話			クラス	A・Sクラス
担当講師(フルネーム)	中牟田登喜枝、日高郁子、松本範子			実務経験	有
授業概要(内容)	ホテルで使う英語の表現を学ぶ			授業形態	講義
到達目標	状況に応じて英語で接客が出来るようになる				
使用テキスト	Hotel & Hospitality English				
成績評価方法	・期末試験50%　会話テスト30%　平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施				

	テーマ	授業内容
1回	オリエンテーション	授業の進め方について 英語で自己紹介
2回	1. Welcoming guests	Checking in guest Findiing out what guets needs
3回	2. Welcoming a guest with no reservation	Checking in guest with no reservation
4回	3. 'Difficult' guests	Finding solution to problems Making suggestions
5回	4. Looking after guests (1)	Offer to help Giving simple directions
6回	5. Looking after guests (2)	Giving information to guests
7回	6. Reservation inquiries	Taking reservations
8回	7. Reservation changes	Changing/Cancelling/Confirming reservations
9回	8. Phone calls to Reception	Transferring calls within the hotel
10回	9. Communication problems	Dealing with bad phone line Confirming details
11回	10. Guest problems	Handling guest complaints
12回	11. At breakfast	Offering food and drink Taking breakfast orders
13回	12. At the bar	Taking orders at the bar Taking payment
14回	会話テスト	Speaking test
15回	会話テスト・期末対策	Speaking test 期末対策

対象学年	1・2年共通	学期	通年	学科	鉄道科・エアライン科
科目名	手話（接客手話）			クラス	N・V
担当講師（フルネーム）	鶴田由香			実務経験	有
授業概要（内容）	聴覚障害についての理解を深め、聴覚障がい者のお客様とのコミュニケーションの在り方を学ぶ			授業形態	講義
到達目標	手話での日常会話と指文字の習得				
使用テキスト	手話を学ぼう　手話で話そう				
成績評価方法	・期末試験70%　平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施				

	テーマ	授業内容
1回	聴覚障害と手話	聴こえないとはどのようなことか 聴覚障害をとりまく状況環境 手話ってなに
2回	伝え合ってみましょう	伝え合うとは 物の形や身振り表情でコミュニケーションをはかる 手話の基本
3回	自己紹介をしましょう	名前の表し方 手話であいさつしてみよう
4回	家族の紹介をしましょう	人物の表し方 疑問詞　誰
5回	数の表し方	手話で数を表す 数字を使った接客手話
6回	地名の手話	地名の手話を学び住所を紹介する 交通の方法を学ぶ
7回	自己紹介まとめ	これからの学習の復習と自分のことを手話で伝えてみましょう
8回	時の表し方1	一日のことを話しましょう 時間の表し方
9回	時の表し方2	一か月のことを話しましょう 時の経過
10回	時の表し方3	一年のことを話しましょう 季節・月・年に関する手話
11回	会話学習	疑問詞をつかって会話を広げよう
12回	旅行のことを話しましょう	旅行をテーマに疑問詞を使って会話を広げよう
13回	体に関する手話表現	病気に関する手話 聴覚障害者の緊急時の対応
14回	前期のまとめ	前期の復習 前期テスト
15回	手話の世界	総復習

対象学年	1・3年共通	学期	前期のみ	学科	観光・鉄道・国際ホテルマネジメント科
科目名	韓国語			クラス	KMTOPV
担当講師(フルネーム)	権京愛　・　権赫奎			実務経験	有
授業概要(内容)	教科書主体に文法を確実に身に付けさせ、毎回の授業には必ず演習を取り入れ、「読む、聞く、話す、書く」の4技能をまんべんなく学ばせる。			授業形態	講義
到達目標	将来仕事で活用できるように会話練習を通してコミュニケーション能力を身につけさせることを目標とする。				
使用テキスト	韓国語の世界へ「入門編」 朝日出版				
成績評価方法	・期末試験70%　平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施				

	テーマ	授業内容
1回	文字と発音Ⅰ	単母音を覚える。 発音と読み書き練習をする。 半母音を覚える。
2回	文字と発音Ⅱ	発音と読み書き練習をする。 簡単な挨拶表現を覚え、授業中に使えるように練習する 初声(平音)と発音の規則(有声音化)を覚え、正しく発音できるようにする。
3回	文字と発音Ⅲ	発音と読み書き練習をする。 関連単語の読み書きの練習をし、単語の意味を覚える。 二重母音と発音の規則(連音化)を覚え、正しく発音できるようにする。
4回	文字と発音Ⅳ	発音と読み書き練習をする。 関連単語の読み書きの練習をしながら単語の意味を覚える。 初声(激音・濃音)を覚え、正しく発音できるようにする。
5回	文字と発音Ⅴ	発音と読み書き練習をする。 関連単語の読み書きの練習をしながら単語の意味を覚える。 パッチムの仕組みを理解し、覚える。
6回	終声(パッチム1)	発音と読み書き練習をする。 関連単語の読み書きの練習をしながら単語の意味を覚える。 二重パッチムの発音の仕方を覚える。
7回	終声(パッチム2)	発音と読み書き練習をする。 関連単語の読み書きの練習をしながら単語の意味を覚える。 ハングルで自分の名前を書く練習をする。
8回	ハングル表記と教室用語	授業中、毎回使う用語とフレーズを覚える。 発音と読み書き練習をする。 初対面の挨拶表現を練習し、覚える。
9回	体言文Ⅰ	発音の規則(鼻音化)を覚え、正しく発音できるようにする。 「～です、～ですか」と短文を作って会話練習をする。 韓国語で簡単な自己紹介のフレーズを覚え、韓国語で自己紹介をする。
10回	自己紹介	会話練習をする。 発音の規則(激音化)を覚え、正しく発音できるようにする。
11回	体言文Ⅱ	短文を作る練習をする。 会話練習をする。 「～ではありません」の表現を覚える。
12回	体言の否定文	否定文を作って練習をする。 日本語と異なる助詞の使い方を覚える。 値段を尋ねる表現 「いくらですか」と漢数字を学んで買い物ができるようにする。
13回	漢数字	助数詞を覚える。 韓国の数字の歌を習って楽しく数字を覚える。 韓国映画を観て韓国文化に触れ、より楽しく韓国語が続けられるようにする。
14回	韓国文化に触れる	映画のセリフを聞いて聞き取れる単語をメモしてみよう！ 期末テストに備え、総まとめををする。
15回	まとめ	日本と韓国の文化の違いについて発表する。

対象学年	1・3年共通	学期	前期のみ	学科	観光・鉄道・国際ホテルマネジメント科
科目名	中国語			クラス	KMTOPV
担当講師(フルネーム)	青山　祐子			実務経験	有
授業概要(内容)	中国語の基礎的な発音・文法・単語を習得し、簡単な会話文について			授業形態	講義
到達目標	中国語の音読、語彙の使い方、文の表現しながら、業務上で使うリスニング能力と会話能力を高めることが目標です。				
使用テキスト	はじめまして！中国語(白水社)				
成績評価方法	・期末試験65%　平常点35% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施				

	テーマ	授業内容
1回	中国のについての理解	DVDを鑑賞し、中国への理解に関する感想文を書く
2回	中国一般事情	中国および中国語についての理解 教室の指示言葉 知って便利な呼称　・　知って便利な挨拶
3回	中国語の発音	発音の練習(四声) 発音の練習(単母音) 発音の練習(唇音、舌尖音、舌根音、舌面音、そり舌音、舌歯音)
4回	中国語の発音"母音" 声調の変化	発音の練習(重母音、鼻母音) 第3声＋第3声→第2声＋第3声などの練習
5回	第1課校門で	1. 人称代名詞 2. 動詞"是"を使った文 3." 吗" を使った疑問文
6回	トレーニング1 第2課廊下で	4. 動詞述語文 5. 疑問詞疑問文("什么" ・ "谁")
7回	トレーニング2 第3課キャンパスで	6. 省略疑問文　◇人の呼び方 7. 指示代名詞
8回	トレーニング3 第4課携帯を見ながら	8. 形容詞述語文 9. " ～的 "
9回	トレーニング4	10. 語気助詞"吧" 11. 所有を表わす"有"
10回	復習1　自己紹介	12. 反復疑問文 13. 数　詞
11回	第5課学生食堂で	14. 場所を表わす代名詞 15. 存在を表わす"有"
12回	トレーニング5	16. 副詞"也"と"都" 17. 二重目的語文　◇方位詞
13回	第6課王先生の研究室で	18. 動詞"在" 19. 動詞の重ね型 20. 時を表わす語の位置　◇時を表わす語(1)
14回	トレーニング6	21. 量　詞 22. 実現・完了を表わす"了" 23. 助動詞"想"　◇"几"と"多少"
15回	期末テスト対策	今まで勉強した内容についてのおさらい

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	エアライン科
科目名	中 国 語			クラス	QR
担当講師(フルネーム)	青山 祐子			実務経験	有
授業概要(内容)	習得した中国語の音読、語彙の使い方、文の表現についての解説			授業形態	講義
到達目標	習得した中国語の表現を生かしながら、業務上で使うリスニング能力と会話能力をさらに高めることを目標とする。				
使用テキスト	中国語1年め （白水社）				
成績評価方法	・期末試験65% 平常点35% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施				

	テーマ	授業内容	
1回	発音の復習	中国語の発音”声調” ”母音””子音”	
2回	第 1 課 中国人留学生と知り合う	1. 人称代名詞 2. 動詞”是”の文 3. ”吗”の疑問文 □ 姓名の言い方	
3回	トレーニング1 第 2 課 携帯の写真を見て	1. 動詞が述語になる文 2. 指示代名詞 3. 疑問詞疑問文 4. ”的”	
4回	トレーニング2 第 3 課 いっしょに勉強しよう！	1. 形容詞が述語になる文 2. 副詞”也” と”都” 3. 所有を表わす”有” 4. 時を表わす語の位置	
5回	トレーニング3 第 4 課 ファストフード店で	1. 場所を表わす代名詞 2. 存在を表わす”有” 3. 省略疑問文”呢” 4. 反復疑問文	
6回	トレーニング4 第 5 課 Tシャツを買う	1. 数 詞 2. 量 詞 3. ”几”と”多少” 4. 所在を表わす動詞”在”	
7回	トレーニング5 第 6 課 いっしょに遊びに出かける	1. 日付・曜日の言い方 2. 時刻の言い方 3. 助動詞(1)”想”・”要” 4. 語気助詞の”吧”	
8回	トレーニング6 第 7 課 花火は何時から？	1. 前置詞(1)” 在”・” 从”・” 离” 2. 動作の完了を表わす”了” 3. 動詞の重ね型	
9回	トレーニング7 第 8 課 学園祭	1. 助動詞(2)” 会”・” 能”・” 可以” 2. 経験を表わす” 过” 3. 動作の回数・時間の長さの表わし方 □時間の長さの言い方	
10回	トレーニング8 第 9 課 カラオケに行く	1. 様態補語 2. 前置詞(2)” 给”・” 跟” 3. 連動文	
11回	トレーニング9 第 10 課 中国の映画を見る	1. 結果補語 2. 動作の進行を表わす”在” 3. 主述述語文	
12回	トレーニング10 第 11 課 帰国を前にして	1. 方向補語 2. 比較の言い方 3. 選択疑問文の” 还是”	
13回	トレーニング11 第 12 課 空港で	1. 可能補語 2. ”是～的”の文 3. 2つの目的語をとる動詞	
14回	トレーニング12 よく使われるその他の語	□ 時を表わす語 □ 時間の長さの尋ね方 □ 方向を表わす語 □ お金の数え方 □ 注意する100以上の数の数え方	
15回	期末テスト対策	今まで勉強した内容についてのおさらい	

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	エアライン科
科目名	韓国語			クラス	QR
担当講師(フルネーム)	権京愛　・　権赫奎			実務経験	有
授業概要(内容)	教科書主体に文法を確実に身に付けさせ、毎回の授業には必ず演習を取り入れ、「読む、聞く、話す、書く」の4技能をまんべんなく学ばせる。			授業形態	講義
到達目標	将来仕事で活用できるように会話練習を通してコミュニケーション能力を身につけさせることを目標とする。				
使用テキスト	ゼロからスタート韓国語(会話編)　著者名:鶴見ユミ　出版社:Jリサーチ出版				
成績評価方法	・期末試験50%　平常点50% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施				

	テーマ	授業内容
1回	自己紹介とお浚い	韓国語で自己紹介をする。 既習の学習内容についてしっかり復習し、理解できるようにする。 特に忘れてしまったハングル文字があれば、復習して読める、書けるようにする。
2回	人を尋ねる表現	「だれに会いますか？」「あの方はだれですか？」「だれと～」「だれが～」に当たる表現を学ぶ。 覚えるまで繰り返し、会話の練習をする。 韓国歌の歌詞を覚えよう！
3回	理由を尋ねる表現	「どうして」に当たる疑問詞を使った表現を覚え、会話練習をする。 「とうして遅れましたか？」「どうして韓国語を勉強していますか？」など、繰り返し会話の練習をする。 また、質問に対して返事ができる表現を学ぶ。
4回	状態を尋ねる表現	「気分はどうですか？」「明日の天気はどうですか？」などの表現を学ぶ。 また、質問に対して返事ができる表現を学ぶ。 クラスメートと互いに質問したり、答えたりしながら会話練習をする。
5回	手段・方法を表す表現	「どうやって」「どのように」になど、方法を尋ねる時に用いる表現を身に付ける。 また、質問に対して返事ができる表現を学ぶ。 クラスメートと互いに質問したり、答えたりしながら覚える。
6回	良好を表す表現	「～がいいです」「～がいいですか？」 「～はよくないです」に当たる表現を覚え、韓国旅行で買い物ができるようにしっかり身に付ける。 韓国商品のチラシを見ながら、商品の名前、値段が言えるように練習する。
7回	好みを表す表現	「～が好きです」「～が嫌いです」に当たる表現を学ぶ。 特に日本語の助詞と違う韓国語の助詞に気を付けながら覚える。 クラスメートと会話練習をする。
8回	練習問題	テキストの練習問題を解きながら、まだ分からない文法・表現などを復習する。 問題に書いてある文章で会話練習をする。 韓国歌の歌詞を覚える。
9回	韓国旅行に役立つ表現	韓国料理のメニューを覚え、レストランで注文したり料金を支払ったりする会話練習をする。 道を尋ねたり切符を買ったりする表現を覚え、韓国旅行に役立つようにしっかり身に付ける。 得意な料理レシピを韓国語で書いてみよう！
10回	ハンニダ体と ヘヨ体	ハンニダ体と ヘヨ体の言いまわしの練習をする。 動詞の原形を覚え、丁寧語に直して言えるように練習をする。 クラスメートと互いに質問したり、答えたりしながら覚える。
11回	位置名詞	位置名詞を覚え、言えるようにする。 絵や地図を見ながら建物の場所を教えたり、聞いたりする。
12回	韓国文化に触れる	韓国映画を観て韓国文化に触れ、より楽しく韓国語が続けられるようにする。 映画のセリフを聞いて聞き取れる単語をメモしてみよう！ 日本と韓国の文化の違いについて発表する。
13回	現在形と過去形	現在形と過去形を覚える。 丁寧語の現在形と過去形の例文を作る練習をする。 友達に使うため口や目上の人に使う尊敬語の言い方を練習する。
14回	意志・推量・～したい	意志の表現を覚え、これから自分がどうしたいのかを述べる練習をする。 または、相手がどうしたいかを聞いたりする。 「～に行きたい」「～を食べたい」 などとクラスメートと会話をする。
15回	まとめと会話練習	期末テストに備え、総まとめををする。 面接を想定し、韓国語で練習をする。

対象学年	2・3年共通	学期	通年	学科	ホテルブライダル・国際ホテルマネジメント科
科目名	ホテル英会話			クラス	E・Tクラス
担当講師(フルネーム)	中牟田登喜枝、日高郁子、松本範子			実務経験	有
授業概要(内容)	ホテルで使う英語の表現を学ぶ			授業形態	講義
到達目標	状況に応じて英語で接客が出来るようになる				
使用テキスト	Hotel & Hospitality English				
成績評価方法	・期末試験50%　会話テスト30%　平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施				

	テーマ	授業内容
1回	オリエンテーション	授業の進め方について 英語で自己紹介
2回	1. Welcoming guests	Checking in guest Findiing out what guets needs
3回	2. Welcoming a guest with no reservation	Checking in guest with no reservation
4回	3. 'Difficult' guests	Finding solution to problems Making suggestions
5回	4. Looking after guests (1)	Offer to help Giving simple directions
6回	5. Looking after guests (2)	Giving information to guests
7回	6. Reservation inquiries	Taking reservations
8回	7. Reservation changes	Changing/Cancelling/Confirming reservations
9回	8. Phone calls to Reception	Transferring calls within the hotel
10回	9. Communication problems	Dealing with bad phone line Confirming details
11回	10. Guest problems	Handling guest complaints
12回	11. At breakfast	Offering food and drink Taking breakfast orders
13回	12. At the bar	Taking orders at the bar Taking payment
14回	会話テスト	Speaking test
15回	会話テスト・期末対策	Speaking test 期末対策

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	観光・鉄道・エアライン科	
科目名	コンピュータ				クラス	L N Q R
担当講師(フルネーム)	乙咩 清美				実務経験	有
授業概要(内容)	タイピング、ビジネスレター(文書、メール等)を繰り返し練習する。 PowerPointでプレゼンファイルを作成し、発表する。				授業形態	講義＆演習
到達目標	Microsoft PowerPointとプレゼンテーションの基礎知識を学び、企画力・資料作り・発表力などを身につける					
使用テキスト	実教出版 30時間でマスターOffice2019					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					

	テーマ	授業内容
1回	Word基礎・応用	タイピング練習 ビジネス文書の基本 ※送付状・お礼状の作成
2回	Word基礎・応用	タイピング練習 ビジネス文書の基本 ※ビジネスメール
3回	Word基礎・応用	タイピング練習 ビジネス文書の基本 ※報告書の作成とメール添付
4回	PowerPoint	PowerPointの基本操作 サンプルスライドの作成① ※スライドの作成と編集、スライドデザイン、画像の挿入など
5回	PowerPoint	プレゼンテーションのテクニック サンプルスライドの作成② ※配色、デザインの確認、アニメーション効果、画面切り替え効果、BGMなど
6回	PowerPoint	プレゼンテーションの発表準備 サンプルスライドの作成③ ※発表を想定したプレゼンテーションファイルの仕上げ
7回	PowerPoint	自由課題のスライド作成① IBC1年次のイベントなどの紹介、その他自由テーマでスライド作成 ※自分のスマホなどの画像を取り込む
8回	PowerPoint	自由課題のスライド作成② スライドの仕上げ、となり通しで発表し合うなど
9回	PowerPoint	期末試験課題のスライド作成① 課題のテーマやストーリーを考える(14,15回に発表)
10回	PowerPoint	期末試験課題のスライド作成②
11回	PowerPoint	期末試験課題のスライド作成③
12回	PowerPoint	期末試験課題のスライド作成④
13回	PowerPoint	期末試験課題のスライド作成⑤ リハーサル 発表のための準備(配布資料作成)や発表時の注意点など、最終確認
14回	プレゼンテーション発表 (試験)	OAルームで講師PCのモニターを使用して発表する 社会人のつもりになって自身の企画をプレゼンする
15回	プレゼンテーション発表 (試験)	OAルームで講師PCのモニターを使用して発表する 社会人のつもりになって自身の企画をプレゼンする

対象学年	2年	学期	通年	学科	鉄道・エアライン科	
科目名	コミュニケーションイングリッシュ				クラス	N・QR①②③
担当講師(フルネーム)	平島千華・挽田雅子・秋満陽子・飛松絵美				実務経験	有
授業概要(内容)	外資系航空会社で接客経験。日常生活の様々な場面で使う語彙や定番の表現を学習し、学んだフレーズを繰り返し練習することで会話力を高める。				授業形態	講義
到達目標	英語への抵抗感を払拭し、スムーズな意思疎通が出来るようになる。					
使用テキスト	Passport Plus					
成績評価方法	・口述試験(2回)(60%)平常点(授業態度20%・確認問題20%) ＊平常点の基準は担当講師により異なります。 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					

	テーマ	授業内容
1回	オリエンテーション	授業の目的・内容・成績評価方法の説明 導入： Introducing the five characters
2回	Unit 1 Welcome to Japan!	出会いの場面 人を出迎える場面で使用するフレーズを学び、日本までの旅について尋てみよう 空港から市内までの交通手段を提案する
3回	Unit 2 Pleased to meet you.	前回の復習・確認問題 初対面の場面で使う挨拶表現 定番のフレーズを学び、自分の友人を初対面の第三者に紹介できるようになろう
4回	Unit 3 Tell me about yourself.	前回の復習・確認問題 面接の場面で使う表現 面接時の定番表現を学び、趣味や仕事のスキルなど、自分自身について話せるようになる
5回	Unit 4 Hello, is this Room Service?	前回の復習・確認問題 ホテルに滞在中に使用する定番フレーズ 客室から電話で各種サービスを頼めるようになろう
6回	Unit 5 Can I help you?	前回の復習・確認問題 オフィスの場面で使うフレーズ 来客を出迎える時に使う基本表現を学び、アポイントの時間を確認し、場所を案内できるようになろう
7回	口述テスト ①	ユニット1～ユニット5の口述テスト テストの説明と準備 会話練習
8回	口述テスト ①	口述テスト ユニット1～ユニット5のまとめ
9回	Unit 6 What would you like to do while you're here?	口述テスト①の振り返り 外国人観光客に観光地や食事を提案する 日本滞在中に食べたい物や行きたい場所を聞き、自分のおすすめを言えるようになろう
10回	Unit 7 Would you like to see my pictures?	前回の復習・確認問題 友人に自分の休暇中の出来事を説明する 自分の休暇についての質問や受け答えの定番表現を学び、友人に説明できるようになろう
11回	Unit 8 Let's shop till we drop!	前回の復習・確認問題 ショッピングの場面で使用するフレーズ どこで？何を？幾ら？といった買い物で使用する定番表現を学ぶ
12回	Unit 9 Can I take a message?	前回の復習・確認問題 来客の応対や電話対応の場面 電話の受け答えの定番フレーズを学び、メッセージの受け取りや確認ができるようになろう
13回	Unit 10 I can't stand soccer!	前回の復習・確認問題 自分の好きなことや嫌いなことを相手に正確に伝えられるようになろう
14回	口述テスト②	ユニット6～ユニット10の口述テスト テストの説明と準備 会話練習
15回	口述テスト②	口述テスト 前期のまとめ

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	ホテル・ブライダル科・エアライン科
科目名	手話（接客手話）			クラス	E・Q・R
担当講師（フルネーム）	鶴田由香			実務経験	有
授業概要（内容）	聴覚障害についての理解を深め、聴覚障がい者のお客様とのコミュニケーションの在り方を学ぶ			授業形態	講義
到達目標	手話での日常会話と指文字の習得				
使用テキスト	手話を学ぼう 手話で話そう				
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施				

	テーマ	授業内容
1回	聴覚障害と手話	聴こえないとはどのようなことか 聴覚障害をとりまく状況環境 手話ってなに
2回	伝え合ってみましょう	伝え合うとは 物の形や身振り表情でコミュニケーションをはかる 手話の基本
3回	自己紹介をしましょう	名前の表し方 手話であいさつしてみよう
4回	家族の紹介をしましょう	人物の表し方 疑問詞 誰
5回	数の表し方	手話で数を表す 数字を使った接客手話
6回	地名の手話	地名の手話を学び住所を紹介する 交通の方法を学ぶ
7回	自己紹介まとめ	これからの学習の復習と自分のことを手話で伝えてみましょう
8回	時の表し方1	一日のことを話しましょう 時間の表し方
9回	時の表し方2	一か月のことを話しましょう 時の経過
10回	時の表し方3	一年のことを話しましょう 季節・月・年に関する手話
11回	会話学習	疑問詞をつかって会話を広げよう
12回	旅行のことを話しましょう	旅行をテーマに疑問詞を使って会話を広げよう
13回	体に関する手話表現	病気に関する手話 聴覚障害者の緊急時の対応
14回	前期のまとめ	前期の復習 前期テスト
15回	手話の世界	総復習

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	全科	
科目名	SPI言語			クラス	全クラス	
担当講師(フルネーム)	前田恭子・山本真美			実務経験	無	
授業概要(内容)	就職筆記試験に受かるために苦手分野を克服して得意分野を伸ばす			授業形態	講義	
到達目標	WEBテスト、適性検査、時事問題にも対応できるように実力をつける					
使用テキスト	朝日キーワード就職2020最新時事問題＆一般常識					
成績評価方法	・期末試験80%　平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2	
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					

	テーマ	授業内容
1回	必ず復習する	・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 毎回テストを実施し解答と解説をします。間違った問題はノートに書いて復習します 残りの時間は、時事問題用語解説、新聞コラムに取り組みます
2回	漢検二級レベル	・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 就職試験にかかわらず、漢字は私たちの生活に欠かせません。漢検二級レベルを目指しましょう
3回	新聞を読む	・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 試験当日は特に新聞のチェックを忘れずに 日頃から時事問題に精通するには、まず新聞を読むこと。各新聞社のサイトを活用しましょう
4回	情報を分析する	・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 先輩たちの受験報告書を活用していますか？各企業の試験問題の傾向がわかります
5回	はじめてにあわてない	・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 適性検査で見慣れない問題が出ることがあります。例題を参考にして冷静な判断を
6回	中間テスト	・中間テスト(解答と解説)、時事問題用語解説
7回	時間配分を考える	・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 解答時間は足りていますか？紙の試験問題の場合、解く前に試験問題の量のチェックも忘れずに
8回	今日から始める	・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 内定はスタート！『知ること』を常に心がけましょう
9回	みんながデキル問題	・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 正答率の高い問題は受験者のほとんどができている証拠。みんながデキル問題は間違えない
10回	過去を振り返る	・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 過去を振り返り、修正も大事
11回	ニュースを気にする	・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 業界のニュースは気にかけていますか？情報集めは怠りなく
12回	ニュースを読む	・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 じっくりとニュースの「なぜ？」を考える
13回	自分の意見を考える	・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 ニュースの「なぜ？」から自分の意見を考える
14回	目標を持つ	・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 今の目標はなにですか？
15回	ゴールはスタート	・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 SPI対策はこの回で終わりです。これからも社会の動きに敏感になって時代の流れを見ていきましょう

対象学年	2・3年共通	学期	前期のみ	学科	全科
科目名	SPI非言語			クラス	全クラス
担当講師(フルネーム)	北村正雄・榎木田祐夫			実務経験	無
授業概要(内容)	数学の授業は週に1回なので各会社の過去問を中心に出題が予想される問題をできるだけわかりやすく講義します。この科目は予習よりも復習に力を入れてください。SPI検査試験に合格しないと面接に進めません。検査試験合格に向けて一緒に頑張りましょう。			授業形態	講義
到達目標	鉄道・ホテルブライダル観光エアライン系の各会社のSPI非言語能力検査試験に合格するのに必要な学力の修得				
使用テキスト	1年次のテキストを継続使用				
成績評価方法	・期末試験70%　平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施				

	テーマ	授業内容
1回	表の読み取り	統計資料 （日本の輸入商品の増減割合　ある地域における電車・バス・マイカー通勤者の年度別割合）　運賃・料金・使用料金の計算(片道運賃・往復運賃・団体割引運賃、英会話、美術館入場料等を表を見て計算する ）
2回	表の読み取り	統計資料　集合(鉄道、航空機自動車などの利用者の人数をベン図を用いてそれぞれの領域を求める。集合理論特有の日本語の意味　少なくともの意味 ） 損益算(原価・定価・売価・利益率を求める公式)
3回	推論	推論　分割払い(仕事算と同様全体を1と考えるのがポイント　頭金・残金・ボーナス払い・分割回数等分数問題) √計算と平方根(ルート2，3，5，6などと分数計算　√と分数の混ざった数字の中ら大小を比較する問題
4回	推論	推論(表を使った電車やバスの速度算ほか)1年次の速度算の応用・速度・距離・時間の関係　時速から分速・秒逆を求める。速、秒速・分速から時速を求める。 追いかけ算の公式など　表を短時間に読み取ることがポイント
5回	推論	推論　分割払い(仕事算と同様全体を1と考えるのがポイント　頭金・残金・ボーナス払い・分割回数等分数問題) √計算と平方根(ルート2，3，5，6などと分数計算　√と分数の混ざった数字の中ら大小を比較する問題
6回	構造的把握力検査	最新SPIテストセンターの傾向　構造的把握力検査　この問題はセストセンターのみの出題分野 受験生の感想として問題自体の意味が理解できず、難しい。 問題を解く考え方が似ているもの　アイウエオの中から一組を選択する。　SPI全体の問題を理解しているかを問う問題　順列組合せ　損益算　推論　確率ほか
7回	推論　WEBテスティング 玉手箱　推論	推論(表を使った電車やバスの速度算ほか)1年次の速度算の応用(西鉄,JRには最重要問題)速度・距離・時間の関係　時速から分速・秒逆を求める。速、秒速・分速から時速を求める。 追いかけ算の公式など　表を短時間に読み取ることがポイント
8回	推論　WEBテスティング 玉手箱　推論	推論　確率(確率の意味と公式　確率は最少は0と同じか、0より大きい。 最大は1と同じか1より小さい　確率P＝求める場合の数÷全体の場合の数　合成確率　少なくとも＝余事象の問題がポイント) 順列と組合せ
9回	推論　WEBテスティング 玉手箱　推論	この問題はペーパーとテストセンター双方の頻出問題　推論 大小・包含の関係(以下の推論で明らかに誤りか、与えられた条件だけでは断定できないものを選択　ハヤブサはキジより高い・キジはツバメより高い・カモメはキジより高い・ツバメは一番安い？カモメは何番目に高い)
10回	推論　WEBテスティング 玉手箱　推論	推論(発言の真偽　ABCDE5人の以下の発言のうち一人だけ嘘をついている。嘘つきは誰？A(Bの発言は本当？)B(Cの発言は嘘？)C(Dの発言は嘘？D(Eの発言は本当？)E(Aの発言は嘘ではない？)
11回	推論　WEBテスティング 玉手箱　推論	推論　速度算　QRSTU各駅間の到着時刻と出発時刻 を表から読み取り各駅間の平均時速を計算する。この問題は非常に有名な問題で、航空会社旅行会社やホテルにも出題可能性が高い。 LMNOPQの6人の到着の前後遅刻者の数を推論する問題　STU3人のじゃんけんの拳の種類と勝敗を推論する問題　ものすごく時間がかかる。割り切って選択肢からしぼりこむしかない。
12回	推論　WEBテスティング	WEBテスティングはPC環境さえあれば、学校でも、自宅でもいつでも受検(能力検査試験なので受験ではなく、受検の字になります。)できます。計算機の使用が可能。とにかく短時間で多くの問題を解いていくので、電卓に慣れていなければ、問題をこなせない。問題によっては、暗算のほうが早い。方程式　推論　組み合わせなど　時間は非言語20分　言語12分　性格検査23分
13回	推論　Web玉手箱 命題　平均算	論理命題　チューリップ　バラ　7階建ての建物の位置関係(休憩所　奇数階と偶数階)　VWXYZ5チームのレースの結果　PQRSの4つ支社の在庫量　KLMNの4人が100点満点の国語と算数の試験を受けた結果、平均算からの各自の得点を推理
14回	推論　WEB　玉手箱 Aが正しければ、BまたはCも必ず正しい	赤いカード3枚青いカード4枚　緑のカード4枚　カードはすくなくとも9枚　赤　青　緑のカードが少なくとも3枚ずつはいっているとき、以下の条件の下での推論　サイコロを3回ふった時の出た目の条件　Kら5O
15回	推論　最も少ない情報で正解にたどり着くには？	XYZの三つの容器に入れた食塩水の濃度の問題　P県内の10店舗のカレーショップの売り上げ？BPQRの4チームのトーナメント方式の試合結果　PQRSTUの6人の住んでいるアパートの号数の確定　8両編成の貸し切り列車にPQRST5組の団体が乗車している場合各団体の使用列車は？　12345の5枚のカードを使って二桁の整数を作る問題

ホテル・ブライダル

対象学年	1年	学期	通年	学科	ホテル・ブライダル 科	
科目名	レストラン＆バンケットサービス				クラス	A
担当講師（フルネーム）	長野 美穂				実務経験	有
授業概要（内容）	料飲サービスにおける基本動作、知識を学ぶ HRS試験を意識した講義と実践を行う				授業形態	講義＆演習
到達目標	企業実習にむけて料飲サービスの基礎を身に付ける					
使用テキスト	なし					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					

	テーマ	授業内容
1回	オリエンテーション	授業の目的と進め方、評価方法について説明する 身だしなみと歩き方のチェック 姿勢改善トレーニング
2回	料飲部門の概要	レストランの種類について学ぶ FB部門の特徴を知る テーブルクロスの取り扱い方を実践、チェアサービス
3回	フランス料理①	シルバーウェアの基礎知識と取り扱い方を学ぶ テーブルクロスの取り扱い方の復習と実践
4回	フランス料理②	シルバーウェアの基礎知識と取り扱い方を学ぶ フルコースの流れを学ぶ テーブルセッティングを行う
5回	フランス料理③	グラスウェアの基礎知識と取り扱い方を学ぶ ウォーターピッチャーのサービス
6回	フランス料理④	レストラン用語を学ぶ トーションの扱い方を学ぶ トレーサービス実践
7回	その他の西洋料理	イタリア料理を知る トレーサービス復習
8回	ドリンク①	コーヒーについて学ぶ ナプキンの折り方実践
9回	ドリンク②	ティーについて学ぶ ナプキンの折り方実践
10回	ドリンク③	アンフュージョンについて学ぶ 皿サービス実践
11回	日本料理①	会席料理について学ぶ 和室での立居振舞い実践
12回	日本料理②	箸につい手の知識を学ぶ 箸の持ち方実践 お銚子の扱い方
13回	期末試験課題発表	期末試験の課題を発表 練習
14回	期末試験	実技試験（スーツ着用） 制限時間内に課題ロールプレイングを行う
15回	期末試験	実技試験（スーツ着用） 制限時間内に課題ロールプレイングを行う

対象学年	1年	学期	通年	学科	ホテル・ブライダル科	
科目名	ソムリエ＆バーテンダー				クラス	A
担当講師（フルネーム）	橋口　淳二				実務経験	有
授業概要（内容）	バー・ラウンジにおける接客、お酒の基礎知識又、基本技術の習得 酒類に興味を持ち、FBの面白さを業務に活かせるようにする				授業形態	講義＆演習
到達目標	料飲部の配属先で使える技能をつける。					
使用テキスト	ホテルテキスト料飲　Ⅱ　バー・ラウンジ編					
成績評価方法	・期末試験70%　平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					

	テーマ	授業内容
1回	シラバスの説明 バーラウンジの概要	授業の目的と進め方、評価方法について説明する ホテル内での料飲提供場所と役割 整理整頓
2回	種類の定義と分類	お酒の分類、ワインはどのようなお酒か？ 醸造酒とは。日本におけるワイン消費の現状。 整理整頓
3回	ワインの基礎知識	ワインの歴史と史実。 ワインの種類別解説。 整理整頓
4回	ブドウの栽培	ブドウが好む土地～栽培されている国について 1年のサイクル又、栽培方法 整理整頓
5回	スティルワインについて	スティルワインとは。 醸造工程、醸造法によるワイン分類 整理整頓
6回	ワイン用ブドウ品種	醸造用ぶどうの種類と特徴。 ヴィンテージチャートの見方。 整理整頓
7回	フランスワインについて	フランスワインの特徴 ボルドー、ブルゴーニュ、他地域の相違点 整理整頓
8回	フランスワインについて	フランスワインの特徴 ロアール、アルザス、スードウェスト、コートロティー他地域の相違点 整理整頓
9回	イタリア・ドイツワイン その他の国のワイン	イタリアワイン代表的な銘柄と特徴 ドイツワイン代表的な銘柄と特徴。 整理整頓
10回	ワインと料理の相性	料理とワインのマリアージュについて。 調和と反発、料理とワイン新しい合わせ方 整理整頓
11回	ソムリエの役割	ソムリエとは？ ソムリエの仕事について、ソムリエになるには 整理整頓
12回	ワイン抜栓練習（実技）	抜栓用の道具一式 テーブル単位での抜栓とサービスの練習 整理整頓
13回	ワイン種類別サービス （実技）	シャンパン、白・赤ワインのサービス方法 ソー、パニエによるサービス方法を取得する 整理整頓
14回	ワイン種類別サービス （実技）	デキャンタージュ技法の理解と実践 トランスバーゼ技法の理解と実践 整理整頓
15回	前期のまとめ	期末試験の範囲と復習 ワインの醍醐味について 整理整頓

対象学年	1年	学期	通年	学科	ホテルブライダル科	
科目名	フロントサービス				クラス	Aクラス
担当講師(フルネーム)	松本　範子				実務経験	有
授業概要(内容)	宿泊部門(ドアマン、ベルマン、ハウスキーピング)の業務内容、 及び他部門との連帯作業を学ぶ。				授業形態	講義＆演習
到達目標	宿泊部門(ドアマン、ベルマン、ハウスキーピング)の日常業務の理解と技術取得					
使用テキスト	宿泊業務の基礎					
成績評価方法	・期末試験70%　平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					

	テーマ	授業内容
1回	オリエンテーション 第1章 ホテルビジネスの基本	成績評価、授業スケジュールについて説明 ホテルの分類とサービス
2回	第1章 ホテルビジネスの基本	サービスとは ホテルで求められるサービス
3回	第2章　宿泊部門	宿泊部門の3機能 商品特性、業務特性
4回	第2章　宿泊部門	宿泊部門の役割 スタッフの心得、態度・動作
5回	第2章　宿泊部門	言葉づかい 電話対応
6回	第2章　宿泊部門	コンプレイン対応 宿泊部門の業務の流れ
7回	第2章　宿泊部門	これから求めれる能力と資質 宿泊部門のまとめ
8回	第2章　宿泊部門	フロントサービス業務と組織体制 ドアマンの業務
9回	第3章　フロントサービス	ドアマン業務のつづき バレーサービス 館内・館外の案内
10回	第3章　フロントサービス	ドアマン実技
11回	第3章　フロントサービス	ベルマン業務の流れ 案内業務(個人・団体客)
12回	第3章　フロントサービス	荷物の取り扱い業務 ルームチェンジ ページング
13回	第3章　フロントサービス	ロビー業務
14回	第3章　フロントサービス	ベルマン実技
15回	まとめ	前期まとめ 期末テスト対策

対象学年	1年	学期	通年	学科	ホテル・ブライダル科	
科目名	ホテル総論				クラス	A
担当講師(フルネーム)	小西　翼				実務経験	有
授業概要(内容)	ホテルの歴史や基礎知識を学ぶ。 世界中に存在するホテルについて学ぶ。				授業形態	講義
到達目標	様々なホテルを知ることで、企業実習や就職活動の際の企業選択に役立てる。					
使用テキスト	なし					
成績評価方法	・期末試験70%　平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					

	テーマ	授業内容
1回	オリエンテーション	自己紹介 前期の学習内容について説明 評価方法について説明
2回	様々なホテルの分類	様々な「○○ホテル」
3回	ホテルの歴史・偉人 旅館業法	昨今のホテルの基礎を築き上げた、伝説のホテリエたち ホテルに関わる法律とは
4回	様々な経営・運営方法 ホテル内の職種と役割	ホテルはどのように運営されているのかを説明 ホテルの商品の特性
5回	日本を代表する 歴史あるホテル	日本が誇る『ホテル御三家』とは…
6回	テーマパークのホテル	ディズニー、USJ、ハウステンボスなど、テーマパーク内近隣のホテルを紹介
7回	国内のシティホテル	東日本のシティホテルを紹介
8回	国内のシティホテル	西日本のシティホテルを紹介
9回	国内のシティホテル	九州地方のシティホテルを紹介
10回	外資系のホテル	マリオットインターナショナル系列のホテルを紹介
11回	外資系のホテル	ハイアット、ヒルトン、その他系列の外資系ホテルを紹介
12回	国内のリゾートホテル 国内のビジネスホテル	国内のリゾートホテル、ビジネスホテル(チェーン)を紹介
13回	国内の旅館 レピュテーションマネジメント	国内の旅館を紹介 九州が誇るゆふいん三大旅館 「レピュテーションマネジメント」とは…○○を管理すること！
14回	ホテルで働くという事	他業種との違い 勤務形態(日勤・夜勤、二交代・三交代) 様々な雇用形態(正社員・契約社員など)
15回	前期まとめ	前期の学習内容についてのまとめ、振り返り

対象学年	1年	学期	通年	学科	ホテル・ブライダル科
科目名	就職活動講座			クラス	A
担当講師(フルネーム)	安部紀美江			実務経験	有
授業概要(内容)	・就職試験に必要な自己分析や表現力の文章化を徹底して行う。			授業形態	講義
到達目標	・学生から社会人となるためのマナーやスキルを習得させ、職業人としての意識づけを行う。				
使用テキスト	・「専門学校生のための就職内定基本テキスト」　・就職ノート　　・オリジナルレジュメ				
成績評価方法	・期末試験70%　平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	× 期末試験なし				

	テーマ	授業内容
1回	オリエンテーション	・前期授業内容の説明を行う。 ・各自プロフィールを記入し個別に質問をしていく。
2回	就職活動へのアプローチ	・就職とは何か、なぜ働くのかを理解させ、社会人となる為の準備を自覚させる。 ・キャリア形成の重要性と社会や企業について考えさせる。 ・専門学校生の強みを認識させ、どのように発揮していくのかを考えさせる。
3回	就職活動に必要な書類の書き方	・当校における就職活動の流れを説明する。 ・就職室の活用方法を教える。 ・就職活動に必要な書類や行動を説明する。
4回	履歴書の書き方	・履歴書の当校における書き方を説明し実際に書いてみる。
5回	職業を知る	・ホテルで働くとはどういう仕事をするのかを説明する。 ・ホテルの種類や日本におけるホテル業界の説明をする。
6回	自分自身を知る	・自分自身をどの程度分かっているかの洗い出しをし自己PR作成への布石とする。 ・自分のライフスタイルとは何かを再認識させる。
7回	自分自身を知る	・将来の夢や目標の設定が就職に必要であることを理解させる。
8回	自己分析	・自己分析の意義を認識させ表現力へと転化させる。
9回	自己分析	・自分の能力や適性を把握させる。
10回	自己分析	・将来の夢や目標の設定が就職に必要であることを理解させる。
11回	自己PRの作り方	・自分史の作成を通して自己PRの作成をしやすくしていく。 ・自己分析からPRできるものをピックアップし、肉付けする。 ・自分と業界の接点を認識させ、企業でどう活かせるのかを考える。
12回	自己PRの作り方	・自己PRを書いてみよう。
13回	志望動機の作り方	・志望動機作成に必要な文言や自己PRとの関連性について考えていく。
14回	企業研究	・企業研究の重要性と企業研究シートの作成方法を学ぶ。 ・情報収集の必要性とその収集方法ができるようになる。 ・企業開催セミナー・説明会に参加する意味と就活への活用方法をわかるようになる。
15回	完成品のチェック	・前期提出物のチェック

対象学年	1年	学期	前期のみ	学科	ホテル・ブライダル科	
科目名	ホテル ブライダル業界研究				クラス	A
担当講師(フルネーム)	橋口　淳二				実務経験	有
授業概要(内容)	ホテルやホスピタリティ産業にて活躍されている方々の講話とおし 業界に対しての学びと気付き知識を増やす。毎回レポート提出にて評価。				授業形態	講義
到達目標	ホスピタリティ業界で使える知識を取得できる。					
使用テキスト	なし					
成績評価方法	・期末試験70%　平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					

	テーマ	授業内容
1回	オリエンテーション	ホテル ブライダル業界の動向
2回	この業界で働く意義	現役ホテルマン講話
3回	業界について	現役ホテルマン講話
4回	業界について	現役ホテルマン講話
5回	業界について	現役ホテルマン講話
6回	業界について	現役ホテルマン講話
7回	業界について	現役ホテルマン講話
8回	業界について	現役ホテルマン講話
9回	業界について	現役ホテルマン講話
10回	業界について	現役ホテルマン講話
11回	業界について	現役ホテルマン講話
12回	業界について	現役ホテルマン講話
13回	業界について	現役ホテルマン講話
14回	業界について	現役ホテルマン講話
15回	まとめ	夏季実習へ向けて

対象学年	1年	学期	前期のみ	学科	ホテル・ブライダル　科
科目名	和のサービス			クラス	A
担当講師（フルネーム）	長野　美穂			実務経験	有
授業概要（内容）	旬の食材や季節の行事、日本料理の特徴などを詳しく学ぶ			授業形態	講義
到達目標	料理や思想、その他様々な観点から日本文化の特徴が語れるようになる				
使用テキスト	なし				
成績評価方法	・期末試験100% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施				

	テーマ	授業内容
1回	ホテルと旅館	ホテルと旅館　それぞれの魅力を知る 食材には3つの顔がある
2回	和室の立居振舞	和室のルールを知る お客様の出迎え～湯茶のサービスの重要ポイント
3回	言葉遣い	美しい言葉遣い 知っておきたい業界用語
4回	シーンに合わせた準備	掛け軸に隠された意味を知る 和室の整え方
5回	日本料理	☯このマークが関係します 究極のサービス　それは…
6回	板場の世界	知っておきたい調理法 お造り　それは…
7回	器の話	木と石と土の器の話 好きな焼物を見つけよう
8回	アルコールのサービス	ビール、日本酒、焼酎を美味しく提供するために 美味しい水割りのつくりかた
9回	法要	難易度の高い法要のサービスを学ぶ 精進料理　それは…
10回	見合いと結納	お見合いサービスの注意点を学ぶ 忌み言葉　それは…
11回	温泉地研究	人気のある温泉地の秘密を探る 正しい温泉の入浴方法を知る
12回	正月準備	おせち料理に込められた意味 2020年を良い年にするために…
13回	鍋料理（すき焼き）	鍋奉行を目指して 激動の明治時代を学ぶ
14回	期末テスト	食材アレルギーの話 ラスト30分で筆記試験実施
15回	家紋の話	期末試験フィードバック あなたの家の家紋を調べてきてください 伝統文様の話

対象学年	1年	学期	前期のみ	学科	ホテル・ブライダル科	
科目名	ブライダル総論				クラス	A
担当講師(フルネーム)	小西　翼				実務経験	有
授業概要(内容)	ブライダルについての基礎知識及び専門知識を説明・紹介する。				授業形態	講義
到達目標	結婚・ブライダル業界の基本的な知識を理解する。					
使用テキスト	なし					
成績評価方法	・期末試験70%　平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					

	テーマ	授業内容
1回	オリエンテーション	前期の学習内容・評価方法について説明 みなさんにとって「結婚」「夫婦」とは？
2回	ブライダル業界とは	「ブライダル」の定義とそれを構成するもの どんな結婚式を挙げたい？
3回	結婚の意味	昔の結婚と今の結婚 結婚を法律で考える
4回	結婚式の種類	様々に分類される挙式・披露宴の種類と形態
5回	ブライダル業界の仕事	結婚(式)に関わる仕事、スタッフについて
6回	お見合い	お見合いの種類とやり方
7回	婚約	婚約の意味 指輪の意味 「理想のプロポーズ」に対する男女のギャップとは
8回	日本における ブライダルのしきたり	六輝について 結納について
9回	結婚(式)に関わる書類	婚姻届けについて 結婚式の招待状について
10回	挙式について	挙式の流れと演出について
11回	披露宴について	披露宴の流れと演出について
12回	ブライダルアイテム	ドレス・タキシード
13回	ブライダルアイテム	和装 ブーケ・ヘッドドレス・アクセサリー
14回	業界の様々なランキング	日本人の結婚観 人気の結婚式 人気のブライダルアイテム
15回	前期のまとめ	前期授業のまとめと振り返り

対象学年	1年	学期	通年	学科	ホテル・ブライダル科	
科目名	ブライダルセールス				クラス	A
担当講師(フルネーム)	鷹取　恭子				実務経験	有
授業概要(内容)	ブラダイルテキストを使用し、ブライダルの基礎知識を把握する				授業形態	講義
到達目標	ブライダルプランナーとしての役割と結婚式における基礎知識の全体を理解する					
使用テキスト	ブライダルプランナーテキスト					
成績評価方法	・期末試験70%　平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					

	テーマ	授業内容
1回	CHAPTER1	自己紹介・他己紹介、授業の目的を知る ウェディングとは ウェディング業界に求められること
2回	CHAPTER1	プランナーとは プランナーに求められること
3回	CHAPTER2	信頼と説得力を得る為の方法 Ⅰ　信頼を得るためのベーシックマナー【ロープレ】挨拶・お辞儀・笑顔 ビジネスマナー
4回	CHAPTER2	Ⅱ　ヒアリングとは ヒアリング～クロージングの目的と流れを把握 Ⅲ　プレゼンテーションとは
5回	CHAPTER3	新規接客営業 Ⅰ　新規接客の重要性 Ⅱ　新規接客の流れ
6回	CHAPTER3	Ⅲ　申込み手続き、事務処理 Ⅳ　顧客心理 Ⅴ　ケーススタディ
7回	CHAPTER3	来館アンケートを基にロールプレイング 名刺の渡し方～クロージングまで
8回	CHAPTER4	挙式・披露宴のプランニング Ⅰ　打合せスケジュール Ⅱ　打合せ項目 （コンセプトとテーマの決め方）
9回	CHAPTER4	Ⅱ　打合せ項目 結婚式におけるアイテム・演出の把握
10回	CHAPTER4	Ⅲ　提携業者 Ⅳ　作成資料
11回	CHAPTER5	コーディネート Ⅰ　イメージ別コーディネート Ⅱ　会場別コーディネート
12回	CHAPTER5	Ⅲ　ケーススタディ お客様の希望をヒアリングし提案までのロールプレイング
13回	CHAPTER6	挙式当日の流れとプランナーの動き Ⅰ　当日のタイムテーブル
14回	CHAPTER6	Ⅱ　披露宴の進行 Ⅲ　当日のプランナーの役割
15回	CHAPTER6	Ⅳ　各署スタッフの役割 Ⅵ　クレーム対応 クレーム対応の基本と対処方法

対象学年	1年	学期	前期のみ	学科	ホテル・ブライダル科	
科目名	ブライダルMC演習				クラス	A
担当講師（フルネーム）	吉良　牧子				実務経験	有
授業概要（内容）	正しい発声や話し方を学び、ブライダルの進行を作成しながら 日常で使えるスキルを習得する				授業形態	演習
到達目標	ブライダルの進行について学び、同時に就職先で役立つ明瞭で好感をもてる話し方が出来るようになる					
使用テキスト	オリジナルプリント					
成績評価方法	・実技試験60%　平常点40% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					

	テーマ	授業内容
1回	オリエンテーション	講師紹介、授業の進め方 学生自己紹介
2回	MCの役割・心得	披露宴内でのMCの役割 進行表の作り方
3回	発声練習（基礎）	口の開け方 早口言葉 表現練習
4回	本読み練習	
5回	迎賓から乾杯	台本を使って体験
6回	歓談からケーキ入刀	〃
7回	友人スピーチと中座	〃
8回	再入場とキャンドルS	〃
9回	子供花束	〃
10回	手紙の朗読	表現の応用
11回	退場まで	台本を使って体験
12回	グループ練習	台本の暗記と発表準備
13回	発表	グループごとに発表
14回	発表	〃
15回	まとめ	今後の活かし方 話し方でイメージ向上を図る なりたい自分になる

対象学年	2年	学期	通年	学科	ホテル・ブライダル
科目名	フロント・オフィス			クラス	E
担当講師（フルネーム）	中牟田登喜枝			実務経験	有
授業概要（内容）	ホテル業界フロント経験者が実務経験をもとにフロントオフィース業務を解説			授業形態	講義
到達目標	基本業務知識を身につけ、ホテル全体の流れを理解する				
使用テキスト	ホテルテキスト宿泊I フロントオフィス編				
成績評価方法	・期末試験50% 実技、平常点50% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施				

	テーマ	授業内容
1回	オリエンテーション	授業内容、評価方法、実技について フロントオフィスの意義と役割 フロントオフィスの組織と業務
2回	客室の種類	客室タイプ 料金シルテム
3回	リザベーション業務	予約業務の重要性 イールドマネジメント
4回	リザベーション業務	宿泊予約の種類 宿泊予約システム概要
5回	リザベーション業務	予約受付の流れ
6回	リザベーション業務	宿泊予約受付業務 ①電話予約の基本 ②キャンセルと変更 ③リザベーションカード作製 ④キャンセルチャージ
7回	リザベーション業務	インターネット予約業務 宿泊予約におけるその他の業務
8回	リザベーション業務	通常予約の演習 ①
9回	リザベーション業務	通常予約の演習 ②
10回	リザベーション業務	予約変更、キャンセル演習
11回	リザベーション業務	予約、顧客情報更新
12回	レセプション業務	レセプションサービス ルーム・アサイメント 接客マナー
13回	レセプション業務	チェッインの手順 レジストレーションカード記入方法
14回	レセプション業務	オーバーブッキングとダブルブッキングの対応方法 レイトチェンジとルームチェンジの処理方法
15回	前期まとめ	期末試験について 前期項目の復習

対象学年	2年	学期	通年	学科	ホテルブライダル科	
科目名	コミュニケーションイングリッシュ				クラス	Eクラス
担当講師(フルネーム)	松本　範子				実務経験	有
授業概要(内容)	日常生活だけでなく、ホテルで使う語彙や会話表現を学び オンラインレッスンで実践する				授業形態	講義＆演習
到達目標	学んだ英語をホテルでの接客に活かせるようにする					
使用テキスト	絵で見てパッと言う英会話トレーニング、予習・復習プリント					
成績評価方法	・オンラインレッスン評価40%　小テスト40%　平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					

	テーマ	授業内容
1回	絵で見てパッと英会話	日常の挨拶①
2回	絵で見てパッと英会話	日常の挨拶②
3回	おもてなし英語	ホテル：チェックイン①
4回	絵で見てパッと英会話	聞き返し・つなぎ
5回	絵で見てパッと英会話	あいづち
6回	おもてなし英語	ホテル：チェックイン②
7回	絵で見てパッと英会話	お礼
8回	絵で見てパッと英会話	感想①
9回	おもてなし英語	ホテル：施設案内①
10回	絵で見てパッと英会話	感想②
11回	絵で見てパッと英会話	気遣う
12回	おもてなし英語	ホテル：施設案内②
13回	絵で見てパッと英会話	依頼
14回	絵で見てパッと英会話	提案
15回	おもてなし英語	ホテル：滞在中・チェックアウト

対象学年	2年	学期	通年	学科	ホテル・ブライダル科	
科目名	web広告戦略				クラス	E
担当講師（フルネーム）	坂井　隆仁				実務経験	有
授業概要（内容）	前期でPCを使う上での基本的な知識を、Officeを使用し学習していきます。				授業形態	実技
到達目標	パソコンを使って色々な事ができる人材になっていきましょう。					
使用テキスト	特になし。課題、資料等はデータで配布予定。					
成績評価方法	・授業内課題70点 出席30点				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					

	テーマ	授業内容
1回	オリエンテーション	スケジュール確認、タイピング練習 ファイルの保存、管理、提出方法について 画像について
2回	画像を加工してみよう	画像の取得方法について 画質、ファイル形式について
3回	Wordでチラシ作成	Wordでチラシ作成 課題作成
4回	Canvaを使ってみよう	Canvaについて チラシを作ってみよう
5回	PowerPoint応用	PowerPointに動画を入れる方法 分割印刷 テンプレートについて
6回	PowerPoint課題作成①	チーム別に課題作成
7回	PowerPoint課題作成②	チーム別に課題作成
8回	PowerPoint課題作成③	チーム別に課題作成
9回	PowerPoint課題作成④	チーム別に課題作成 課題の振り返り
10回	Excelで広告スケジュール作成①	Excelでスケジュール作成 条件付き書式を使いこなしてみましょう。
11回	Excelで広告スケジュール作成②	Excelでスケジュール作成 条件付き書式を使いこなしてみましょう。
12回	バナーについて①	canvaで実際にバナーを作りましょう。 色々なWebサイトを見てどんなバナーがあるか調査してみましょう。
13回	バナーについて②	canvaで実際にバナーを作りましょう。 テーマ別にバナーを作成
14回	スマホアプリで動画作成	スマホを使って動画作成 グリーンバックを使って合成動画を作成
15回	振り返り	今まで学習した内容を復習します。

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	ホテル・ブライダル科	
科目名	HRS対策（実技）				クラス	E
担当講師（フルネーム）	小西　翼				実務経験	有
授業概要（内容）	HRS試験合格のために必要な技術を向上させる。 過去の課題を参考に試験対策を行う。				授業形態	実技
到達目標	ホテルレストランサービス技能検定3級に合格する。					
使用テキスト	なし					
成績評価方法	・期末試験80%　平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					

	テーマ	授業内容
1回	オリエンテーション	評価方法の説明 『国家資格』と『民間資格』 備品のセッティングと片付けについて
2回	朝食サービス	テーブルセッティング（朝食） お迎えから水、コーヒーサービスまでのロールプレイ 整理整頓
3回	朝食サービス	テーブルセッティング（朝食） お迎えからパンサービスまでのロールプレイ 整理整頓
4回	朝食サービス	テーブルセッティング（朝食） お迎えからバッシング・リセットまでのロールプレイ 整理整頓
5回	朝食サービス	テーブルセッティング（朝食） 通し練習 整理整頓
6回	確認テストに向けて	テーブルセッティング（朝食） 課題範囲を発表・通し練習 整理整頓
7回	確認テスト	テーブルセッティング（朝食） 朝食サービスの試験を行う 整理整頓
8回	確認テスト	テーブルセッティング（朝食） 朝食サービスの試験を行う 整理整頓
9回	ランチサービス	テーブルセッティング（昼食） お迎え～メイン料理サービスまでのロールプレイ 整理整頓
10回	ランチサービス	テーブルセッティング（昼食） お迎え～バッシング・リセットまでのロールプレイ 整理整頓
11回	ランチサービス	テーブルセッティング（昼食） お迎え～バッシング・リセットまでのロールプレイ 整理整頓
12回	ランチサービス	テーブルセッティング（昼食） お迎え～バッシング・リセットまでのロールプレイ 整理整頓
13回	確認テストに向けて	テーブルセッティング（昼食） 課題範囲を発表・通し練習 整理整頓
14回	確認テスト	テーブルセッティング（昼食） 朝食サービスの試験を行う 整理整頓
15回	確認テスト	テーブルセッティング（昼食） 朝食サービスの試験を行う 整理整頓

対象学年	1年	学期	前期のみ	学科	ホテル・ブライダル　科
科目名	HRS対策（筆記）			クラス	E
担当講師（フルネーム）	長野　美穂			実務経験	有
授業概要（内容）	HRS試験に必要な知識を学ぶ 過去問題を参考に試験対策を行う			授業形態	講義
到達目標	8月19日に実施されるHRS筆記試験合格				
使用テキスト	西洋料理　料飲接遇サービス技法				
成績評価方法	・期末試験70%平常点30%　※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・平常点には授業中に行うミニテストを加味する			単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施				

	テーマ	授業内容
1回	第1章 食材・飲料等の基礎知識	6つの基礎食品を知る 食品の分類別特徴を学ぶ 過去問題を解く
2回	第1章 食材・飲料等の基礎知識	西洋料理に使用される主な食材を知る フルコースの流れとそのポイントを学ぶ 過去問題を解く
3回	第1章 食材・飲料等の基礎知識	西洋料理の食事用器具と備品について学ぶ 銀食器の取り扱い方を学ぶ 過去問題を解く
4回	第4章 食文化	食事の国際習慣について学ぶ プロトコールの歴史を学ぶ 過去問題を解く
5回	第7章 食品衛生及び公衆衛生	食品衛生および公衆衛生について学ぶ 食中毒の分類、発生状況を知る 過去問題を解く
6回	2018年度過去問題	過去問題を解く 答え合わせと解説
7回	2018年度過去問題	過去問題を解く 答え合わせと解説
8回	2018年度過去問題	過去問題を解く 答え合わせと解説
9回	ミニテスト	本番を想定した問題を解く 真偽減点方式による採点を行なう
10回	2017年度過去問題	過去問題を解く 答え合わせと解説
11回	2017年度過去問題	過去問題を解く 答え合わせと解説
12回	2017年度過去問題	過去問題を解く 答え合わせと解説
13回	2017年度過去問題	過去問題を解く 答え合わせと解説
14回	2016年度過去問題	過去問題を解く 答え合わせと解説
15回	2016年度過去問題	過去問題を解く 答え合わせと解説

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	ホテル・ブライダル科	
科目名	カラーコーディネート				クラス	E
担当講師(フルネーム)	西元　愛乃／上鵜瀬　茂樹				実務経験	有
授業概要(内容)	ハイブランドコレクションや店舗、ウェディングの会場装花・装飾、ブーケ制作の総合指揮を多数担当し、自身もフラワーブランドを主宰。 これまで培った知識・経験を余すことなく落とし込んだカラーコーディネート講義を行う。				授業形態	講義
到達目標	花材を使用した制作実習などを通し、色彩心理効果やテーマに沿ったカラーコーディネイトの提案実現を目指す。					
使用テキスト	プリント他。					
成績評価方法	実技評価および授業態度…50%　提出物による評価…50% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					

	テーマ	授業内容
1回	オリエンテーション	講師の自己紹介および今後の授業計画説明。
2回	Springカラーについて	春の色味を用いた制作実習。
3回	色の基礎知識	色使いの基本。
4回	色の基礎知識	コンセプトに沿ったスタイルの提案方法について学ぶ。
5回	色がもたらす印象	制作実習を通して色がもたらす印象を考察する。
6回	色彩による心理効果①	ターゲット層にリーチする色彩選びについて学ぶ。
7回	色彩による心理効果②	ディスプレイによるイメージ戦略いついて学ぶ。
8回	コーポレートカラーとは？	コーポレートカラーの概念について学ぶ。
9回	コーポレートカラー研究①	コーポレートカラーを用いた制作実習。
10回	コーポレートカラー研究②	前回の制作実習作品についてのプレゼンテーションおよびディスカッション。
11回	Summerカラーについて	夏の色味を用いた制作実習。
12回	グループ制作①	課題テーマに沿ったグループ制作実習。
13回	グループ制作②	前回に引き続き、課題テーマに沿ったグループ制作実習。
14回	まとめ	グループ制作作品の発表①
15回	まとめ	グループ制作作品の発表②

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	ホテル・ブライダル科
科目名	就職活動講座			クラス	E
担当講師(フルネーム)	安部紀美江			実務経験	有
授業概要(内容)	・受験企業の絞り込みと企業研究の充実を図り、面接対策のフォローアップをする。 ・内定後の処し方と入社後に最低限必要な知識を身につける。			授業形態	講義
到達目標	・志望する企業への内定を勝ち取る。				
使用テキスト	・「NEW SUCCESS 勝つための就職ガイド」 ・就職ノート ・オリジナルレジュメ				
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	× 期末試験なし				

	テーマ	授業内容
1回	オリエンテーション	・現在の就職活動状況を把握する。 ・自分自身の問題点の洗い出しを行い弱点を見つける。 ・前期授業内容及び授業時間内ルールの説明
2回	自己PR	・冬の実習での失敗や成果の具体的な内容を拾い上げる。 ・実習体験を使った新しい自己PRを作成する。 ・バリエーション豊富な自己PRを作成してみる。
3回	企業研究	・企業研究の方法を学ぶためにテストケースで作成してみる。
4回	面接対策	・面接の形式や種類を学び対応策を考える。 ・面接の受け答えチェックポイントを学ぶ。
5回	受験企業の研究シート作成	・受験企業の研究シートの充実を図り、どのような質問にも答えられるようにする。
6回	受験企業の志望動機作成	・受験企業の志望動機を完成させる。
7回	企業研究・面接対策	・受験企業の自己PRならびに志望動機の完成品を作成し再度精査する。 ・個々人の状況に応じた疑問や質問に対して答えていく。
8回	企業研究・面接対策	・現状の個別活動状況中間報告を行い、それぞれが抱える問題点の洗い出しを行う。
9回	内定後にすること	・内定とは何かを説明し企業人としての第一歩の自覚を促す。 ・内定後の学校生活が入社に関係してくることの確認をさせ規律を守らせる。 ・就業規則とは何かを知らしめ企業内での言動について考えさせる。
10回	企業研究・面接対策	・内定者と未定者とを分け、内定者にはプリントを配布し作成させる。 ・内定未定者に対し個別指導を行う。
11回	企業研究・面接対策	・内定者と未定者とを分け、内定者にはプリントを配布し作成させる。 ・内定未定者に対し個別指導を行う。
12回	企業研究・面接対策	・内定者と未定者とを分け、内定者にはプリントを配布し作成させる。 ・内定未定者に対し個別指導を行う。
13回	企業研究・面接対策	・内定者と未定者とを分け、内定者にはプリントを配布し作成させる。 ・内定未定者に対し個別指導を行う。
14回	入社後に必要なこと	・就業規則とは何か、どう守っていくかを知らしめる。 ・組織について最小限の知識を身に付ける。
15回	入社後に必要なこと	・自分自身の給料を計算してみよう。

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	ホテル・ブライダル科	
科目名	面接対策講座				クラス	E
担当講師(フルネーム)	宮前訓子				実務経験	有
授業概要(内容)	①航空業界での接客実務経験。 面接における接遇5原則を指導。 自己PR・志望動機の効果的な表現方法および集団討議の実技指導。				授業形態	講義
到達目標	面接での自己表現を学ぶとともに、相手への説得表現や柔軟な対処方法を習得する。					
使用テキスト	使用しません(書き込み式のフォームを配布しますので専用のクリアファイル等をご用意ください)					
成績評価方法	・期末試験70%　平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					

	テーマ	授業内容
1回	オリエンテーション	試験までの流れを把握する　（2年時の具体的な目標設定）
2回	自己PR①	これまでの実習経験を踏まえた自己PRを実技　（具体的な表現方法を習得する）
3回	志望動機①	志望する企業に対応した志望動機の作成手順と実技　（十分な知識を持って作成）
4回	グループディスカッション①	業界でのGDの出題テーマについて実技　（他者の討議の様子を分析する）
5回	質疑応答①	面接で聞かれうる基本的質疑応答について対応する　（臨機応変な対応力をつける）
6回	自己PR②	これまでのIBCでの経験を踏まえての自己PRを作成・発表
7回	志望動機②	業界の動向を踏まえたうえでの志望動機を作成・発表　（新聞やネットの情報を分析しておく）
8回	グループディスカッション②	あらゆるテーマのディスカッションを経験しアドリブ力をつける
9回	質疑応答②	時事問題の関する質疑応答の演習　　（今年度の情報を把握しておく）
10回	ディベート	社会人として必要な考え方を習得するためのディスカッション演習　（冷静さ対応力を身につける）
11回	質疑応答③	面接で聞かれうる基本的質疑応答に対する演習
12回	質疑応答④	面接で聞かれうる基本的質疑応答に対する演習
13回	質疑応答⑤	面接で聞かれうる基本的質疑応答に対する演習
14回	実技試験①	個人面接　（待機時に書類を作成→提出）
15回	実技試験②	個人面接　（待機時に書類を作成→提出）

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	ホテル・ブライダル科	
科目名	カクテル（選択）				クラス	E
担当講師（フルネーム）	橋口　淳二				実務経験	有
授業概要（内容）	カクテルの知識、技術の基礎を学び、バーテンダーとしての心構え オリジナルカクテルの作成				授業形態	講義＆演習
到達目標	バー、ラウンジにおける接客、お酒の基礎知識又、基本技術の習得					
使用テキスト	なし					
成績評価方法	・期末試験70%　平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					

	テーマ	授業内容
1回	シラバスの説明 酒の知識Ⅰ	授業内容の説明 成績評価の説明と授業を行う上での注意点 酒の知識と分類
2回	酒の知識Ⅱ	グラスの種類と用途、保管方法、必要器具の種類と用途 カクテルの知識　（レシピ用語、分量表記） カクテルの豆知識（カクテル名の由来等）
3回	カクテルの知識Ⅰ	カクテルの名称、お酒の歴史 酒別の保管場所、保存方法の注意点　・提供温度（酒の美味しい温度） 器具の基本的な持ち方、使い方（バースプーンの持ち方、メジャーカップの使い方等　）
4回	カクテルの知識Ⅱ	ビルドタイプ Ⅰ.氷の入れ方　Ⅱ.ステアーの練習　Ⅱ．ビルドタイプカクテル作成 ①美味しい水割り　②美味しいロック　③炭酸の注ぎ方
5回	カクテルの実践講習Ⅰ	ステアータイプ ミキシンググラスの取り扱い ステアータイプカクテル実技
6回	カクテルの実践講習Ⅱ	シィカータイプ シェイカーの構造、持ち方、シェイキングの仕方、注ぎ方 シェイキング練習
7回	カクテルの実践講習Ⅲ	シィカータイプ シェイカーの構造、持ち方、シェイキングの仕方、注ぎ方 シェイキング練習
8回	カクテルの実践講習Ⅳ	グラスデコレーション スノースタイルメイキング シェイク練習
9回	カクテルの実践講習Ⅴ	ビルド、ステアー、シェイクの技法を使う ノンアルコールカクテルの構想
10回	カクテルの実践講習Ⅵ	ビルド、ステアー、シェイクの技法を使う オリジナルノンアルコールカクテルの構想
11回	カクテルの実践講習Ⅶ	オリジナルカクテル作成 作成手順を正確に再現しているかチェツク
12回	カクテルの実践講習Ⅷ	オリジナルカクテル作成 作成手順を正確に再現しているかチェツク
13回	カクテルの実践まとめ	オリジナルカクテル作成 作成手順を正確に再現しているかチェツク
14回	実技テスト	実技テスト
15回	実技テスト	実技テスト

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	ホテル・ブライダル　科
科目名	プランナー実務			クラス	E選択
担当講師(フルネーム)	長野　美穂			実務経験	有
授業概要(内容)	結婚式当日(挙式・披露宴)の流れと、各部署の役割を理解する。 模擬披露宴を通じて、接客の手順を実践する。			授業形態	演習
到達目標	8月6日模擬披露宴				
使用テキスト	なし				
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	× 期末試験なし				

	テーマ	授業内容
1回	演習概要の説明	演習概要・目的の理解 演習当日までのスケジュール(工程)を確認 模擬挙式のテーマ、役割を決定
2回	会場見学	前回授業を踏まえ演習会場への見学 担当役割ごとに備品、会場の雰囲気を確認 会場の導線について理解
3回	役割分担・制作作業①	会場見学をもとに、それぞれが担う役割を分担 分担した役割ごとに、必要な物・課題や留意点をリスト化 検討事項を、各班ごとに発表・共有
4回	制作作業②	会場見学をもとに、それぞれが担う役割を分担 分担した役割ごとに、必要な物・課題や留意点をリスト化 検討事項を、各班ごとに発表・共有
5回	制作作業③	分担した役割ごとに、必要な物・課題や留意点をリスト化 リスト化した内容について検討し、事項を決定 検討・決定事項を、各班ごとに発表し共有
6回	制作作業④	分担した役割ごとに、必要な物・課題や留意点をリスト化 リスト化した内容について検討し、事項を決定 検討・決定事項を、各班ごとに発表し共有
7回	制作作業⑤	分担した役割ごとに、必要な物・課題や留意点をリスト化 リスト化した内容について検討し、事項を決定 検討・決定事項を、各班ごとに発表し共有
8回	接客ロールプレイング①	決定・共有した事項をもとに、接客方法・手順を考え実践 各部署との連携を確認 リハーサルに向けた調整
9回	接客ロールプレイング②	決定・共有した事項をもとに、接客方法・手順を考え実践 各部署との連携を確認 リハーサルに向けた調整
10回	接客ロールプレイング③	決定・共有した事項をもとに、接客方法・手順を考え実践 各部署との連携を確認 リハーサルに向けた調整
11回	リハーサル①	実際の会場にて、これまでの授業内容を踏まえたリハーサルの実施 各所、反省・改善点を洗い出しリスト化
12回	接客ロールプレイング④	リハーサルを踏まえ、接客方法・手順を見直す 次回リハーサルへの準備
13回	接客ロールプレイング⑤	リハーサルを踏まえ、接客方法・手順を見直す 次回リハーサルへの準備
14回	リハーサル②	実際の会場にて、これまでの授業内容を踏まえたリハーサルの実施 各所、反省・改善点を洗い出しリスト化
15回	最終調整	リハーサルを踏まえた最終確認 必要な物が揃っているか確認 演習概要・目的を改めて理解し当日に臨む

観光・鉄道

＊共通する科目は、観光にあります。

対象学年	1年	学期	通年	学科	観光科
科目名	観光業界研究			クラス	K
担当講師(フルネーム)	友納真			実務経験	有
授業概要(内容)	観光業界についての基礎知識を学ぶ ホスピタリティマインドを活かす仕事であることを理解する			授業形態	講義＆演習
到達目標	観光業界の基礎知識を習得する				
使用テキスト	講師作成プリント				
成績評価方法	・提出物・課題 70%(授業中小テスト含む)・平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	× 期末試験なし				

	テーマ	授業内容
1回 4/9(木)	観光業界の範囲	旅行業界を軸とした観光業界の繋がりを知る
2回 4/16(木)	旅行業界の現状	目まぐるしく変わる旅行業界…取り巻く環境を確認し、これからの旅行業界に求められる物・人物像を考える。
3回 4/23(木)	旅行業界について	次週の「旅行業界」の講話の前に、事前学習
4回 4/30(木)	旅行業界の紹介とホスピタリティ	教務部:牟田口　真理子 先生 観光業界の中の旅行業界。ホスピタリティ(おもてなし・必要とされる人材・心得など)を学ぶ
5回 5/7(木)	鉄道業界について	次週の「鉄道業界」の講話の前に、事前学習
6回 5/14(木)	鉄道業界の紹介とホスピタリティ	鉄道科:花生　義一 先生 観光業界の中の鉄道業界。ホスピタリティ(おもてなし・必要とされる人材・心得など)を学ぶ ※授業日の変更の場合があります。
7回 5/21(木)	航空業界について	次週の「航空業界」の講話の前に、事前学習
8回 6/4(木)	航空業界の紹介とホスピタリティ	エアライン・観光科:久保田　博子 先生 観光業界の中の航空業界。ホスピタリティ(おもてなし・必要とされる人材・心得など)を学ぶ ※授業日の変更の場合があります。
9回 6/11(木)	ホテル業界について	次週の「ホテル業界」の講話の前に、事前学習
10回 6/18(木)	ホテル業界の仕事とホスピタリティ	ホテル・ブライダル科:長野　美穂 先生 観光業界の中のホテル業界。ホスピタリティ(おもてなし・必要とされる人材・心得など)を学ぶ ※授業日の変更の場合があります。
11回 6/25(木)	添乗業務①	添乗実務①(国内) 出発前の準備／帰着後の精算を含めて講義 宿泊を伴う場合の添乗での業務を確認
12回 7/2(木)	添乗業務②	添乗実務②(国内) 列車・航空機・フェリー利用の添乗での業務を確認
13回 7/9(木)	添乗業務③	添乗実務③(海外) 海外添乗の業務を確認
14回 7/16(木)	添乗業務④	添乗実務④ その他添乗業務で必要な業務を確認
15回 7/23(木)	添乗業務⑤	添乗業務の準備・添乗・精算の流れを、実際の現場の社員より学ぶ 添乗アルバイトの紹介・登録

対象学年	1年	学期	通年	学科	観光科
科目名	アクセス国内線			クラス	K
担当講師(フルネーム)	横瀬　敦子			実務経験	有
授業概要(内容)	エアライン業界にて接客・電話応対業務経験。JAL国内予約端末を使用し講義を行う JAL国内線の空席照会から予約・座席指定・運賃検索など幅広い講義を行う			授業形態	講義＆演習
到達目標	「アクセスオペレーションスペシャリスト検定国内2級」全員合格を目指す(7月実施)				
使用テキスト	JAL国内線予約発券×オペレーションスキル2020・JALパック国内線ツアーシステム旅JAL操作演習・国内早見表				
成績評価方法	・期末試験70%　平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施				

	テーマ	授業内容
1回	基礎知識	アクセス国内線の授業を受けるにあたっての注意事項 アクセス端末使用方法について理解する(起動と終了/ログイン/パスワード入力/ホームページ画面の見方) 予備知識(予約受付期限/発券期限/国内線年齢区分/各国内運賃規則など)
2回	空席照会と予約	※2レター＆航空会社名　小テスト実施 空席照会画の見方を学ぶ(画面表示を理解する　便名/出発/到着時間/機材/運賃額など) 空席照会からの直行便の予約を行う
3回	PNR作成手順	最安値運賃の予約を行う 予約後の運賃確認を行う(画面バスケット確認) 旅客データ入力を行う(旅客氏名・連絡先・申込者)
4回	PNR完了と中断	PNR(予約記録)構成を学ぶ PNRの完了と中断を行う(完了時や予約エラー時のメッセージ表示を理解する) PNR完了後の画面確認(PNR詳細画面)と予約コードの意味と種類を学ぶ
5回	その他の予約方法	普通運賃・往復割引・キャンセル待ち予約を行う 身体障害者割引の概要を学び、操作行う 便指定予約(直接便名を入力する予約方法)・オープンセグメント入力を行う
6回	発券と座席指定	予約後、座席指定と発券まで行う SSR(搭乗時にお手伝いが必要なお客様の入力)とOSI(同行者入力)について学ぶ 発券後のお客様控えの見方を学ぶ
7回	予約変更と取消	※小テスト実施(予約/発券/運賃規則　また検定の筆記部分に準じた問題) 予約の変更と取消を行う 旅客データ(旅客氏名・連絡先など)の一部訂正や削除を行う
8回	TST再登録と再運賃検索	TSTについて、意味を理解する 予約変更や旅客氏名訂正に伴う、TST再登録と運賃再検索を行う
9回	発券ファイル	SK入力について、意味を理解する(身体障害者割引/介護帰省割引/離島割引など) 発券ファイルについて(航空券情報)、意味と画面表示を学ぶ クーポンステイタスについて学ぶ
10回	PNR分割Ⅰ	JMB(マイレージ)について学ぶ 1部旅客の取消と変更による、PNR分割を行う PNR分割後の画面表示を理解する
11回	PNR分割Ⅱ	PNR分割後のTST再登録と運賃再検索を行う その他、航空便のイレギュラーについて学ぶ
12回	検定対策Ⅰ	検定受検にあたっての、心構えを学ぶ 様々な運賃にてPNR作成を行う
13回	検定対策Ⅱ	筆記対策 検定国内2級・過去問題へ取り組む(課題提出と添削有り)
14回	検定対策Ⅲ	ヒアリング対策 検定国内2級・過去問題へ取り組む(課題提出と添削有り)
15回	期末試験	前期総復習 前期期末試験(筆記・実技＝PNR作成)

対象学年	1年	学期	前期のみ	学科	観光科／鉄道科
科目名	国内観光地理Ⅰ			クラス	K／M
担当講師(フルネーム)	友納真			実務経験	有
授業概要(内容)	カテゴリー別に観光資源を学ぶ 各都道府県毎の観光資源(宿泊・観光地・グルメ・名産品)を学ぶ			授業形態	講義
到達目標	国内の観光資源全般の知識を増やし、国内・旅行地理検定(中級)／国内旅行業務取扱管理者の合格を目指す				
使用テキスト	国内観光資源／国内観光地理サブノート／白地図／旅に出たくなる地図(日本)　※必要に応じて講師が指示				
成績評価方法	・期末試験60%　平常点40%(小テスト・ノートチェック含む) ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施				

	テーマ	授業内容
1回 4/13(月)	②旅行地理検定対策【1】	カテゴリー別観光資源【1】(山岳／峠・峡谷・渓谷) 観光地がどこにあるのか、キーワードで覚える
2回 4/20(月)	④旅行地理検定対策【3】	カテゴリー別観光資源【3】(岬・半島／海岸・砂丘) 観光地がどこにあるのか、キーワードで覚える
3回 4/27(月)	⑥旅行地理検定対策【5】	カテゴリー別観光資源【5】(神社／寺院／城・城跡) 観光地がどこにあるのか、キーワードで覚える
4回 5/11(月)	⑧旅行地理検定対策【7】	カテゴリー別国内観光資源【7】(温泉1〈東日本〉) 観光地がどこにあるのか、キーワードで覚える
5回 5/18(月)	⑩旅行地理検定対策【9】	カテゴリー別国内観光資源【9】(日本の世界遺産／国立公園)
6回 5/25(月)	⑫地理検過去問チャレンジⅡ	第50回・旧国内3級　過去問 過去問(45分)、自己採点
7回 6/1(月)	⑭地理検過去問チャレンジⅣ	第48回・旧国内3級　過去問 過去問(45分)、自己採点
8回 6/8(月)	⑯確認テスト	カテゴリー別に学んだ国内観光資源について、確認テストを実施
9回 6/15(月)	⑱旅行地理検定・自己採点	国内・旅行地理検定　自己採点・復習
10回 6/22(月)	⑳北海道	北海道の続き (北海道　小テスト実施)
11回 6/29(月)	㉒佐賀県	佐賀県の観光地・祭り・イベント・名産品を学ぶ(※国内観光資源／サブノート) 佐賀県の見どころ・温泉・宿泊地を学ぶ
12回 7/6(月)	㉔熊本県	熊本県の観光地・祭り・イベント・名産品を学ぶ(※国内観光資源／サブノート) 熊本県の見どころ・温泉・宿泊地を学ぶ
13回 7/13(月)	㉖宮崎県	宮崎県の観光地・祭り・イベント・名産品を学ぶ(※国内観光資源／サブノート) 宮崎県の見どころ・宿泊地を学ぶ
14回 7/20(月)	㉘沖縄県	沖縄県の観光地・祭り・イベント・名産品を学ぶ(※国内観光資源／サブノート) 沖縄県の見どころ・宿泊地を学ぶ (沖縄　小テスト実施)
15回 7/27(月)	㉚広島県・岡山県	広島県・岡山県の観光地・祭り・イベント・名産品を学ぶ(※国内観光資源／サブノート) 広島県・岡山県の見どころ・温泉・宿泊地を学ぶ

対象学年	1年	学期	前期のみ	学科	観光科／鉄道科
科目名	国内観光地理Ⅱ			クラス	K／M
担当講師（フルネーム）	友納真			実務経験	有
授業概要（内容）	カテゴリー別に観光資源を学ぶ 各都道府県毎の観光資源（宿泊・観光地・グルメ・名産品）を学ぶ			授業形態	講義
到達目標	国内の観光資源全般の知識を増やし、国内・旅行地理検定（中級）／国内旅行業務取扱管理者の合格を目指す				
使用テキスト	国内観光資源／国内観光地理サブノート／白地図／旅に出たくなる地図（日本） ※必要に応じて講師が指示				
成績評価方法	・期末試験60%　平常点40%（小テスト・ノートチェック含む） ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施				

	テーマ	授業内容
1回 4/8(水)	①オリエンテーション	授業の進め方を説明 旅に出たくなる地図（日本）・国内観光資源・サブノートの使い方を説明 2020年話題の観光について学ぶ
2回 4/15(水)	③旅行地理検定対策【2】	カテゴリー別観光資源【2】（滝・鍾乳洞／高原・湿原／湖・沼・池／河川） 観光地がどこにあるのか、キーワードで覚える
3回 4/22(水)	⑤旅行地理検定対策【4】	カテゴリー別観光資源【4】（島） 観光地がどこにあるのか、キーワードで覚える
4回 4/29(水)	⑦旅行地理検定対策【6】	カテゴリー別観光資源【6】（庭園・名園／美術館・博物館／文学館・記念館／テーマパーク／祭り・年中行事など） 観光地がどこにあるのか、キーワードで覚える
5回 5/13(水)	⑨旅行地理検定対策【8】	カテゴリー別観光資源【8】（温泉〈西日本〉） 観光地がどこにあるのか、キーワードで覚える
6回 5/20(水)	⑪地理検・過去問チャレンジⅠ	第49回・旧国内3級　過去問 過去問（45分）、自己採点
7回 5/27(水)	⑬地理検過去問チャレンジⅢ	第47回・旧国内3級　過去問 過去問（45分）、自己採点
8回 6/3(水)	⑮立山黒部アルペンルート	国内で人気の国際山岳ルート「立山黒部アルペンルート」について学ぶ
9回 6/10(水)	⑰北海道	北海道の観光地・祭り・イベント・名産品を学ぶ（※国内観光資源／サブノート） 北海道の見どころ・温泉・宿泊地を学ぶ
10回 6/17(水)	⑲福岡県	福岡県の観光地・祭り・イベント・名産品を学ぶ（※国内観光資源／サブノート） 福岡県の見どころ・温泉・宿泊地を学ぶ
11回 6/24(水)	㉑長崎県	長崎県の観光地・祭り・イベント・名産品を学ぶ（※国内観光資源／サブノート） 長崎県の見どころ・温泉・宿泊地を学ぶ （九州①　小テスト　実施）
12回 7/1(水)	㉓大分県	大分県の観光地・祭り・イベント・名産品を学ぶ（※国内観光資源／サブノート） 大分県の見どころ・温泉・宿泊地を学ぶ
13回 7/8(水)	㉕鹿児島県	鹿児島県の観光地・祭り・イベント・名産品を学ぶ（※国内観光資源／サブノート） 鹿児島県の見どころ・温泉・宿泊地を学ぶ （九州②　小テスト　実施）
14回 7/15(水)	㉗山口県	山口県の観光地・祭り・イベント・名産品を学ぶ（※国内観光資源／サブノート） 山口県の見どころ・温泉・宿泊地を学ぶ
15回 7/22(水)	㉙島根県・鳥取県	島根県・鳥取県の観光地・祭り・イベント・名産品を学ぶ（※国内観光地理／サブノート） 島根県・鳥取県の見どころ・温泉・宿泊地を学ぶ （中国地方　小テスト　実施）

対象学年	1年	学期	前期のみ	学科	観光科
科目名	旅行業界入門			クラス	K
担当講師(フルネーム)	友納真			実務経験	有
授業概要(内容)	旅行業界を目指すにあたり、業界の概要を知る 旅行業に必要な知識を学ぶ			授業形態	講義＆演習
到達目標	観光業界に関する基礎知識(旅行業・運輸業・宿泊等)を習得し、観光業界の繋がりを理解する				
使用テキスト	JR時刻表・講師作成プリント				
成績評価方法	・期末試験70%　平常点30%(小テスト・提出物含む) ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施				

	テーマ	授業内容
1回	オリエンテーション	授業の進め方を説明 旅行とは？旅行業の歴史、観光業界の中の旅行業 旅行業界を取り巻く環境、課題をテーマに講義
2回	旅行会社概説	旅行会社の概説 各旅行会社の形態と業務内容、求人について確認 旅行業界が求める人物像
3回	基礎知識①	鉄道① JR6社・新幹線・在来線特急
4回	基礎知識②	鉄道② JR時刻表の使い方 JRだけでなくさまざまな事が調べることができる、旅行のバイブル
5回	基礎知識③	鉄道③ JR時刻表を使って調べてみよう
6回	基礎知識④	航空 国内航空会社・3レター・運賃種別・時刻表の見方など
7回	基礎知識⑤	宿泊・バス・フェリー ホテル・旅館、温泉地、リゾート、部屋の種類。バスの種類・国内を航行するフェリー各社の航路・船舶紹介
8回	基礎知識⑥	業界用語 専門用語(おもに国内旅行手配)で使用するものを学ぶ
9回	旅行業界への就職	旅行業界に求められる人物像・心得を学ぶ
10回	確認テスト	確認テストを実施
11回	トラベルサロン装飾①	203教室【トラベルサロン】の装飾の説明、計画 見た人の印象に残るようなPOP作成、パンフレットの陳列をする 必要な材料の購入・計画をする
12回	トラベルサロン装飾②	203教室【トラベルサロン】の装飾
13回	トラベルサロン装飾③	203教室【トラベルサロン】の装飾
14回	トラベルサロン装飾④	203教室【トラベルサロン】の装飾
15回	トラベルサロン装飾⑤	203教室【トラベルサロン】の装飾・完成

対象学年	1年	学期	前期のみ	学科	観光科・鉄道科 合同
科目名	旅行管理者対策法令			クラス	K・M
担当講師(フルネーム)	佐藤 大幸			実務経験	有
授業概要(内容)	旅行業実務シリーズ(JTB総合研究所 著)を読解・ポイント解説。			授業形態	講義
到達目標	「国内旅行業務取扱管理者」試験の合格				
使用テキスト	旅行業実務シリーズ(JTB総合研究所 著) 旅行業法・過去問・プリント				
成績評価方法	・期末試験70%　平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施				

	テーマ	授業内容
1回	旅行業務取扱管理者 概要	・授業の進め方、授業中の注意点を伝達 ・国家試験の概要、学習方法を理解する ・業法/約款の法律用語等、条文の見方を理解する
2回	総則	・旅行業の目的を理解する ・旅行業の定義(第1条～2条)を理解する
3回	総則	・代理、媒介、取次、利用　の違いを理解する ・旅行業と旅行業代理業　との内容を理解する ・旅行の形態を理解する
4回	旅行業等　Ⅰ	・登録制度、旅行業の種類と業務の範囲(第3条～5条)を理解する ・旅行業法施行規則(第1～4条)を理解する
5回	旅行業等　Ⅱ	・登録の拒否を理解する ・有効期限、更新、変更(第6条2～4)を理解する ・旅行業法施行規則(第4条～5条)を理解する
6回	予備日/小テスト	・知識定着の確認をする
7回	営業保証金制度　Ⅰ	・営業保証金の供託とその額(第7条～8条)を理解する
8回	営業保証金制度　Ⅱ	・営業保証金の追加供託、取戻し、保管替え等(第9条)を理解する ・取引額の報告(第10条)を理解する
9回	旅行業務取扱管理者	・旅程管理(第12条10～11)を理解する ・取扱管理者の選任、証明書の提示等(第11条～12条5の2)を理解する ・取扱管理者の職務(施行規則第10条)を理解する
10回	取扱料金、旅行業約款	・取扱料金の掲示(第12条)を理解する ・旅行業約款(第12条の2)、標準旅行業約款(第12条の5の2)を理解する ・取扱管理者の職務(施行規則第10条)を理解する
11回	取引条件の説明 書面の交付	・取引条件の説明、書面の交付(第12条の4～5)を理解する ・共同規則(8条～9条)を理解する
12回	予備日/小テスト	・知識定着の確認をする
13回	広告 禁止行為	・受託契約(第14条の2)　・外務員証の携帯(第12条の6)を理解する ・企画旅行の広告(第12条の7)、誇大広告の禁止(第12条の8)、共同規則(12条～14条)を理解する ・禁止行為、名義利用の禁止(第13条～14条)を理解する
14回	旅行業協会制度	・旅行業協会の法定業務を理解する ・弁済業務保証金制度(第22条の2～15)を理解する
15回	予備日/小テスト	・知識定着の確認をする

対象学年	1年	学期	前期のみ	学科	観光科・鉄道科 合同
科目名	旅行業管理者対策約款			クラス	K・M
担当講師(フルネーム)	佐藤 大幸			実務経験	有
授業概要(内容)	旅行業実務シリーズ(JTB総合研究所 著)を読解・ポイント解説。			授業形態	講義
到達目標	「国内旅行業務取扱管理者」試験の合格				
使用テキスト	旅行業実務シリーズ(JTB総合研究所 著) 旅行業約款/運送/宿泊約款・過去問・プリント				
成績評価方法	・期末試験70%　平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施				

	テーマ	授業内容
1回	募集型企画旅行　Ⅰ	・総則(定義、契約の内容)を理解する ・手配代行者を理解する ・契約の締結を理解する
2回	募集型企画旅行　Ⅱ	・契約の変更を理解する
3回	募集型企画旅行　Ⅲ	・契約の解除を理解する
4回	募集型企画旅行　Ⅳ	・団体、グループ契約を理解する ・旅程管理を理解する ・責任を理解する
5回	募集型企画旅行　Ⅴ	・旅程保証を理解する ・変更補償金を理解する
6回	特別補償規定　Ⅰ	・補償均等の支払い(責任、定義)を理解する ・補償金を支払わない場合を理解する ・補償金等の種類および支払額を理解する
7回	特別補償規定　Ⅱ	・補償金等(身体の障害)と損害補償金(携帯品)を理解する ・携帯品損害補償金の支払いを理解する
8回	受注型企画旅行	・募集型企画旅行との相違点を理解する ・総則(定義、契約の内容)　・手配代行者　・契約の締結を理解する ・契約の変更　・契約の解除を理解する
9回	手配旅行	・企画旅行契約との相違点を理解する ・総則　・契約の成立　・契約の変更および解除を理解する ・旅行代金　・団体、グループ手配　・責任を理解する
10回	旅行相談契約 渡航手続き代行契約	・契約の内容を理解する ・責任を理解する
11回	モデル宿泊約款	・モデル宿泊約款を理解する
12回	国内航空運送約款	・国内航空運送約款を理解する
13回	貸切バス約款 フェリー約款	・貸切バス約款を理解する ・フェリー約款を理解する
14回	JR営業規則	・JR営業規則を理解する
15回	予備日/小テスト	・知識定着の確認をする

対象学年	1年	学期	前期のみ	学科	観光科／鉄道科
科目名	旅行管理者対策（運賃料金）			クラス	K／M
担当講師（フルネーム）	友納真			実務経験	有
授業概要（内容）	旅行業務取扱管理者の国内実務の各種・運賃料金について講義			授業形態	講義
到達目標	旅行業務取扱管理者の合格を目指すとともに、JR・航空について知識を深める				
使用テキスト	国内運賃・料金／JR時刻表				
成績評価方法	・期末試験70%　平常点30%（小テスト含む） ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施				

	テーマ	授業内容
1回	旅客鉄道会社（JR）①	旅客鉄道会社（JR）とは 旅客営業規則・JR6社・JR各社路線図 乗車券類販売の概要・年齢区分・運賃と料金の違い
2回	旅客鉄道会社（JR）②	運賃① 運賃計算の原則・普通乗車券の種類
3回	旅客鉄道会社（JR）③	運賃② 加算額・連絡運輸会社の取扱い・特例
4回	旅客鉄道会社（JR）④	運賃③ 普通乗車券の効力 運賃の割引
5回	旅客鉄道会社（JR）⑤	料金① 料金計算の種類と基本
6回	旅客鉄道会社（JR）⑥	料金② 新幹線内乗継・乗継割引
7回	旅客鉄道会社（JR）⑦	料金③ 山形新幹線と秋田新幹線の取扱い
8回	旅客鉄道会社（JR）⑧	料金④ 新幹線の相互間を利用する場合の取扱い
9回	旅客鉄道会社（JR）⑨	変更・取り消し・払い戻し
10回	旅客鉄道会社（JR）⑩	普通回数乗車券の取扱い 団体乗車券の取扱い
11回	旅客鉄道会社（JR）⑪	特別乗車券の取扱い
12回	航空①	国内航空について 航空券発売の概要（航空会社・空港コード・予約開始日／発売日・購入期限・有効期間 予約時の注意事項・運賃の種類）
13回	航空②	運賃・料金 変更・取り消し・払い戻し
14回	貸切バス・フェリー・宿泊	貸切バスの運賃・料金／フェリーの運賃・料金 宿泊料金・変更・取り消し・払い戻し
15回	まとめ	前期授業のまとめ 期末試験・夏の強化セミナーにむけての対策

対象学年	2年	学期	通年	学科	観光科	
科目名	国内観光地理				クラス	L
担当講師(フルネーム)	友納真				実務経験	有
授業概要(内容)	各都道府県毎の観光資源(宿泊・観光地・グルメ・名産品)を学ぶ				授業形態	講義
到達目標	観光地を学び、旅行商品としてどう組み込んでいくかを理解する					
使用テキスト	国内観光資源／国内観光地理サブノート／旅に出たくなる地図(日本)／国内観光地理ベーシック300＋α(必要に応じて講師より指示)					
成績評価方法	・期末試験60%　平常点40%(小テスト・ノートチェック含む) ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					

	テーマ	授業内容
1回	オリエンテーション ・和歌山県	授業の進め方 和歌山県の観光地・祭り・イベント・名産品を学ぶ(※国内観光資源／サブノート) 和歌山県の見どころ・温泉・宿泊地を学ぶ
2回	三重県・滋賀県	三重県・滋賀県の観光地・祭り・イベント・名産品を学ぶ(※国内観光資源／サブノート) 三重県・滋賀県の見どころ・温泉・宿泊地を学ぶ (関西②小テスト　実施)
3回	静岡県・山梨県	静岡県・山梨県の観光地・祭り・イベント・名産品を学ぶ(※国内観光資源／サブノート) 静岡県・山梨県の見どころ・温泉・宿泊地を学ぶ 世界文化遺産・富士山を学ぶ
4回	長野県	長野県の観光地・祭り・イベント・名産品を学ぶ(※国内観光資源／サブノート) 長野県の見どころ・温泉・宿泊地を学ぶ
5回	愛知県	愛知県の観光地・祭り・イベント・名産品を学ぶ(※国内観光資源／サブノート) 愛知県の見どころ・温泉・宿泊地を学ぶ (東海三県＋長野県小テスト　実施)
6回	福井県	福井県の観光地・祭り・イベント・名産品を学ぶ(※国内観光資源／サブノート) 福井県の見どころ・温泉・宿泊地を学ぶ
7回	石川県	石川県の観光地・祭り・イベント・名産品を学ぶ(※国内観光資源／サブノート) 石川県の見どころ・温泉・宿泊地を学ぶ
8回	富山県・新潟県	富山県・新潟県の観光地・祭り・イベント・名産品を学ぶ(※国内観光資源／サブノート) 富山県・新潟県の見どころ・温泉・宿泊地を学ぶ (北陸小テスト　実施)
9回	福島県	福島県の観光地・祭り・イベント・名産品を学ぶ(※国内観光資源／サブノート) 福島県の見どころ・温泉・宿泊地を学ぶ 東日本大震災で甚大な被害を受け、復興へ向かう東北を知る
10回	山形県・宮城県	山形県・宮城県の観光地・祭り・イベント・名産品を学ぶ(※国内観光資源／サブノート) 山形県・宮城県の見どころ・温泉・宿泊地を学ぶ (南東北小テスト　実施)
11回	※北東北・三県	北東北・三県のアンテナショップ「みちのく夢プラザ」 福岡市中央区天神にある店舗より、東北の魅力をお伝えします。(予定)
12回	岩手県	岩手県の観光地・祭り・イベント・名産品を学ぶ(※国内観光資源／サブノート) 岩手県の見どころ・温泉・宿泊地を学ぶ
13回	秋田県	秋田県の観光地・祭り・イベント・名産品を学ぶ(※国内観光資源／サブノート) 秋田県の見どころ・温泉・宿泊地を学ぶ
14回	青森県	青森県の観光地・祭り・イベント・名産品を学ぶ(※国内観光資源／サブノート) 青森県の見どころ・温泉・宿泊地を学ぶ (北東北小テスト　実施)
15回	まとめ	1年前・後期／2年前期で47都道府県を学んだことのまとめ 2年後期で日本の交通を学ぶことによって、旅行商品の造成方法を学ぶ

対象学年	2年	学期	通年	学科	観光科	
科目名	海外観光地理				クラス	L
担当講師(フルネーム)	挽田雅子				実務経験	有
授業概要(内容)	旅行業界経験教員。海外旅行の企画・販売・添乗のために必要な海外地理の基礎知識を学ぶ。				授業形態	講義
到達目標	海外の観光都市、観光地、観光ポイントの名前と場所を覚え、特徴を述べることができる。					
使用テキスト	海外観光資源、海外観光地理サブノート、旅に出たくなる地図(世界)					
成績評価方法	・期末試験80%　平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					

	テーマ	授業内容
1回	中欧・東欧	チェコ プラハの観光資源を学習する ハンガリー ブダペストの観光資源を学習する クロアチアの観光資源を学習する
2回	ギリシャ	サブノート記入チェック アテネの観光資源を学習する エーゲ海の観光資源を学習する
3回	ロシア	サブノート記入チェック モスクワの観光資源を学習する サンクトペテルブルクの観光資源を学習する
4回	韓国	サブノート記入チェック ソウルの観光資源を学習する 慶州・扶余・済州島の観光資源を学習する
5回	中国(1)	サブノート記入チェック 北京の観光資源を学習する 東北地方の観光資源を学習する
6回	中国(2)	サブノート記入チェック 上海・香港の観光資源を学習する 台湾の観光資源を学習する
7回	シルクロード・チベット	サブノート記入チェック 西安の観光資源を学習する 新疆ウイグル地区の観光資源を学習する
8回	東南アジア(1)	サブノート記入チェック ベトナムの観光資源を学習する カンボジアの観光資源を学習する
9回	東南アジア(2)	サブノート記入チェック タイの観光資源を学習する マレーシアの観光資源を学習する
10回	東南アジア(3)	サブノート記入チェック インドネシアの観光資源を学習する フィリピンの観光資源を学習する
11回	インド・ネパール・スリランカ	サブノート記入チェック インドの観光資源を学習する スリランカの観光資源を学習する
12回	アメリカ合衆国(1)	サブノート記入チェック ワシントンD.C.の観光資源を学習する ニューヨークの観光資源を学習する
13回	アメリカ合衆国(2)	サブノート記入チェック サンフランシスコの観光資源を学習する ロサンゼルスの観光資源を学習する
14回	ハワイ州	サブノート記入チェック オアフ島の観光資源を学習する マウイ島の観光資源を学習する
15回	まとめと復習	前期のまとめ ヨーロッパ、アジアの復習 主な世界遺産の復習

対象学年	2年	学期	通年	学科	観光科	
科目名	インフィニ				クラス	L
担当講師(フルネーム)	秋満　陽子				実務経験	有
授業概要(内容)	航空業界で予約・発券業務経験。国際線予約端末操作のうち、空席照会、PNR作成、変更、各種リクエストの入力など、基本的な端末操作を講義				授業形態	実技
到達目標	インフィニ検定合格を目指す					
使用テキスト	専用テキスト(INFINI Reservation and Fare Pricing)					
成績評価方法	・期末試験(60%)小テスト(20%)平常点(授業態度20%) ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					

	テーマ	授業内容
1回	オリエンテーション	授業の目的・内容・成績評価方法の説明 インフィニ(GDS)が果たす役割を理解し、旅行・航空業界の仕組みを学ぶ
2回	予約①	インフィニ端末の基本操作:ログイン、キーボードの基本操作を確認 情報検索①:日本語検索機能の操作を習得 情報検索②:LINXを使い、都市・空港・エアラインコード等の検索操作を学ぶ
3回	予約②	前回の復習:練習問題 空席照会①:基本の空席照会から、出力画面の内容を理解する 航空会社やアライアンスの指定など、各種空席照会オプションの入力操作を学ぶ
4回	予約③	前回の復習:練習問題 空席照会②:ダイレクトアクセス空席照会について学び、基本の空席照会との違いを確認する 予約①～③の復習
5回	予約④	前回の復習:練習問題 スケジュール照会:フライトスケジュール照会の入力操作を学び、出力画面の内容を理解する PNR作成①:PNR作成の必須項目を確認し、間接予約・直接予約の違いを理解する
6回	予約⑤	前回の復習:練習問題 PNR作成②:入力エントリーを覚え、出力画面の内容や専門用語を理解する PNR作成の練習問題
7回	予約⑥	前回の復習:練習問題 PNR作成③:予約内容の変更・取消・分割などの操作を学ぶ PNRの確認と表示方法を習得する
8回	小テスト①	情報検索からPNR作成までの確認テスト 各種旅客情報の入力について学び、OSIとSSRの違いを理解する
9回	予約⑧	前回の復習:練習問題 旅客情報①:小児・幼児情報、現地連絡先、機内食や車椅子など、航空会社へのリクエスト方法の違いを学び エントリーを覚える
10回	予約⑨	前回の復習:練習問題 旅客情報②:パスポート、ビザ、マイレージなどの個人情報の入力方法を学ぶ 旅客情報の変更や取消操作を学ぶ
11回	予約⑩	前回の復習:練習問題 座席指定①:座席指定の基本の入力エントリーを学ぶ シートマップを表示し、出力画面を理解する
12回	小テスト②	PNR作成から座席指定までの確認テスト キュー処理、マルチインプットについて理解する
13回	インフィニ検定対策①	インフィニ検定対策:過去問題・対策問題を解く
14回	インフィニ検定対策②	インフィニ検定対策:過去問題・対策問題を解く
15回	期末テスト	期末テスト 前期のまとめ

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	観光科
科目名	観光ゼミ			クラス	L
担当講師(フルネーム)	友納真			実務経験	有
授業概要(内容)	旅行業界で使う時刻表の実践的な活用 観光業界で注目されている各テーマについて学習			授業形態	講義＆演習
到達目標	1年次の観光ゼミの内容とあわせて深く学ぶ				
使用テキスト	講師作成プリント／JR時刻表※必要に応じて講師が指示				
成績評価方法	・提出物・課題 70%(授業中小テスト含む)・平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	× 期末試験なし				

	テーマ	授業内容
1回	JR時刻表の使い方①	JR時刻表の使い方を確認
2回	JR時刻表の使い方②	JR時刻表を使って、経路・運賃料金を確認
3回	時刻表を使ったプランニング①	JR時刻表を使って、ツアープランニング
4回	時刻表を使ったプランニング②	前回の続き
5回	時刻表を使ったプランニング③	前回の続き
6回	時刻表を使ったプランニング④	前回の続き、完成・提出
7回	プランニング発表	時刻表を使ったプランニングを発表
8回	イベント＆コンベンション概論①	福岡で手掛けているイベント＆コンベンションについて学ぶ
9回	イベント＆コンベンション概論②	福岡で手掛けているイベント＆コンベンションについて学ぶ
10回	イベント＆コンベンション概論③	福岡で手掛けているイベント＆コンベンションについて学ぶ
11回	しょうがい者・高齢者との旅行①	外部講師:福岡空港障害者高齢者観光案内所 空港における、障害者・高齢者に対しての接遇方法を学ぶ
12回	しょうがい者・高齢者との旅行②	外部講師:福岡空港障害者高齢者観光案内所 空港における、障害者・高齢者に対しての接遇方法を学ぶ
13回	ユニバーサルサービス①	講師:原田　歩　先生 障害者や高齢者の生活の一部を体験し、理解を深める
14回	ユニバーサルサービス②	講師:原田　歩　先生 障害者や高齢者の生活の一部を体験し、理解を深める
15回	ユニバーサルサービス③	講師:原田　歩　先生 障害者や高齢者の生活の一部を体験し、理解を深める

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	観光科	
科目名	インバウンド概論				クラス	L
担当講師(フルネーム)	挽田雅子				実務経験	有
授業概要(内容)	旅行業界経験教員。インバウンドビジネスについての基礎知識を学ぶ。 訪日旅行者一人一人に向き合う心構えを学ぶ。				授業形態	講義
到達目標	インバウンドの意義を理解する。訪日外国人旅行の現況と課題を把握する。					
使用テキスト	インバウンド概論					
成績評価方法	・期末試験80%　平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					

	テーマ	授業内容
1回	インバウンドとは	オリエンテーション インバウンドの意義 インバウンドの歴史
2回	訪日外国人旅行者の現況	訪日外国人旅行者数の推移を調べる 訪日外国人旅行者の動向について学ぶ インバウンドがもたらす経済効果について学ぶ
3回	国・地域別のマーケット特性	国・地域別外国人旅行者の割合について知る アジア発訪日客の増加とその背景を考える 各国・地域の特性を学び
4回	外国人旅行者から見た日本の観光資源	日本に対する印象を知る 外国人旅行者から見た日本の観光資源について学ぶ 訪日旅行の満足度を調べる
5回	外国人旅行者の誘致と受入課題	旅行先としての日本に対するイメージを知る ネガティブイメージの払拭について考える 受入態勢の整備について学ぶ
6回	インバウンドに関連する法律	旅行サービス手配業について知る 住宅宿泊事業法(民泊新法)について学ぶ 通訳案内士について学ぶ
7回	関連業界の現況と課題	外国人旅行者から見た宿泊業の課題について学ぶ 運輸業の受入態勢と課題について学ぶ 観光施設の現況を知る
8回	インバウンドに取り組む企業	旅行業の現況を知る 運輸業の現況を知る 流通業の取り組みについて学ぶ
9回	インバウンド実務	基礎知識を身につける 基本的な流れを学ぶ 実務上のやり取りについて考える
10回	九州のインバウンドの動向	アジア比率が高い九州の現況を知る インバウンド増加への取り組みを学ぶ 九州のインバウンド振興について考える
11回	外客接遇	外客接遇の基本的な考え方を知る 外客接遇に必要な知識と能力について考える 宗教とタブーについて学ぶ
12回	日本についての知識	日本文化について学ぶ 日本の慣習について説明する 訪日客への案内を考える
13回	インバウンドツアー(1)	九州のツアー行程を作成する ターゲットを調べて、観光地・宿泊地・運輸機関を決める 費用を計算する
14回	インバウンドツアー(2)	班ごとにツアーを発表する 内容・費用・発表について評価する 評価のフィードバックをする
15回	まとめと復習	インバウンドの現況と課題について復習し、今後の取り組みを考える インバウンドに関わる際に必要な知識と能力を学ぶ インバウンドに取り組むメリットを理解する

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	観光科	
科目名	アウトバウンド演習				クラス	L
担当講師(フルネーム)	宮原英利				実務経験	有
授業概要(内容)	海外旅行商品を販売するにあたっての必要な知識を学ぶ 海外旅行商品を企画する				授業形態	講義＆演習
到達目標	海外各地の旅行商品の特徴を習得する					
使用テキスト	ツアープランニングノート					
成績評価方法	・期末試験50%、課題20%、平常点30%で総合的に評価する ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					

	テーマ	授業内容
1回	海外旅行商品の販売について①	海外旅行の商品にはどのようなものがあるか。 旅行の形態／旅行の契約形態／販売手法(ホールセールとリテール)
2回	海外旅行商品の販売について②	旅券(パスポート)の基礎知識 査証の知識 出入国に関する知識
3回	海外旅行商品の販売について③	海外旅行商品のパンフレットの知識 地域特性の確認 気候、風土、時差
4回	海外旅行商品の販売について④	カウンター販売とは 予約、申込金、取消手数料、変更等
5回	海外商品の販売について⑤	地域別旅行商品を知る(アジア) 旅券／査証／予防接種 交通機関
6回	海外商品の販売について⑥	地域別旅行商品を知る(オセアニア) 旅券／査証／予防接種 交通機関
7回	海外商品の販売について⑦	地域別旅行商品を知る(アメリカ) 旅券／査証／予防接種 交通機関
8回	海外商品の販売について⑧	地域別旅行商品を知る(ヨーロッパ) 旅券／査証／予防接種 交通機関
9回	海外商品の販売について⑨	地域別旅行商品を知る(ハワイ) 旅券／査証／予防接種 交通機関
10回	海外旅行商品の企画①	海外旅行の旅程表作成について知る 日本語と英語
11回	海外旅行商品の企画②	企画(プラン)を作る ハワイ①
12回	海外旅行商品の企画③	企画(プラン)を作る ハワイ②
13回	海外旅行商品の企画④	企画(プラン)を作る ハワイ③
14回	海外旅行商品の企画⑤	企画(プラン)を作る ハワイ④
15回	まとめ	授業のまとめと振り返り

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	観光科
科目名	web広告戦略			クラス	L
担当講師(フルネーム)	坂井　隆仁			実務経験	有
授業概要(内容)	Excelを使って広告スケジュールの作り方を学んだ後、webサイトを作っていきます。			授業形態	実技
到達目標	パソコンを使って色々な事ができる人材になっていきましょう。				
使用テキスト	特になし。課題、資料等はデータで配布予定。				
成績評価方法	・授業内課題70点 出席30点			単位数	2
期末試験	× 期末試験なし				

	テーマ	授業内容
1回	前期の復習と今期の内容確認	Word、PowerPoint、動画の復習 webディレクターという仕事の紹介
2回	Excelで広告スケジュール作成①	Excelでスケジュール作成 条件付き書式を使いこなしてみましょう。
3回	Excelで広告スケジュール作成②	Excelでスケジュール作成 条件付き書式を使いこなしてみましょう。
4回	バナーについて①	canvaで実際にバナーを作りましょう。 色々なWebサイトを見てどんなバナーがあるか調査してみましょう。
5回	バナーについて②	canvaで実際にバナーを作りましょう。 テーマ別にバナーを作成
6回	Webサイトを作ってみましょう①	ペライチへ登録 webサイト作成 課題①
7回	Webサイトを作ってみましょう②	webサイト作成 課題②
8回	Webサイトを作ってみましょう③	webサイト作成 課題③
9回	Webサイトを作ってみましょう④	webサイト作成 課題④
10回	Webサイトを作ってみましょう⑤	seo対策について 公開する手順説明
11回	Webサイトの更新①	Webサイトを更新しながら、HTML・CSSを学習していきましょう 課題①
12回	Webサイトの更新②	Webサイトを更新しながら、HTML・CSSを学習していきましょう 課題②
13回	ブログについて学習①	ブログの作り方 WordPressについて 自分のブログ作成
14回	ブログについて学習②	自分のブログ作成 広告について
15回	振り返り	今まで学習した内容を復習します。

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	観光科
科目名	旅行業英語			クラス	L
担当講師(フルネーム)	秋満　陽子			実務経験	有
授業概要(内容)	外資系航空会社でセールスと接客業務経験。海外旅行、観光地案内、ツアーの添乗業務など 観光業の様々な場面で必要な英語の語彙、フレーズを学ぶ			授業形態	講義
到達目標	観光業界で活躍出来るよう、幅広いケースに対応できる英語の言い回しを身に付ける				
使用テキスト	English for Tourism Professionals				
成績評価方法	・期末試験(60%)確認テスト(20%)平常点(授業態度20%) ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施				

	テーマ	授業内容
1回	オリエンテーション	授業の目的・内容・成績評価方法の説明 Introduction:観光業界への理解を深めよう
2回	Unit 1 (1) Recommending a tour	旅行商品、観光地の情報などを案内する英語表現と会話例を学ぶ Vocabulary and useful expressions
3回	Unit 1 (2) Recommending a tour	前回の復習:確認問題 Unit 1の頻出英語フレーズの習得:Pair speaking practice & role play ツアーパンフレットの内容を英語で読み取る
4回	Unit 2 (1) Taking a tour booking	前回の復習:確認問題 旅行会社で旅行商品の申し込みを受け付ける際の英語表現と会話例を学ぶ Vocabulary and useful expressions
5回	Unit 2 (2) Taking a tour booking	前回の復習:確認問題 Unit 2の頻出英語フレーズの習得:Pair speaking practice & role play ツアーの日程表やキャンセル規約の内容を英語で理解でする
6回	Unit 3 (1) Escorting a tour	前回の復習:確認問題 ツアーコンダクターの仕事や添乗業務で使用する接客英語表現を学ぶ Vocabulary and useful expressions
7回	Unit 3 (2) Escorting a tour	前回の復習:確認問題 Unit 3の頻出英語フレーズの習得:Pair speaking practice & role play 観光地での案内、商業施設のサービスガイドの内容を英語で理解する
8回	Unit 4 (1) Welcoming international tourists	前回の復習:確認問題 訪日外国人観光客に日本の観光地を紹介する英語のフレーズや表現を習得する Vocabulary and useful expressions
9回	Unit 4 (2) Welcoming international tourists	前回の復習:確認問題 Unit 4の頻出英語フレーズの習得:Pair speaking practice & role play 駅や観光地にある英語案内を読み解く
10回	Unit 5 (1) Taking an airline reservation	前回の復習:確認問題 航空会社の空席照会や航空券の予約時に使用する専門英語や会話例を学ぶ Vocabulary and useful expressions
11回	Unit 5 (2) Taking an airline reservation	前回の復習:確認問題 Unit 5の頻出英語フレーズの習得:Pair speaking practice & role play 予約と支払いの場面で使用する英語表現を習得する
12回	Unit 6 (1) Giving flight information	前回の復習:確認問題 時差の知識を身に付ける　Vocabulary and useful expressions 予約の確認、変更、お客様からの要望に対応する英語表現と会話例を学ぶ
13回	Unit 6 (2) Giving flight information	前回の復習:確認問題 Unit 6の頻出英語フレーズの習得:Pair speaking practice & role play E-ticketの見方や内容を英語で理解する
14回	Unit 7 (1) Helping passengers check-in	前回の復習:確認問題 チェックインカウンター時に使用する会話例を習得する 期末テストの説明
15回	期末テスト	期末テスト 総まとめ

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	観光・鉄道・夜間総合観光科	
科目名	サービス接遇検定				クラス	LNY
担当講師(フルネーム)	榎本美和子				実務経験	有
授業概要(内容)	サービス検定を学び、社会人になるための準備をする				授業形態	講義
到達目標	サービス検定2級合格					
使用テキスト	サービス検定1－2級実問題集					
成績評価方法	・期末試験70%　平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					

	テーマ	授業内容
1回	サービス接遇検定とは	・サービス接遇検定について(必要性、検定取得のメリット) ・顧客心理、応対の仕方、言葉遣い、立ち居振る舞いを学ぶ ・評価方法、授業の進め方について
2回	過去問題解答	過去問題を解いて問題になれる(ケース問題)
3回	過去問題解答	過去問題を解いて問題になれる(ケース問題) (敬語豆テスト)
4回	過去問題解答	過去問題を解いて問題になれる(掲示問題) (敬語豆テスト)
5回	過去問題解答	過去問題を解いて問題になれる(掲示問題) (敬語豆テスト)
6回	過去問題解答	過去問題を解いて問題になれる(選択肢問題) (敬語豆テスト)
7回	過去問題解答	模擬試験
8回	過去問題解答	前回の模擬試験の結果により、苦手問題を演習
9回	検定の答え合わせ	解答速報で自己採点をする
10回	社会人としての心構え	ケース問題を使って学ぶ ★ディズニーランドの感動のおもてなしとは
11回	社会人としての心構え	ケース問題を使って学ぶ ★鉄道・旅行会社・ホテルの感動のおもてなしとは
12回	社会人としての心構え	敬語問題を使って学ぶ ・お客様、上司に対する敬語、ロープレ ・電話応対、ロープレ
13回	社会人としての心構え	社会人のマナー講座 ・指示の受け方、報告の仕方、ロープレ ・有給休暇取得時のマナー
14回	社会人としての心構え	好感のもたれる新入社員の自己紹介、座学→ロープレ
15回	期末試験対策	期末試験に向けて復習

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	観光科
科目名	面接対策			クラス	L
担当講師(フルネーム)	山田　邦幸			実務経験	有
授業概要(内容)	2020年度の求人状況に応じて試験直前の面接実技指導及び過去のデータ等を活用しコミュニケーション能力と業界知識を高める			授業形態	講義
到達目標	企業が求める資質を習得して各自が希望する企業への就職すること(就職率100%)を目指す				
使用テキスト	＊専門学校生のための就職内定基本テキスト・就職ノート/＊プリント(授業にて配布・過去配布分も毎回持参する)				
成績評価方法	・期末試験70%平常点30%　※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・面接実技・出席率・提出物(内容・提出期限等)・小テスト得点・授業態度・身だしなみ			単位数	2
期末試験	× 期末試験なし				

	テーマ	授業内容
1回	オリエンテーション 最終模擬面接対策	＊授業の進め方・評価方法について ＊就職活動について(前年度＆今年度の求人環境・求人状況・企業研究・企業リスト・就職閲覧室の活用等) ＊最終模擬面接に向けての用意
2回	受験対策	＊最終模擬面接の振り返り(客観視することで改善点を確認) ＊就職活動について(学校の規則・手続き方法・提出書類等) ＊求人状況の説明・企業研究＆書類作成等について
3回	受験対策 (求人状況に応じて)	＊面接練習①(集団または個人・受験報告書＆レジュメをもとに・各企業の求人状況に応じて受験直前対策) ＊求人状況の説明・企業研究＆書類作成等・必要に応じて小テスト(業界用語・地理・一般常識等)や就職閲覧室利用
4回	受験対策 (求人状況に応じて)	＊面接練習②(集団または個人・受験報告書＆レジュメをもとに・各企業の求人状況に応じて受験直前対策) ＊求人状況の説明・企業研究＆書類作成等・必要に応じて小テスト(業界用語・地理・一般常識等)や就職閲覧室利用
5回	受験対策 (求人状況に応じて)	＊面接練習③(集団または個人・受験報告書＆レジュメをもとに・各企業の求人状況に応じて受験直前対策) ＊求人状況の説明・企業研究＆書類作成等・必要に応じて小テスト(業界用語・地理・一般常識等) ＊内定学生は就業に向けての準備(業界研究・業務知識の習得等)
6回	受験対策 (求人状況に応じて)	＊面接練習④(集団または個人・受験報告書＆レジュメをもとに・各企業の求人状況に応じて受験直前対策) ＊求人状況の説明・企業研究＆書類作成等・必要に応じて小テスト(業界用語・地理・一般常識等) ＊内定学生は就業に向けての準備(業界研究・業務知識の習得等)
7回	受験対策 (求人状況に応じて)	＊グループディスカッション練習(受験報告書＆レジュメをもとに受験直前対策) ＊求人状況の説明・企業研究＆書類作成等・必要に応じて小テスト(業界用語・地理・一般常識等) ＊内定学生は就業に向けての準備(業界研究・業務知識の習得等)　＊就職内定率50%以上目標
8回	受験対策 (求人状況に応じて)	＊面接練習⑤(集団または個人・受験報告書＆レジュメをもとに・各企業の求人状況に応じて受験直前対策) ＊求人状況の説明・企業研究＆書類作成等・必要に応じて小テスト(業界用語・地理・一般常識等) ＊内定学生は就業に向けての準備(業界研究・業務知識の習得等)
9回	受験対策 (求人状況に応じて)	＊面接練習⑥(集団または個人・受験報告書＆レジュメをもとに・各企業の求人状況に応じて受験直前対策) ＊求人状況の説明・企業研究＆書類作成等・必要に応じて小テスト(業界用語・地理・一般常識等) ＊内定学生は就業に向けての準備(業界研究・業務知識の習得等)
10回	受験対策 (求人状況に応じて)	＊面接練習⑦(集団または個人・受験報告書＆レジュメをもとに・各企業の求人状況に応じて受験直前対策) ＊求人状況の説明・企業研究＆書類作成等・必要に応じて小テスト(業界用語・地理・一般常識等) ＊内定学生は就業に向けての準備(業界研究・業務知識の習得等)
11回	受験対策 (求人状況に応じて)	＊面接練習⑧(集団または個人・受験報告書＆レジュメをもとに・各企業の求人状況に応じて受験直前対策) ＊求人状況の説明・企業研究＆書類作成等・必要に応じて小テスト(業界用語・地理・一般常識等) ＊内定学生は就業に向けての準備(業界研究・業務知識の習得等)　＊就職内定率70%以上目標
12回	受験対策 (求人状況に応じて)	＊面接練習⑨(集団または個人・受験報告書＆レジュメをもとに・各企業の求人状況に応じて受験直前対策) ＊求人状況の説明・企業研究＆書類作成等・必要に応じて小テスト(業界用語・地理・一般常識等) ＊内定学生は就業に向けての準備(業界研究・業務知識の習得等)
13回	受験対策 (求人状況に応じて)	＊面接練習⑩(集団または個人・受験報告書＆レジュメをもとに・各企業の求人状況に応じて受験直前対策) ＊求人状況の説明・企業研究＆書類作成等・必要に応じて小テスト(業界用語・地理・一般常識等) ＊内定学生は就業に向けての準備(業界研究・業務知識の習得等)
14回	受験対策 (求人状況に応じて)	＊面接練習⑪(集団または個人・受験報告書＆レジュメをもとに・各企業の求人状況に応じて受験直前対策) ＊求人状況の説明・企業研究＆書類作成等・必要に応じて小テスト(業界用語・地理・一般常識等) ＊内定学生は就業に向けての準備(業界研究・業務知識の習得等)　＊就職内定率80%以上目標
15回	まとめ	＊前期のまとめ・就業までの過ごし方 ＊未内定学生の個別指導 ＊内定学生は就業に向けての準備(業界研究・業務知識の習得等)＆就業時の注意事項と心得

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	観光科	
科目名	ペン字				クラス	L
担当講師(フルネーム)	坂口順子				実務経験	有
授業概要(内容)	文字の基本を学び様々なな用途に合わせた書式とバランスを学ぶ				授業形態	講義＆演習
到達目標	文字の組み立て方を学ぶながら色々な実用書に役立てる					
使用テキスト	オリジナルテキスト・下敷き、・ペン2種類・筆ペン					
成績評価方法	提出物70%・小テスト・授業態度30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					

	テーマ	授業内容
1回	履歴書の書き方①	文字を書くための基本～姿勢・ペンの持ち方・種類 読みやすい履歴書を書くためのバランスと書式を学ぶ～横書きの書式 履歴書に出てくる漢字の書き取り練習と名前の練習
2回	履歴書の書き方②	履歴書まとめ□
3回	履歴書の書き方③	履歴書まとめ□ 提出
4回	美文字になるためのポイント①	文字の基本を学ぶ① 文字(漢字)のバランスの取り方を学ぶ□
5回	美文字になるためのポイント②	文字の基本を学ぶ② 文字(漢字)のバランスの取り方を学ぶ□
6回	美文字になるためのポイント③	文字の基本を学ぶ③ 文字(片仮名)のバランスの取り方を学ぶ
7回	美文字になるためのポイント④	文字の基本を学ぶ④ 文字(平仮名)のバランスの取り方を学ぶ
8回	実用書を学ぶ①	はがきの表書き～配字(書式)とバランスの取り方を学ぶ 封筒の書き方(縦長)個人・企業宛の書き分け□
9回	実用書を学ぶ②	封筒の書き方(縦長)個人・企業宛の書き分け□ 封筒の書き方(A4が入る封筒)の書き方一個人・企業宛の書き分け□
10回	実用書を学ぶ③	封筒の書き方(A4が入る封筒)の書き方一個人・企業宛の書き分け□ まとめ
11回	実用書を学ぶ④	手紙の書き方 内定後のお礼状の書き方一縦書きの書式
12回	筆ペンで実用書を学ぶ①	筆ペンの特徴と書き方 筆ペンで自分の名前の練習(楷書・行書) 芳名帳の書き方
13回	筆ペンで実用書を学ぶ②	慶弔の表書き□ 「御祝」「寿」の練習と熨斗封筒の書き方
14回	筆ペンで実用書を学ぶ③	慶弔の表書き□ 「御仏前」「御霊前」の連絡と不祝儀袋の書き方
15回	筆ペンで実用書を学ぶ④	慶弔の表書き□ まとめ～色々な実用書を学ぶ

対象学年	1年	学期	通年	学科	鉄 道 科
科目名	鉄道基礎			クラス	Mクラス
担当講師(フルネーム)	山田 和久			実務経験	有
授業概要(内容)	鉄道業務の仕組みと専門的用語の理解に努める。 西鉄電車の車両・施設の解説を基に鉄道業務の意識の向上を図る。			授業形態	講義
到達目標	鉄道の車両・施設の知識を習得及び、鉄道事業の仕組みについて学ぶ。				
使用テキスト	分かりやすい鉄道技術「土木編・電気編・運転編」				
成績評価方法	・期末試験80% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施				

	テーマ	授業内容
1回	オリエンテーション	自己紹介 授業の目的 ・ 進め方 ・ 成績評価方法について理解する。 教習所について学ぶ。
2回	鉄道法規	鉄道に関係する法律について学ぶ。 鉄道に関する技術上の基準を定める省令について知る。 運転安全規範 綱領・一般準則を知る。
3回	鉄道の種類と使命	西鉄電車の車両解説と鉄道業務の使命について学ぶ。 鉄道の種類とメカニズムについて学ぶ。 鉄道従事員の使命について学ぶ。
4回	鉄道用語	基本的な鉄道の用語を知り専門用語が使えるようにする。 鉄道用語の意味を理解する。 運転安全規範 綱領・一般準則を復習する。
5回	信号	交通信号と鉄道信号の違いを考える。 常置信号機・臨時信号機の種類と役割について理解する。 手信号の種類と現示方式を知る。
6回	合図	合図とは何かを考える。 どのような合図の種類について学ぶ。 合図の方法を学ぶ。
7回	標識	標識の必要性について考える。 列車車両標識について学ぶ。 駅、施設関係標識について学ぶ。
8回	列車防護	列車防護の種類を理解する。 列車防護を行なう場合、また省略出来るときや解除の方法を知る。 列車防護の必要性を学ぶ。
9回	鉄道事故	過去の事故事例をDVDを活用し説明を行い職責の重大性を理解する。 事故原因を追究し事故防止の意識を深める。 グループ討議を行い要点の抽出を行う。
10回	異常時の対策	気象予報警報・注意報の発令基準を知る。 気象観測システム発令に伴う運行規制を知る。 事故災害等が発生した時の処置及び行動を考える。
11回	鉄道設備名称	踏切警報装置 ・ 踏切遮断装置 ・ 電車線路の構造や線路、分岐器などについて学ぶ。 電気設備について学ぶ。 鉄道信号について振り返る。
12回	運転保安装置	保安装置の種類について学ぶ。 ATS(自動列車停止装置)について学ぶ。 ATC・ATO(自動列車制御装置)について学ぶ。
13回	作業安全	指差確認呼称の重要性について学ぶ。 鉄道と安全性の結びつきについて学ぶ。 事故とケガについて理解する。
14回	気付き・ヒヤリハット・事故	ヒューマンエラーについて学ぶ。 ヒヤリハット・事故の芽・事故について学ぶ。 事故防止策について協議する。
15回	前期まとめ	前期授業を振り返り 全体質疑を行う。 期末試験の対策

対象学年	1年	学期	通年	学科	鉄道科
科目名	鉄道係員			クラス	M
担当講師(フルネーム)	花生　義一			実務経験	有
授業概要(内容)	鉄道運行に携わる各係員の概要と鉄道運行の仕組みについて学ぶ 鉄道係員の役割と責任、心構えについて学ぶ			授業形態	講義＆演習
到達目標	各鉄道係員の仕事内容を身に付け、目標とする職種の重要性を身に付ける				
使用テキスト	わかりやすい鉄道技術(1、2、3)、講師作成プリント				
成績評価方法	・期末試験70%　平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施				

	テーマ	授業内容
1回	オリエンテーション	1.カリキュラムの説明 2.鉄道運行に関わる職種の分類と職務内容を学び、各係員の概要を習得する 3.鉄道営業法による各係員の職制について学ぶ
2回	駅員の業務	1.駅の組織を学び駅員が鉄道運行に携わっている位置を学ぶ 2.駅業務の内容を把握し、簡単な業務内容を習得する 3.駅社員の1日の仕事について説明を行い、駅員の特徴を学ぶ
3回	鉄道乗務員	1.乗務員の職責と使命について学び、各乗務員の特徴を把握する 2.各乗務員の乗務形態を各職種別に説明し把握する
4回	運行の仕事(車掌)	1運転係員、営業係員としての車掌業務の使命を学ぶ 2車掌の運転取り扱い方説明(扉操作・乗車券発売・案内・車内秩序の保持)を行う 3車掌が起こしやすい事故について説明を行い、安全運行を維持する条件を学ぶ
5回	鉄道運転士への道	1.運転士の職責及び使命の説明を行い、列車運行に対する重要性を学ぶ 2.運転士国家試験における、各個人が持つべき項目を説明し、試験に対する意識を掴む 3.運転適性検査内容の説明により、運転士受験資格者の選出内容を知る
6回	運転士養成のカリキュラムと国家試験	1.「動力車操縦者運転免許に関する省令」よる受験資格を知る 2.一般的な学科講習科目内容と講習時間、技術講習科目内容と講習時間を学ぶ 3.国家試験実施内容、動力車操縦者養成所等の内容を把握する
7回	動力車操縦者養成所	1.養成所(研修所、教習所)とは何かを説明し、運転士養成の実態を知る 2.会社内部の養成所の組織内容を知る 3.運転シミュレータ、CAI教材、その他教材を知り、運転士の重要な位置を学ぶ
8回	鉄道運転士の使命	1.運転士が鉄道運行に対する省令を知り、更に重要な職責であることを知る 2.運転士としての心構えを学び、運転士の業務内容を把握する 3.運転士の1日の仕事内容を説明し、より深く運転士の仕事を学ぶ
9回	鉄道運転士の事故について	1.事故の分類とそれに対する運転士の教育内容についてを学ぶ 2.事故の分析と原因を追究し、運転士に対し注意義務を学ぶ 3.運転士の事故防止対策内容を学び日々努力する内容を知る
10回	運転区所の組織	1.習熟度確認を行い現在までの理解度を確認する 2.運転現場の社員の職責と使命を学び、運転士に対する影響を知る 3.運転士の教育、訓練の内容を学ぶ
11回	鉄道乗務員	1.乗務員の放送一般 ・乗務員のお客さまに対する案内放送の意義と相対的な放送内容の習得を行い実施する ・各場面でのお客さま対応能力を身に付け、基本的な放送を身に付ける
12回	鉄道運行に関わる係員①	1.司令について学ぶ ・各指令の種類と役割を学び、指令の重要性を知る ・鉄道運行の安全確保に対しいかに指令の役割が生かされているかを学ぶ
13回	鉄道ダイヤに関わる係員②	1.ダイヤグラム作成に関わる係員を学ぶ ・鉄道ダイヤ作成時の注意点(お客さまの利用しやすいダイヤ)とダイヤグラムの関係を学び、時刻表がどのような工程で出来上がるかを学ぶ
14回	期末試験対策	1,ダイヤグラムを把握する ・ダイヤグラムの見方を学び、実際にダイヤグラムの作成を行い、ダイヤの知識を深める ・各駅のダイヤがどのように抗されるかを学び、駅作業の重要性を学ぶ
15回	前期のまとめ	1. 総まとめ、全体質疑 2. 期末試験対策

対象学年	1年	学期	通年	学科	鉄道科
科目名	就職活動講座			クラス	M
担当講師(フルネーム)	三石　佳代子			実務経験	有
授業概要(内容)	自己分析を行い、自分の強みを知る。 鉄道業界を知るため講師の経験を伝える。			授業形態	講義
到達目標	鉄道業界に絡めた自己分析をし自己PRと志望動機等を作成、前期終了時には自信をもって自分の強みを相手に伝えることができるような人物になることを目指す。				
使用テキスト	・専門学校生のための就職内定基本テキスト　・就職ノート　・鉄道業界大研究　・講師作成プリント				
成績評価方法	・課題点100%(ただし、平常点も含む) ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	× 期末試験なし				

	テーマ	授業内容
1回	オリエンテーション	講師自己紹介、学生自己紹介(志望先、授業に望むこと等) 授業の進め方の説明
2回	講師JR九州での経験①	工場検査係、運転士養成講座、運転士見習い、国家試験合格まで
3回	講師JR九州での経験②	本務運転士、運用指令、育児休業、支社運輸総務担当、研修センター講師
4回	就職活動の流れ	就職室の利用方法 IBCでの就職活動ルール
5回	自己分析①	自分自身をどれだけわかっているか 自分のライフスタイルを振り返り、将来の夢や目標を明確にする 自己分析の意義を知り、過去・現在の自分を掘り起こしながら自分史を作成する
6回	自己分析②	自分史、自己分析シートから、自分自身の強み・弱みを明確にする
7回	他己分析	クラスメイトとグループワークをし、客観的に自身の性格を把握する
8回	自己分析③	自己分析まとめ
9回	自己PR作成①	自己分析、他己分析からPRできるものをピックアップして、肉付けする 企業でどう活かすのかを考え文章にする
10回	自己PR作成②	300字程度で書いてみよう 自分自身の強み、長所短所について
11回	職種研究　乗務員 (運転士・車掌)	運転士・車掌の仕事の概略を学び、なりたい職種にどのような力が必要かを知り 志望動機につなげる
12回	職種研究 (駅員・パーサー)	駅員・パーサーの仕事の概略を学び、なりたい職種にどのような力が必要かを知り 志望動機につなげる
13回	志望動機の作り方 (鉄道業界編)	個人別志望動機を自己分析から抽出する 鉄道業界の求める人物像と自分の強みをどのように関連付けて表現するか 志望と根拠の確認
14回	志望動機の作成 (鉄道業界編)	300字以内で書いてみよう
15回	前期の振り返り	自分自身をどれだけ知ることができたかを確認する 前期のまとめ

対象学年	1年	学期	通年	学科	鉄道科
科目名	コミュニケーションイングリッシュ			クラス	M①②
担当講師(フルネーム)	Geoffrey Wolfson, Guzman Carlos			実務経験	無
授業概要(内容)	Doing self introductions. Making various presentations about oneself. Asking and answering various questions with a partner. Practicing role plays. Understanding various culture points.			授業形態	講義
到達目標	To improve students' fluency and ability to use simple English at work and socially. To raise their confidence levels using simple English by creating more opportunities for the students to speak.				
使用テキスト	Challenge book #4、Warm-up Booklet 2、Vocabulary Book(Noun)、接客英会話交通編				
成績評価方法	・期末試験50% 平常点50% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施				

	テーマ	授業内容
1回	Orientation Warm Up: P1, Vocabulary: P1 Challenge Book: P7-8 Transportation Dialog: 1	Orientation:Explanation about Class rules Presentation and Q&A: Beginner's Test, Self-introduction Nouns starting with A, Transportation Handbook p12, Unit 1 & 2
2回	Warm Up: P1, Vocabulary: P1 Challenge Book: P7-8 Transportation Dialog: 1	Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Presentation and Q&A: Beginner's Test, Self-introduction Sentences using nouns starting with A, Transportation Handbook p12, Unit 1 & 2
3回	Warm Up: P1, Vocabulary: P2 Challenge Book: P9 Transportation Dialog: 2	Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Q&A: Personal Information Nouns starting with B, Transportation Handbook p12, Unit 3 & 4
4回	Warm Up: P2, Vocabulary: P2 Challenge Book: P9 Transportation Dialog: 2	Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Q&A: Personal Information Sentences using nouns starting with B, Transportation Handbook p12, Unit 3 & 4
5回	Warm Up: P2, Vocabulary: P3 Challenge Book: P10 Transportation Dialog: 3	Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Presentation: Introducing a Friend Nouns starting with C, Transportation Handbook p12, Unit 5 & 6
6回	Warm Up: P2, Vocabulary: P3 Challenge Book: P10 TransportationDialog: 3	Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Presentation: Introducing a Friend Sentences using nouns starting with C, Transportation Handbook p13, Unit 5 & 6
7回	Warm Up: P3, Vocabulary: P4 Challenge Book: P11 Transportation Dialog: 4	Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Q&A: Family Test Nouns starting with D, Transportation Handbook p13, Unit 7 & 8
8回	Warm Up: P3, Vocabulary: P4 Challenge Book: P11 Transportation Dialog: 4	Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Q&A: Family Test Sentences using nouns starting with D, Transportation Handbook p13, Unit 7 & 8
9回	Warm Up: P3, Vocabulary: P5 Challenge Book: P12 Transportation Dialog: 5	Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Presentation: My Family Presentation Nouns starting with E, Transportation Handbook p13, Unit 9 & 10
10回	Warm Up: P4, Vocabulary: P5 Challenge Book: P12 Transportation Dialog: 5	Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Presentation: My Family Presentation Sentences using nouns starting with E, Transportation Handbook p13, Unit 9 & 10
11回	Warm Up: P4, Vocabulary: P6 Challenge Book: P13 Transportation Dialog: 6	Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Q&A: Sports Interview Nouns starting with F, Transportation Handbook p12-13, Unit 11 & 12
12回	Warm Up: P4, Vocabulary: P6 Challenge Book: P13 Transportation Dialog: 6	Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Q&A: Sports Interview Sentences using nouns starting with F, Transportation Handbook p12-13, Unit 11 & 12
13回	Warm Up: P5, Vocabulary: P7 Challenge Book: P14 Transportation Dialog: 7	Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Presentation: My Favorite Sport Nouns starting with G, Transportation Handbook p12-13, Unit 13 & 14
14回	Warm Up: P5, Vocabulary: P7 Challenge Book: P14 Transportation Dialog: 7, Test	Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Presentation: My Favorite Sport Sentences using nouns starting with G, Transportation Handbook p12-13, Unit 13 & 14
15回	Warm Up: P5, Vocabulary: P8 Challenge Book: P15 Transportation Dialog: 8, Test	Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Q&A: Cuisine Interview Nouns starting with H, Transportation Handbook p12-13, Unit 15 & 16

対象学年	1年	学期	前期のみ	学科	鉄道科
科目名	就職筆記対策Ⅱ			クラス	M
担当講師(フルネーム)	北村正雄			実務経験	無
授業概要(内容)	数学の授業は週に1回なので、鉄道 ホテル・ブライダル、観光 エアライン系企業の過去問を中心に出題が予想される問題をできるだけわかりやすく講義します。この科目は予習よりも復習に力を入れてください。SPI能力検査試験に合格しなければ面接には進めません。キツイけどー緒に頑張りましょう。			授業形態	講義
到達目標	鉄道 ホテル・ブライダル 観光 エアライン系などの企業の就職試験に合格するのに必要な非言語分野の学力を修得することが出来ます。				
使用テキスト	SPI基本問題集 大和書房				
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施				

	テーマ	授業内容
1回	オリエンテーション・基礎事項の確認	講義指針、内容などに関する事項 各業界の採用試験形式と最近の試験傾向 SPIなどは公務員試験に採用されている数的推理・判断推理に似ています。できるだけ方程式を使わないで問題を処理する能力が要求されます。 特に最近の推論という分野は、問題文を見て論理的な思考を用いてその場で解答を導きます。数学ができるからと言っても、推論が解けるとは限りません。逆に数学ができなくても推論は解けます。問題が発生したとき、その場で考えて問題を推理し論理的に処理する能力があればそれでいいのです。数学苦手な人も自信を持ってくださいね。
2回	鶴亀算1連立方程式	約1300年前の奈良時代に中国から伝わった考え方。鶴と亀が合わせて20匹(羽) 鶴と亀合わせた足の数は70本 鶴と亀はそれぞれ何匹？大人料金1300円子供料金600円 消しゴム35円鉛筆60円など。鶴亀算の出題率は非言語のベスト5に入ります。最近のテストセンターでは、鶴亀算が働く条件も出題されています。 連立方程式を使って解くのが一般的ですが、自分の解きやすい解き方で解いて短時間で正解にたどり着ければそれでよいのです。
3回	鶴亀算2連立方程式賠償算	約1300年前の奈良時代に中国から伝わった考え方。鶴と亀が合わせて20匹(羽) 鶴と亀合わせた足の数は70本 鶴と亀はそれぞれ何匹？ HONNDAのバイクとトヨタの車が合わせて20台あります。バイクと車のタイヤの数を数えたら64本ありました。バイクと車はそれぞれ何台ありますか？ある仕事をするのに、商品1個を仕上げると、1500円のバイト料がもらえる。商品を壊してしまうと、商品1個につきバイト料はもらえないどころか、1個につき2000円弁償しなければならない。バイトの学生が20個仕上げて、バイト料16000円をもらった。この学生は商品を何個壊しましたか
4回	速さ・時間・距離 1 旅人算	この問題は旅人算・追いかけ算・出会い算と呼ばれています。 この分野もほとんどすべての試験形式で、出題されます。距離と時間と速さの関係性がポイントです。速さとかかる時間が逆比の関係性にあることがキモです。実際の入社試験の過去問を解いていきましょう。有名な問題は、Aが分速60mで寮から駅に向かって信号機のない直線道路歩き始めた。その15分後、Bが分速80mで追いかけた。Bは何分後寮から何mの地点でAに追いつけますか？ また鉄橋通過算もあります。時速と列車と鉄橋の長さが与えられている場合、列車がこの鉄橋を通過するのに何秒かかりますか？ポイントは時速を秒速に変換する点です。
5回	速さ・時間・距離 2 旅人算と 流水算	この問題は旅人算・追いかけ算・出会い算と呼ばれています。 出会い算とは、寮から勤務のホテルまで、信号機なしの直線道路で、17km離れています。Aが寮から勤務先のホテルに出勤するため、午前8時に自転車で時速時速7kmで向かいました。他方勤務明けのBは寮に戻るため、バイクで、午前8時に時速21kmでホテルを出発しました。AとBは何時何分に寮から何m？ホテルから何mの地点で出会いますか？ 流水算とは、川の上流A地点と、川の下流のB地点を船で往復する場合の、静水時の船の速さや、川の流れの速さを求める問題です。
6回	食塩水の濃度1	SPI・SCOAの分野で最重要の問題 出題率の2トップのうちの一つです。毎年航空・旅行・ホテルなどの企業で出題されています。 食塩水の問題の正体をあばいてみせます。 なぜ出題頻度が高いのか？ 食塩水の問題は数学的思考を見るのに適しているからだと思います。 実際、鉄道の駅 ホテル、空港、ブライダル式場で、濃度7%の食塩水100g下さいと言われることはないと思います。①食塩水Aに、食塩を混ぜて、できた食塩水Bの濃度は何%？②濃度の異なる食塩水Aと食塩水Bを混ぜ合わせた時に出来る食塩水Cの濃度は何%？
7回	食塩水の濃度2	SPI・SCOAの分野で最重要の問題 出題率の2トップのうちの一つです。毎年航空・旅行・ホテルなどの企業で出題されています。 食塩水の問題の正体をあばいてみせます。 なぜ出題頻度が高いのか？ 食塩水の問題は数学的思考を見るのに適しているからだと思います。 実際、ホテル、空港、ブライダル式場で、濃度7%の食塩水100g下さいと言われることはないと思います。③食塩水Aに水または食塩を混ぜて、食塩水Bを作るには水、または食塩を何g加えるといいですか？④食塩水A(濃度13%重さ270g)を煮沸して出来た食塩水B(重さ190g)の濃度は？煮沸して、蒸発するのは水だけがポイント
8回	年齢算	年齢算の正体を明らかにします。年齢算にはいろいろな解き方があります。自分の解きやすい解き方で解いて構いません。大切なことは早く、正確に正解することです。SPI非言語は小学校高学年の文章題で学習した内容が非常に多いです。 小学校で習ったから，簡単ではありませんよ。中学・高校の数学のほうが問題によっては簡単なケースがたくさんあります。 SPI非言語と数学は必ずしも同じではありません。それが数学と言わずに、SPI非言語と命名されている理由だと思います。
9回	比と割合 玉手箱(計数理解)	割合の考え方を基本に問題演習を実践します 割引・割り増しの考え方を理解できるようにまります。 この理解は損益算につながっていきます。また比の問題はいろいろな形でよく出題されます。例えばバラが全部で90本 赤バラと白バラの日が6：3の時赤バラをさらに30本増やしたとき赤バラと白バラの比率は何：何になりますか？比の問題のポイントは比の差と比の和です。SPI・3でも頻出分野です。玉手箱は計数理解という簡単な方程式を使った問題が50問 1問平均8秒以内まさに時間との闘い。
10回	確率1 Probability	確率は必ず出題されます。絶対に理解しておきましょう。 確率については最大が1です。100%でも10割でもかまいません。 公式は0＜P＜1 Probability 試験のポイントは(少なくとも)余事象の理解です。余事象の場合、解答欄の選択肢は、必ず【1－分数】を選択することになります。とても大事なので1年後期でも学習します。 ある日のホテルの宿泊客35名。内訳は男性は21名女性14名。翌朝2人がチェックアウトしました。①チェックアウトした二人が二人とも女性だった確率は？②二人のうち少なくとも一人が女性だった確率は？
11回	順列1 Permutation	順列の基本的な考えは難しくありません。小学校中学校の時に理解できていない学生もたくさんいます。もう一度じっくり考えてみると必ず理解できます 。 公式は、nPr P＝permutation＝順列 nは全体の数字rはn個(人)の中から取り出して並べた時の数です。公式に当てはめるだけですから絶対に落とせません。 順列も1年後期でさらに難しい問題に挑戦します。 SPI・3になってから、重複順列・円順列も出題されています。数珠順列は出題されていません
12回	組み合わせ1 Combination	順列が理解できないと組合せは理解できません。順列ではABC ACB BAC BCA CAB CBAはすべて別と考えます。 つまり並び方が違うと別物と考えます。組合せは列(並び方)ではなく、中身・内容で考えるので、ABC～CBAまで全て同じと考えます。 つまり組み合わせとしては、1個です。 公式 nCr C＝Combination公式の意味も理解しましょう。 組み合わせも1年後期でさらに難しい問題に挑戦します。
13回	仕事算1	仕事算の意味＝ある人、ある機械が一日又は一時間一分間当たりどれだけの仕事をするかの問題 仕事算の基本問題・公式①一日(一時間)当たりの仕事量＝1÷かかった日数(時数分数秒数) Aがホテルのある業務21日かけて完了した。Aの一日当たりの仕事量は21分の1 数学では全体を1とする場合がとても多い。この場合の1(いち)はoneではなく、allの意味です。日本語としても、いちはallの意味に使われています。詳しくは講義の中で。
14回	仕事算2 暗号問題	仕事算の応用問題 A一人だと27日(27時間)、B一人だと33日(33時間)、C一人では40日(40時間)かかる仕事をABCの3人でやると何日(何時間)で終わるか？ ABC3人で二日間仕事をしたが、Aが途中でサボった為BC二人で残りの仕事をした場合最初から数えて何日(何時間)に完了する？など 暗号問題は公務員採用試験には出題されていますが、従来SPI・2には出題、されていませんでした。SPI・3には暗号問題があります。知能検査みたいな問題で、センスがためされます。何問かチャレンジしましょう。頭の柔らかさとセンスがためされます。
15回	前期学習の総まとめ	鶴亀算 速さ・時間・距離 食塩水の濃度 確率 順列 組み合わせ 玉手箱の計数処理 と 後期学習の最重要分野の推論について

対象学年	1年	学期	通年	学科	鉄道科
科目名	時刻表			クラス	M
担当講師(フルネーム)	花生　義一			実務経験	有
授業概要(内容)	JR時刻表をスムーズに使用し、お客さま案内に必要な知識を確実に取得する JR時刻表を使用して、旅行プランを計画する			授業形態	講義＆演習
到達目標	駅案内に必要な能力を身に付け、駅業務に必要な旅行プラン作成能力を身に付ける				
使用テキスト	JR時刻表、講師作成プリント				
成績評価方法	・期末試験70%　平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施				

	テーマ	授業内容
1回	オリエンテーション 時刻表の基礎	1. 年間を通しての授業の進め方と評価方法を周知させ、授業に取り組む姿勢を学ぶ 2. 各ページの役割と内容を把握し、時刻表に対する興味を持たせる 3. 時刻表に記載している記号の把握を行い、より早く時刻表に慣れるようにする
2回	時刻表の使い方基礎	1. 時刻表の便利な使い方を周知させ、項目による必要条件を覚える 2. 時刻の探し方・列車の種類と記号・注意点を学ぶことにより、時刻表の特性を身に付ける 3. 列車番号による種別(臨時列車、指定日運用列車等)の見分け方と条件を学ぶ
3回	鉄道地図の見方	1. 鉄道地図の見方を周知し、各駅の検索作業を身に付ける 2. JRと私鉄・バス・航空・観光地等を索引から見つけ出す知識を身に付ける 3. 運賃、列車探索、線区別の必要条件を学ぶ
4回	時刻表をひく①	1. 新幹線の索引知識を身に付け、目的地に合った列車を確認する 2. 新幹線と特急の索引方法で、違いを理解することにより、鉄道知識が高まる各特急列車の座席の種類を把握し プランニング作業に生かす
5回	時刻表を引く②	1. 在来線の索引訓練を行い、プランに合った列車を見つけ出す 2. バス路線の索引方法を訓練し、バス旅行に必要な知識を身に付ける 3. バスの時刻確認方法、使用条件等を学ぶ
6回	時刻表を引く③	1. 船旅行に必要な索引訓練を行い、必要条件を身に付ける 2. 旅客機を使用した旅行に対する索引訓練を行い、必要条件を身に付ける 3. 見積書作成時に必要な記号、適切な記入方説明
7回	時刻表を引く④	1. 各旅客手段からの乗換条件を周知し、旅行プランニングに必要な条件を身に付ける 2. 各種、切符類の把握及びお得な条件等を学び、旅行プランニングの訓練を行う 3. 見積書記入訓練を行い、プランニングに必要な条件を身に付ける
8回	プランニング訓練①	1. 時刻表を用いて、鉄道の課題に沿った訓練を行い、時刻表の使用条件を身に付ける 2. 九州各都市の目的地、関西各都市の目的地、中部各都市の目的地、関東各都市の目的地、東北各都市の目的地 北海道各都市の目的地に鉄道を利用して行く方法
9回	プランニング訓練②	1. 時刻表を用いて、鉄道の課題に沿った訓練を行い、時刻表の使用条件を身に付ける 2. 九州各都市の目的地、関西各都市の目的地、中部各都市の目的地、関東各都市の目的地、東北各都市の目的地 北海道各都市の目的地に鉄道を利用して行く方法
10回	プランニング訓練②	1. 時刻表を用いて、鉄道の課題に沿った訓練を行い、時刻表の使用条件を身に付ける 2. 九州各都市の目的地、関西各都市の目的地、中部各都市の目的地、関東各都市の目的地、東北各都市の目的地 北海道各都市の目的地に鉄道を利用して行く方法
11回	JRの営業案内	1. 旅行業の窓口訓練を行い、必要条件を身に付け実践に役立たせる 2. 時刻表から学ぶ各鉄道会社の特徴を把握す 3. 習熟度確認を行い理解度を把握する
12回	時刻表の早見法まとめ	1. 時刻表の便利な使い方を再周知する 2. 各ページの役割と内容再周知 3. 理解度調査による再認識を行い時刻表の見方を訓練する
13回	便利な切符	1.全国各社発売の各種切符を学び、特徴を把握する ・切符の取り扱いを把握する
14回	プラン作成①	1.見積書作成時の注意点 ・各種記号の把握によりお客さまに対し確認しやすいものを作る ・その他、見積及び契約時の注意点把握(必要最低限に把握する事項等)
15回	まとめ	1. 前期のまとめと期末試験対策 2. 駅員と時刻表の繋がり説明 3. 1日で行けるプランニング作業を行い、乗車距離の把握と条件を身に付ける

対象学年	1年	学期	通年	学科	鉄道科	
科目名	交通論				クラス	M
担当講師(フルネーム)	西　政明(マック24)				実務経験	有
授業概要(内容)	交通に関する基礎知識を習得するとともに、特に鉄道事業を中心に、業界の運営状況、経営課題等を学ぶ。				授業形態	講義
到達目標	鉄道及びその付帯事業等の従事員となるための基本的資質の養成・向上を図る。					
使用テキスト	なし					
成績評価方法	・期末試験80%　平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					

	テーマ	授業内容
1回	オリエンテーション	シラバス、講義の進め方等の説明 交通論を学ぶ、意義・目的、基礎用語を学ぶ 交通関連トピックスの解説
2回	交通基礎理論	交通の定義とは 交通関連トピックスの解説
3回	〃	交通の意義とは 交通関連トピックスの解説
4回	交通のビジネスモデル	交通と経済を学ぶ 機関別ビジネスモデルを学ぶ(鉄道) 交通関連トピックスの解説
5回	〃	機関別ビジネスモデルを学ぶ(航空機) 交通関連トピックスの解説
6回	〃	機関別ビジネスモデルを学ぶ(船、その他) 交通関連トピックスの解説
7回	交通政策史(戦前)	鉄道関連の政策史を学ぶ 交通関連トピックスの解説
8回	交通政策史(戦後)	鉄道及び陸運事業の政策史を学ぶ 交通関連トピックスの解説
9回	〃	航空事業の政策史を学ぶ 交通関連トピックスの解説
10回	〃	海運事業の政策史を学ぶ 交通関連トピックスの解説
11回	現代鉄道の概要	日本の鉄道史を学ぶ 都市鉄道の経営戦略を学ぶ 交通関連トピックスの解説
12回	〃	地方鉄道の現状と経営を学ぶ 交通関連トピックスの解説
13回	〃	都市型交通システムを学ぶ 交通関連トピックスの解説
14回	〃	九州の鉄道の現状と課題を学ぶ 交通関連トピックスの解説
15回	まとめ	振り返りと要点整理 期末試験対策

対象学年	2年	学期	通年	学科	鉄道科	
科目名	鉄道概論				クラス	N
担当講師(フルネーム)	花生　義一				実務経験	有
授業概要(内容)	乗務員の行路作成により、乗務員勤務に対する知識を植え付ける 車両運用手配を学び異常時に対する取扱いを身につける				授業形態	講義＆演習
到達目標	鉄道の安全に対する知識と概要を身に着ける					
使用テキスト	わかりやすい鉄道技術(1、2、3)、講師作成プリント					
成績評価方法	・期末試験70%　平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					

	テーマ	授業内容
1回	オリエンテーション	1.カリキュラムの説明を行う 2ダイヤグラムから乗務員の行路を各自作成する説明を行う ・行路作成について入力説明を行う
2回	ダイヤグラム作成作業	1作業用記号を行路ごと列車に記入する 2.乗務員の動きを把握するための説明を行い、各自が乗務員の作業を把握する
3回	ダイヤグラム作成作業	1.ダイヤグラムから乗務員の行路を各自作成準備を行う 2.ダイヤグラムと乗務員時刻表及び行路表の照合を行い、よりダイヤに詳しく説明を行う 3.乗務員の作業を把握することにより知識を深める
4回	ダイヤグラム作成作業	1.ダイヤグラムから乗務員の行路を各自作成準備を行う 2.ダイヤグラムと乗務員時刻表及び行路表の照合を行い、よりダイヤに詳しく説明を行う 3.乗務員の作業を把握することにより知識を深める
5回	乗務員行路表作成作業①	1.ダイヤグラムから乗務員の行路を各自作成準備を行う ・乗務員の作業を書き込み、1日の動きを把握することにより乗務員の仕事を把握できる ・行路作成時の注意点を周知する
6回	乗務員行路表作成作業②	1.ダイヤグラムから乗務員の行路を各自作成準備を行う ・乗務員の作業を書き込み、1日の動きを把握することにより乗務員の仕事を把握できる ・行路作成時の注意点を周知する
7回	乗務員行路表作成作業③	1.各自作成した乗務員行路を発表する 2.グループ割を行い、作成した行路表と乗務員時刻表を照合して間違いを正す ・注意点の確認を班ごとに行い発表準備を行う
8回	乗務員勤務①	1.各班ごと乗務員行路表の発表を行う ・班ごとの解説を行うことで乗務員の勤務に対する知識が認識できる ・行路作成上の注意点を学ぶことによりより深い知識を得られる
9回	乗務員勤務②	1.各班ごと行路内容計算を行い乗務員勤務を把握する ・行路内容により、班ごとに振分を行い全員が力を合わせ勤務形態を決める ・乗務員職場の雰囲気を体験し、乗務員に対する意識を実感させる
10回	運用手配実践①	1.各班ごと行路を決め、乗務員手配及び車両手配の応用を学ぶ ・気象異常時に対する乗務員手配を各班ごとに考え発表を行うことにより、各作業内容を把握する
11回	運用手配実践②	1.各班ごと行路を決め、乗務員手配及び車両手配の応用を学ぶ ・列車遅延に対する乗務員手配と車両手配を考え発表を行
12回	運用手配実践③	1.各班ごと行路を決め、乗務員手配及び車両手配の応用を学ぶ ・車両故障に対する乗務員手配と車両手配を考え発表を行う
13回	運用手配実践④	1.各班ごと行路を決め、乗務員手配及び車両手配の応用を学ぶ ・乗務員疾病に対する乗務員手配を考え発表を行 2.期末試験対策(習熟度調査)
14回	運用手配実践⑤	1.各班ごと行路を決め、乗務員手配及び車両手配の応用を行う ・イベント等による車両増結に伴う乗務員手配及び車両手配を考え発表を行う
15回	前期のまとめ	1.総まとめ、全体質疑 2.期末試験対策

対象学年	2年	学期	通年	学科	鉄道科
科目名	鉄道実務			クラス	N
担当講師(フルネーム)	花生　義一			実務経験	有
授業概要(内容)	鉄道運行に伴う、各職種別の異常時取扱いを学びます 異常時対応能力及びお客さま対応能力向上を目指します			授業形態	講義＆演習
到達目標	鉄道員が持つべき知識を習得し、実際に近い行動力を身に付ける				
使用テキスト	わかりやすい鉄道技術(1、2、3)、講師作成プリント				
成績評価方法	・期末試験70%　平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施				

	テーマ	授業内容
1回	鉄道用語説明	1.鉄道運行に必要な用語を学び異常時対応能力を養う 2.用語の役目(必用に応じた使用方説明) 3.防救連に対する重要性の説明を行い対応の基礎を学ぶ
2回	異常時	1.異常時に対する各役割 ・鉄道係員各職種における異常事対応の説明を行い理解度を深める 2.異常時の対応を実際に仮説を行い各自役柄設定により対応を行うことにより行動能力を植え付ける
3回	列車遅延	1.列車遅延に対する各職種の対応方 ・各職種別ごとのお客さまに対する異常時対応の実践を行うことにより、お客さま対応能力の習得を行う
4回	車両故障①	1.各職種の対応方(電車編) ・運転士は、電気配線図を用いて故障原因を解明し異常時対応能力を身に付ける ・運転士以外の職種においてもお客さま対応能力を身に付ける
5回	車両故障②	1.各職種の対応方(気動車編) ・運転士は、電気配線図を用いて故障原因を解明し異常時対応能力を身に付ける ・運転士以外の職種においてもお客さま対応能力を身に付ける
6回	保安装置故障①	1.各職種の対応方(出発信号機及び場内信号機) ・運転士及び車掌の対応及び輸送指令員との手続き対応を行い実践に迫った体験を行う ・乗務員以外の職種においてのお客さま対応能力を身に付け、異常時能力向上を目的とする
7回	保安装置故障②	1.各職種の対応方(転てつ器及びATS ・運転士及び車掌の対応及び輸送指令員との手続き対応を行い実践に迫った体験を行う ・お客さま対応能力及び保安装置について再周知を行う
8回	急病人対応	1.各職種の対応方(車内にて急病人発生) ・運転士及び車掌の対応及び輸送指令員との手続き対応を行い実践に迫った体験を行う 2. 習熟度確認
9回	踏切及び人身事故①	1.各職種の対応方を説明(鉄道人身傷害事故・踏切障害事故) ・運転士及び車掌の対応及び輸送指令員との手続き対応を行い実践に迫った体験を行う ・運転士以外の職種においてもお客さま対応能力を身に付ける
10回	踏切及び人身事故②	1.鉄道障害事故時の現場責任者の取扱を学ぶ ・各職別対応の復習とまとめを行い注意すべき点を把握させる 2. 人身事故発生時のモックアップを使用した取扱いの実施
11回	異常時対応全般説明	1.異常事対応能力確認 ・対応能力の判定及び習熟度確認を行う 2.鉄道実務の再周知を行い、より理解を深める
12回	異常時発生時の 車両運用手配	1. 車両運用の条件を学び運行にあった車両手配を学ぶ 2. 運用変更手配表の説明 3. 運用手配表に沿った車両運用手配を行う
13回	異常時発生時の 乗務員運用手配	1. 乗務員運用の条件を学び迅速な運用手配を学ぶ 2. 運用変更手配表の説明 3. 運用手配表に沿った乗務員運用手配を行う
14回	運用手配の活用	1. 車両運用と乗務員運用を条件に合わせ手配する 2. 車両運用に沿った乗務員運用の染め込み 3. 習熟度確認
15回	前期のまとめ	1.総まとめ、全体質疑 2.前期授業の学習を振り返り、鉄道に対する意識を深める 3.期末試験対策

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	鉄道科
科目名	鉄道車両Ⅰ（電車）			クラス	N
担当講師（フルネーム）	花生　義一			実務経験	有
授業概要（内容）	鉄道車両の基本的な仕組みを理解し、運転理論・車両技術等の専門知識を身につける 電気車の最新技術の応用と、制御システムの基礎知識・技術習得を目的とする			授業形態	講義＆演習
到達目標	鉄道車両の安全性・信頼性を図ったシステムと、フェールセーフ技術の必要性を身につける				
使用テキスト	わかりやすい鉄道技術（1、2、3）、講師作成プリント				
成績評価方法	・期末試験70%　平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施				

	テーマ	授業内容
1回	オリエンテーション （ブレーキ装置の概要）	1.カリキュラムの説明を行う 2.鉄道車両のブレーキ装置、及びブレ-キシステムの基礎知識を身につける 3.ブレーキ装置の種類・構造、及びその機能についての知識・技術を学ぶ
2回	鉄道車両ブレーキ装置概要	1.鉄道車両に関する技術上の基準を定める法令についての知識を習得する （常用ブレーキ装置　留置ブレーキ装置　保安ブレーキ装置　その他 ） 2.使用用途に応じた各機器の働きを学ぶ
3回	空気ブレーキ方式と保安ブレーキ	1.空気ブレーキ方式による空気指令式と電気指令式の特徴と機能について学ぶ 2.ブレーキ種類別による機器構成・機能、ブレーキ作用までの仕組みを身につける 3.車輪の空転・滑走のメカニズムと、車両に与える影響について学ぶ
4回	ブレーキカと粘着力	1.鉄道車両のブレーキカを左右する粘着係数粘着力についての知識を身につける 2.ブレーキカと粘着力のとの相互関係を身につける 3.車輪の空転・滑走のメカニズムと、車両に与える影響について学ぶ
5回	補助電源装置の用途と回路構成	1.鉄道車両の補助電源装置の種類と、出力電源使用用途について学ぶ 2.MG電動発電機・SIV静止型変換装置の出力変換システムの知識を身につける 3.高い効率と信頼性を図ったSIV(静止型変換装置)待機系回路構成を学ぶ
6回	電源回路の方式とその特徴	1.補助電源装置の運転方式による構造、機能、制御方式を学ぶ 2.運転方式の種類、回路構成・特徴、及び信頼性向上についての知識を学ぶ （独立運転方式　待機二重方式　並列同期運転方式）
7回	鉄道車両に設置すべき設備 ①	1.鉄道車両に関する信号保安・保安通信設備の基礎知識を身につける 2.鉄道車両に関する車上に設置すべき設備、装置について知識を習得する ATS(自動列車停止装置)　ATC（自動列車制御装置）　ATO（自動列車運転装置）
8回	鉄道車両に設置すべき設備 ②	1.鉄道車両に於いて車上に設置すべき設備・装置・機能など基礎知識を身につける 2.列車無線　デッドマン装置/EB装置のシステムについて学ぶ 3. 習熟度確認
9回	保安装置のシステム	1.鉄道車両の保安装置システム・機能・役割等の基礎知識を習得する 2.フェールセーフ性設計の必要性について学ぶ 3.車両の運転状況、保安装置の動作機能についての知識を身につける
10回	運転理論の基礎知識と計算式の応用	1.車両の運転、車両技術に必要な運転理論等の基礎知識を習得する 2.出発抵抗　走行抵抗　空気抵抗　勾配抵抗　曲線抵抗の理論について学ぶ 3..鉄道車両運転理論に関する法則・計算式等の基礎知識を身につける
11回	電気車の付属装置	1.各機器説明 2車両搭載の各付属装置の役割・機能・用途について基礎知識を習得する 3.標識及び警報装置・通風装置・計器類・戸閉め装置・行先表示装置・放送装置等の機能・動作を学ぶ
12回	車両メンテナンス	1.車両検査内容説明 2.車両機器と装置間の情報送受信との伝送システムの仕組みを学ぶ 3.車両情報伝送システムを活用し、車両状態記録機能、試験機能について学ぶ技術を学ぶ
13回	車両情報伝送システムと乗務員支援	1.車両情報伝送システムによる運転支援機能についての仕組みを身につける 2. 車両乗務員(運転士・車掌) への運転支援項目・内容についてを学ぶ 3.運転士用モニター画面　車掌用モニター画面表示の見方について学ぶ
14回	主要機器・装置の役割と機能	1.鉄道車両において各装置別の役割・機能について学ぶ （車体・走行装置・集電装置・動力発生装置・動力伝達装置・ブレーキ装置・補助回路装置'・連結装置・附属装置・運転保安装置）
15回	前期のまとめ	1.期末試験対策 2.前期授業の学習を振り返り、電車に対する意識を深める

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	鉄道科	
科目名	鉄道車両Ⅱ（気動車）				クラス	N
担当講師（フルネーム）	花生　義一				実務経験	有
授業概要（内容）	気動車のしくみ（電気配線図を使用して気動車の概要を学ぶ） 気動車の電気配線図により各機器名及び役割を学ぶ				授業形態	講義＆演習
到達目標	電気配線に対する理解力を向上させる					
使用テキスト	わかりやすい鉄道技術（1、2、3）、講師作成プリント					
成績評価方法	・期末試験70%　平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					

	テーマ	授業内容
1回	オリエンテーション	1.カリキュラムの説明を行う 2.電車と気動車の相違点を知り、気動車の利点を学ぶ 3.気動車が安全運行するための重要機器を学ぶ
2回	電気配線図概要	1.電気配線図の基本を知り、見方を学ぶ 2.電気回路概要を学び気動車の中身を知る 3.使用用途に応じた各機器の働きを学ぶ
3回	主電源	1.バッテリー投入からの電源の流れ方を学ぶ 2.ノーヒューズブレーカーとヒューズの役割を学ぶ 3.車両を正常に操作できる条件と目的を学ぶ
4回	エンジン起動回路①	1.エンジンを正常に起動する条件を知る ・各スイッチの定位置及び各機器の定位を学び、起動条件を知る 2.エンジンを起動するための、操作する機器及び電気の流れを学ぶ
5回	エンジン起動回路②	1.予熱位置の重要性と電気の流れを学ぶ ・電気の流れによる動作する各機器及び計器類の働きを学ぶ 2.個人的なヒヤリングを行い習熟度を確認する
6回	エンジン起動回路③	1.起動位置の重要性と電気の流れを学ぶ ・電気の流れによる動作する各機器及び計器類の働きを学ぶ 2.個人的なヒヤリングを行い習熟度を確認する
7回	エンジン増速運転	1.主幹制御器の主ハンドル位置に応じた電気の流れを学ぶ ・電気の流れによる動作する各機器及び計器類の働きを学ぶ（1N～5N） 2.個人的なヒヤリングを行い習熟度を確認する
8回	逆転機回路①	1.主幹制御器の逆転機ハンドル位置に応じた電気の流れを学ぶ ・電気の流れによる動作する各機器及び計器類の働きを学ぶ（前進） 2.逆転機機能と合わせて学ぶことにより一層の理解を得る
9回	逆転機回路②	1.主幹制御器の逆転機ハンドル位置に応じた電気の流れを学ぶ ・電気の流れによる動作する各機器及び計器類の働きを学ぶ（後進） 2.習熟度確認（結果によって個人的なヒヤリングを行い習熟度を確認する）
10回	変速回路①	1.主幹制御器の変速ハンドル「変速」位置に応じた電気の流れを学ぶ ・電気の流れによる動作する各機器及び計器類の働きを学ぶ 2.液体変速機及び各機器の動作も合わせて学ぶ
11回	変速回路②	1.主幹制御器の変速ハンドル「変速」位置に応じた電気の流れを学ぶ ・「変」不調時の各機器動作 2.個人的なヒヤリングを行い習熟度を確認する
12回	直結回路①	1.主幹制御器の変速ハンドル「直結」位置に応じた電気の流れを学ぶ ・電気の流れによる動作する各機器及び計器類の働きを学ぶ 2.液体変速機及び各機器の動作も合わせて学ぶ
13回	直結回路②	1.主幹制御器の変速ハンドル「直結」位置に応じた電気の流れを学ぶ ・「直」不調時の各機器動作 2.個人的なヒヤリングを行い習熟度を確認及び期末試験対策を行う
14回	戸ジメ回路	1. 戸ジメ回路を学びドア閉扉・開扉時の電気の流れを学ぶ 2. 戸ジメ回路と力行回路のつながりを学び安全に対する回路構成を知る 3. 戸ジメ機器と各付属品とのつながりを学ぶ
15回	前期のまとめ	1.期末試験対策 2.前期授業の学習を振り返り、気動車に対する意識を深める

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	鉄道科
科目名	鉄道業界研究			クラス	N
担当講師(フルネーム)	三石　佳代子			実務経験	有
授業概要(内容)	志望企業のトピックス・企業理念等を理解し、エントリーシート・面接対策を行う。 授業テーマと並行して、求人企業の企業研究を並行して行う。			授業形態	講義
到達目標	鉄道業界の業務内容を理解し、志望企業でやりたい仕事を考え、志望理由に活かし、内定を獲得する。				
使用テキスト	講師作成プリント				
成績評価方法	・期末試験50%　平常点50% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施				

	テーマ	授業内容
1回	オリエンテーション	一年生の振り返り 前期説明 確認テスト
2回	鉄道業界最新事情①	鉄道業界の最新のトピックスを知り、面接での応答内容に旬の話題を活かす ICカード、クレジットカードなど 鉄道会社アプリ、鉄道会社が持つ旅行会社
3回	鉄道業界最新事情②	鉄道業界の最新のトピックスを知り、面接での応答内容に旬の話題を活かす 新幹線、注目観光列車、お客様獲得のための営業施策など
4回	地方鉄道研究	地方鉄道の取り組みを学び、 面接での応答内容に旬の話題を活かす
5回	座右の銘	鉄道業界で好まれる座右の銘を学ぶ
6回	他己分析	クラスメイトとグループワークをし、客観的に自身の性格を把握する
7回	鉄道会社の 財務諸表・IRを学ぶ	鉄道会社の財務諸表を分析し、応募会社のどの部門に強みがあるのかを理解する
8回	鉄道会社の 企業理念・CSRを学ぶ	鉄道会社の企業理念を理解し、鉄道従事者となる心構えをする また、CSR(企業の社会的責任)やCSV(共通価値の創造)を学ぶことで、志望動機に反映させる
9回	先輩の声 (運転士・車掌)	鉄道業界に入社した先輩の業務内容、就活方法を知り、 自身の就職活動に活かす 求人企業、企業研究
10回	先輩の声 (駅員)	鉄道業界に入社した先輩の業務内容、就活方法を知り、 自身の就職活動に活かす 求人企業、企業研究
11回	鉄道業界の価値観	キャリアアンカーを学び、自身の価値観と 志望企業の企業理念がマッチしているか確認する
12回	鉄道業界の安全対策	鉄道業界で最も大切な「安全」やヒヤリハットを学び エントリーシートや面接で表現できるようにする
13回	グループディスカッション 事例研究	実際にあったお客さまの声から、鉄道従事者としてあるべき姿をディスカッションする
14回	自然災害・安全施策	避けることのできない自然災害が鉄道にもらたす影響を知り、 鉄道員として取組むことを学ぶ
15回	前期のまとめ	前期のまとめ テスト対策

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	鉄道科	
科目名	就職活動講座				クラス	N
担当講師(フルネーム)	橋本美智子				実務経験	無
授業概要(内容)	就職活動において、選ばれる人物になるよう内面と外面の表現について実践を通して考え、体得する				授業形態	講義
到達目標	適材適所の好印象を考え、その表現力を身につける					
使用テキスト	プリント					
成績評価方法	・期末試験70%　平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					

	テーマ	授業内容
1回	就職面接について	一年時の面接対策のまとめ 就職面接の流れ 目標を掲げる
2回	集団面接演習	面接実技 第一印象の重要性/話し方
3回	集団面接演習	面接実技 第一印象の重要性/話し方と表情
4回	集団面接演習	面接実技 第一印象の重要性/話し方と行動
5回	振り返り	第1回~第4回までの振り返りを行い、課題を明確にする
6回	集団討議演習	テーマ1 (就職面接で実際に使用されたテーマを使用)
7回	集団討議演習	テーマ2 (就職面接で実際に使用されたテーマを使用)
8回	集団討議演習	テーマ3 (就職面接で実際に使用されたテーマを使用)
9回	集団面接演習	面接実技
10回	集団面接演習	面接実技
11回	個人面接	面接実技
12回	個人面接	面接実技
13回	個人面接	面接実技
14回	個人面接	面接実技
15回	まとめ	社会人としての考え方

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	鉄道科	
科目名	ペン字			クラス	N	
担当講師(フルネーム)	塩塚輝美			実務経験	有	
授業概要(内容)	文字の基本を学び様々なな用途に合わせた書式とバランスを学ぶ			授業形態	講義＆演習	
到達目標	文字の組み立て方を学ぶながら色々な実用書に役立てる					
使用テキスト	オリジナルテキスト・下敷き、・ペン2種類・筆ペン					
成績評価方法	提出物70%・小テスト・授業態度30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2	
期末試験	× 期末試験なし					

	テーマ	授業内容
1回	履歴書の書き方①	文字を書くための基本～姿勢・ペンの持ち方・種類 読みやすい履歴書を書くためのバランスと書式を学ぶ～横書きの書式 履歴書に出てくる漢字の書き取り練習と名前の練習
2回	履歴書の書き方②	履歴書まとめ[1]
3回	履歴書の書き方③	履歴書まとめ[2] 提出
4回	美文字になるためのポイント①	文字の基本を学ぶ① 文字(漢字)のバランスの取り方を学ぶ[1]
5回	美文字になるためのポイント②	文字の基本を学ぶ② 文字(漢字)のバランスの取り方を学ぶ[2]
6回	美文字になるためのポイント③	文字の基本を学ぶ③ 文字(片仮名)のバランスの取り方を学ぶ
7回	美文字になるためのポイント④	文字の基本を学ぶ④ 文字(平仮名)のバランスの取り方を学ぶ
8回	実用書を学ぶ①	はがきの表書き～配字(書式)とバランスの取り方を学ぶ 封筒の書き方(縦長)個人・企業宛の書き分け[1]
9回	実用書を学ぶ②	封筒の書き方(縦長)個人・企業宛の書き分け[2] 封筒の書き方(A4が入る封筒)の書き方一個人・企業宛の書き分け[1]
10回	実用書を学ぶ③	封筒の書き方(A4が入る封筒)の書き方一個人・企業宛の書き分け[2] まとめ
11回	実用書を学ぶ④	手紙の書き方 内定後のお礼状の書き方一縦書きの書式
12回	筆ペンで実用書を学ぶ①	筆ペンの特徴と書き方 筆ペンで自分の名前の練習(楷書・行書) 芳名帳の書き方
13回	筆ペンで実用書を学ぶ②	慶弔の表書き[1] 「御祝」「寿」の練習と熨斗封筒の書き方
14回	筆ペンで実用書を学ぶ③	慶弔の表書き[2] 「御仏前」「御霊前」の連絡と不祝儀袋の書き方
15回	筆ペンで実用書を学ぶ④	慶弔の表書き[3] まとめ～色々な実用書を学ぶ

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	鉄道科	
科目名	国内観光地理			クラス	Nクラス	
担当講師(フルネーム)	山本真美			実務経験	有	
授業概要(内容)	旅行業界で海外・国内旅行の実務経験 国内観光の名勝、観光地、温泉・祭り等の観光資源を覚える			授業形態	講義	
到達目標	国内旅行業務取扱管理者試験の合格を目指す					
使用テキスト	国内旅行地理ベーシック300、旅に出たくなる地図、国内観光資源、国内観光地理サブノート(すべて1年次に使用のもの)					
成績評価方法	・期末試験70%　平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2	
期末試験						

	テーマ	授業内容
1回	九州①	授業の進め方、評価方法の説明 旧国名・温泉・名所・観光地・名産についてのプリント 小テスト
2回	九州②	小テスト 旧国名・温泉・名所・観光地・名産についてのプリント
3回	沖縄	小テスト 旧国名・温泉・名所・観光地・名産についてのプリント
4回	中国	小テスト 旧国名・温泉・名所・観光地・名産についてのプリント
5回	四国	小テスト 旧国名・温泉・名所・観光地・名産についてのプリント
6回	関西①	小テスト 旧国名・温泉・名所・観光地・名産についてのプリント
7回	関西②	小テスト 旧国名・温泉・名所・観光地・名産についてのプリント
8回	中部①	小テスト 旧国名・温泉・名所・観光地・名産についてのプリント
9回	中部②	小テスト 旧国名・温泉・名所・観光地・名産についてのプリント
10回	関東①	小テスト 旧国名・温泉・名所・観光地・名産についてのプリント
11回	関東②	小テスト 旧国名・温泉・名所・観光地・名産についてのプリント
12回	東北①	小テスト 旧国名・温泉・名所・観光地・名産についてのプリント
13回	東北②	小テスト 旧国名・温泉・名所・観光地・名産についてのプリント
14回	北海道①	小テスト 旧国名・温泉・名所・観光地・名産についてのプリント
15回	北海道②	小テスト 旧国名・温泉・名所・観光地・名産についてのプリント

エアライン

対象学年	1年	学期	通年	学科	エアライン 科
科目名	航空業界研究			クラス	O・P
担当講師(フルネーム)	吉原 正彦			実務経験	有
授業概要(内容)	航空業界の知識、業種、空港、航空機等について講義 エアポートビジネスが支える航空運送事業について講義			授業形態	講義
到達目標	航空業界では、どのような業務が行われているか理解し、就職活動に役立つ知識を習得する。				
使用テキスト	エアポート ビジネス入門・必要に応じプリント配布				
成績評価方法	・期末試験80% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施				

	テーマ	授業内容
1回	オリエンテーション	授業の目的について説明する 前期授業内容の進め方、成績評価方法について説明する 航空業界に対するイメージについて意見交換を行わせ理解度を確認する
2回	エアポートビジネス	航空会社の業務とそれを取り巻く関連会社の業務について学ぶ 空港で従事する官公庁(航空局・CIQ等)について学ぶ 空港の旅客、貨物取扱能力について学ぶ
3回	航空輸送事業の歴史	航空輸送事業の歴史について学ぶ 航空憲法(45・47体制)の廃棄と規制緩和について学ぶ 航空会社の新規参入と格安航空会社(LCC)の台頭について学ぶ
4回	航空業界、近年の動向	共同運航便(コードシュア)の就航について学ぶ 航空会社グループ化(アライアンス)の進展について学ぶ 給油特別付加運賃(オイル・サーチャージ)の導入、その後の影響について学ぶ
5回	日本の空港	空港の種類(拠点空港・地方管理空港・共用空港・その他の空港)について学ぶ 空港の機能、施設及び空港整備計画の現状について学ぶ 小テスト(採点と解答説明)
6回	空港業務の概要	空港ビル会社・空港事務所・CIQ関連業務について学ぶ 航空会社及び関連会社の業務内容について学ぶ 警備会社・旅客サービス業・航空貨物代理店・フォアーダー・通関業者について学ぶ
7回	航空機の特性	交通機関としての特性について学ぶ 商品としての特性について学ぶ 航空機の歴史、現在活躍中の航空機及び将来の航空機について学ぶ
8回	航空会社の仕事	JALグループ航空会社と関連会社の組織と業務内容について学ぶ ANAグループ航空会社と関連会社の組織と業務内容について学ぶ
9回	航空会社の仕事	日本における中堅航空会社と関連会社の組織と業務内容について学ぶ 日本の格安航空会社と日本に就航している外資系格安航空会社について学ぶ
10回	航空会社の仕事	出発時における旅客業務の一般的な流れについて学ぶ 到着時における旅客業務の一般的な流れについて学ぶ 空港における旅客業務のポイントを学ぶ
11回	航空会社の仕事	運航管理(ディスパッチ)業務、ステーション・コーディネーション業務について学ぶ 運航支援業務(グランドハンドリング業務)について学ぶ
12回	航空会社の仕事	整備業務、ケータリング業務について学ぶ 出発時と到着時の旅客送迎サービス業務について学ぶ
13回	航空貨物業務	航空貨物の輸送実績推移と航空貨物輸送の特徴について学ぶ 輸出入貨物の一般的な流れについて学ぶ 航空貨物の搭載方法と荷役機器の取扱いについて学ぶ
14回	航空保安	保安対策基準の脅威レベル(Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ)について学ぶ 搭乗旅客および機内持ち込み手荷物に関わる保安対策基準について学ぶ 受託手荷物に関わる保安対策基準について学ぶ
15回	航空業界、今後の動向	航空業界の今後の動向について学ぶ 小テスト(採点と解答説明)

対象学年	1年	学期	通年	学科	エアライン科
科目名	空港実務			クラス	OP
担当講師(フルネーム)	原田歩			実務経験	有
授業概要(内容)	国内の空港や航空会社の特徴、国内線におけるお客さまの流れを学ぶ チェックイン業務やアナウンス業務など実務を交えながら学ぶ			授業形態	講義
到達目標	国内線の基礎を理解する				
使用テキスト	ANAグランドスタッフ入門				
成績評価方法	・期末試験80%　平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施				

	テーマ	授業内容
1回	オリエンテーション	授業の目的、進め方、成績評価方法について GSの業務についてDVDで学ぶ 航空業界にとって最も大事なことを理解する
2回	日本の空港①	日本地図をもとに空港の位置を学ぶ 空港の基礎知識を習得する 空港の3レターを覚える
3回	日本の空港②	日本地図をもとに空港の位置を学ぶ 空港の基礎知識を習得する 空港の3レターを覚える
4回	日本の航空会社①	日本の航空会社を知る 各航空会社の特徴を学ぶ 航空会社の3レター・2レターを覚える
5回	日本の航空会社②	日本の航空会社を知る 各航空会社の特徴を学ぶ 航空会社の3レター・2レターを覚える
6回	GSの業務と役割①	旅客ハンドリング企業を知る GSの業務形態を知る 各空港の特徴を学ぶ
7回	GSの業務と役割②	GSの業務内容を学ぶ チェックイン業務、アナウンス業務を体験する
8回	GSの業務と役割③	GSの役割を理解する GSに求められる人材について考える
9回	時刻表	時刻表の見方と役割を理解する 記載されている内容を把握する 時刻表を使用してロールプレイを行う
10回	手荷物①	受託・持込み手荷物のルールを学ぶ 様々な種類の手荷物タグについて学ぶ 様々な種類の収納ケースについて学ぶ
11回	手荷物②	手荷物タグの取扱い方法を学ぶ 危険物について学ぶ 破損、未引取り、取り違え時の対応を学ぶ
12回	実習報告	実習生より担当業務について報告を行う
13回	国内線運賃	各種運賃とルールを学ぶ 各社運賃を比較する ホームページを利用し空席照会をする
14回	国内線航空券	航空券の見方とルールを学ぶ 様々な搭乗媒体を知る スキップサービスについて理解する
15回	まとめ	前期の復習、および補足

対象学年	1年	学期	通年	学科	エアライン科
科目名	アルテア国内線			クラス	OPV
担当講師(フルネーム)	横瀬　敦子			実務経験	有
授業概要(内容)	エアライン業界にて接客・電話応対業務経験。JAL国内予約端末を使用し講義を行う JAL国内線の空席照会から予約・座席指定・運賃検索など幅広い講義を行う			授業形態	講義＆演習
到達目標	「アクセスオペレーションスペシャリスト検定国内2級」全員合格を目指す(7月実施)				
使用テキスト	JAL国内線予約発券×オペレーションスキル2020・JAL国内線予約発券×エアポートカウンタースキル・国内早見表				
成績評価方法	・期末試験70%　平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施				

	テーマ	授業内容
1回	基礎知識	アクセス国内線の授業を受けるにあたっての注意事項 アクセス端末使用方法について理解する(起動と終了/ログイン/パスワード入力/ホームページ画面の見方) 予備知識(予約受付期限/発券期限/国内線年齢区分/各国内運賃規則など)
2回	空席照会と予約	※2レター＆航空会社名　小テスト実施 空席照会画の見方を学ぶ(画面表示を理解する　便名/出発/到着時間/機材/運賃額など) 空席照会からの直行便の予約を行う
3回	PNR作成手順	最安値運賃の予約を行う 予約後の運賃確認を行う(画面バスケット確認) 旅客データ入力を行う(旅客氏名・連絡先・申込者)
4回	PNR完了と中断	PNR(予約記録)構成を学ぶ PNRの完了と中断を行う(完了時や予約エラー時のメッセージ表示を理解する) PNR完了後の画面確認(PNR詳細画面)と予約コードの意味と種類を学ぶ
5回	その他の予約方法	普通運賃・往復割引・キャンセル待ち予約を行う 身体障害者割引の概要を学び、操作行う 便指定予約(直接便名を入力する予約方法)・オープンセグメント入力を行う
6回	発券と座席指定	予約後、座席指定と発券まで行う SSR(搭乗時にお手伝いが必要なお客様の入力)とOSI(同行者入力)について学ぶ 発券後のお客様控えの見方を学ぶ
7回	予約変更取消	※小テスト実施(予約/発券/運賃規則　また検定の筆記部分に準じた問題) 予約の変更と取消を行う 旅客データ(旅客氏名・連絡先など)の一部訂正や削除を行う
8回	TST再登録と再運賃検索	TSTについて、意味を理解する 予約変更や旅客氏名訂正に伴う、TST再登録と運賃再検索を行う
9回	発券ファイル	SK入力について、意味を理解する(身体障害者割引/介護帰省割引/離島割引など) 発券ファイルについて(航空券情報)、意味と画面表示を学ぶ クーポンステイタスについて学ぶ
10回	PNR分割Ⅰ	JMB(マイレージ)について学ぶ 1部旅客の取消と変更による、PNR分割を行う PNR分割後の画面表示を理解する
11回	PNR分割Ⅱ	PNR分割後のTST再登録と運賃再検索を行う その他、航空便のイレギュラーについて学ぶ
12回	検定対策Ⅰ	検定受検にあたっての、心構えを学ぶ 様々な運賃にてPNR作成を行う
13回	検定対策Ⅱ	筆記対策 検定国内2級・過去問題へ取り組む(課題提出と添削有り)
14回	検定対策Ⅲ	ヒアリング対策 検定国内2級・過去問題へ取り組む(課題提出と添削有り)
15回	期末試験	前期総復習 前期期末試験(筆記・実技＝PNR作成)

対象学年	1年	学期	通年	学科	エアライン科
科目名	グランドハンドリング			クラス	OP選択
担当講師(フルネーム)	松下　良朗			実務経験	有
授業概要(内容)	日々進歩している航空機地上業務・航空輸送業務に対応する知識を習得する 航空会社が求めるグランドハンドリング業務全般を理解する			授業形態	講義
到達目標	グランドハンドリング業務(地上支援業務)に必要な関連知識の習得を目的とする				
使用テキスト	航空機のグランドハンドリング(日本航空技術協会)・パワーポイント				
成績評価方法	・期末試験80%　平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施				

	テーマ	授業内容
1回	オリエンテーション	・授業の進め方・授業内容の理解・自己紹介(講師・生徒) ・日本の空港・航空行政・空港の機能・今日の空港・空港で働くということをﾃﾞｨｽｶｯｼｮﾝしその意義を学ぶ ・社会情勢が航空輸送に与える影響・航空輸送力・航空会社の役割と使命を知りグランドハンドリングの概要を掴む
2回	グランドハンドリング概要	・到着から出発までの流れと各作業の内容を知る・グランドハンドリング歴史と意義を学ぶ ・各業務と時間の関連を知る　業務紹介 ・航空保安　保安要員　制限区域/保安区域　LOAD　FACTOR　定時制　DGT　DLYの影響を学ぶ
3回	搭載関連業務	・専門用語と業務の関連性を学ぶ ・空港コード　IATA　CODE/ICAO　CODEについて学ぶ ・グランドハンドリングのSKD　DGT　人員計画について知る
4回	搭載関連業務	・小テスト ・TIE　DOWN　固縛の実践　固縛用具 ・運航SKD/飛行時間/就航都市/PAYLOAD　/時差
5回	トーイング	・航空機ﾄｰｲﾝｸﾞ操作(通常ﾄｰｲﾝｸﾞ・ﾊﾝｶﾞｰIN/OUTについて学ぶ ・コンパス/スイングﾄｰｲﾝｸﾞ・ｱﾝﾀﾞｰﾍﾞﾘｰﾄｰｲﾝｸﾞ方法について学ぶ ・ﾄｰｲﾝｸﾞﾏﾝ養成についてｴｱﾗｲﾝ各社の養成を見る　将来に向けた機材開発とﾆｰｽﾞに向けた養成
6回	ブレーキマン	・ﾌﾞﾚｰｷﾏﾝの作業手順を学ぶ ・ﾌﾞﾚｰｷﾏﾝの養成について知る ・航空機の地上移動(緊急時の対応及びその役割について)を学ぶ
7回	ウォッチマン	・ｳｵｯﾁﾏﾝの仕事役割について学ぶ(翼端監視とは) ・監視業務における安全確保について学ぶ ・航空機のSIZEを把握する
8回	搭載関連業務	・搭載計画(LOAD　PLAN)作成業務の概要を学ぶ ・貨物室カテゴリーについて学ぶ　等級貨物室 ・ｳｴｲﾄ&ﾊﾞﾗﾝｽ業務　航空機の重量　PAYLOADについて学ぶ　※小テスト
9回	航空機貨物室	・機種別貨物室について学ぶ　ULD方式/BULK方式　VOLについて ・貨物室カテゴリーについて学ぶ　等級貨物室 ・ULD DIM　設備　機能　等
10回	搭載取り卸し作業	・搭載取り卸し作業の概要を知る　基本的な作業の流れを理解する ・特殊搭載物の取り扱いを学ぶ　O/H　OSC/OHC/HUM/AVI/DG等の搭載を学ぶ ・税関について　指定地外交通　手荷物お取り扱い　郵便物について学ぶ
11回	航空機へのULD搭載	・UNIT　LOAD　DIVICE　種類　CLMから学ぶ ・SIZE　PLT/CONT　実際のサイズを体験する ・ULD NBRから学ぶ　BULK作業について学ぶ　VOLについて　貨物室での搭載方法
12回	搬出/搬入作業	・機種別ULD台数と搬出台数を理解する ・物量情報と搬出のタイミング　機側作業との連携 ・NBR照合と引き渡し　接点業務について知る　※小テスト
13回	航空危険物の基礎	・航空危険物　危険物の定義 ・危険物輸送　分類/区分　国内法令　IATA DGR　ICAOTI　ｵﾚﾝｼﾞﾌﾞｯｸ ・ﾏｰｷﾝｸﾞ ﾗﾍﾞﾘﾝｸﾞ　危険物の搭載作業全般を学び理解する
14回	空港規定	・制限区域安全管理規定を知る ・ABL　ERA　滑走路　誘導路　航空援助装置等について学ぶ
15回	授業まとめ	・前期　授業の振り返り ・期末試験準備

対象学年	1年	学期	通年	学科	エアライン科	
科目名	エアカーゴ概論				クラス	OPクラス
担当講師(フルネーム)	正:元田 孝幸　副:秦 隆益				実務経験	有
授業概要(内容)	①国内・国際貨物、郵便取扱い業務およびロードコントロール業務を経験 ②航空貨物取扱い全般に加えてその他付随する他業務について講義				授業形態	講義＆演習
到達目標	航空貨物取扱いについての基礎知識を学ぶことにより、航空業務への視野を広げる					
使用テキスト	エアカーゴマニュアル　作成資料プリント配布					
成績評価方法	・期末試験80%　平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					

	テーマ	授業内容
1回	オリエンテーション	・年間コースの説明　・空港での仕事と役割 ・航空業界認識度調査（どのような職種の人々が働いているのか/ディスカッション・質問形式） ・航空機には何が搭載されているか（グループディスカッション形式）
2回	航空機概要	・航空機の種類（WIDE/NARROW BODYの違い） ・内航機と外航機について ・各機種貨物室の説明
3回		・ULDの種類について ・搬送器材・搭載器材・その他の補助器材 ・理解度クイズ
4回	各種コード/用語説明	・空港コード（IATA/ICAOの違い）　・航空会社コード（PREFIX）　・国コード　・代理店コード ・用語説明 ・理解度クイズ
5回	航空貨物概要	・航空輸送の役割 ・貨物の種類 ・国内・国際貨物の違い
6回	国内貨物輸送	・国内貨物の流れ　・国内貨物代理店について ・運送状の役割 ・国内貨物受託要件　・航空保安
7回		・混載貨物・小口貨物の違い　・貨物受託から引渡しまで ・継越/相次運送 ・運送における優先順位
8回		・運送約款/運送責任 ・貨物セールスの役割 ・理解度クイズ
9回	郵便の輸送	・国内郵便物の種類　・コンテナ郵便　・外国郵便物 ・郵便物の受託から引渡しまで ・米国軍事郵便物
10回	国際貨物輸送	・国際貨物の流れ　・国際貨物代理店について ・運送状の説明 ・税関手続きについて
11回		・各種手続き済み貨物について（READY FOR CARIDGE） ・国際貨物の受託から引渡しまで ・保税運送について
12回	各種法令	・航空法について ・関税法について ・各種検疫について
13回	特殊貨物	・PER/WET 貨物 ・動物　・遺体/遺骨 ・危険物　・貴重品
14回	運賃計算	・国内運賃および料金の種類/適用・計算 ・国際貨物運賃について ・理解度クイズ
15回	前期のまとめ	・前期授業の振り返り ・期末試験対策

対象学年	1年	学期	通年	学科	エアライン科
科目名	空港英語			クラス	OP
担当講師(フルネーム)	髙木　美希			実務経験	有
授業概要(内容)	エアライン業界で接客業務経験。空港での接客英語を講義。			授業形態	講義
到達目標	空港で使われる英会話や語彙を理解する。英語での接客・アナウンスが出来るようになる。				
使用テキスト	プリント				
成績評価方法	・期末試験80%　平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施				

	テーマ	授業内容
1回	オリエンテーション	講師自己紹介と学生自己紹介 シラバスを使用し、講義概要、到達目標、成績評価方法の説明
2回	チェックイン業務	飛行機が出発するまでの流れを把握する。 搭乗手続き(チェックイン)とは何かを理解する。
3回	チェックイン業務	国内線での搭乗手続きの手順・注意事項を理解する。 お手伝いの必要なお客様への接客を理解する。 【小テスト　第1回】
4回	チェックイン業務	手荷物の種類と取り扱う際の注意事項を理解する。 持込に制限のある荷物について理解する。超過手荷物料金について理解する。 【小テスト　第2回】
5回	チェックイン業務	搭乗手続きのロールプレイを体験し、接客に慣れる。 ロールプレイは全員実施する。 【小テスト　第3回】
6回	チェックイン業務	搭乗手続きのロールプレイを体験し、接客に慣れる。 ロールプレイ体験の反省、振り返りを行う。
7回	チェックイン業務	航空業界で使用する専門用語について学ぶ。
8回	チェックイン業務	航空業界で使用する専門用語について学ぶ。 【小テスト　第4回】
9回	ゲート業務	搭乗口(ゲート)での業務について学ぶ。 英語アナウンスの種類とアナウンス実施時の注意点について学ぶ。 【小テスト　第5回】
10回	ゲート業務	英語アナウンスをマイクを使い、練習する。 英語アナウンス練習の反省、振り返りを行う。 【小テスト　第6回】
11回	ゲート業務	英語アナウンスをマイクを使い、練習する。 英語アナウンス練習の反省、振り返りを行う。
12回	イレギュラー運航 (遅延・欠航等)	イレギュラー運航とは何か、どの様な種類があるのかについて学ぶ。 接客をする際の注意点(通常運航時との接客の違い)を把握する。
13回	イレギュラー運航 (遅延・欠航等)	イレギュラー運航時、よく使う英単語、フレーズを学ぶ。 遅延・欠航時等の英語での接客、アナウンスを練習する。 【小テスト　第7回】
14回	到着業務	国内線で、飛行機が到着した後の流れについて理解する。 到着手荷物の受け渡し、未着、破損時の対応について学ぶ。 【小テスト　第8回】
15回	まとめ	前期に学習した内容の復習 【小テスト　第9回】

対象学年	1年	学期	通年	学科	エアライン科
科目名	日本語表現			クラス	O/P/Vクラス
担当講師(フルネーム)	久保田　博子			実務経験	有
授業概要(内容)	敬語・文法・語彙・言葉の意味・漢字・表記を学び、美しい日本語を理解する 毎時間小テストを行う			授業形態	講義
到達目標	基礎言語力を伸ばし、日本語表現をブラッシュアップする				
使用テキスト	『ステップアップ日本語講座　－　上級』 東京書籍				
成績評価方法	・期末試験80%　平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施				

	テーマ	授業内容
1回	オリエンテーション	授業の目的・意味と進め方、成績評価方法について 学生の自己紹介 「適切な日本語」とはどのようなものか考える
2回	敬語①	敬語について/敬語の種類 尊敬語、謙譲語Ⅰ、謙譲語Ⅱ、丁寧語、美化語を理解する
3回	敬語②	適切な敬語、敬語の使い分け 練習問題
4回	敬語③	注意すべき敬語、誤った敬語の使い方 状況に合わせた敬語の使い分け
5回	敬語④	さまざまな敬意表現 電話や手紙での敬語
6回	敬語⑤	マニュアル敬語、配慮を示す言葉 敬語のまとめ 練習問題
7回	文法①	品詞・活用の種類 主語と述語、連体修飾と連用修飾
8回	文法②	文の成分、文のねじれ 練習問題
9回	文法③	用言の活用形 可能表現、受け身と使役の表現
10回	文法④	文法のまとめ 練習問題
11回	語彙①	語彙とは、語種、二語の関係 練習問題
12回	語彙② 言葉の意味①	類義語と対義語 言葉の意味とは 練習問題
13回	言葉の意味②	慣用句 練習問題
14回	漢字・表記	日本語の中の漢字 四字熟語 練習問題
15回	総合問題 まとめ	総合問題 前期のまとめ

対象学年	1年	学期	通年	学科	エアライン 科
科目名	就職活動講座			クラス	O・P
担当講師(フルネーム)	吉原正彦/小林俊也			実務経験	有
授業概要(内容)	自己分析・企業研究を進め、就職試験のための具体的な活動を習得する。			授業形態	講義
到達目標	就職活動の重要性を認識し、自己PR・志望動機を文章にする。				
使用テキスト	専門学校生のための就職内定基本テキスト・就職ノート・プリント				
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 提出物・授業態度・身だしなみ・出席率により評価			単位数	2
期末試験	× 期末試験なし				

	テーマ	授業内容
1回	オリエンテーション①	授業の進め方、評価方法について 学生の自己紹介(志望職種、希望勤務地、志望のきっかけ、強み) 「仕事」を考える(就職とは何か、なぜ働くのか)
2回	オリエンテーション②	学生の自己紹介(志望職種、希望勤務地、志望のきっかけ、強み) 「仕事」を考える(就職とは何か、なぜ働くのか)
3回	就職活動の心得 就職活動の流れ①	就職活動の心得 学生と社会人の違いを考える 企業で求められる人材とは
4回	就職活動の流れ② 自己分析①	就職活動の流れを知ろう スケジュール管理をしよう→就職ノートを作ろう 就職活動は自己分析から始まる
5回	自己分析②	ライフラインチャートを作ろう 「これまでに何をしてきたか」を考えよう
6回	自己分析③	「今、何をしているか」を考えよう 「これから何をしたいか」を考えよう
7回	自己分析④	「努力したこと」を考えよう
8回	自己分析⑤	「自分の性格」を考えよう 「長所・短所」を考えよう
9回	自己分析⑥	「好きなこと」「できること」「得意なこと」を考えよう 「資格」の活かし方を考えよう
10回	企業研究①	企業研究の進め方 就職室を活用しよう
11回	企業研究②	企業研究をしよう 求人票をチェックしよう
12回	企業研究③	就職室を活用し、企業研究をする
13回	企業研究④	就職室を活用し、企業研究をする
14回	企業研究⑤	就職室を活用し、企業研究をする
15回	企業研究⑥ まとめ	入社後の自分をイメージしよう 夏季休暇中の課題「自己PR」と「志望動機」作成

対象学年	1年	学期	通年	学科	エアライン科
科目名	コミュニケーションイングリッシュ			クラス	O・P・Vクラス
担当講師(フルネーム)	久保田　博子			実務経験	有
授業概要(内容)	日常生活だけでなく、空港・航空機内で使う語彙や会話表現を学び オンラインレッスンで実践する			授業形態	講義＆演習
到達目標	学んだ英語をエアライン業界での接客に活かせるようにする				
使用テキスト	絵で見てパッと言う英会話トレーニング、予習・復習プリント				
成績評価方法	・オンラインレッスン評価40%　小テスト40%　平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	× 期末試験なし				

	テーマ	授業内容
1回	絵で見てパッと英会話	初対面①
2回	絵で見てパッと英会話	初対面②
3回	おもてなし英語	空港:チェックイン①
4回	絵で見てパッと英会話	自己紹介・質問①
5回	絵で見てパッと英会話	自己紹介・質問②
6回	おもてなし英語	空港:チェックイン②
7回	絵で見てパッと英会話	日常のあいさつ①
8回	絵で見てパッと英会話	日常のあいさつ②
9回	おもてなし英語	空港:預け入れ荷物の受託①
10回	絵で見てパッと英会話	聞き返し・つなぎ①
11回	絵で見てパッと英会話	英語について
12回	おもてなし英語	空港:預け入れ荷物の受託②
13回	絵で見てパッと英会話	あいづち
14回	絵で見てパッと英会話	お礼
15回	おもてなし英語	空港:施設案内

対象学年	1年	学期	前期のみ	学科	エアライン科
科目名	グランドハンドリング（運送サービス）			クラス	O・P
担当講師（フルネーム）	吉原　正彦			実務経験	有
授業概要（内容）	旅客・手荷物・客室業務の基礎知識を習得する。 グランドハンドリングに関する、安全・品質及び空港規則を理解する。			授業形態	講義
到達目標	グランドハンドリング業務全般に精通した、マルチな人材を育成する。				
使用テキスト	航空機のグランドハンドリング・プリント				
成績評価方法	・期末試験80%　平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施				

	テーマ	授業内容
1回	オリエンテーション	授業の目的について説明する 前期授業内容の進め方、成績評価方法について説明する グランドハンドリング・運送サービス業務について意見交換を行う
2回	運送サービス業務	グランドハンドリング・運送サービス業務の概要について学ぶ 運送サービス業務の業種と特性について学ぶ
3回	旅客ハンドリング （出発業務）	旅客運送のプロセスについて学ぶ 搭乗手続きから搭乗案内までの旅客業務について学ぶ 保安検査及び出国審査について学ぶ
4回	旅客ハンドリング （到着業務）	到着ゲート業務から手荷物の返却までの旅客業務について学ぶ 保安検査及び入国審査について学ぶ 教育とフォロー体制について説明する
5回	手荷物サービス	受託手荷物取扱い業務について学ぶ 手荷物搬送システム（BHS）について学ぶ 到着手荷物取扱い業務について学ぶ
6回	客室サービス	客室クリーニングの種類、作業者の訓練・資格について学ぶ 客室用品の搭載取り卸しとセッティングについて説明する 客室用品の補充、受け入れ作業について説明する
7回	安全管理	運送業務における「安全」の分類について学ぶ 運送業務における安全性とサービスについて学ぶ 運送業務における規定の遵守について学ぶ
8回	安全管理	事故のメカニズムと要因について学ぶ 事故防止（ヒューマンエラーの防止）について学ぶ グループワーク
9回	品質管理	運送業務の品質について説明する サービスの品質とは、について学ぶ 物的サービスと人的サービスについて学ぶ
10回	品質管理	品質管理の効用とコストについて学ぶ 不具合対策の先取り（ヒューマンエラーの防止対策）について学ぶ 小テスト（採点と解答説明）
11回	航空専門用語	空港のスリーレター・コードについて学ぶ エアライン・コードについて学ぶ 運行スケジュールの見方について学ぶ
12回	空港規則（Ⅰ）	空港規則用語の定義について学ぶ 空港制限区域内、立ち入り区域の区分、承認書の表示等について学ぶ 空港制限区域内における車両安全運転の義務について学ぶ
13回	空港規則（Ⅱ）	空港制限区域内における車両の操作及び走行について学ぶ 空港制限区域内における車両の制限速度について学ぶ 空港制限区域内における車両使用承認条件について学ぶ
14回	ランプ・誘導路などの標識	空港長が安全上、特に定める車両の走行、通行方法について学ぶ 車両通路の指示表示等の定義について学ぶ エプロン内安全のためのマーキング定義について学ぶ
15回	まとめ	授業全体を振り返って復讐する 小テスト（採点と解答説明）

対象学年	1年	学期	前期のみ	学科	エアライン科	
科目名	ビューティーレッスン				クラス	OP
担当講師(フルネーム)	城戸　彩花				実務経験	有
授業概要(内容)	顔の役割、好感の持たれる笑顔が映える顔作り スキンケア、日頃のお手入れを学ぶ。立ち居振る舞いの美しい女性になろう。				授業形態	講義＆演習
到達目標	30分以内に好感の持たれるメイクアップができるようになる。					
使用テキスト	プリント配布					
成績評価方法	日本語表現2と合わせ、認定 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	1
期末試験	× 期末試験なし					

	テーマ	授業内容
1回	『顔』の役割	顔の役割 笑顔の大切さ 人相心理学による顔分析 立ち居振る舞い
2回	スキンケア	肌のメカニズム 日頃の肌のお手入れ方法 クレンジングの仕方・化粧水コットンパック
3回	ベースメイクアップ	中高く立体的な骨格に見えるファンデーションの塗り方 骨格修正 血色を良く見せるニュアンスカラー
4回	アイメイク・アイブロウ	目元に立体感を与えるアイメイク方法 理想的な眉のガイドライン 顔を立体的に見せる眉の書き方
5回	リップ・チーク・ハイライト	自分の肌色に合うリップカラーを知る 自分に似合うチークカラーと入れ方 ハイライトで顔を立体的に見せる入れ方
6回	フルメイク1	責任感があり、好感を持たれるメイク 自分一人でフルメイクを行う
7回	フルメイク2	責任感があり、好感を持たれるメイク 自分一人でフルメイクを行う 30分以内で行う

対象学年	1年	学期	前期のみ	学科	エアライン科	
科目名	日本語表現 2				クラス	O/Pクラス
担当講師(フルネーム)	久保田　博子				実務経験	有
授業概要(内容)	美しい日本語を「話す」「読む」「書く」ことを学ぶ				授業形態	講義
到達目標	基礎言語力を伸ばし、日本語表現をブラッシュアップする					
使用テキスト	文章検　文章読解・作成能力検定　公式テキスト　3級/準2級					
成績評価方法	ビューティーと合わせ、認定 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	1
期末試験	× 期末試験なし					

	テーマ	授業内容
1回	発声練習 基礎力を付ける	語彙・文法について学び、語句の意味・用法を理解する
2回	発声練習 読解力を伸ばす①	情報を読み取る力を身につける 文章構成についても読み取れる力をつける
3回	発声練習 読解力を伸ばす②	情報を読み取る力を身につける 文章構成についても読み取れる力をつける
4回	発声練習 作成力を身につける①	文章作成時の表現方法を学ぶ わかりやすい表現にするために必要なことがらを学び、実践する
5回	発声練習 作成力を身につける②	通信文について学ぶ 正確な情報を伝える技法を身につける
6回	発声練習 作成力を身につける③	考える力を伸ばす 論理的で説得力のある文章を書くための文章展開の方法を学ぶ
7回	発声練習 まとめ①	まとめの問題に取り組む
8回	発声練習 まとめ②	まとめの問題に取り組む

対象学年	1年	学期	前期のみ	学科	エアライン科
科目名	空港実務			クラス	V
担当講師(フルネーム)	原田歩			実務経験	有
授業概要(内容)	国内線・国際線におけるお客さまの流れを学ぶ 基本的な専門知識を身につける			授業形態	講義
到達目標	グランドスタッフの業務を理解し、航空業界の基礎知識を身につける				
使用テキスト	ANAグランドスタッフ入門				
成績評価方法	・期末試験80%　平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施				

	テーマ	授業内容
1回	オリエンテーション	授業の目的、進め方、成績評価方法について GSの業務についてDVDで学ぶ 航空業界にとって最も大事なことについて理解する
2回	日本の空港	日本地図をもとに空港の位置を学ぶ 空港の基礎知識を習得する 空港の3レターを覚える
3回	海外の空港	海外の空港を知る 各空港の特徴を学ぶ 空港および都市の3レターを覚える
4回	世界の航空会社とアライアンス	各航空会社の特徴を学ぶ 航空会社の3レター・2レターを覚える アライアンス加盟によるメリットを学ぶ
5回	GSの業務と役割①	旅客ハンドリング企業を知る GSの業務形態を知る 各空港の特性から業務の違いを見つける
6回	GSの業務と役割②	GSの業務内容を学ぶ チェックイン業務、アナウンス業務を体験する
7回	GSの業務と役割③	GSの役割を理解する GSに求められる人材について考える
8回	出入国書類	パスポートについて学ぶ ビザについて学ぶ 出入国書類に関する航空会社の責任について学ぶ
9回	手荷物①	受託・持込み手荷物のルールを学ぶ 様々な種類の手荷物タグについて学ぶ 様々な種類の収納ケースについて学ぶ
10回	手荷物②	手荷物タグの取扱い方法を学ぶ 危険物について学ぶ 破損、未引取り、取り違え時の対応を学ぶ
11回	CIQ	CIQの役割を理解する 国際線における手続きを学ぶ 国際線におけるお客様の流れを学ぶ
12回	運賃	各種運賃とルールを学ぶ 各社運賃を比較する ホームページを利用し空席照会をする
13回	航空券	航空券の見方とルールを学ぶ 様々な搭乗媒体を知る スキップサービスについて理解する
14回	イレギュラーとクレーム	不可抗力と会社都合による欠航・遅延について学ぶ イレギュラー時のハンドリングについて学ぶ クレームについて理解を深め、対応のポイントを学ぶ
15回	まとめ	復習および補足

対象学年	1年	学期	前期のみ	学科	エアライン科	
科目名	ブラッシュアップ講座				クラス	V
担当講師(フルネーム)	脇山　奈津美				実務経験	有
授業概要(内容)	就職試験までに必要な準備の確認 エピソードの作り方を知る				授業形態	講義
到達目標	目標を立て達成に向けた取り組み方を体得する					
使用テキスト	なし(オリジナルテキスト使用)					
成績評価方法	・課題レポート平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					

	テーマ	授業内容
1回	オリエンテーション	□第一印象の重要性について①　□自己管理の徹底について 挨拶、お辞儀、言葉遣い、声の出し方 証明写真／スナップ写真の撮り方、写真館について
2回	身だしなみ	□第一印象の重要性について② ヘア＆メイク
3回	ウォーキング 表情トレーニング	□第一印象の重要性について③ 歩き方、表情の作り方 □ルールとマナーの違い／「身だしなみ」と「おしゃれ」の違い
4回	採用試験準備	□面接準備／練習 □スピーチ
5回	採用試験準備	□面接準備／練習 □スピーチ
6回	採用試験準備	□面接準備／練習 □スピーチ
7回	採用試験準備	□面接準備／練習 □スピーチ
8回	採用試験準備	□面接準備／練習 □スピーチ
9回	採用試験準備	□面接準備／練習 □スピーチ
10回	採用試験準備	□面接準備／練習 □スピーチ
11回	採用試験準備	□面接準備／練習 □スピーチ
12回	採用試験準備	□面接準備／練習 □スピーチ
13回	採用試験準備	□面接準備／練習 □スピーチ
14回	採用試験準備	□面接準備／練習 □スピーチ
15回	採用試験準備	□面接準備／練習 □スピーチ

対象学年	1年	学期	前期のみ	学科	エアライン科
科目名	観光地理			クラス	V
担当講師(フルネーム)	金森和彦			実務経験	有
授業概要(内容)	世界遺産検公式問題集を中心に解説し試験概要を理解する。 画像を利用し、世界遺産の景観を理解。			授業形態	講義
到達目標	世界遺産検定合格を目指し、主要世界遺産について解説。				
使用テキスト	世界遺産検定　公式過去問題集				
成績評価方法	・期末試験70%　平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施				

	テーマ	授業内容
1回	オリエンテーション	オリエンテーション 授業の進め方などシラバスをもとに説明 教科書の使用方法解説
2回	世界遺産の基礎について	世界遺産とは ユネスコ 世界遺産と日本
3回	世界遺産の基礎について	無形文化遺産 グラフと数字目見る世界遺産 世界遺産の基準
4回	日本の世界遺産	西日本の世界遺産 文化遺産について 自然遺産について
5回	日本の世界遺産	東日本の世界遺産 文化遺産について 自然遺産について
6回	海外の世界遺産	ヨーロッパ周辺地区　世界遺産の観光概要や最寄りの交通機関について 画像、地図から世界遺産の魅力について説明 ヒースロー、シャルルドゴール空港など主要空港からの利便性について
7回	海外の世界遺産	アメリカ地区　世界遺産の観光概要や最寄りの交通機関について 画像、地図から世界遺産の魅力について説明 JFケネディーなど空港など主要空港からの利便性について
8回	海外の世界遺産	アジア周辺地区　世界遺産の観光概要や最寄りの交通機関について 画像、地図から世界遺産の魅力について説明 主要空港からの利便性について
9回	海外の世界遺産	オセアニア周辺地区　世界遺産の観光概要や最寄りの交通機関について 画像、地図から世界遺産の魅力について説明 主要空港からの利便性について
10回	海外の世界遺産	その他周辺地区　世界遺産の観光概要や最寄りの交通機関について 画像、地図から世界遺産の魅力について説明 主要空港からの利便性について
11回	問題集を解く、解説	世界遺産検定　試験対策(過去問題を解く、解説) 主要国おさらい(ヨーロッパ方面) 地図をもとに場所確認
12回	問題集を解く、解説	世界遺産検定　試験対策(過去問題を解く、解説) 主要国おさらい(北アメリカ方面) 地図をもとに場所確認
13回	問題集を解く、解説	世界遺産検定　試験対策(過去問題を解く、解説) 主要国おさらい(南アメリカ方面) 地図をもとに場所確認
14回	問題集を解く、解説	世界遺産検定　試験対策(過去問題を解く、解説) 主要国おさらい(その他地区) 地図をもとに場所確認
15回	まとめ	試験問題対策、期末試験について説明 主要国おさらい

対象学年	1年	学期	前期のみ	学科	エアライン科
科目名	エアラインマナー			クラス	V
担当講師(フルネーム)	脇山　奈津美			実務経験	有
授業概要(内容)	CAとして、社会人としての基本的なマナーを身につける 採用試験に向けた準備			授業形態	講義
到達目標	基本的なビジネスマナーを体得する				
使用テキスト	なし(オリジナルテキスト使用)				
成績評価方法	・期末試験70%　平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施				

	テーマ	授業内容
1回	オリエンテーション	□受験への心構え：日頃から意識すること(挨拶・時間・準備の意味) □校内外の合同企業説明会(会社説明会)へ参加する際のマナー　、参加する時期 □受験の現状(企業がチェックするポイント)
2回	ビジネスマナー ビジネス文書／電話対応	□ビジネス文書：作成時の注意事項 □電話対応：受信する時の注意事項／掛ける時のマナー
3回	採用試験準備	□入退室 ドアの開閉、着席の仕方、荷物の置き方 □第二印象について
4回	採用試験準備	□入退室(復習) ドアの開閉、着席の仕方、荷物の置き方(一連の流れ) □第二印象について(具体的なポイント)
5回	採用試験準備	□第二印象 敬語、クッション言葉の使い方 話を聴くときの態度
6回	採用試験準備	□面接準備／練習 □スピーチ
7回	採用試験準備	□面接準備／練習 □スピーチ
8回	採用試験準備	□面接準備／練習 □スピーチ
9回	前半確認テスト (筆記)	
10回	採用試験準備	□面接準備／練習 □スピーチ
11回	採用試験準備	□面接準備／練習 □スピーチ
12回	採用試験準備	□面接準備／練習 □スピーチ
13回	採用試験準備	□面接準備／練習 □スピーチ
14回	採用試験準備	□面接準備／練習 □スピーチ
15回	採用試験準備	□面接準備／練習 □スピーチ

対象学年	1年	学期	前期のみ	学科	エアライン
科目名	CA受験対策			クラス	V
担当講師(フルネーム)	脇山　奈津美			実務経験	有
授業概要(内容)	自己分析(経験の書き出し) スピーチを通して人前で話すことに慣れる			授業形態	講義
到達目標	就職試験に必要な情報収集のやり方を知り、自分で準備できるようになる				
使用テキスト	なし(オリジナルテキスト使用)				
成績評価方法	・期末試験70%　平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施				

	テーマ	授業内容
1回	オリエンテーション	□授業の進め方、課題(気になるニュースの作り方)、スピーチ □採用試験の流れと就職活動の流れ(開始～内定獲得まで) □採用試験の現状を理解する　□選考の種類とポイント
2回	自己分析①	□一般企業への就職希望者との違い □自己分析の重要性と必要性 □自分の能力を知る(社会人基礎力)
3回	自己分析②	□自己PRの作成手順の確認
4回	企業研究	□企業研究の必要性と取り組み方 □ANA/JALの比較
5回	企業研究	□ANA/JALの比較
6回	採用試験準備	□質問(面接官)の意図を理解する 自分をたとえるシリーズの回答:野菜、動物、色、電化製品
7回	採用試験準備	□スピーチ／自己分析／自己PR作成／面接準備／練習
8回	採用試験準備	□スピーチ／自己分析／自己PR作成／面接準備／練習
9回	前半確認テスト (実技)	□入退室 □スピーチ
10回	採用試験準備	□スピーチ／自己分析／自己PR作成／面接準備／練習
11回	採用試験準備	□スピーチ／自己分析／自己PR作成／面接準備／練習
12回	採用試験準備	□スピーチ／自己分析／自己PR作成／面接準備／練習
13回	採用試験準備	□スピーチ／自己分析／自己PR作成／面接準備／練習
14回	採用試験準備	□スピーチ／自己分析／自己PR作成／面接準備／練習
15回	採用試験準備	□スピーチ／自己分析／自己PR作成／面接準備／練習

対象学年	1年	学期	通年	学科	エアライン科	
科目名	TOEIC I				クラス	V
担当講師(フルネーム)	日髙 郁子				実務経験	有
授業概要(内容)	TOEICに特化した文法を基礎から復習。語彙力を高め、音読、 シャドウイングなどでリスニング力を強化してスコアアップにつなげる。 ※レベルに合わせるためシラバス通りに進まない場合があります。				授業形態	講義
到達目標	各自の目標スコアを達成する。					
使用テキスト	TOEIC L&R戦略的トレーニング:レベル500 / TOEIC L&R TEST 出る単特急 銀のフレーズ					
成績評価方法	・期末試験50% 単語熟語テスト30% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					

	テーマ	授業内容
1回	品詞&Part1	品詞(名詞、形容詞、副詞)の見分け方 品詞問題の解き方 Part1解き方 Part5 単語練習
2回	時制&Part2	時制の総復習 Part2解き方 Part5 単語練習
3回	自動詞＆他動詞Part3	自動詞・他動詞の見分け方 自動詞、他動詞を見分けて問題を解く Part3 Part5 単語練習
4回	不定詞&Part3	不定詞 Part3 Part5 単語テスト
5回	動名詞&Part4	動名詞 Part4 Part5 単語テスト
6回	分詞の形容詞的用法 Part4	分詞の形容詞的用法 Part4 Part5 単語テスト
7回	Part7	Part7(長文の解き方) Part5 単語テスト
8回	名詞・冠詞 part6	名詞・冠詞 Part6 Part5 単語テスト
9回	接続詞 Part1&2	接続詞 Part1&2 Part5 単語テスト
10回	関係代名詞 Part3	関係代名詞 Part3 Part5 単語テスト
11回	模擬テスト (リスニング)	模擬テストリスニング 解答
12回	仮定法	仮定法 Part6 Part5 単語練習
13回	比較級	比較級 Part7 Part5 単語練習
14回	文法総復習	Part5 これまでの文法の総復習 単語練習
15回	期末対策	期末対策

対象学年	1年	学期	通年	学科	エアライン科	
科目名	TOEIC Ⅱ				クラス	V
担当講師(フルネーム)	日髙 郁子				実務経験	有
授業概要(内容)	TOEICに特化した文法を基礎から復習。語彙力を高め、音読、 シャドウイングなどでリスニング力を強化してスコアアップにつなげる。 ※レベルに合わせるためシラバス通りに進まない場合があります。				授業形態	講義
到達目標	各自の目標スコアを達成する。					
使用テキスト	TOEIC L&R戦略的トレーニング:レベル500 / TOEIC L&R TEST 出る単特急 銀のフレーズ					
成績評価方法	・期末試験50% 単語熟語テスト30% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					

	テーマ	授業内容
1回	オリエンテーション	授業の進め方について TOEICとは? TOEICミニテスト 単語テストの進め方
2回	品詞問題&Part1	品詞(名詞、形容詞、副詞)の見分け方 品詞問題の解き方 Part5 単語テスト
3回	時制&Part2	時制の総復習 Part2解き方 Part5 単語テスト
4回	自動詞＆他動詞Part3	自動詞・他動詞の見分け方 自動詞、他動詞を見分けて問題を解く Part3 Part5 単語テスト
5回	不定詞&Part3	不定詞 Part3 Part5 単語練習
6回	動名詞&Part4	動名詞 Part4 Part5 単語練習
7回	分詞の形容詞的用法 Part4	分詞の形容詞的用法 Part4 Part5 単語練習
8回	Part7	Part7(長文の解き方) Part5 単語練習
9回	名詞・冠詞 part6	名詞・冠詞 Part6 Part5 単語練習
10回	接続詞 Part1&2	接続詞 Part1&2 Part5 単語練習
11回	関係代名詞 Part3	関係代名詞 Part3 Part5 単語練習
12回	模擬テスト (リーディング)	模擬テスト 解答
13回	仮定法	仮定法 Part6 Part5 単語テスト
14回	比較級	比較級 Part7 Part5 単語テスト
15回	文法総復習	前期復習 Part5 単語テスト

対象学年	1年	学期	前期のみ	学科	エアライン科	
科目名	エアラインゼミ				クラス	V
担当講師(フルネーム)	脇山　奈津美				実務経験	有
授業概要(内容)	CAの仕事理解 面接対策(面接で実施されるロールプレイの基本的な対応)				授業形態	講義
到達目標	サービスイレギュラー発生時の基本的な対応を体得する					
使用テキスト	なし(オリジナルテキスト使用)					
成績評価方法	・課題レポート70%　平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					

	テーマ	授業内容
1回	オリエンテーション	□授業の目的:受験に求められるもの(対応力の重要性) □CAの仕事理解:DVD「夢のお仕事シリーズ」鑑賞 魅力を知り必要な能力を理解する
2回	業界用語(機内編)	□フライト時の携行品 □機内で使用される用語の確認 □サービス時に必要な英語(英会話)
3回	対応力強化①	□基本的なサービス実施要領の確認(ドリンクサービス) サービス時の注意事項、エプロン着用の意味 日本語、英語対応
4回	対応力強化②	□クレーム対応 クレームを言う方の心理理解 適切な対応手順の確認
5回	対応力強化③	□機内アナウンス実施の意味 意味と実施時のポイント □日本語、英語のアナウンス実施
6回	採用試験準備	□面接準備／練習 □スピーチ
7回	採用試験準備	□面接準備／練習 □スピーチ
8回	採用試験準備	□面接準備／練習 □スピーチ
9回	採用試験準備	□面接準備／練習 □スピーチ
10回	採用試験準備	□面接準備／練習 □スピーチ
11回	採用試験準備	□面接準備／練習 □スピーチ
12回	採用試験準備	□面接準備／練習 □スピーチ
13回	採用試験準備	□面接準備／練習 □スピーチ
14回	採用試験準備	□面接準備／練習 □スピーチ
15回	採用試験準備	□面接準備／練習 □スピーチ

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	エアライン 科
科目名	フライトオペレーション			クラス	Q・R
担当講師(フルネーム)	吉原 正彦			実務経験	有
授業概要(内容)	航空機、航空業界の歴史や仕組み、航空管制の知識、空港の構造、運航管理業務等、について講義			授業形態	講義
到達目標	航空機運航の流れ、運航業務の役割・目的を理解し、業務に役立つ知識を習得する。				
使用テキスト	プリント				
成績評価方法	・期末試験80% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施				

	テーマ	授業内容
1回	オリエンテーション	授業の目的について説明する 前期授業内容の進め方、成績評価方法について説明する 「安全で快適な空の旅」について意見交換を行う
2回	航空機の開発史	飛行機の誕生から旅客機としての運航までを学ぶ 世界で繰り広げられた開発競争について学ぶ 大型化・高速化から、効率や環境性能が重視される旅客機について学ぶ
3回	旅客機の区分	機体の大きさによる区分について学ぶ 旅客機の性能・能力による区分について学ぶ エンジンの種類による区分について学ぶ
4回	空港施設	空港の基本構造について学ぶ 航空法・空港整備法による空港の種類・役割とターミナル施設について学ぶ
5回	空港施設	滑走路面に書いてある数字やラインの意味について学ぶ 滑走路付帯設備・電波施設・照明施設等の種類と役割について学ぶ
6回	航空局の業務	航空局の歴史・役割について学ぶ 航空機運航と、その役割について学ぶ 滑走路点検・バードストライク対策等の安全管理について学ぶ
7回	旅客機の通信・航法装置	旅客機が地上との連絡を行う装置類、位置や方向を知るための機器について学ぶ 運航に不可欠な通信・航法装置について学ぶ 小テスト(採点と解答説明)
8回	航空管制業務	航空交通管制の役割について学ぶ 航空管制業務の種類について学ぶ 管制空域と航空路について学ぶ
9回	航空管制業務	航空保安無線施設の種類について学ぶ VFR(有視界飛行方式)とIFR(計器飛行方式)について学ぶ フライトプランの作成と航空管制の流れについて学ぶ
10回	航空管制業務	航空管制シミュレーション①離陸まで、について学ぶ 航空管制シミュレーション②上昇から巡航まで、について学ぶ 航空管制シミュレーション③下降から着陸まで、について学ぶ
11回	航空機運航	航空機と飛行機の違いについて学ぶ 飛行方式・飛行条件について学ぶ
12回	運航管理	運行管理者の資格、業務概要と飛行計画書(フライトプラン)の目的・内容について学ぶ ATCフライトプランとカンパニー・フライトプランの違いについて学ぶ フライトプラン作成に欠かせない航空情報について学ぶ
13回	運航管理用語	航空用語について学ぶ オペレーション用語とその意味について学ぶ
14回	管制業務用語	航空無線基本用語とフォネティックコード(欧文通話表)について学ぶ 管制用語とその意味について学ぶ 小テスト(採点と解答説明)
15回	まとめ	前期授業の復習、および補足

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	エアライン科
科目名	コミュニケーション学			クラス	QRクラス
担当講師(フルネーム)	吉良　牧子			実務経験	有
授業概要(内容)	学校生活や就職先で必要なコミュニケーションをプロセスなど座学とワークなどの実戦で学び、気付きと課題を見つけていく			授業形態	講義
到達目標	就職先での意思疎通はもちろん、上手な伝え方、断り方をスムーズに実践できる				
使用テキスト	オリジナルプリント				
成績評価方法	・授業ごとのテスト70%　平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	1
期末試験	△ 授業中に実施				

	テーマ	授業内容
1回	オリエンテーション	講師紹介 自己紹介の仕方とポイント 生徒自己紹介
2回	話し方、聞き方	コミュニケーションゲームからの気付きと課題
3回	挨拶	由来 挨拶の必要性、世界の挨拶 印象がぐっと良くなる挨拶とは
4回	発声	声の印象 滑舌チェック 早口言葉レッスン
5回	性格判断	エゴグラムで自身を知る
6回	アンガーマネジメント	怒りのコントロール術 自身の怒りポイントは？ コントロールで人生を制する
7回	グループディスカッション	グループディスカッションのやり方 役割分担 発表
8回	礼状コミュニケーション	暑中見舞い、年賀状、お礼状は マネーでなくコミュニケーションを意識して作成する
9回	プレゼンテーション	好きなものを徹底的にPRする
10回	ブログコミュニケーション	おススメを文章でPRするライティングスキル
11回	ほめ育	他人の良い部分を探し、大げさでなく、嫌味なく伝える
12回	断り方、説得法	上手な断り方、提案する代替え案、説得の仕方など座学で学ぶ
13回	SNSコミュニケ-ション	SNSそれぞれの特徴とリスク マーケティング戦略
14回	ワーク	絵本作り 子供から学ぶコミュニケーション術
15回	マインドマップ	まとめ

対象学年	2年	学期	通年	学科	エアライン科
科目名	観光英語			クラス	QR
担当講師(フルネーム)	平島千華・挽田雅子・秋満陽子			実務経験	有
授業概要(内容)	観光業界での接客業務経験教員。エアラインビジネスに必要な英語の語彙と表現を指導する。			授業形態	講義
到達目標	航空・観光系の英語を身につける。接客に必要な英語表現を学び、実際に会話ができるようになる。				
使用テキスト	English for Tourism Professionals				
成績評価方法	・期末試験70%　平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施				

	テーマ	授業内容
1回	オリエンテーション	イントロダクション(授業内容、評価方法について) 航空業界の基本用語 接客のための基本英語表現
2回	Unit5(1)	時刻、日付、便名、電話番号の読み方 予約や問い合わせの電話に対応する Vocabulary and Useful Expressions
3回	Unit5(2)	Dialogue Study Pair Speaking Practice Role Play
4回	Unit5(3)	予約と支払いに関する情報を読む フライトアテンダントの募集要項を読む 質問に答える
5回	Unit6(1)	時差の知識 予約の確認、変更、要望の電話に対応する Vocabulary and Useful Expressions
6回	Unit6(2)	Dialogue Study Pair Speaking Practice Role Play
7回	Unit6(3)	E-ticketの内容を読み取る お客様宛の手紙を読む 質問に答える
8回	Unit7(1)	空港のチェックインカウンターでの対応について学ぶ チェックインから搭乗までの流れを確認する Vocabulary and Useful Expressions
9回	Unit7(2)	Dialogue Study Pair Speaking Practice Role Play
10回	Unit7(3)	荷物の許容範囲に関する説明書を読む オンラインチェックインの方法の説明を読む 質問に答える
11回	Unit8(1)	搭乗ゲートでの対応について学ぶ パスポートの確認 Vocabulary and Useful Expressions
12回	Unit8(2)	Dialogue Study Pair Speaking Practice Role Play
13回	Unit8(3)	空港のセキュリティーに関する注意書きを読む フライトに大幅な遅れやキャンセルが生じた場合の対応を知る 質問に答える
14回	Unit4	訪日外国人旅行者の対応を学ぶ Vocabulary and Useful Expressions Dialogue Study
15回	まとめと復習	前期のまとめ Vocabulary を覚える Useful expressions を身につける

対象学年	2年	学期	通年	学科	エアライン・夜間総合観光科	
科目名	観光地理				クラス	QRY
担当講師(フルネーム)	金森和彦				実務経験	有
授業概要(内容)	地域ごとの国々・主な都市及び都市コードを白地図に記入 有名観光地の映像を見る				授業形態	講義
到達目標	世界の地域・国々・主な都市・有名観光地を覚える					
使用テキスト	海外観光地理サブノート 国内観光地理サブノート JTB総合研究所					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					

	テーマ	授業内容
1回	ガイダンス 時差の知識	・授業の進め方、評価法、授業の諸注意 世界地図の味方 世界遺産について GMTとDST
2回	西欧	白地図:ヨーロッパ中央 3レター・時差・有名観光地 世界遺産:英国
3回	北欧	白地図:地中海 3レター・時差・有名観光地 世界遺産:北欧
4回	南欧	白地図:ヨーロッパ 3レター・時差・有名観光地 世界遺産:スペイン
5回	南欧	白地図:ヨーロッパ 3レター・時差・有名観光地 世界遺産:フランス
6回	南欧	白地図:ヨーロッパ 3レター・時差・有名観光地 世界遺産:イタリア
7回	東アジア	白地図:東アジア 3レター・時差・有名観光地 世界遺産:韓国
8回	東南アジア	白地図:東南アジア 3レター・時差・有名観光地 世界遺産:中国
9回	東南アジア	白地図:南アジア 3レター・時差・有名観光地 世界遺産:タイ周辺
10回	南アジア	これまでの、振り返り 主要観光地おさらい インド
11回	北米	白地図:北アメリカ 3レター・時差・有名観光地 世界遺産:ロッキー山脈
12回	南米	白地図:南アメリカ 3レター・時差・有名観光地 世界遺産:マヤ文明
13回	オセアニア	白地図:オーストラリア・ニュージーランド 3レター・時差・有名観光地 世界遺産:オーストラリア
14回	アフリカ	白地図:アフリカ 3レター・時差・有名観光地 世界遺産:エジプト
15回	期末試験対策	出題傾向説明

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	エアライン科	
科目名	ビジネスマナー				クラス	QR
担当講師(フルネーム)	原田歩				実務経験	有
授業概要(内容)	仕事におけるルールを理解しビジネスマナーの重要性を学ぶ 場面を想定し実技を交えながら学ぶ				授業形態	講義
到達目標	社会人としてのマナーを身につけ、仕事だけではなく日常生活でも気づき実践できるようになる					
使用テキスト	ビジネスマナー基本テキスト					
成績評価方法	・期末試験60%平常点40% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	1
期末試験	△ 授業中に実施					

	テーマ	授業内容
1回	ビジネスマナーの基本	授業の目的、進め方、成績評価方法について 顧客満足とビジネスマナーの関係性について学ぶ 身だしなみチェックをする 場面を想定しクッション言葉を使い分ける 好感を持たれる挨拶を学ぶ
2回	社内のビジネスマナーとルール	PDCAサイクルを理解する 出社時～退社時、休暇のマナーについて学ぶ 報告・連絡・相談の重要性について理解する 指示・命令の受け方を学ぶ
3回	電話のマナー	電話での会話の特徴と注意する点を学ぶ 電話の受け方、掛け方を学ぶ 不在者宛ての電話での対応を学ぶ 伝言メモを作成する
4回	応対のマナー①	事前準備について学ぶ 訪問時の心得を知る 受付時の来客応対を学ぶ
5回	応対のマナー②	廊下、エレベーターでの案内方法を学ぶ 応接室、エレベーター、乗用車における席次を理解する 名刺交換の手順を学ぶ 紹介の順序を理解する
6回	応対のマナー③	アプローチ話法を用い会話をする お茶の出し方について学ぶ 見送りの場所と見送り方について学ぶ
7回	慶弔・贈答のマナー	慶事の種類、服装について学ぶ 祝儀の基本を学ぶ 訃報への適切な対応を学ぶ お見舞いの基本マナーを知る
8回	まとめ	期末試験 復習、および補足

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	エアライン科	
科目名	就職活動講座				クラス	QR
担当講師(フルネーム)	橋本美智子・原田歩				実務経験	有
授業概要(内容)	就職試験に向けて、企業に選ばれる人物となるよう内面と外面を考える。				授業形態	講義
到達目標	信頼され.好印象の人物になるよう、言葉と文字と行動で表現できるようになる。					
使用テキスト	プリント					
成績評価方法	・期末試験70%平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	1
期末試験	△ 授業中に実施					

	テーマ	授業内容
1回	オリエンテーション	求められる人材について/ディスカッション 授業内容と評価について説明する 就職試験の流れを理解する
2回	活動	履歴書の文章について 1仕事について考える 2自己分析 3作成後のフォロー 4面接の心得
3回	活動	表現の仕方 集団面接演習 (実践に即内容)
4回	活動	表現の仕方 集団面接演習 (実践に即内容)
5回	活動	表現の仕方 集団面接演習 (実践に即内容)
6回	活動	表現の仕方 集団面接演習 (実践に即内容)
7回	活動	表現の仕方 集団討議法
8回	まとめ	「表現すること」について

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	エアライン科	
科目名	航空業界受験対策（GS）				クラス	QR
担当講師（フルネーム）	原田歩				実務経験	有
授業概要（内容）	全体で共有し、仲間の意見を参考にしながら進める GSの役割や求められる能力を理解し、ESや面接の対策を行う				授業形態	講義
到達目標	内定を目指し、働く覚悟を持つ					
使用テキスト	プリント					
成績評価方法	・期末試験60%　平常点40% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	1
期末試験	△ 授業中に実施					

	テーマ	授業内容
1回	自己分析	授業の目的、進め方、成績評価方法について 各々の受験状況を確認する 学校生活、部活動、習い事から得たことで現在に活かされていることを共有する 長所・短所を共有する 自己紹介をする
2回	実習の振返り	実習を振返り、実習生ならではの気づきを共有する イレギュラーなど印象に残った事例を共有する 仕事のやりがいとは何かを考える 面接練習
3回	GSとして求められる人物像	GSの業務、役割を復習する GSに求められる能力を考える 仕事の厳しさを考える 面接練習
4回	目指すGS像と女性像	GSとして3年後、5年後、10年後の業務、役割を復習する 目指すGS像と女性像を共有する 人生プランを立てる 面接練習
5回	志望動機	志望動機を見直す 具体的に自分の言葉で伝えられているか確認する 相手に熱意が伝わっているか確認する 面接練習
6回	グループディスカッション	様々な討論方式を紹介する それぞれの役割について復習する 進行のポイントを学び、実践する
7回	復習テスト	復習テスト 面接練習
8回	20代のテーマ	20代のテーマを発表する 仲間にエールを送る まとめ

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	エアライン科	
科目名	航空業界受験対策(CA)				クラス	QR
担当講師(フルネーム)	脇山　奈津美				実務経験	有
授業概要(内容)	エントリシート作成 各選考段階のポイントを理解した面接練習				授業形態	講義
到達目標	内定獲得に必要なスキルを高める					
使用テキスト	なし(オリジナルテキスト使用)					
成績評価方法	平常点100%(出席・課題・授業態度含む) ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	1
期末試験	× 期末試験なし					

	テーマ	授業内容
1回	採用試験準備	□スピーチ □エントリシート作成と添削 □面接練習
2回	採用試験準備	□スピーチ □エントリシート作成と添削 □面接練習
3回	採用試験準備	□スピーチ □エントリシート作成と添削 □面接練習
4回	採用試験準備	□スピーチ □エントリシート作成と添削 □面接練習
5回	採用試験準備	□スピーチ □エントリシート作成と添削 □面接練習
6回	採用試験準備	□スピーチ □エントリシート作成と添削 □面接練習
7回	採用試験準備	□スピーチ □エントリシート作成と添削 □面接練習
8回	採用試験準備	□スピーチ □エントリシート作成と添削 □面接練習

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	エアライン　科
科目名	航空業界受験対策(GH)			クラス	Q・R選択
担当講師(フルネーム)	吉原　正彦			実務経験	有
授業概要(内容)	就職活動の基本的な流れについて講義及び面接練習を行う。 内定が決まった学生は自己啓発に取り組ませる。			授業形態	講義
到達目標	採用試験に向けて具体的な方法を習得させ、目標に向け取り組ませ内定を勝ち取る。				
使用テキスト	専門学校生のための就職内定基本テキスト・就職ノート・プリント				
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 提出物、授業態度を基に評価する。			単位数	1
期末試験	× 期末試験なし				

	テーマ	授業内容
1回	オリエンテーション	授業の進め方、評価方法について説明する 就職活動(学校の規則・手続き等)について学ぶ 最終模擬面接に向けての準備を行う
2回	受験準備	就職活動(情報収集・航空業界の現状・企業研究・受験対策)について学ぶ 求人企業の採用状況について確認する 最終模擬面接を振り返り反省点を補う
3回	受験対策	就職活動(情報収集・航空業界の現状・企業研究・受験対策)について学ぶ 求人企業の採用状況について確認する 内定者は就業に向けての準備を行う
4回	受験対策	就職活動(情報収集・航空業界の現状・企業研究・受験対策)について学ぶ 求人企業の採用状況について確認する 内定者は就業に向けての準備を行う
5回	受験対策	就職活動(情報収集・航空業界の現状・企業研究・受験対策)について学ぶ 求人企業の採用状況について確認する 内定者は就業に向けての準備を行う
6回	受験対策	就職活動(情報収集・航空業界の現状・企業研究・受験対策)について学ぶ 求人企業の採用状況について確認する 内定者は就業に向けての準備を行う
7回	受験対策	就職活動(情報収集・航空業界の現状・企業研究・受験対策)について学ぶ 求人企業の採用状況について確認する 内定者は就業に向けての準備を行う
8回	まとめ	企業別、雇用体系の違いについて学ぶ 企業組織の役割、業務について学ぶ 社会人としての自覚を持たせる

対象学年	1年	学期	前期のみ	学科	エアライン科	
科目名	社会情勢研究				クラス	QR選択
担当講師(フルネーム)	橋本美智子				実務経験	有
授業概要(内容)	社会がどのような状況にあるのか、どのような変化が起きているのかといった社会の情勢を把握する。				授業形態	講義
到達目標	社会の情勢を知ることで、自らが様々な考えに及ぶようになる。					
使用テキスト	新聞　プリントなど					
成績評価方法	・期末試験70%平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	1
期末試験	△ 授業中に実施					

	テーマ	授業内容
1回	オリエンテーション	授業の流れ、評価について 社会情勢とは何かについて理解する
2回	課題研究	社会の傾向と動向 現在～過去～未来 日本における問題について
3回	課題研究	社会の傾向と動向 日本における問題について
4回	課題研究	社会の傾向と動向 日本における問題について
5回	課題研究	社会の傾向と動向 日本における問題について
6回	期中評価	記述試験
7回	課題研究	社会の傾向と動向 世界における問題について
8回	まとめ	社会情勢とは何かについて

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	エアライン科	
科目名	CA受験対策				クラス	QR
担当講師(フルネーム)	脇山　奈津美				実務経験	有
授業概要(内容)	エントリシート作成 各選考段階のポイントを理解した面接練習				授業形態	講義
到達目標	内定獲得に必要なスキルを高める					
使用テキスト	なし(オリジナルテキスト使用)					
成績評価方法	平常点100%(出席・課題・授業態度含む) ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	1
期末試験	× 期末試験なし					

	テーマ	授業内容
1回	採用試験準備	□スピーチ □エントリシート作成と添削 □面接練習
2回	採用試験準備	□スピーチ □エントリシート作成と添削 □面接練習
3回	採用試験準備	□スピーチ □エントリシート作成と添削 □面接練習
4回	採用試験準備	□スピーチ □エントリシート作成と添削 □面接練習
5回	採用試験準備	□スピーチ □エントリシート作成と添削 □面接練習
6回	採用試験準備	□スピーチ □エントリシート作成と添削 □面接練習
7回	採用試験準備	□スピーチ □エントリシート作成と添削 □面接練習
8回	採用試験準備	□スピーチ □エントリシート作成と添削 □面接練習

夜間総合観光

対象学年	1年	学期	前期のみ	学科	夜間総合観光科	
科目名	ホテル・ブライダル業界研究				クラス	Z
担当講師(フルネーム)	小西　翼				実務経験	有
授業概要(内容)	ホテル業界についての基礎知識を学ぶ。 ブライダル業界についての基礎知識を学ぶ。				授業形態	講義＆演習
到達目標	各業界への興味と関心を高め、1年後期からのコース選択に役立てる。					
使用テキスト	ホテルテキスト　基礎から学ぶホテルの概論					
成績評価方法	・期末試験70%　平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					

	テーマ	授業内容
1回	オリエンテーション	自己紹介 前期の学習内容・評価方法について説明 ホテル・ブライダル業界で求められるサービスと働く魅力
2回	ホテルとは何か	様々なホテルの分類…「○○ホテル」
3回	ホテルとは何か	ホテルの歴史・偉人 ホテルに関わる法律「旅館業法」
4回	ホテル内での様々な職種 （宿泊部）	宿泊部の業務内容・専門知識を講義形式で解説
5回	ホテル内での様々な職種 （宿泊部）	宿泊部の業務内容を実技形式で解説
6回	ホテル内での様々な職種 （料飲部）	料飲部の業務内容・専門知識を講義形式で解説
7回	ホテル内での様々な職種 （宴会部・その他の部署）	宴会部およびその他部署の業務内容・専門知識を講義形式で解説
8回	ホテル内での様々な職種 （料飲部・宴会部）	料飲部および宴会部の業務内容を実技形式で解説
9回	ブライダルの基礎知識	ブライダルの定義 「夫婦」とは 挙式・披露宴の種類と形態
10回	婚約について	みなさんの結婚観について 近年増加してきた、ある男女の出会いのきっかけと背景 婚約＝プロポーズ
11回	日本における ブライダルのしきたり	六輝・結納 招待状が届いたら… 「博多祝いめでた」
12回	ブライダルアイテム	ドレス・タキシード 和装 ヘッドドレス・アクセサリー
13回	挙式について	挙式の流れと演出について
14回	披露宴について	披露宴の流れと演出について
15回	前期まとめ	前期授業のまとめと振り返り

対象学年	1年	学期	前期のみ	学科	夜間総合観光科
科目名	観光業界研究（旅行/エアライン/鉄道）			クラス	Z
担当講師（フルネーム）	金森和彦			実務経験	有
授業概要（内容）	【旅行】旅行業界の知識・販売・添乗について講義 【エアライン】航空業界の知識・空港、航空機、業種について講義			授業形態	講義
到達目標	旅行・エアラインの基礎知識を習得する				
使用テキスト	国内カウンター販売　JTB総合研究所				
成績評価方法	【旅行】確認テスト実施（70%）+平常点（小テスト含む）（30%）／【エアライン】確認テスト実施（80%）＋平常点（20%） ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施				

	テーマ	授業内容
1回	旅行①	旅行とは？旅行業の歴史、観光業界の中の旅行業 旅行業界を取り巻く環境、課題をテーマに講義
2回	旅行②	旅行会社の概説 各旅行会社の形態と業務内容、ブランドについて知る 旅行会社の求人について
3回	旅行③	基礎知識①　〈鉄道〉 JRとは？JR各社と路線（新幹線・在来線特急）、営業規則を確認 JR時刻表の使い方
4回	旅行④	基礎知識②　〈航空〉 国内線の航空会社、路線、運賃種別、営業規則を確認
5回	旅行⑤	基礎知識③　〈フェリー・バス〉 日本国内のフェリー会社、路線、バスの種別を確認
6回	旅行⑥	旅行業界の業界用語、言い回し 旅行パンフレットの見方、カウンターでのロールプレイを通して実践
7回	旅行⑦	添乗業務／業務の流れ（準備・添乗・精算）、添乗あいさつ、案内の言い回しなどをロールプレイを通して実践
8回	確認テスト	確認テストを実施。 授業のまとめ、振り返り
9回	エアラインビジネス	航空業界に対するイメージの意見交換を行う 航空会社の業務とそれを取り巻く関連会社の業務について学ぶ 空港の旅客、貨物取扱い能力について学ぶ
10回	航空業界とは	航空輸送事業の歴史と近年の動向について学ぶ 航空会社の新規参入と格安航空会社（LCC)の台頭について学ぶ 航空会社グループ化の進展（アライアンス）について学ぶ
11回	空港業務の概要	空港の種類、機能及び施設について学ぶ 航空会社及び関連会社について学ぶ 航空機の歴史、活躍中の航空機及び将来の航空機について学ぶ
12回	航空業界の仕事	JAL・ANAグループ航空会社とハンドリング会社の組織と業務内容について説明し学ぶ 日本に就航している格安航空会社について学ぶ
13回	航空業界の仕事	旅客業務の一般的な流れについて学ぶ 運行管理業務、ステーション・コーディネーション業務について学ぶ 運行支援業務（グランドハンドリング業務）について学ぶ
14回	航空業界の仕事	整備業務、ケータリング業務について学ぶ 航空貨物業務について学ぶ 航空保安対策基準について学ぶ
15回	確認テスト	航空業界の今後の動向について学ぶ 確認テストを実施 授業のまとめ

対象学年	1年	学期	通年	学科	夜間総合観光科	
科目名	就職活動講座(LHR)				クラス	Z
担当講師(フルネーム)	金森和彦				実務経験	有
授業概要(内容)	就職活動に向けて意識を高め、具体的な行動と準備ができるようになる。 この授業はLHRと平行して行う				授業形態	講義
到達目標	就職活動に必要な必要事項の完成を目指す					
使用テキスト	就職ノート					
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 平常点(授業態度　就職活動の姿勢)80%　レポート・演習20%				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					

	テーマ	授業内容
1回	就職活動の心構え	就職活動とは・学生と社会人の違い・なぜ働くのか？ 採用の基準(求められる人材・一緒に働きたい人とは)
2回	就職活動の基本	入社試験の内容と流れ 就職活動のルール 当学科の2年間
3回	自己分析	あなたのモットー・座右の銘は？
4回	自己分析	キャリアプラン・ライフプラン 自身の経験をもとに自己分析を行なう 入学理由・業界や職種に興味を持ったきっかけ
5回	自己分析	もっとも打ち込んだ事は？ 現在の生活状況やアルバイトから自身の強みを考える
6回	自己分析	自身はクラスメイトからどのように思われている？ 前回までの授業の続き
7回	自己PR	自己PRの作り方
8回	自己PR	パーソナルチェック(挫折経験・ストレス解消法・趣味・特技)
9回	質問事例	接客・サービス・おもてなしについての質問 感動のサービス・お客様に満足していただくためには
10回	質問事例	職業観についての質問
11回	コミュニケーションスキル	自分の意見を伝えるためには…「結論から話す」 結論から話す練習
12回	企業研究	働きたい会社を見つけて志望動機につなげる
13回	履歴書作成	履歴書の記入項目と書き方 文章のまとめ方・志望動機と自己PR以外の項目の書き方
14回	履歴書作成	志望動機&自己PR完成
15回	まとめ	履歴書完成

対象学年	2年	学期	通年	学科	夜間総合観光科	
科目名	コミュニケーションイングリッシュ				クラス	Z
担当講師(フルネーム)	Geoffrey Wolfson				実務経験	無
授業概要(内容)	Doing self introductions. Making various presentations about oneself. Asking and answering various questions with a partner. Practicing role plays. Understanding various culture points.				授業形態	講義
到達目標	To improve students' fluency and ability to use simple English at work and socially. To raise their confidence levels using simple English by creating more opportunities for the students to speak.					
使用テキスト	Challenge book #4、Hotel English Booklet (Front staff)、Warm-up Booklet 2、Vocabulary Book(Noun)					
成績評価方法	・期末試験50%　平常点50% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					

	テーマ	授業内容
1回	Orientation Warm Up: P1, Vocabulary: P1 Challenge Book: P7-8 Hotel Dialog: 1	Orientation：Explanation about Class rules Presentation and Q&A: Beginner's Test, Self-introduction Nouns starting with A, Service Greetings & Phrases 1 (left side)
2回	Warm Up: P1, Vocabulary: P1 Challenge Book: P7-8 Hotel Dialog: 1	Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Presentation and Q&A: Beginner's Test, Self-introduction Sentences using nouns starting with A, Service Greetings & Phrases 1 (left side)
3回	Warm Up: P1, Vocabulary: P2 Challenge Book: P9 Hotel Dialog: 2	Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Q&A: Personal Information Nouns starting with B, Service Greetings & Phrases 1 (left side)
4回	Warm Up: P2, Vocabulary: P2 Challenge Book: P9 Hotel Dialog: 2	Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Q&A: Personal Information Sentences using nouns starting with B, Service Greetings & Phrases 1 (left side)
5回	Warm Up: P2, Vocabulary: P3 Challenge Book: P10 Hotel Dialog: 3A	Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Presentation: Introducing a Friend Nouns starting with C, Service Greetings & Phrases 1 (left side)
6回	Warm Up: P2, Vocabulary: P3 Challenge Book: P10 Hotel Dialog: 3A	Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Presentation: Introducing a Friend Sentences using nouns starting with C, Service Greetings & Phrases 1 (right side)
7回	Warm Up: P3, Vocabulary: P4 Challenge Book: P11 Hotel Dialog: 3B	Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Q&A: Family Test Nouns starting with D, Service Greetings & Phrases 1 (right side)
8回	Warm Up: P3, Vocabulary: P4 Challenge Book: P11 Hotel Dialog: 3B	Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Q&A: Family Test Sentences using nouns starting with D, Service Greetings & Phrases 1 (right side)
9回	Warm Up: P3, Vocabulary: P5 Challenge Book: P12 Hotel Dialog: 3C	Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Presentation: My Family Presentation Nouns starting with E, Service Greetings & Phrases 1 (right side)
10回	Warm Up: P4, Vocabulary: P5 Challenge Book: P12 Hotel Dialog: 3C	Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Presentation: My Family Presentation Sentences using nouns starting with E, Service Greetings & Phrases 1 (right side)
11回	Warm Up: P4, Vocabulary: P6 Challenge Book: P13 Hotel Dialog: 4	Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Q&A: Sports Interview Nouns starting with F, Service Greetings & Phrases 1 (whole page)
12回	Warm Up: P4, Vocabulary: P6 Challenge Book: P13 Hotel Dialog: 4	Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Q&A: Sports Interview Sentences using nouns starting with F, Service Greetings & Phrases 1 (whole page)
13回	Warm Up: P5, Vocabulary: P7 Challenge Book: P14 Hotel Dialog: 5A	Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Presentation: My Favorite Sport Nouns starting with G, Service Greetings & Phrases 1 (whole page)
14回	Warm Up: P5, Vocabulary: P7 Challenge Book: P14 Hotel Dialog: 5A, Test	Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Presentation: My Favorite Sport Sentences using nouns starting with G, Service Greetings & Phrases 1 (whole page)
15回	Warm Up: P5, Vocabulary: P8 Challenge Book: P15 Hotel Dialog: 5B, Test	Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Q&A: Cuisine Interview Nouns starting with H, Service Greetings & Phrases 1 (whole page)

対象学年	2年	学期	通年	学科	夜間総合観光科	
科目名	web広告戦略				クラス	Y
担当講師(フルネーム)	坂井　隆仁				実務経験	有
授業概要(内容)	前期でPCを使う上での基本的な知識を、Officeを使用し学習していきます。				授業形態	実技
到達目標	パソコンを使って色々な事ができる人材になっていきましょう。					
使用テキスト	特になし。課題、資料等はデータで配布予定。					
成績評価方法	・授業内課題70点 出席30点				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					

	テーマ	授業内容
1回	オリエンテーション	スケジュール確認、タイピング練習 ファイルの保存、管理、提出方法について 画像について
2回	画像を加工してみよう	画像の取得方法について 画質、ファイル形式について
3回	Wordでチラシ作成	Wordでチラシ作成 課題作成
4回	Canvaを使ってみよう	Canvaについて チラシを作ってみよう
5回	PowerPoint応用	PowerPointに動画を入れる方法 分割印刷 テンプレートについて
6回	PowerPoint課題作成①	チーム別に課題作成
7回	PowerPoint課題作成②	チーム別に課題作成
8回	PowerPoint課題作成③	チーム別に課題作成
9回	PowerPoint課題作成④	チーム別に課題作成 課題の振り返り
10回	Excelで広告スケジュール作成①	Excelでスケジュール作成 条件付き書式を使いこなしてみましょう。
11回	Excelで広告スケジュール作成②	Excelでスケジュール作成 条件付き書式を使いこなしてみましょう。
12回	バナーについて①	canvaで実際にバナーを作りましょう。 色々なWebサイトを見てどんなバナーがあるか調査してみましょう。
13回	バナーについて②	canvaで実際にバナーを作りましょう。 テーマ別にバナーを作成
14回	スマホアプリで動画作成	スマホを使って動画作成 グリーンバックを使って合成動画を作成
15回	振り返り	今まで学習した内容を復習します。

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	夜間総合観光科	
科目名	面接対策				クラス	Y
担当講師(フルネーム)	小林　俊也				実務経験	有
授業概要(内容)	就職内定に向けて模擬面接を中心に面接対策を行う。 尚、内定取得者に対しては、社会人としての心構え等指導する。				授業形態	講義
到達目標	全員内定できる面接レベルを目標とする					
使用テキスト	適宜プリント配布					
成績評価方法	・平常点100% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					

	テーマ	授業内容
1回	オリエンテーション	・前期面接対策の振り返り ・現在の志望状況と就職活動状況確認
2回	模擬面接①	・グループ面接(基本パターンの確認) ・フィードバック
3回	模擬面接②	・グループ面接(基本パターンの確認) ・フィードバック
4回	模擬面接③	・グループ面接(基本パターンの確認) ・フィードバック
5回	模擬面接④	・グループ面接(応用) ・フィードバック
6回	就職活動報告会	・修飾活動報告と今後のスケジュール
7回	模擬面接⑥	・グループ面接(応用) ・フィードバック
8回	内定者報告会	・面接シチュエーション及び内容の共有
9回	未内定者対策	・個人面接 ※内定者については、入社に向けての課題・準備
10回	未内定者対策	・個人面接 ※内定者については、入社に向けての課題・準備
11回	未内定者対策	・個人面接 ※内定者については、入社に向けての課題・準備
12回	未内定者対策	・個人面接 ※内定者については、入社に向けての課題・準備
13回	未内定者対策	・個人面接 ※内定者については、入社に向けての課題・準備
14回	未内定者対策	・個人面接 ※内定者については、入社に向けての課題・準備
15回	新社会人に向けて	・新社会人に向けTの決意発表 ・入社までの学校生活の送り方

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	夜間総合観光科	
科目名	ホテル総論				クラス	Y①
担当講師(フルネーム)	小西 翼				実務経験	有
授業概要(内容)	ホテルを構成する組織の構造や専門知識を学ぶ。 ホテル業界のこれからの動向について考える。				授業形態	講義＆演習
到達目標	専門知識及びホテルビジネスの環境変化を学び、時代に取り残されない考え方を持てるようになる。					
使用テキスト	ホテルビジネス 基礎編					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					

	テーマ	授業内容
1回	ホテルで働くという事	他業種との違い 勤務形態(日勤・夜勤、二交代・三交代) 様々な雇用形態(正社員・契約社員など)
2回	ホテリエに関わる資格	資格試験の過去問題に挑戦
3回	ホテリエに関わる資格	前回の過去問題についての解説
4回	ホテルを構成する3要素	ハードウェア ソフトウェア ヒューマンウェア
5回	宿泊部門に関わる 様々な指標	客室稼働率 客室平均単価 RevPAR
6回	ビバレッジ	酒の種類 ワインの基礎知識
7回	ビバレッジ	ビールの基礎知識
8回	ビバレッジ	スピリッツの基礎知識
9回	ビバレッジ	日本酒の基礎知識
10回	ビバレッジ	焼酎の基礎知識
11回	ビバレッジ	リキュールの基礎知識
12回	ホテルを取り巻く環境	旅行会社との関わり インターネット予約のメリット・デメリット 高級化・低価格化
13回	ホテルの社会的責任	ホテルの防災 食中毒・食物アレルギーへの対応、高齢者・障がい者等への対応 個人情報・プライバシー
14回	これからのホテル	環境への配慮 本業回帰？新規事業？ マルチタスク化
15回	前期まとめ	前期のまとめと振り返り

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	夜間総合観光科	
科目名	観光ゼミ				クラス	Y②
担当講師(フルネーム)	宮原英利				実務経験	有
授業概要(内容)	観光関連業務のうち、海外旅行業務にはどのようなものが有るかを、旅行業、運送業を中心にその業務内容を学ぶ				授業形態	講義
到達目標	観光関連産業それぞれが、相互にどのように繋がりを持っているかを理解し、観光関連産業全体を把握することを目指す					
使用テキスト	旅行業務入門(編集・発行　JTB総合研究所)					
成績評価方法	・期末試験60%、課題10%、 平常点20%とし、総合的に評価する ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					

	テーマ	授業内容
1回	オリエンテーション	使用テキストの紹介と授業の進め方。 旅行業務取扱管理者試験との関係の説明 成績評価の説明等
2回	旅行業務	旅行会社が取扱う商品には何が有るかを学ぶ 観光関連産業と旅行会社の関係を学ぶ 旅行会社の業務と組織を学ぶ
3回	旅行会社の海外商品①	海外商品にはどのようなものが有るかを学ぶ(募集型企画旅行商品)
4回	旅行会社の営業①	募集型企画旅行商品の販売はどのように行われるかを学ぶ
5回	旅行会社の海外商品②	海外商品にはどのようなものが有るかを学ぶ(受注型企画旅行商品)
6回	旅行会社の営業②	受注型企画旅行商品の販売はどのように行われるかを学ぶ
7回	旅行会社の海外商品③	海外商品にはどのようなものが有るかを学ぶ(手配旅行商品)
8回	旅行会社の営業③	手配旅行商品の販売はどのように行われるかを学ぶ
9回	運送(交通)機関①	海外旅行を行う上で必要不可欠な交通機関である航空会社とはどのようなものであるかを学ぶ 航空会社の仕事はとは何かを学ぶ 航空会社の運送業としての特殊性を学ぶ
10回	運送(交通)機関②	航空会社の空港業務とはどのようなものかを学ぶ
11回	運送(交通)機関③	航空会社の販売(営業)とはどのようなものかを学ぶ
12回	運送(交通)機関④	航空会社の海外支店とはどのようなものかを学ぶ
13回	旅行会社のこれからについて	旅行会社を取り巻く周りの環境を学ぶ
14回	航空会社のこれからについて	航空会社を取り巻く周りの環境を学ぶ
15回	まとめ	これからの観光関連企業を発展につなげる方策を学ぶ

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	夜間総合観光科	
科目名	空港実務				クラス	Y選択
担当講師(フルネーム)	原田歩				実務経験	有
授業概要(内容)	海外の空港や航空会社の特徴、国際線におけるルールを学ぶ 障害のあるお客さまについて学ぶ				授業形態	講義
到達目標	国際線の基礎およびユニバーサルサービスについて理解する					
使用テキスト	ANAグランドスタッフ入門					
成績評価方法	・期末試験80%　平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					

	テーマ	授業内容
1回	海外の空港	授業の目的、進め方、成績評価方法について理解する 海外の空港について学ぶ 海外の空港・都市の3レターについて学ぶ
2回	海外の航空会社	海外の航空会社を知る 各航空会社の特徴を学ぶ 各航空会社の2レターを覚える
3回	出入国書類	パスポートについて学ぶ ビザについて学ぶ 出入国書類に関する航空会社の責任について学ぶ
4回	CIQ①	CIQの役割を理解する 国際線における手続きを学ぶ 国際線におけるお客さまの流れを学ぶ
5回	CIQ②	CIQの役割を理解する 国際線における手続きを学ぶ 国際線におけるお客さまの流れを学ぶ
6回	アライアンス	世界のアライアンスを知る 各アライアンスの加盟航空会社を知る アライアンス加盟によるメリットを説明できるようになる
7回	保安	アメリカ同時多発テロ事件について学ぶ 全日空機ハイジャック事件について学ぶ 安全についてより一層理解を深める
8回	キャビンサービス	客室の設備を知る 客室乗務員の役割を理解する ドリンクサービス、アナウンスを体験する
9回	視覚障害者へのサービス①	視覚障害者についての基本知識を習得する 介助犬について学ぶ 盲導犬について理解を深める
10回	視覚障害者へのサービス②	全盲体験をする
11回	視覚障害者へのサービス③	手引きの方法を学ぶ
12回	聴覚障害者へのサービス	聴覚障害者の基本知識を習得する 日常生活において不自由に感じることについて共有する 様々なコミュニケーション方法について学ぶ
13回	肢体障害者へのサービス	肢体障害者についての基本知識を習得する 自走体験をする 車椅子をご利用の方への接客方法を学ぶ
14回	イレギュラー	欠航や遅延の理由を学ぶ 会社都合、不可抗力について学ぶ イレギュラー時の基本的な応対方法を学ぶ
15回	まとめ	復習、および補足

国際ホテルマネジメント

対象学年	1年	学期	通年	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	ホテル総論				クラス	S
担当講師(フルネーム)	小西翼				実務経験	有
授業概要(内容)	ホテリエとして理解しておくべき基礎知識を学ぶ。				授業形態	講義
到達目標	ホテルの専門知識を学び、即戦力としての力を身に付ける。					
使用テキスト	ホテルテキスト 基礎から学ぶ ホテルの概論					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					

	テーマ	授業内容
1回	オリエンテーション	自己紹介 前期の学習内容について説明 評価方法について説明
2回	様々なホテルの分類	様々な「○○ホテル」
3回	様々なホテルの分類	様々な資本形態 様々な経営・運営方法
4回	ホテルの歴史 ホテルに関わる法律	ホテルの起源・偉人 旅館業法
5回	ホテル内の様々な職種	宿泊部の業務と役割
6回	ホテル内の様々な職種	料飲部の業務と役割 宴会部の業務と役割
7回	ホテル内の様々な職種	管理部門の職種と役割 営業部門の職種と役割 調理部門の職種と役割
8回	宿泊部門の基礎知識	客室の構造によるタイプの分類 客室からの眺望
9回	宿泊部門の基礎知識	宿泊の料金設定 予約からチェックイン、チェックアウトまで
10回	料飲部門の基礎知識	ホテルの料飲施設の種類 ホテルレストランの朝食 人気のホテル朝食ランキング
11回	料飲部門の基礎知識	ホテルレストランのランチとディナー アフタヌーンティーについて フランス料理について
12回	ホテルスタッフに 求められる能力	スペシャリスト・ジェネラリスト 資質と能力 身だしなみ
13回	ホテルスタッフに 求められる能力	言葉遣い(丁寧語・尊敬語・謙譲語)
14回	ホテルで働くという事	他業種との違い 勤務形態(日勤・夜勤、二交代・三交代) 様々な雇用形態(正社員・契約社員など)
15回	前期まとめ	前期の学習内容についてのまとめ、振り返り

対象学年	1年	学期	通年	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	フロントサービス				クラス	S
担当講師(フルネーム)	松本　範子				実務経験	有
授業概要(内容)	宿泊部門(ドアマン、ベルマン、ハウスキーピング)の業務内容、 及び他部門との連帯作業を学ぶ。				授業形態	講義＆演習
到達目標	宿泊部門(ドアマン、ベルマン、ハウスキーピング)の日常業務の理解と技術取得					
使用テキスト	ホテルテキスト宿泊Ⅱ フロント・サービス編					
成績評価方法	・期末試験70%　平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					

	テーマ	授業内容
1回	オリエンテーション	成績評価、授業スケジュールについて説明 ホテルとは
2回	フロントサービスとは	サービスとは ホテルのサービス
3回	フロントサービスとは	組織と業務 フロントサービスを担当する職種
4回	フロントサービスとは	フロントサービス従事者の基本 各種施設
5回	ドアマンの業務	ドアマンの業務と心構え お客様の送迎
6回	ドアマンの業務	玄関周囲での業務 ドアマン実技
7回	ドアマンの業務	案内業務 ドアマン業務のまとめ
8回	ベルマンの業務	ベルマンの業務と心構え
9回	ベルマンの業務	接客サービス チェックイン・チェックアウト
10回	ベルマンの業務	接客サービス ルームチェンジ・インフォメーション
11回	ベルマンの業務	ロビー管理の仕事 預かり物の取り扱い
12回	ベルマンの業務	その他の業務 他部門のヘルプ、及び代行の仕事
13回	ベルマンの業務	ベルマン業務のまとめ 実際に案内をしてみよう
14回	クロークの業務	クロークとは 荷物の預かり方
15回	まとめ	前期のまとめ・期末対策

対象学年	1年	学期	通年	学科	国際ホテルマネジメント 科	
科目名	レストランオペレーション				クラス	S
担当講師(フルネーム)	長野 美穂				実務経験	有
授業概要(内容)	料飲サービスにおける基本動作、知識を学ぶ 企業実習を意識した講義と実践を行う				授業形態	講義＆演習
到達目標	企業実習にむけて日本の料飲サービスの基礎を身に付ける					
使用テキスト	なし					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					

	テーマ	授業内容
1回	オリエンテーション	授業の目的と進め方、評価方法について説明する 身だしなみと歩き方のチェック 姿勢改善トレーニング
2回	料飲部門の概要	レストランの種類について学ぶ FB部門の特徴を知る テーブルクロスの取り扱い方を実践、チェアサービス
3回	フランス料理①	シルバーウェアの基礎知識と取り扱い方を学ぶ テーブルクロスの取り扱い方の復習と実践
4回	フランス料理②	シルバーウェアの基礎知識と取り扱い方を学ぶ フルコースの流れを学ぶ テーブルセッティングを行う
5回	フランス料理③	グラスウェアの基礎知識と取り扱い方を学ぶ ウォーターピッチャーのサービス
6回	フランス料理④	レストラン用語を学ぶ トーションの扱い方を学ぶ トレーサービス実践
7回	その他の西洋料理	イタリア料理を知る トレーサービス復習
8回	ドリンク①	コーヒーについて学ぶ ナプキンの折り方実践
9回	ドリンク②	ティーについて学ぶ ナプキンの折り方実践
10回	ドリンク③	アンフュージョンについて学ぶ 皿サービス実践
11回	日本料理①	会席料理について学ぶ 和室での立居振舞い実践
12回	日本料理②	箸につい手の知識を学ぶ 箸の持ち方実践 お銚子の扱い方
13回	アルコールについて	日本酒・焼酎について サーバー(ウェスタン)サービス
14回	期末試験課題発表	期末試験の課題を発表 練習
15回	期末試験	実技試験(スーツ着用) 制限時間内に課題ロールプレイングを行う

対象学年	1・2・3年共通	学期	通年	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	TOEIC I				クラス	S, U, T日本人
担当講師(フルネーム)	志岐美佳・中牟田登喜枝				実務経験	有
授業概要(内容)	TOEIC Iの語彙、文法知識を高める TOEIC 試験形式に慣れ聴解力を高める				授業形態	講義
到達目標	TOEIC テストの理解と受験準備をする					
使用テキスト	TOEIC Listening & reading 問題集5					
成績評価方法	・期末試験50%　小テスト、平常点50% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					

	テーマ	授業内容
1回	オリエンテーション	授業内容、評価方法 サンプル問題 単語①
2回	公式TOEIC test 1	単語② Part1＆2 文法
3回	公式TOEIC test 1	単語③ Part3 文法
4回	公式TOEIC test 1	単語テスト―1回目 Part4 文法
5回	公式TOEIC test 2	単語④ Part1＆2 文法
6回	公式TOEIC test 2	単語⑤ Part3 文法
7回	公式TOEIC test 2	単語⑥ Part4 文法
8回	配布プリント テスト1	単語⑦ Part1＆2 文法
9回	配布プリント テスト1	単語⑧ Part3 文法
10回	配布プリント テスト1	単語⑨ Part4 文法
11回	配布プリント テスト2	単語テスト―3回目 Part1＆2 文法
12回	配布プリント テスト2	単語⑩ Part3 文法
13回	配布プリント テスト2	単語⑪ Part4 文法
14回	配布プリント テスト3	単語⑫ Part1＆2 文法
15回	配布プリント テスト3	単語⑬ Part3 文法

対象学年	1・2・3年共通	学期	通年	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	TOEIC II				クラス	S, U, T日本人
担当講師(フルネーム)	志岐美佳・中牟田登喜枝				実務経験	有
授業概要(内容)	TOEIC Iの語彙、文法知識を高める TOEIC 試験形式に慣れ聴解力を高める				授業形態	講義
到達目標	TOEIC テストの理解と受験準備をする					
使用テキスト	TOEIC Listening & reading 問題集5					
成績評価方法	・期末試験50%　小テスト、平常点50% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					

	テーマ	授業内容
1回	公式TOEIC test 1	単語① Part5 文法
2回	公式TOEIC test 1	単語② Part6 文法
3回	公式TOEIC test 1	単語③ Part7－1 文法
4回	公式TOEIC test 1	単語④ Part7－2 文法
5回	公式TOEIC test 1	単語⑤ Part7－3 文法
6回	公式TOEIC test 2	単語⑥ Part5 文法
7回	公式TOEIC test 2	単語テスト―2回目 Part6 文法
8回	公式TOEIC test 2	単語⑦ Part7－1 文法
9回	公式TOEIC test 2	単語⑧ Part7－2 部
10回	公式TOEIC test 2	単語⑨ Part7－3 文法
11回	配布プリント reading テスト1	単語⑩ Part5 文法
12回	配布プリント reading テスト1	単語⑪ Part6 文法
13回	配布プリント reading テスト2	単語⑫ Part5 文法
14回	配布プリント reading テスト2	単語テスト―4回目 Part6 文法
15回	配布プリント reading テスト3	単語⑬ Part5 文法

対象学年	1・2年共通	学期	前期のみ	学科	国際ホテルマネジメント
科目名	日本語能力試験対策Ⅰ（語彙）			クラス	S,U留①
担当講師（フルネーム）	永吉美知子			実務経験	無
授業概要（内容）	1課を1週間を目安に進める。毎回小テストを行うので 十分な予習復習が必要となる 試験前は過去問題や模擬テストを行う			授業形態	講義
到達目標	能力試験 N1合格				
使用テキスト	新完全マスター N1・過去問				
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施				

	テーマ	授業内容
1回	7章1課・P64	経済・産業用語 意味がたくさんある言葉
2回	7章2課・P65	前回復習 小テスト 政治・法律・歴史用語 意味がたくさんある言葉
3回	7章3課・P66・	前回復習 小テスト 社会問題用語 意味がたくさんある言葉
4回	8章1課	前回復習 小テスト 自然・地形 意味がたくさんある言葉の短文
5回	8章2課・P70	前回復習 小テスト 技術 意味がたくさんある言葉（動詞）
6回	9章1課・P71	前回復習 小テスト 時間・空間 意味がたくさんある言葉（動詞）
7回	9章2課・P72	前回復習 小テスト 関係・変化 意味がたくさんある言葉（動詞）
8回	7章～9章・P73	復習テスト 短文作成
9回	2部P74-77	短文作成テスト 基礎練習
10回	2部P78-81	前回復習 小テスト 意味が似ている言葉 副詞・形容詞
11回	模擬テスト	FB
12回	模擬テスト	FB
13回	2部P84-89	意味が似ている語彙（動詞・名詞）
14回	2部3章P90-95	前回復習テスト 意味が似ている語彙（漢語）
15回	期末対策	総復習

対象学年	1・2年共通	学期	通年	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	日本語能力試験対策Ⅰ				クラス	SU②
担当講師(フルネーム)	小林千春				実務経験	有
授業概要(内容)	日本語能力試験N2語彙対策				授業形態	講義
到達目標	日本語能力試験N2合格または同等レベルの日本語能力をつける					
使用テキスト	新完全マスター語彙　日本語能力試験N2					
成績評価方法	・期末試験70%　平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					

	テーマ	授業内容
1回	人間に関する語彙	親類・友人・知人 人の性格・特長
2回	人間に関する語彙 生活に関する語彙	人に対する感情・行動 食生活
3回	生活に関する語彙	家事 健康
4回	生活に関する語彙 趣味・娯楽に関する語彙	健康 趣味・娯楽
5回	旅行に関する語彙	旅行・交通 自然
6回	旅行に関する語彙 教育と仕事に関する語彙	旅行・交通 学校
7回	教育と仕事に関する語彙 メディアに関する語彙	仕事 報道・広告
8回	メディアに関する語彙 社会に関する語彙	コンピューター 行事
9回	社会に関する語彙 模擬試験	事件・事故・災害 模擬試験
10回	社会に関する語彙 模擬試験	経済・産業 模擬試験
11回	社会に関する語彙 模擬試験	政治・法律・歴史 模擬試験
12回	科学に関する語彙	自然 科学・技術
13回	抽象概念に関する語彙	数量を表す言葉 時間・空間の言葉
14回	意味がたくさんある言葉	動詞①
15回	意味がたくさんある言葉	動詞②

対象学年	1・2年共通	学期	通年	学科	国際ホテルマネジメント科
科目名	日本語能力試験対策能試対策Ⅱ　聴解・漢字			クラス	SU①
担当講師(フルネーム)	小林千春			実務経験	有
授業概要(内容)	日本語能力試験N1聴解対策 日本語能力試験N1漢字対策			授業形態	講義
到達目標	日本語能力試験N1合格または同等レベルの日本語能力をつける				
使用テキスト	新完全マスター聴解　日本語能力試験N1／日本語能力試験徹底トレーニングN1聴解／新完全マスター漢字　日本語能力試験N1				
成績評価方法	・期末試験70%　平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施				

	テーマ	授業内容
1回	聴解:問題紹介 漢字:訓読み	聴解:問題紹介・音声の特徴になれる 漢字:第1部　第1回　動詞Aレベル(1)～(3)
2回	聴解:即時応答 漢字:訓読み	聴解:「即時応答」のスキルを学ぶ① 漢字:第1部　第2回　動詞Aレベル(4)～(7)
3回	聴解:即時応答 漢字:訓読み	聴解:「即時応答」のスキルを学ぶ② 漢字:第1部　第3回　動詞Bレベル(1)～(3)
4回	聴解:課題理解 漢字:訓読み	聴解:「課題理解」のスキルを学ぶ① 漢字:第1部　第4回　動詞Bレベル(4)～(6)
5回	聴解:課題理解 漢字:訓読み	聴解:「課題理解」のスキルを学ぶ② 漢字:第1部　第5回　動詞Cレベル(1)～(3)
6回	聴解:ポイント理解 漢字:訓読み	聴解:「ポイント理解」のスキルを学ぶ① 漢字:第1部　第6回　動詞Cレベル(4)～(6)
7回	聴解:ポイント理解 漢字:訓読み	聴解:「ポイント理解」のスキルを学ぶ② 漢字:第1部　第7回　い形容詞(1)・(2)
8回	聴解:ポイント理解 漢字:訓読み	聴解:「ポイント理解」のスキルを学ぶ③ 漢字:第1部　第8回　な形容詞　副詞・その他
9回	聴解:概要理解 漢字:訓読み	聴解:「概要理解」のスキルを学ぶ① 漢字:第1部　第9回　名詞(1)道具　(2)人・衣服　(3)身体・感情　＋『音の濁り』
10回	聴解:概要理解 漢字:訓読み	聴解:「概要理解」のスキルを学ぶ② 漢字:第1部　第10回　名詞(4)自然　(5)植物・食物　(6)建造物・形状
11回	聴解:模擬試験 漢字:訓読み	聴解:模擬試験 漢字:第1部　第11回　名詞(7)野生・生活　(8)経済・生活　(9)時・空間　＋『言葉の構成』
12回	聴解:概要理解 漢字:音読み・特別な読み方	聴解:「概要理解」のスキルを学ぶ③ 漢字:第2部　第12回　「する」がつく名詞(1)／第13回　多くの言葉を作る漢字
13回	聴解:統合理解 漢字:音読み・特別な読み方	聴解:「統合理解」のスキルを学ぶ① 漢字:第2部　『音の変化』／第14回　「する」がつく名詞(2)
14回	聴解:統合理解 漢字:音読み・特別な読み方	聴解:「統合理解」のスキルを学ぶ② 漢字:第2部　第15回　「する」がつく名詞(3)／第16回　「する」がつく名詞(4)
15回	聴解:模擬試験 漢字:音読み・特別な読み方	聴解:模擬試験 漢字:第2部　第17回　な形容詞(1)　＋『形成文字』

対象学年	1・2年共通	学期	通年	学科	国際ホテルマネジメント	
科目名	日本語能力試験対策Ⅱ（漢字・聴解）				クラス	S、U留②
担当講師（フルネーム）	永吉美知子				実務経験	無
授業概要（内容）	聴解後　スクリプトで語彙を確認。聴解は高得点源になる科目であるので その向上を図る・　漢字は完マスの復習　　予習・復習を必ずする				授業形態	講義
到達目標	N2合格					
使用テキスト	新完全マスター　N2・スピードマスター・ドリル＆ドリル　その他					
成績評価方法	・期末試験70%　平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					

	テーマ	授業内容
1回	聴解・20日で合格	N2　聴解問題 N2　漢字復習テスト オリエンテーション
2回	聴解・20日で合格・ 小テスト	小テスト　　完全マスターN2　語彙　　1課 宿題FB
3回	聴解・20日で合格・ 小テスト	小テスト　　完全マスターN2　語彙　　2課 宿題FB
4回	聴解・20日で合格・ 小テスト	小テスト　　完全マスターN2　語彙　　3課 宿題FB
5回	聴解・20日で合格・ 小テスト	小テスト　　完全マスターN2　語彙　　4課 宿題FB
6回	聴解・20日で合格・ 小テスト	小テスト　　完全マスターN2　語彙　　5課 宿題FB
7回	聴解・20日で合格・ 小テスト	小テスト　　完全マスターN2　語彙　　6課 宿題FB
8回	聴解・20日で合格・ 小テスト	小テスト　　完全マスターN2　語彙　　7課 宿題FB
9回	聴解・20日で合格・ 小テスト	小テスト　　完全マスター　語彙　　1課～4課
10回	模擬テスト	FB
11回	模擬テスト	FB
12回	聴解・20日で合格・ 小テスト	小テスト　　完全マスターN2　語彙　　5～7課
13回	聴解・直前模試・ 小テスト	小テスト　　完全マスターN2　語彙　　8課 FB
14回	聴解・直前模試・ 小テスト	小テスト　　完全マスター　語彙　　9課
15回	試験対策	内容確認とFB

対象学年	1・2年共通	学期	前期のみ	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	日本語能力試験対策Ⅲ文法				クラス	SU①
担当講師(フルネーム)	中田　雅美				実務経験	有
授業概要(内容)	①N1文法指導経験。N1文法の導入及び使用練習 ②模擬試験と解答解説				授業形態	講義
到達目標	日本語能力試験N1合格					
使用テキスト	耳から覚える日本語能力試験 文法トレーニングN1					
成績評価方法	・期末試験70%　平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					

	テーマ	授業内容
1回	N1文法の理解と使用	日本語能力試験N1文法について Unit01 「や否や/や」「すら」「ばこそ」「ながらに/の」「なしに(は)」「にひきかえ」文法練習
2回	N1文法の理解と使用	Unit01 「にかかわる」「にもまして」「まみれ」「に即して」「ときたら」「といったらない」「放題」文法練習 Unit01 ディクテーション
3回	N1文法の理解と使用	Unit01 練習問題 Unit02 「ものを」「てからというもの」「ないものでもない」「ことなしに」「という/いったところだ」文法練習
4回	N1文法の理解と使用	Unit02 「べからず/べからざる」「つつ(も」「つつある」「なり」「なり・・・なり」「ずくめ」「とはいえ」 「が早いか」文法練習 Unit02 ディクテーション
5回	N1文法の理解と使用	Unit02 練習問題 Unit03 「だけ」「限りだ」「ものがある」「をものともせず」「であれ・・・であれ」「がいがある/ない」文法練習
6回	N1文法の理解と使用	Unit03 「といい・・・といい」「といえども」「ならまだしも」「に至る/至るまで/至って」「には及ばない」 「ならでは」「と/にしたところで/にしたって」文法練習 Unit03 ディクテーション
7回	N1文法の復習	Unit03 練習問題 Unit01～03 まとめテストと解答解説
8回	N1文法の理解と使用	Unit04 「と思いきや」「きらいがある」「までもない」「までだ」「ば/たらそれまでだ」「ないまでも」 「はおろか」「ではあるまいし」文法練習
9回	N1文法の理解と使用	Unit04 「をよそに」「にかたくない」「となると」「ゆえ」「もさることながら」文法練習 Unit04 ディクテーション、練習問題
10回	N1文法の理解と使用	Unit05 「ずには/ないではすまない」「しまつだ」「にもほどがある」「(よ)うが」「(よ)うが～まいが」 「ともなく」「ごとく」「にたえる」文法練習
11回	N1文法　模擬試験	日本語能力試験N1文法　模擬試験　第1回 解答解説
12回	N1文法　模擬試験	日本語能力試験N1文法　模擬試験　第2回 解答解説
13回	N1文法の理解と使用	Unit05 「にたえない」「かたわら」「いかんで」「のいがんにかかわらず」文法練習 Unit05 ディクテーション、練習問題
14回	N1文法の理解と使用	Unit06 「ずには/ないではおかない」「なりに」「ばかりだ」「んばかりだ」「とばかりに」「に足る」 「をおいて・・・ない」「とあって」文法練習
15回	N1文法の理解と使用	Unit06 「極まる/極まりない」「めく」「からある」「を限りに」「が最後」文法練習 Unit06 ディクテーション、練習問題

対象学年	1・2年共通	学期	通年	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	日本語能力試験対策Ⅲ（文法）				クラス	SU留②
担当講師（フルネーム）	上中眞由美				実務経験	無
授業概要（内容）	日本語能力試験N2対策 N2文法の形・意味を学び練習問題を解く				授業形態	講義
到達目標	日本語能力試験N2合格					
使用テキスト	耳から覚える日本語能力試験文法トレーニングN2					
成績評価方法	・期末試験60%　平常点40% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					

	テーマ	授業内容
1回	N2文法	授業の進め方・評価方法について N3文法テスト テキスト Unit 1
2回	N2文法	N3小テスト 前回の復習テスト テキスト Unit 1
3回	N2文法	N3小テスト 前回の復習テスト テキスト Unit 1
4回	N2文法	N3小テスト 前回の復習テスト テキスト Unit 2
5回	N2文法	N3小テスト 前回の復習テスト テキスト Unit 2
6回	N2文法	N3小テスト 前回の復習テスト テキスト Unit 2
7回	N2文法	N3小テスト 前回の復習テスト テキスト Unit 3
8回	N2文法	N3小テスト 前回の復習テスト テキスト Unit 3
9回	N2文法	N2模擬テスト
10回	N2文法	N2模擬テスト
11回	N2文法	前回の復習テスト テキスト Unit 3
12回	N2文法	前回の復習テスト テキスト Unit 4
13回	N2文法	前回の復習テスト テキスト Unit 4
14回	N2文法	前回の復習テスト テキスト Unit 4
15回	N2文法	テキスト Unit 5 まとめテスト1

対象学年	1・2年共通	学期	通年	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	日本語能力試験対策Ⅳ(読解)				クラス	SU留①
担当講師(フルネーム)	上中眞由美				実務経験	無
授業概要(内容)	日本語能力試験N1対策 N1読解問題を読み読解力をつける				授業形態	講義
到達目標	日本語能力試験N1合格					
使用テキスト	プリント配布					
成績評価方法	・期末試験60%　平常点40% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					

	テーマ	授業内容
1回	N1読解	授業の進め方・評価方法について 読解問題を解き、全体で解答を確認する 1分テスト
2回	N1読解	読解問題を解き、全体で解答を確認する 1分テスト
3回	N1読解	読解問題を解き、全体で解答を確認する 1分テスト
4回	N1読解	読解問題を解き、全体で解答を確認する 1分テスト
5回	N1読解	読解問題を解き、全体で解答を確認する 1分テスト
6回	N1読解	読解問題を解き、全体で解答を確認する 1分テスト
7回	N1読解	読解問題を解き、全体で解答を確認する 1分テスト
8回	N1読解	読解問題を解き、全体で解答を確認する 1分テスト
9回	N1読解	N1模擬テスト
10回	N1読解	N1模擬テスト
11回	N1読解	読解問題を解き、全体で解答を確認する 1分テスト
12回	N1読解	読解問題を解き、全体で解答を確認する 1分テスト
13回	N1読解	読解問題を解き、全体で解答を確認する 1分テスト
14回	N1読解	読解問題を解き、全体で解答を確認する
15回	N1読解	期末テスト＋FB

対象学年	1・2年共通	学期	通年	学科	国際ホテルマネジメント
科目名	日本語能力試験対策Ⅳ（読解）			クラス	SU留②
担当講師（フルネーム）	永吉美知子			実務経験	無
授業概要（内容）	読解問題で不合格になることが多いので 問題の構成・設問の意図の読み取り方などの試験に必要な技術を習得する。速読速解の練習を重点的に行う			授業形態	講義
到達目標	能力試験 N2合格				
使用テキスト	ドリル＆ドリル　読解過去問題　ニュース検定				
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施				

	テーマ	授業内容
1回	N2読解	問題を解き クラス全体で答えを確認する
2回	N2読解	問題を解き クラス全体で答えを確認する
3回	N2読解	問題を解き クラス全体で答えを確認する
4回	N2読解	問題を解き クラス全体で答えを確認する
5回	N2読解	問題を解き クラス全体で答えを確認する
6回	N2読解	問題を解き クラス全体で答えを確認する
7回	N2読解	問題を解き クラス全体で答えを確認する
8回	N2読解	問題を解き クラス全体で答えを確認する
9回	N2読解	問題を解き クラス全体で答えを確認する
10回	模擬試験	FB
11回	模擬試験	FB
12回	N2読解	問題を解き クラス全体で答えを確認する
13回	N2読解	問題を解き クラス全体で答えを確認する
14回	N2読解	問題を解き クラス全体で答えを確認する
15回	N2読解	学期末テスト ・ FB

対象学年	1年	学期	前期のみ	学科	国際ホテルマネジメント科
科目名	日本語ビジネス会話			クラス	Sクラス
担当講師(フルネーム)	恵良　恭子			実務経験	有
授業概要(内容)	各課の機能表現を含んだ会話。ロールプレイによる実際のビジネス場面に近い活動。会話を作ってペアワークで発表。			授業形態	講義
到達目標	ビジネス現場で役に立つ敬語を含む会話表現の習得。				
使用テキスト	『ビジネスのための日本語(中上級)』『日本語で働く！ビジネス日本語30時間』				
成績評価方法	・期末試験70%　平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施				

	テーマ	授業内容
1回	第1課　紹介(1)	はじめに――会社で使う言葉・敬語表(練習) ①新語と基本文型 ②STAGE　1――談話(社内・社外)／ロールプレイ
2回	第1課　紹介(2)	③STAGE　2――聴解で(状況・場面・語彙の説明)・ディクテーション ④STAGE　3――1. 新しい職場で自己紹介　2. 訪問先の受付で自己紹介　3. 社外の人に自己紹介 4. ペアワークで発表(小テスト)
3回	第2課　あいさつ(1)	復習　言葉テスト ①新語と基本文型 ②STAGE　1――談話(社内・社外)／ロールプレイ
4回	第2課　あいさつ(2)	③STAGE　2――聴解で(状況・場面・語彙の説明)・ディクテーション ④STAGE　3――1. 出社時に時に同僚とあいさつ　2. 退社時に同僚とあいさつ　3. 訪問客とあいさつ 4. ペアワークで発表(小テスト)
5回	第3課　許可(1)	復習　言葉テスト ①新語と基本文型 ②STAGE　1――談話(社内・社外)／ロールプレイ
6回	第3課　許可(2)	③STAGE　2――聴解で(状況・場面・語彙の説明)・ディクテーション ④STAGE　3――1. 早退の許可を求める　2. 物を借りる許可を求める　3. 訪問の許可を求める 4. ペアワークで発表(小テスト)
7回	第4課　依頼(1)	復習　言葉テスト ①新語と基本文型 ②STAGE　1――談話(社内・社外)／ロールプレイ
8回	第4課　依頼(2)	③STAGE　2――聴解で(状況・場面・語彙の説明)・ディクテーション ④STAGE　3――1. 提出期限の延期　　2. データ整理の手伝い　　3. 値引きの依頼 4. ペアワークで発表(小テスト)
9回		第1課～第4課 まとめ・復習テスト その他副教材使用
10回	第5課　誘い(1)	①新語と基本文型 ②STAGE　1――談話(社内・社外)／ロールプレイ ③STAGE　2――聴解で(状況・場面・語彙の説明)・ディクテーション
11回	第5課　誘い(2)	④STAGE　3――1. 部長をテニスに誘う　2. 同僚を飲みに誘う　　3. 同業者を勉強会に誘う 4. ペアワークで発表(小テスト)
12回	第6課　電話(1)	①新語と基本文型 ②STAGE　1――談話(社内・社外)／ロールプレイ
13回	第6課　電話(2)	③STAGE　2――聴解で(状況・場面・語彙の説明)・ディクテーション ④STAGE　3――1. 他の部からの電話　2. 同僚からの電話　3. 他社からの電話 4. ペアワークで発表(小テスト)
14回	第6課　電話(3)	『日本語で働くビジネス日本語』――3. 電話をかける・受ける
15回	まとめ	第1課～第6課　会話テスト

対象学年	1年	学期	前期のみ	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	日本地理				クラス	S
担当講師(フルネーム)	山本真美				実務経験	有
授業概要(内容)	旅行業界で海外・国内旅行の実務経験。 日本の主な都市・地勢・観光地を学び、毎回小テストを実施する				授業形態	講義
到達目標	日本の主な都市・地勢・観光地を知識として習得する					
使用テキスト	プリント					
成績評価方法	・期末試験70%　平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					

	テーマ	授業内容
1回	日本地理入門	・授業の進め方、評価方法、提出物の出し方などの注意事項 ・日本の地方区分と都道府県
2回	主要交通機関	・小テスト ・JR6社と新幹線 ・主要空港と国内航空会社
3回	日本の地形	・小テスト ・日本の代表的な山、川、湖
4回	九州①	・小テスト ・福岡、佐賀、長崎県の都市と代表的な観光地
5回	九州②	・小テスト ・熊本、大分県の都市と代表的な観光地
6回	九州③・沖縄	・小テスト ・宮崎、鹿児島、沖縄県の都市と代表的な観光地
7回	中国	・小テスト ・山口、広島、岡山、島根、鳥取県の都市と代表的な観光地
8回	四国	・小テスト ・愛媛、高知、香川、徳島県の都市と代表的な観光地
9回	近畿	・小テスト ・兵庫、大阪、京都、滋賀、奈良、和歌山県の都市と代表的な観光地
10回	北陸	・小テスト ・福井、石川、富山の都市と代表的な観光地
11回	東海	・小テスト ・三重、岐阜、愛知、静岡県の都市と代表的な観光地
12回	甲信越	・小テスト ・長野、新潟、山梨県の都市と代表的な観光地
13回	関東	・小テスト ・神奈川、東京、千葉、埼玉、茨城、栃木、群馬県の都市と代表的な観光地
14回	東北	・小テスト ・福島、宮城、山形、岩手、秋田、青森県の都市と代表的な観光地
15回	北海道	・小テスト ・北海道の都市と代表的な観光地

対象学年	1年	学期	通年	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	現代国語				クラス	S
担当講師(フルネーム)	前田恭子				実務経験	無
授業概要(内容)	日本語で書かれた作品を楽しく、たくさん読むことで、日本語の読解に対するモチベーションを高めます				授業形態	講義
到達目標	日本語で書かれた文をすらすらと読めるようになって、本が好きになりましょう。					
使用テキスト	プリント使用					
成績評価方法	・期末試験70%　平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					

	テーマ	授業内容
1回	オリエンテーション	自己紹介 授業の進め方、評価方法についての説明 授業中のルールを決めましょう
2回	かんたんな文から始める	名作文学をリズミカルに、楽しく読みましょう 簡単(かんたん)な文章(ぶんしょう)から始めましょう
3回	少しずつ読む	名作文学をリズミカルに、楽しく読みましょう 自分のペースで少しずつ読みましょう
4回	長く続ける	名作文学をリズミカルに、楽しく読みましょう 毎日続けることがじょうずになる近道です
5回	知らない言葉も気にしない	名作文学をリズミカルに、楽しく読みましょう 知らない言葉があってもだいじょうぶ。どんどん読みましょう
6回	話を楽しむ	名作文学をリズミカルに、楽しく読みましょう 文法よりも話を楽しむのが大切です
7回	イントネーションに気をつけて読む	名作文学をリズミカルに、楽しく読みましょう すらすら話すにはイントネーションが大切です
8回	間(ま)に気を付けて読む	名作文学をリズミカルに、楽しく読みましょう 相手が聞きやすい間(ま)があります。間(ま)に気をつけてみましょう
9回	言葉をたくさんおぼえる	名作文学をリズミカルに、楽しく読みましょう わからない言葉をしらべてみることも大切です
10回	漢字をおぼえる	名作文学をリズミカルに、楽しく読みましょう 知っている漢字をふやしましょう
11回	聞き取りができるようになる①	名作文学をリズミカルに、楽しく読みましょう 聞いた文を文字で書けるようになりましょう
12回	聞き取りができるようになる②	名作文学をリズミカルに、楽しく読みましょう 句読点(くとうてん)をつけて文を書きましょう
13回	聞き取りができるようになる③	名作文学をリズミカルに、楽しく読みましょう 聞いた話をまとめられるようになりましょう
14回	期末テスト	期末テスト(筆記・実技)をします しっかり勉強しましょう
15回	前期まとめ	前期のまとめ 期末テストのフィードバック 夏休みの宿題(しゅくだい)について説明します

対象学年	2年	学期	通年	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	日本語ビジネス会話				クラス	U
担当講師(フルネーム)	中田　雅美				実務経験	有
授業概要(内容)	①日本企業に勤務する上で必要な会話表現を指導する ②ロールプレイを通して、スムーズな会話を指導する				授業形態	講義
到達目標	日本企業の社内外で遭遇するビジネス場面において、スムーズに業務を行えるようになる					
使用テキスト	にほんごで働く！ビジネス日本語					
成績評価方法	・期末試験70%　平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					

	テーマ	授業内容
1回	紹介する	紹介に必要な表現とことば、様々な場面での自己紹介 BJTビジネス日本語　練習問題
2回	紹介する	自分以外の紹介、敬語 BJTビジネス日本語　練習問題
3回	あいさつする	あいさつに必要な表現とことば、休んだとき BJTビジネス日本語　練習問題
4回	あいさつする	久しぶりに会ったとき、遅刻したとき BJTビジネス日本語　練習問題
5回	電話をかける・うける	電話をかけるときに必要な表現とことば、不在のとき、伝言があるとき BJTビジネス日本語　練習問題
6回	電話をかける・うける	聞き返すとき、電話中に使う敬語 BJTビジネス日本語　練習問題
7回	電話をかける・うける	実践練習 BJTビジネス日本語　練習問題
8回	注意をする 注意を受ける	注意をする・注意を受けるときに必要な表現とことば、注意をする・あやまる BJTビジネス日本語　練習問題
9回	注意をする 注意を受ける	婉曲的に注意する、アドバイスを受ける BJTビジネス日本語　練習問題
10回	注意をする 注意を受ける	苦情を言う・受ける、表現練習 BJTビジネス日本語　練習問題
11回	頼む・断る	頼む・断るときに必要な表現とことば、上司に依頼する BJTビジネス日本語　練習問題
12回	頼む・断る	依頼されたことを確認する、上司の依頼を断る BJTビジネス日本語　練習問題
13回	頼む・断る	交渉する、表現練習 BJTビジネス日本語　練習問題
14回	許可をもらう	許可をもらうときに必要な表現とことば、上司に許可を求める BJTビジネス日本語　練習問題
15回	許可をもらう	他社の人に許可を求める BJTビジネス日本語　練習問題

対象学年	2年	学期	通年	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	就職活動講座				クラス	U
担当講師(フルネーム)	安部紀美江				実務経験	有
授業概要(内容)	・就職試験に真摯に向き合う姿勢を徹底し就職に必要な言葉や文章力を身に付けさせる。				授業形態	講義
到達目標	・面接までの文章作成能力の向上					
使用テキスト	・オリジナルワークシート					
成績評価方法	・期末試験70%　平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					

	テーマ	授業内容
1回	オリエンテーション	・前期授業内容の説明を行う。 ・プロフィール作成。
2回	日本における就職活動	・就職活動の一連の流れの説明　・就職活動用日本語テスト
3回	就職活動に必要なスキル	・ホテル業界の就職活動で必要なスキルと理由　・就職活動用日本語テスト
4回	職業を知る	・業界が求める人を知り自分との接点を探す　・就職活動用日本語テスト
5回	身だしなみの重要性	・身だしなみチェックシートの作成　・就職活動用日本語テスト
6回	自己分析	・自己分析シートを使って自分自身の洗い出しをする
7回	自己分析	・自己分析シートを使って自分自身の洗い出しをする
8回	自己分析	・自己分析シートを使って自分自身の洗い出しをする
9回	自己分析	・自己分析シートを使って自分自身の洗い出しをする
10回	自己PRの作り方	・自己PRの作成方法をキーワードごとに説明し作成してみる
11回	自己PRの作り方	・自己PRの作成方法をキーワードごとに説明し作成してみる
12回	自己PRの作り方	・自己PRの作成方法をキーワードごとに説明し作成してみる
13回	企業研究	・企業研究の重要性と企業研究シートの作成方法を学ぶ
14回	企業研究	・企業研究の重要性と企業研究シートの作成方法を学ぶ
15回	完成品のチェック	・前期提出物のチェック

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	ペン字				クラス	U
担当講師(フルネーム)	塩塚輝美				実務経験	有
授業概要(内容)	1年生時で学んだ文字の基本を活かして履歴書・実用書を学習する 1年生時でも学習した筆ペンを使って日本の文化と習慣を学ぶ				授業形態	講義＆演習
到達目標	この授業で習ったことを他の教科で活かして読みやすい文字を書く					
使用テキスト	オリジナルテキスト・ペン・下敷き・筆ペン					
成績評価方法	提出物70%・小テスト・授業態度30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					

	テーマ	授業内容
1回	文字の基本を学ぶ①	復習 漢字、平仮名、片仮名交じり文の文章の練習～マス目 縦書きの書式を学ぶ
2回	文字の基本を学ぶ②	復習 漢字、平仮名、片仮名交じり文の文章の練習～行
3回	文字の基本を学ぶ3	復習 漢字、平仮名、片仮名、交じり文の文章の練習～行 横書きの書式を学ぶ
4回	実用書を学ぶ①	手紙の書き方 内定後のお礼状の書き方～書き取り練習 縦書きの書式の復習
5回	実用書を学ぶ②	縦長封筒の書き方① 個人宛・企業宛の書き分け方と書式
6回	実用書を学ぶ③	縦長封筒の書き方② 個人宛と企業宛の書き分け方と書式～まとめ
7回	実用書を学ぶ④	A4が入る封筒の書き方① 個人宛と企業宛の書き分け方と書式
8回	実用書を学ぶ⑤	A4が入る封筒の書き方② 個人宛と企業宛の書き分けと書式・差出人(自分)の書き方 まとめ
9回	筆ペンで慶弔の表書きを書く①	復習 筆ペンの特徴と書き方 自分の名前の練習～芳名帳の書き方
10回	筆ペンで慶弔の表書きを書く②	慶弔の表書きを書き方① 実用書のマナーを学ぶ お祝いの表書き―「御祝」「寿」の練習～書式とバランス
11回	筆ペンで慶弔の表書きを書く③	慶弔の表書きを書き方② 実用書のマナーを学ぶ お悔やみの表書き―「御霊前」「御仏前」の練習～書式とバランス　宗教の違い・用途の違い
12回	筆ペンで慶弔の表書きを書く④	慶弔の表書きを書き方③ 色々な実用書を学ぶ～まとめ　実用書まとめ(理論)プリント
13回	履歴書の書き方①	履歴書の書き方 バランよくまとめるコツを学ぶ 履歴書に出てくる漢字の書き取り練習(復習)
14回	履歴書の書き方②	履歴書の書き方 まとめ□
15回	履歴書の書き方③	履歴書の書き方 まとめ□―提出　～読みやすい文字・美しい文字とは～

対象学年	2年	学期	通年	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	SPI言語				クラス	Uクラス
担当講師(フルネーム)	山本真美				実務経験	無
授業概要(内容)	就職試験における筆記試験分野・言語系の対策授業				授業形態	講義
到達目標	筆記試験の点数を確実に取るために基礎学力の向上を目指す					
使用テキスト	・一般常識＆SPI （各科共通）　　・一般常識/一問一答 （鉄道科）					
成績評価方法	・期末試験80%　平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					

	テーマ	授業内容
1回	目指せ『漢検二級』	授業の進め方、評価方法の確認 漢字検定試験を解いてみよう SPI言語　練習問題　同意語①
2回	都道府県を極める	日本の白地図を使用して都道府県を確認する SPI言語　練習問題　同意語②
3回	世界地図を見る①	白地図で主要な国の位置と首都を把握しよう SPI言語　練習問題　同意語③
4回	世界地図を見る②	世界で注目されている国々の場所を確認し、時事問題に対応できる基礎固めをします SPI言語　練習問題　反意語①
5回	グローバル社会の住人①	世界の『今』を知るために、国際連合とその諸機関を学びます SPI言語　練習問題　反意語②
6回	グローバル社会の住人②	程よい付き合いは、人によっても国にとっても重要 国同士の『付き合い』を地域協定（EU、ASEANなど）を通して考えます SPI言語　練習問題　反意語③
7回	グローバル社会の住人③	『summit』の意味は『頂上』。時事用語の『サミット』は？ G7サミットはアメリカ合衆国で6月開催予定。G20サミットはサウジアラビアで11月開催予定 SPI言語　練習問題　慣用句①
8回	あなたの『1票』の重さ	政治①　国会議員の人数・任期を知るとともに国会の仕組みについて SPI言語　練習問題　慣用句②
9回	霞ヶ関	政治②　内閣と1府12省庁と関連機関を確認します SPI言語　練習問題　慣用句③
10回	地方公共団体	政治③　地方政治 SPI言語　練習問題　ことわざ①
11回	裁判員制度	裁判所や裁判員制度の仕組みについて SPI言語　練習問題　ことわざ②
12回	循環する『お金』	銀行に預けたお金はどこに行く？お金の流れを考え『経済』をもっと身近に SPI言語　練習問題　ことわざ③
13回	『お札』は技術の結晶	『お札』から、『電子決済』まで、世界の今、日本の今を考えます SPI言語　練習問題　四字熟語①
14回	経済用語を覚える	CEO、COO、CFO、代表取締役社長、さまざまな呼び方があります。あわせて覚えましょう SPI言語　練習問題　四字熟語②
15回	前期の総復習＆課題	前期の復習と夏休みの課題説明 SPI言語　練習問題　四字熟語③

対象学年	3年	学期	通年	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	フロントオフィス				クラス	Tクラス
担当講師(フルネーム)	松本　範子				実務経験	有
授業概要(内容)	フロントオフィスの様々な業務・役割を学び理解する。また、PMS（ホテルシステム）を実際に使用しながら理解を深める。				授業形態	講義＆演習
到達目標	フロントオフィス業務についての基本知識を学ぶとともにホテル全体の流れを理解する					
使用テキスト	ホテルテキスト宿泊Ⅰ フロント・オフィス編					
成績評価方法	・期末試験70%　平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					

	テーマ	授業内容
1回	オリエンテーション 第1章　フロント・オフィスとは	成績評価、授業スケジュールについて説明 フロントオフィスとは
2回	第1章　フロント・オフィスとは	意義と役割　・　組織と業務
3回	第2章　客室のタイプと料金	客室タイプ 料金システム
4回	第3章　リザベーション業務	リザベーションクラークの心得
5回	第3章　リザベーション業務	客室予約の種類 宿泊予約システム概要
6回	第3章　リザベーション業務	予約受付の流れ
7回	第3章　リザベーション業務	電話予約 予約のキャンセル及び変更 リザベーションその他の業務
8回	第3章　リザベーション業務	ロールプレイ 予約のまとめ
9回	第4章　レセプション業務	レセプションクラークとは レセプションの業務 ルームキーの取り扱い方
10回	第4章　レセプション業務	ルームアサインメント
11回	第4章　レセプション業務	チェックイン業務 予約のない客のチェックイン
12回	第4章　レセプション業務	団体客のチェックイン 予約内容の変更 VIPのチェックイン
13回	第4章　レセプション業務	宿泊中の宿泊条件の変更 チェックアウト業務
14回	第4章　レセプション業務	ナイト業務
15回	まとめ	前期のまとめ 期末テスト対策

対象学年	3年	学期	通年	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	ホテルマネジメント				クラス	T
担当講師(フルネーム)	中牟田登喜枝				実務経験	有
授業概要(内容)	ホテル実務経験、ホテルマネジメントの基礎的な知識を学習する				授業形態	講義
到達目標	マネジメントの基礎的な仕組みを学習しホテルで活用できるようになる					
使用テキスト	ホテルマネジメント					
成績評価方法	・期末試験50%　提出物、平常点50% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					

	テーマ	授業内容
1回	マネジメントの基本	マネジメントの基本認識と定義　(1)経営者の仕事～(5)企業文化
2回	マネジメントの基本	(6)人事戦略～(10)モチベーション
3回	マネジメントの基本	ホテルの経営と運営　(1)外資と日本ホテル～(2)日本進出の背景
4回	マネジメントの基本	ホテルの経営と運営　(3)所有・経営・運営の分離～(7)マネジメント契約方式
5回	マネジメントの基本	ホテルの収益構造
6回	ホテルの会計基準	ホテルの会計基準の特徴
7回	部門別のマネジメント	ホテルの収益会計と費用会計 ユニフォーム・システム
8回	部門別のマネジメント	宿泊部門のマネジメント(1)KPIと計数計算～ADR
9回	部門別のマネジメント	宿泊部門のマネジメント(4)RevPAR～(5)定員稼働率
10回	部門別のマネジメント	宿泊料金体系
11回	部門別のマネジメント	3つの宿泊料金体系
12回	部門別のマネジメント	レベニューマネジメント
13回	部門別のマネジメント	料飲部門のマネジメント
14回	部門別のマネジメント	宴会部門のマネジメント
15回	まとめ	前期復習 期末試験について

対象学年	3年	学期	前期のみ	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	マナープロトコール				クラス	Tクラス
担当講師(フルネーム)	池田　香織				実務経験	有
授業概要(内容)	マナー＆プロトコールを学び、社会人になるための準備をする。 日本でのマナー・しきたりを知る。				授業形態	講義
到達目標	社会人になるためのマナー、エチケットを身につける。					
使用テキスト	マナー＆プロトコールの基礎知識					
成績評価方法	・期末試験70%　平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					

	テーマ	授業内容
1回	序章　マナーとは何か	授業の進め方、評価方法を知る マナー、エチケット、プロトコールとは何かを学ぶ なぜマナー、エチケット、プロトコールを学ぶのかを考える
2回	第3章　社会人に必要なマナー	復習テスト 好印象を与えるコミュニケーションとは何かを学ぶ 服装のマナー、喜ばれる贈答を学ぶ
3回	第3章　社会人に必要なマナー	手紙のマナーを学ぶ
4回	第1章　マナーの歴史と意味	復習テスト マナー・エチケットの成り立ちを知る
5回	第2章　国際人としてのプロトコール	復習テスト プロトコールの原則～挨拶と紹介を学ぶ
6回	第2章　国際人としてのプロトコール	外国人への贈り物～異文化コミュニケーションを学ぶ
7回	第4章　ビジネスシーンのマナー	ビジネスマナーの必要性～名刺の扱い方を学ぶ
8回	第4章　ビジネスシーンのマナー	復習テスト 電話応対～トラブル対応を学ぶ ビジネス文書を学ぶ
9回	第5章　食事のマナー	復習テスト 食事のマナーを学ぶ
10回	第7章　「冠」のしきたり	復習テスト 冠婚葬祭とは何か、日本の主な通過儀礼を知る
11回	第8章　「婚」のしきたり	復習テスト 結婚式のマナーを知る
12回	第9章　「葬」のしきたり	復習テスト 葬儀のマナーを知る
13回	第10章　「祭」のしきたり	復習テスト 日本における1月～6月までの年中行事を知る
14回	第10章　「祭」のしきたり	日本における6月～12月までの年中行事を知る
15回	期末テスト対策	復習テスト 期末テストに向けての試験対策

対象学年	3年	学期	前期のみ	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	ホテル業界研究				クラス	T
担当講師(フルネーム)	橋口　淳二				実務経験	有
授業概要(内容)	日本国内ホテル業界の業務内容を理解する。 業界に対しての学びと気付き知識を増やす。				授業形態	講義
到達目標	日本のホテル業界で使える知識を取得できる。					
使用テキスト	なし					
成績評価方法	・期末試験70%　平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					

	テーマ	授業内容
1回	オリエンテーション	授業の進め方 企業研究の仕方について
2回	ホテルの基本	志望先ホテルを考え、そのホテルに対しての指導を行う
3回	ホテル就職について	日本企業と外資系企業給与体系、福利厚生について
4回	ホテルの形態・種類	福岡市内ホテルの企業研究
5回	ホテルの形態・種類	東京都内ホテルの企業研究
6回	ホテルの形態・種類	テーマパークホテルの企業研究
7回	ホテル種類別研究	関西地区ホテルの企業研究
8回	ホテル種類別研究	ホテル研究発表へ向けチーム作成、テーマ決め
9回	ホテル種類別研究	テーマに沿ったホテル資料収集
10回	ホテル種類別研究	テーマに沿ったホテル資料収集
11回	ホテル種類別研究	パワーポイントプレゼンテーション作成
12回	ホテル種類別研究	パワーポイントプレゼンテーション作成
13回	研究発表	プレゼンテーション
14回	研究発表	プレゼンテーション
15回	前期まとめ	ホテル業界研究まとめ

対象学年	3年	学期	前期のみ	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	SPI言語				クラス	Tクラス
担当講師(フルネーム)	山本真美				実務経験	無
授業概要(内容)	就職筆記試験に受かるために苦手分野を克服して得意分野を伸ばす				授業形態	講義
到達目標	WEBテスト、適性検査、時事問題にも対応できるように実力をつける					
使用テキスト	朝日キーワード就職2019最新時事問題＆一般常識					
成績評価方法	・期末試験70%　平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					

	テーマ	授業内容
1回	必ず復習する	・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 毎回テストを実施し解答と解説をします。間違った問題はノートに書いて復習します 残りの時間は、時事問題用語解説、新聞コラムに取り組みます
2回	漢字は必要	・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 就職試験にかかわらず、漢字は私たちの生活に欠かせません。漢検二級レベルを目指しましょう
3回	新聞を読む	・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 試験当日は特に新聞のチェックを忘れずに 日頃から時事問題に精通するには、まず新聞を読むこと。各新聞社のサイトを活用しましょう
4回	情報を分析する	・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 先輩たちの受験報告書を活用していますか？各企業の試験問題の傾向がわかります
5回	はじめてにあわてない	・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 適性検査で見慣れない問題が出ることがあります。例題を参考にして冷静な判断を
6回	中間テスト	・中間テスト(解答と解説)、時事問題用語解説
7回	時間配分を考える	・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 解答時間は足りていますか？紙の試験問題の場合、解く前に試験問題の量のチェックも忘れずに
8回	今日から始める	・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 内定はスタート！『知ること』を常に心がけましょう
9回	みんながデキル問題	・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 正答率の高い問題は受験者のほとんどができている証拠。みんながデキル問題は間違えない
10回	過去を振り返る	・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 過去を振り返り、修正も大事
11回	ニュースを気にする	・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 業界のニュースは気にかけていますか？情報集めは怠りなく
12回	ニュースを読む	・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 じっくりとニュースの「なぜ？」を考える
13回	自分の意見を考える	・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 ニュースの「なぜ？」から自分の意見を考える
14回	目標を持つ	・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 今の目標はなにですか？
15回	ゴールはスタート	・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 SPI対策はこの回で終わりです。これからも社会の動きに敏感になって時代の流れを見ていきましょう いつでも学ぶ姿勢を忘れずに

対象学年	3年	学期	前期のみ	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	面接対策				クラス	T
担当講師(フルネーム)	安部紀美江				実務経験	有
授業概要(内容)	・企業研究、志望動機、自己PRの完成品作成 ・面接での受け答えのロールプレイング				授業形態	講義
到達目標	・志望する企業への内定を勝ち取る。					
使用テキスト	・オリジナルワークシート					
成績評価方法	・期末試験70%　平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					

	テーマ	授業内容
1回	自己PRの作成	・実習体験を使った自己PRを作成する。 ・面接時での自己PRの発表練習。
2回	面接対策	・自分のベスト自己PRを作成し、反復練習を行う
3回	面接対策	・自分のベスト自己PRを作成し、反復練習を行う
4回	受験企業の研究シート作成	・受験企業の研究シートの充実を図り、どのような質問にも答えられるようにする。
5回	受験企業の研究シート作成	・受験企業の研究シートの充実を図り、どのような質問にも答えられるようにする。
6回	受験企業の志望動機作成	・受験企業の志望動機を完成させる。
7回	受験企業の志望動機作成	・受験企業の志望動機を完成させる。
8回	企業研究・面接対策	・受験企業研究と共に面接での受け答え練習を行う。
9回	企業研究・面接対策	・受験企業研究と共に面接での受け答え練習を行う。
10回	企業研究・面接対策	・受験企業研究と共に面接での受け答え練習を行う。
11回	企業研究・面接対策	・受験企業研究と共に面接での受け答え練習を行う。
12回	企業研究・面接対策	・受験企業研究と共に面接での受け答え練習を行う。
13回	企業研究・面接対策	・受験企業研究と共に面接での受け答え練習を行う。
14回	完成品のチェック	・前期提出物のチェック
15回	入社後に必要なこと	・日本企業のあり方や組織内での最小限の必要知識を身に付ける

対象学年	3年	学期	通年	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	コミュニケーションイングリッシュ				クラス	T
担当講師(フルネーム)	Geoffrey Wolfson				実務経験	無
授業概要(内容)	Doing self introductions. Making various presentations about oneself. Asking and answering various questions with a partner. Practicing role plays. Understanding various culture points.				授業形態	講義
到達目標	To improve students' fluency and ability to use simple English at work and socially. To raise their confidence levels using simple English by creating more opportunities for the students to speak.					
使用テキスト	Challenge book #4、Takeoff!、Warm-up Booklet 2、Vocabulary Book(Noun)					
成績評価方法	・期末試験50%　平常点50% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					

	テーマ	授業内容
1回	Orientation Warm Up: P1, Vocabulary: P1 Challenge Book: P7-8 Takeoff!: Dialog 1	Orientation：Explanation about Class rules Presentation and Q&A: Beginner's Test, Self-introduction Nouns starting with A, Service Greetings & Phrases 1 (left side)
2回	Warm Up: P1, Vocabulary: P1 Challenge Book: P7-8 Takeoff!: Dialog 1	Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Presentation and Q&A: Beginner's Test, Self-introduction Sentences using nouns starting with A, Service Greetings & Phrases 1 (left side)
3回	Warm Up: P1, Vocabulary: P2 Challenge Book: P9 Takeoff! Dialog: 2	Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Q&A: Personal Information Nouns starting with B, Service Greetings & Phrases 1 (left side)
4回	Warm Up: P2, Vocabulary: P2 Challenge Book: P9 Takeoff! Dialog: 2	Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Q&A: Personal Information Sentences using nouns starting with B, Service Greetings & Phrases 1 (left side)
5回	Warm Up: P2, Vocabulary: P3 Challenge Book: P10 Takeoff! Dialog: 3	Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Presentation: Introducing a Friend Nouns starting with C, Service Greetings & Phrases 1 (left side)
6回	Warm Up: P2, Vocabulary: P3 Challenge Book: P10 Takeoff! Dialog: 3	Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Presentation: Introducing a Friend Sentences using nouns starting with C, Service Greetings & Phrases 1 (right side)
7回	Warm Up: P3, Vocabulary: P4 Challenge Book: P11 Takeoff! Dialog: 4	Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Q&A: Family Test Nouns starting with D, Service Greetings & Phrases 1 (right side)
8回	Warm Up: P3, Vocabulary: P4 Challenge Book: P11 Takeoff! Dialog: 4	Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Q&A: Family Test Sentences using nouns starting with D, Service Greetings & Phrases 1 (right side)
9回	Warm Up: P3, Vocabulary: P5 Challenge Book: P12 Takeoff! Dialog: 5	Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Presentation: My Family Presentation Nouns starting with E, Service Greetings & Phrases 1 (right side)
10回	Warm Up: P4, Vocabulary: P5 Challenge Book: P12 Takeoff! Dialog: 5	Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Presentation: My Family Presentation Sentences using nouns starting with E, Service Greetings & Phrases 1 (right side)
11回	Warm Up: P4, Vocabulary: P6 Challenge Book: P13 Takeoff! Dialog: 6	Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Q&A: Sports Interview Nouns starting with F, Service Greetings & Phrases 1 (whole page)
12回	Warm Up: P4, Vocabulary: P6 Challenge Book: P13 Takeoff! Dialog: 6	Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Q&A: Sports Interview Sentences using nouns starting with F, Service Greetings & Phrases 1 (whole page)
13回	Warm Up: P5, Vocabulary: P7 Challenge Book: P14 Takeoff! Dialog: 7	Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Presentation: My Favorite Sport Nouns starting with G, Service Greetings & Phrases 1 (whole page)
14回	Warm Up: P5, Vocabulary: P7 Challenge Book: P14 Takeoff! Dialog: 7, Test	Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Presentation: My Favorite Sport Sentences using nouns starting with G, Service Greetings & Phrases 1 (whole page)
15回	Warm Up: P5, Vocabulary: P8 Challenge Book: P15 Takeoff! Dialog: 8, Test	Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Q&A: Cuisine Interview Nouns starting with H, Service Greetings & Phrases 1 (whole page)

対象学年	3年	学期	通年	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	日本語読解				クラス	T留
担当講師(フルネーム)	上中眞由美				実務経験	無
授業概要(内容)	日本語能力試験N1対策 N1読解問題を読み読解力をつける・新聞を読む				授業形態	講義
到達目標	日本語能力試験N1合格					
使用テキスト	プリント配布					
成績評価方法	・期末試験60%　平常点40% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					

	テーマ	授業内容
1回	N1読解	授業の進め方・評価方法について 読解問題を解き、全体で解答を確認する
2回	N1読解	読解問題を解き、全体で解答を確認する
3回	N1読解	読解問題を解き、全体で解答を確認する
4回	N1読解	読解問題を解き、全体で解答を確認する
5回	N1読解	読解問題を解き、全体で解答を確認する
6回	N1読解	読解問題を解き、全体で解答を確認する
7回	N1読解	読解問題を解き、全体で解答を確認する
8回	N1読解	読解問題を解き、全体で解答を確認する
9回	N1読解	N1模擬テスト
10回	N1読解	N1模擬テスト
11回	N1読解	読解問題を解き、全体で解答を確認する 新聞・物語を読む
12回	N1読解	読解問題を解き、全体で解答を確認する 新聞・物語を読む
13回	N1読解	読解問題を解き、全体で解答を確認する 新聞・物語を読む
14回	N1読解	読解問題を解き、全体で解答を確認する 新聞・物語を読む
15回	N1読解	期末テスト

対象学年	3年	学期	通年	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	日本語能力試験対策Ⅰ（語彙・文法）				クラス	T留
担当講師（フルネーム）	永吉美知子				実務経験	無
授業概要（内容）	文脈で意味機能を理解し、正しい文法を使って自己表現ができるような文作成をする 自宅学習を前提とした授業を行うので　予習復習は必ず行う事				授業形態	講義
到達目標	N1合格					
使用テキスト	自作プリント・過去問題					
成績評価方法	・期末試験70%　平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					

	テーマ	授業内容
1回	時間的同時性・付帯	1週1日目　2日目
2回	逆説・前後関係	1週3日目　4日目 小テスト
3回	条件・傾向	1週5日目 小テスト
4回	傾向・状態・結末	2週1日目・2日目 小テスト
5回	付加・様子	2週3日目・4日目 小テスト
6回	強調・	2週5日目 復習テスト
7回	強調・逆説	3週1日目・2日目
8回	原因・理由・限界	3週3日目・4日目 小テスト
9回	話題・強調	3週5日目・4週1日目・ 小テスト
10回	模擬テスト	FB
11回	模擬テスト	FB
12回	強調・限定	4週3日目 小テスト
13回	付加・条件	4週3日目・4日目 小テスト
14回	否定・目的	4週5日目 小テスト
15回	1週～4週復習	内容確認とFB

対象学年	3年	学期	前期のみ	学科	国際ホテルマネジメント
科目名	日本語能力試験対策Ⅱ（語彙）			クラス	T留
担当講師（フルネーム）	永吉美知子			実務経験	無
授業概要（内容）	N1に合格するために予習・復習を前提として授業を進めていく 最終学年を迎え　就職試験合格のためにも自宅学習を徹底すること			授業形態	講義
到達目標	能力試験　N1				
使用テキスト	新完全マスターN1　　N1対策問題集など				
成績評価方法	・期末試験70%　平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施				

	テーマ	授業内容
1回	文字語彙練習1・ 語彙小テスト	文字語彙練習FB 読解・短文
2回	文字語彙練習2・ 語彙小テスト	確認・　復習テスト 読解・短文
3回	文字語彙練習3・ 語彙小テスト	FB・復習テスト 読解・短文
4回	文字語彙練習4・ 語彙小テスト	FB・復習テスト 読解・短文
5回	文字語彙練習5・ 語彙小テスト	確認・　復習テスト 読解・短文
6回	文字語彙練習6・ 語彙小テスト	確認・　復習テスト 読解・短文
7回	文字語彙練習7・ 語彙小テスト	確認・　復習テスト 読解・短文
8回	文字語彙練習8・ 語彙小テスト	確認・　復習テスト 読解・短文
9回	文字語彙練習9・ 語彙小テスト	確認・　復習テスト 読解・短文
10回	模擬テスト	FB
11回	模擬テスト	FB
12回	文字語彙練習10・ 語彙小テスト	確認・　復習テスト 読解・短文
13回	文字語彙練習11・ 語彙小テスト	確認・　復習テスト 読解・短文
14回	文字語彙練習12・ 語彙小テスト	確認・　復習テスト 読解・短文
15回	学期末試験対策	確認とFB

観光ビジネス進学

対象学年	1年	学期	前期のみ	学科	観光ビジネス進学科	
科目名	観光学基礎				クラス	I
担当講師(フルネーム)	宮原英利				実務経験	有
授業概要(内容)	観光とは、「ナニ」で成り立っているかを知り、そのそれぞれがどのように関わり合いを持って観光を作り上げているかを理解してもらいます				授業形態	講義
到達目標	「観光」が果たすさまざまな社会的役割や影響を理解できるようになる					
使用テキスト	観光学基礎(編集・発行　JTB総合研究所)					
成績評価方法	・期末試験60%、 課題提出20%、 平常点20%　とし総合的に評価する ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					

	テーマ	授業内容
1回	オリエンテーション	授業の進め方、事前学習の行い方、成績評価のやり方等を説明します
2回	観光を学ぶ意義とその効果	観光が、人間、企業、及び国や地域にもたらす効果や影響を学ぶ
3回	観光に関わる言葉	観光の語源　・余暇(レジャー)、レクリエーション、ホスピタリティ
4回	観光資源	観光資源にはどのようなものがあるか、またどのようなものが観光資源となるのか
5回	観光ビジネスの構成と特徴	観光産業の種類を知り、それぞれの特徴を学ぶ
6回	観光ビジネス①	旅行業とはどのような仕事かを学ぶ
7回	観光ビジネス②	旅行業の商品にはどのようなものがあるかを学ぶ
8回	観光ビジネス③	交通運輸業とはどのような仕事かを学ぶ ・航空運輸業とはどのような仕事で、どの様に観光と関わっているかを学ぶ
9回	観光ビジネス④	・鉄道事業とはどのような仕事で、どの様に観光と関わっているかを学ぶ
10回	観光ビジネス⑤	宿泊業とはどのような仕事で、どの様に観光と関わっているかを学ぶ
11回	観光ビジネス⑥	テーマパークの歴史とその特徴を学ぶ
12回	観光ビジネス⑦	観光土産産業と様々な土産品販売
13回	旅の歴史とこれからの旅行	マスツーリズムの時代そのと発展過程を学ぶ
14回	観光と国際社会①	観光と国際経済・社会・文化の関係を学ぶ
15回	観光と国際社会②	インバウンドと異文化理解 まとめ

対象学年	1年	学期	通年	学科	観光ビジネス進学科	
科目名	観光業界事情				クラス	I
担当講師(フルネーム)	小西　翼				実務経験	有
授業概要(内容)	日本の観光業界を取り巻く環境について考える授業。 ※授業内にクラスのLHRを含む。				授業形態	講義
到達目標	観光業界の動向を理解し、進学時の学科選択に役立てる。					
使用テキスト	なし					
成績評価方法	・課題(計2回)70%　平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					

	テーマ	授業内容
1回	オリエンテーション	前期の学習内容について説明 評価方法について説明 みなさんが日本の観光業界で働くために…
2回	観光立国	「観光立国」とは？
3回	観光地について	日本の有名な観光地について
4回	LHR	スポーツ大会に向けて出場競技を決定する スポーツ大会に向けてラジオ体操の練習を行う
5回	観光地について	それぞれの出身国の有名な観光地について
6回	課題制作	自身の出身国の観光地について調べ、パワーポイントでまとめる
7回	課題制作	自身の出身国の観光地について調べ、パワーポイントでまとめる
8回	課題発表	前回までに作成した課題の発表を行う
9回	観光業界に関わる資格	観光業界に関わる資格にはどのようなものがあるのかを解説する
10回	インバウンド誘致の工夫	日本にインバウンドを誘致するためにはどのような工夫が必要か考える
11回	観光業界研究	グループワーク 福岡市におけるインバウンド誘致の工夫を調べる
12回	観光業界研究	グループワーク 福岡市におけるインバウンド誘致の工夫を調べる
13回	課題制作	パワーポイントを使用し、研究結果をまとめる
14回	課題制作	パワーポイントを使用し、研究結果をまとめる
15回	課題発表	前回までに作成した課題の発表を行う

対象学年	1年	学期	通年	学科	観光ビジネス進学科	
科目名	国内観光地理				クラス	I
担当講師(フルネーム)	金森和彦				実務経験	有
授業概要(内容)	地域ごとの国々・主な都市及び都市コードを白地図に記入 有名観光地の映像を見る				授業形態	講義
到達目標	日本の地域・国々・主な都市・有名観光地を覚える					
使用テキスト	プリント					
成績評価方法	・期末試験70%　平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					

	テーマ	授業内容
1回	九州の概要説明	九州各県の経済、特徴について説明
2回	福岡県(観光、空港情報)	九州の中心地、福岡の経済について説明 県白地図、空港地図、観光文章問題 スリーレター、国内線、国際線紹介
3回	佐賀県(観光、空港情報)	有田焼など焼き物文化について説明 県白地図、空港地図、観光文章問題 スリーレター、国内線、国際線紹介
4回	長崎県(観光、空港情報)	南蛮文化、長崎の世界遺産群の説明 県白地図、空港地図、観光文章問題 スリーレター、国内線、国際線紹介
5回	大分県(観光、空港情報)	日本屈指の温泉地について説明 県白地図、空港地図、観光文章問題 スリーレター、国内線、国際線紹介
6回	熊本県(観光、空港情報)	阿蘇山の観光資源について説明 県白地図、空港地図、観光文章問題 スリーレター、国内線、国際線紹介
7回	宮崎県(観光、空港情報)	高千穂など神々の歴史について説明 県白地図、空港地図、観光文章問題 スリーレター、国内線、国際線紹介
8回	鹿児島県(観光、空港情報)	幕末の薩摩藩の歴史について説明 県白地図、空港地図、観光文章問題 スリーレター、国内線、国際線紹介
9回	沖縄県(観光、空港情報)	沖縄リゾートについて説明 県白地図、空港地図、観光文章問題 スリーレター、国内線、国際線紹介
10回	広島県(観光、空港情報)	世界遺産厳島神社について説明 県白地図、空港地図、観光文章問題 スリーレター、国内線、国際線紹介
11回	兵庫県(観光、空港情報)	世界遺産姫路城について説明 県白地図、空港地図、観光文章問題 スリーレター、国内線、国際線紹介
12回	香川県(観光、空港情報)	金毘羅さんなどの観光地説明 県白地図、空港地図、観光文章問題 スリーレター、国内線、国際線紹介
13回	高知県(観光、空港情報)	よさこい祭りの歴史について説明 県白地図、空港地図、観光文章問題 スリーレター、国内線、国際線紹介
14回	愛媛県(観光、空港情報)	道後温泉など観光地説明 県白地図、空港地図、観光文章問題 スリーレター、国内線、国際線紹介
15回	まとめ	まとめ 期末試験について

対象学年	1年	学期	通年	学科	観光ビジネス進学科	
科目名	ビジネスマナー				クラス	I
担当講師(フルネーム)	榎本美和子				実務経験	有
授業概要(内容)	・おもてなしの心を学ぶ ・基本的なビジネスマナーを学ぶ				授業形態	講義
到達目標	日本のビジネスマナー、おもてなしの心を学び、資格試験取得を目指す					
使用テキスト	おもてなし検定・初級					
成績評価方法	・期末試験70%　平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					

	テーマ	授業内容
1回	オリエンテーション	・授業の内容、目的、評価方法 ・自己紹介
2回	マナーについて	・日本のマナー、おもてなしの心について ・日本のマナーと外国のマナーの共通点と相違点をアルバイトの経験を通して 発表してみよう！
3回	お辞儀の基本	・お辞儀の歴史、握手の意味 ・お辞儀の仕方　ロープレ
4回	あいさつ	・あいさつは自分から！ ・その場に応じたあいさつ・・・好感のもたれるあいさつの仕方 様々な場面を想像しロープレ
5回	身だしなみ	・ビジネスにふさわしい身だしなみ 男性編と女性編
6回	時間厳守	時間を守る大切さ・・・日常の生活において 期日を守ることについて
7回	指示の受け方と報告	・日本語での指示を的確にとらえ、受け方を学ぶ ・相手が分かりやすい報告の仕方　ロープレ
8回	名刺交換	・名刺の扱いと管理 ・オリジナルな名刺を作ろう！ ・名刺交換の仕方　ロープレ
9回	言葉遣い	・敬語の種類と使い方・・・アルバイトでの敬語、ホテル・旅館で使う敬語 ・ロープレ
10回	電話応対	・電話をかける前に、電話のかけ方、受け方 ・こんなときどうする？様々な場面での電話対応
11回	接客マナー	・廊下、階段、エレベーターでの案内の仕方 ・幅広い年齢層の対応の仕方 ・ホテル、旅館での食事のマナー
12回	おもてなし検定	・おもてなし検定の問題に触れる ・ホテル、旅館で目にする漢字を読むチャレンジ！
13回	期末試験対策	これまで学んだことを振り返り、質疑応答
14回	期末試験	授業内に期末試験を実施
15回	DVD視聴	・期末試験　FB ・日本のおもてなしを感じられる映画鑑賞！

対象学年	1年	学期	前期のみ	学科	観光ビジネス進学科	
科目名	日本語検定対策I 文法 ①				クラス	I
担当講師(フルネーム)	入江千治				実務経験	有
授業概要(内容)	・生活でもよく使うN3文法の復習・練習を繰り返し身につける。 ・日本語能力試験N2合格を目指し、N2文法を学び、練習する。				授業形態	講義
到達目標	・N3文法の定着を図るとともに、N2文法への理解を深めていく。					
使用テキスト	・「TRY！日本語能力試験N3文法から伸ばす日本語」(アスク出版)　・「新完全マスター文法N2」(スリーエーネットワーク)					
成績評価方法	・期末試験50%　平常点50% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					

	テーマ	授業内容
1回	N3文法復習 ・ N2文法	・N3文法復習プリント① ・N2テキスト1課(p.8)
2回	N3文法復習 ・ N2文法	・N3文法復習プリント② ・N2テキスト1課～2課(p.8/p.12)
3回	N3文法復習 ・ N2文法	・N2文法小テスト(1課)　・N3文法復習プリント③ ・N2テキスト2課(p.12)
4回	N3文法復習 ・ N2文法	・N2文法小テスト(2課)　・N3文法復習プリント④ ・N2テキスト3課(p.12)
5回	N3文法復習 ・ N2文法	・N2文法小テスト(3課)　・N3文法復習プリント⑤ ・N2テキスト4課(p.20)
6回	N3文法復習 ・ N2文法	・N3文法復習プリント⑥ ・N2テキスト4課～5課(p.20/p.24)
7回	N3文法復習 ・ N2文法	・N2文法小テスト(4課)　・N3文法復習プリント⑦ ・N2テキスト5課～6課(p.20/p.30)
8回	N3文法復習 ・ N2文法	・N2文法小テスト(5課)　・N3文法復習プリント⑧ ・N2テキスト6課～7課(p.30/p.34) (1～5課復習)
9回	N3文法復習 ・ N2文法	・N2文法小テスト(6課)　・N3文法復習プリント⑨ ・N2テキスト7課～8課(p.34/p.38)
10回	N3文法復習 ・ N2文法	・N2文法小テスト(7課)　・N3文法復習プリント⑩ ・N2テキスト8課～9課(p.38/p.42)
11回	模擬試験	日本語能力試験N2模擬試験
12回	N3文法復習 ・ N2文法	・模擬試験FB ・N2文法小テスト8課 ・N2テキスト9課
13回	N3文法復習 ・ N2文法	・N2文法小テスト(9課)　・N3文法復習プリント⑪ ・N2テキスト10課(p.46)
14回	N3文法復習 ・ N2文法	・N2文法小テスト10課 ・N3/N2文法総復習①
15回	N3文法復習 ・ N2文法	・期末試験

対象学年	1年	学期	前期のみ	学科	観光ビジネス進学科	
科目名	日本語検定対策Ⅱ　N2読解聴解　①				クラス	I
担当講師(フルネーム)	入江千治				実務経験	有
授業概要(内容)	・日本語能力試験N2取得を目指し、N2の読解・聴解の解き方を学ぶ。 ・N2レベルの読解・聴解でよく使われる日本語表現を学び、練習する。				授業形態	講義
到達目標	・N2読解・聴解でよく使われる日本語表現が理解でき、答えが導き出せる。					
使用テキスト	・「日本語能力試験対策日本語総まとめN2　聴解/読解」(アスク出版)					
成績評価方法	・期末試験50%　平常点50% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					

	テーマ	授業内容
1回	N2読解・聴解	・聴解:1章(1.発音に関する聞き取り) ・読解:1週(身の回りの文書　割引券・クーポン　/　ダイレクトメール　/　アルバイト情報)
2回	N2読解・聴解	・聴解:1章(2.文法に関する聞き取り①) ・読解:2週(お知らせや通知を読もう　お知らせ①　/　お知らせ②)
3回	N2読解・聴解	・聴解:1章(3.文法に関する聞き取り②) ・読解:3週(意見文や説明文を読もう　意見文①/意見文②)
4回	N2読解・聴解	・聴解:1章(4.会話表現) ・読解:3週(意見文や説明文を読もう　説明文①/説明文②)
5回	N2読解・聴解	・聴解:1章(5.まとめ問題) ・読解:4週(エッセイや小説を読もう　エッセイ①/エッセイ②)
6回	N2読解・聴解	・聴解:2章(1.即時応答) ・読解:4週(エッセイや小説を読もう　小説①/小説②)
7回	N2読解・聴解	・聴解:2章(2.課題理解) ・読解:5週(新聞を読もう　見出し①/見出し②)
8回	N2読解・聴解	・聴解:2章(3.ポイント理解) ・読解:5週(新聞を読もう　記事/グラフ①)
9回	N2読解・聴解	・聴解:2章(4.概要理解) ・読解:5週(新聞を読もう　グラフ②/書評)
10回	N2読解・聴解	・聴解:2章(5.統合理解①) ・読解:6週(論説文を読もう　言語に関する文章)
11回	模擬試験	日本語能力試験N2模擬試験
12回	N2読解・聴解	・聴解:2章(5.統合理解②) ・読解:6週(論説文を読もう　化学に関する文章)
13回	N2読解・聴解	・聴解:2章(6.まとめの問題①) ・読解:6週(論説文を読もう　生物に関する文章)
14回	N2読解・聴解	・聴解/読解　総復習
15回	N2読解・聴解	・期末試験

対象学年	1年	学期	通年	学科	観光ビジネス進学科	
科目名	日本語能力試験対策Ⅲ（文法）				クラス	Ⅰ
担当講師（フルネーム）	上中眞由美				実務経験	無
授業概要（内容）	日本語能力試験N2・3対策 N2・3文法の形・意味を学び練習問題を解く				授業形態	講義
到達目標	日本語能力試験N2・3合格					
使用テキスト	プリント配布					
成績評価方法	・期末試験60%　平常点40% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					

	テーマ	授業内容
1回	N3文法	授業の進め方・評価方法について 文法の意味、使い方を確認する 文法問題を解く
2回	N3文法	小テスト 文法の意味、使い方を確認する 文法問題を解く
3回	N3文法	小テスト 文法の意味、使い方を確認する 文法問題を解く
4回	N3文法	小テスト 文法の意味、使い方を確認する 文法問題を解く
5回	N3文法	小テスト 文法の意味、使い方を確認する 文法問題を解く
6回	N3文法	小テスト 文法の意味、使い方を確認する 文法問題を解く
7回	N3文法	小テスト 文法の意味、使い方を確認する 文法問題を解く
8回	N3文法	小テスト 文法の意味、使い方を確認する 文法問題を解く
9回	N3文法	N3模擬テスト
10回	N3文法	N3模擬テスト
11回	N3文法	小テスト 文法の意味、使い方を確認する 文法問題を解く
12回	N2・3文法	小テスト 文法の意味、使い方を確認する 文法問題を解く
13回	N2・3文法	小テスト 文法の意味、使い方を確認する 文法問題を解く
14回	N2・3文法	小テスト 文法の意味、使い方を確認する 文法問題を解く
15回	N2・3文法	期末テスト　＋　FB

対象学年	1年	学期	通年	学科	観光ビジネス進学科	
科目名	日本語能力試験対策Ⅳ(読解)				クラス	I
担当講師(フルネーム)	上中眞由美				実務経験	無
授業概要(内容)	日本語能力試験N2・3対策 読解問題を読み読解力をつける				授業形態	講義
到達目標	日本語能力試験N2・3合格					
使用テキスト	プリント配布					
成績評価方法	・期末試験60%　平常点40% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					

	テーマ	授業内容
1回	N3読解	授業の進め方・評価方法について 読解問題を解き、全体で解答を確認する
2回	N3読解	読解問題を解き、全体で解答を確認する
3回	N3読解	読解問題を解き、全体で解答を確認する
4回	N3読解	読解問題を解き、全体で解答を確認する
5回	N3読解	読解問題を解き、全体で解答を確認する
6回	N3読解	読解問題を解き、全体で解答を確認する
7回	N3読解	読解問題を解き、全体で解答を確認する
8回	N3読解	読解問題を解き、全体で解答を確認する
9回	N3読解	N3模擬テスト
10回	N3読解	N3模擬テスト
11回	N2・3読解	読解問題を解き、全体で解答を確認する
12回	N2・3読解	読解問題を解き、全体で解答を確認する
13回	N2・3読解	読解問題を解き、全体で解答を確認する
14回	N2・3読解	読解問題を解き、全体で解答を確認する
15回	N2・3読解	期末テスト

対象学年	1年	学期	通年	学科	観光ビジネス進学科	
科目名	日本語能力試験対策Ⅴ				クラス	Ⅰ
担当講師(フルネーム)	山浦　靖大				実務経験	有
授業概要(内容)	日本語教師歴7年。日本語能力試験N2文法の導入、練習を行う				授業形態	講義
到達目標	7月のN2試験で文法正解率50%					
使用テキスト	新完全マスターN2文法L11～　※プリント対応 「ドリル＆ドリルN2文法」「日本語パワードリルN2文法」					
成績評価方法	・期末試験70%　平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					

	テーマ	授業内容
1回	主観を含めて説明する文法	第1部　11・12課の導入 練習問題(テキスト) 小テスト(自作)
2回	主観を含めて説明する文法	第1部　13・14課の導入 練習問題(テキスト) 小テスト(自作)
3回	主観を含めて説明する文法	第1部　15・16課の導入 練習問題(テキスト) 小テスト(自作)　※HW　1課～15課まとめ問題
4回	主観を含めて説明する文法	第1部　17・18課の導入 練習問題(テキスト) 小テスト(自作)
5回	主観を含めて説明する文法	第1部　19・20課の導入 練習問題(テキスト) 小テスト(自作)　※HW　1課～20課まとめ問題
6回	主観を含めて説明する文法 主観を述べる文法	第1部　21・22課の導入 練習問題(テキスト) 小テスト(自作)
7回	主観を述べる文法	第1部　23・24課の導入 練習問題(テキスト) 小テスト(自作)
8回	主観を述べる文法	第1部　25・26課の導入 練習問題(テキスト) 小テスト(自作)　※HW　1課～26課まとめ問題
9回	文法形式の整理	第1部　A・B・C整理 練習問題(テキスト) 小テスト(自作)
10回	文法形式の整理	第1部　D・E・F整理 練習問題(テキスト) 小テスト(自作)
11回	文法形式の整理 練習問題	第1部　G整理 練習問題(テキスト)　小テスト(自作) 「ドリル＆ドリルN2文法」 文の文法1・2の第1回　※HW「日本語パワードリルN2文法」 第1回
12回	文の文法 練習問題	第2部　1課 練習問題(テキスト) 「ドリル＆ドリルN2文法」 文の文法1・2の第2回　※HW「日本語パワードリルN2文法」 第2回
13回	文の文法 練習問題	第2部　2課 練習問題(テキスト) 「ドリル＆ドリルN2文法」 文の文法1・2の第3回　※HW「日本語パワードリルN2文法」 第3回
14回	文の文法 練習問題	第2部　3課 練習問題(テキスト) 「ドリル＆ドリルN2文法」 文の文法1・2の第4回　※HW「日本語パワードリルN2文法」 第4回
15回	文章の文法 練習問題	第3部　1課 練習問題(テキスト) 「ドリル＆ドリルN2文法」 文の文法1・2の第5回　※HW「日本語パワードリルN2文法」 第5回

対象学年	1年	学期	前期のみ	学科	観光ビジネス進学科	
科目名	日本語能力試験対策Ⅵ				クラス	Ⅰ
担当講師(フルネーム)	山浦　靖大				実務経験	有
授業概要(内容)	日本語教師歴7年。日本語能力試験N2に必要とされる漢字の読み書きの練習。聴解の「即時応答」「課題理解」のスキル習得と練習				授業形態	講義
到達目標	N2で必要な漢字約1000字の内620字が読め、その4割が書ける　・7月のN2試験「即時応答」「課題理解」で正解率60%以上					
使用テキスト	※プリント対応　「新完全マスターN2漢字」「新完全マスターN2聴解」「実力アップN2聞く」					
成績評価方法	・期末試験70%　平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					

	テーマ	授業内容
1回	基本漢字1～300 聴解問題紹介 音声の特徴に慣れる	漢字:N4・5レベル漢字復習・第1回 聴解の問題紹介 似ている音の聞き分け・音の変化や縮約形
2回	基本漢字1～300 即時応答スキルと練習	漢字:第2～4回 新完マス聴解:即時応答1　最初の文を理解するA～C 実力アップ:即時応答1～5
3回	基本漢字1～300 即時応答スキルと練習	漢字:第5～7回 新完マス聴解:即時応答1　最初の文を理解するD～E 実力アップ:即時応答6～10
4回	基本漢字1～300 即時応答スキルと練習	漢字:第8～10回 新完マス聴解:即時応答2　返事の文を考えるA～B 実力アップ:即時応答1～15
5回	基本漢字1～300 即時応答スキルと練習	漢字:第11～14回　※HW　301～355 新完マス聴解:即時応答2　返事の文を考えるC 実力アップ:即時応答16～20
6回	基礎漢字301～355 課題理解スキルと練習	漢字:第15・16回　※HW　356～395 新完マス聴解:課題理解1　するべきことを理解する 実力アップ:即時応答21～25
7回	基礎漢字356～395 課題理解スキルと練習	漢字:第17・18回　※HW　396～435 新完マス聴解:課題理解2　最初にすることを考える 実力アップ:即時応答26～30
8回	基礎漢字396～435 課題理解スキルと練習	漢字:第19・20回　※HW　436～475 新完マス聴解:課題理解3　条件に合う情報を聞き取る 実力アップ:即時応答31～35
9回	基礎漢字436～475 課題理解スキルと練習	漢字:第21・22回　※HW　476～515 新完マス聴解:課題理解4　条件を聞き取って整理する 実力アップ:即時応答36～40
10回	基礎漢字476～515 課題理解問題の練習	漢字:第23・24回　※HW　516～550 実力アップ:課題理解問題1　1～4
11回	基礎漢字516～550 課題理解問題の練習	漢字:第25・26回　※HW　301～550 実力アップ:課題理解問題1　5～8
12回	基礎漢字復習1～550 課題理解問題の練習	漢字:第27・28回　※HW　301～550 実力アップ:課題理解問題1　9～12
13回	基礎漢字復習1～550 課題理解問題の練習	漢字:第29・30回　※HW　551～590 実力アップ:課題理解問題1　13～14　問題2　1～2
14回	中級漢字551～590 課題理解問題の練習	漢字:31回　※HW　591～620 実力アップ:課題理解問題2　3～8
15回	中級漢字　591～620 課題理解問題の練習	漢字:32回 実力アップ:課題理解問題2　9～12

対象学年	1年	学期	通年	学科	観光ビジネス進学科	
科目名	日本語能力試験対策Ⅶ				クラス	I
担当講師(フルネーム)	松田裕美子				実務経験	有
授業概要(内容)	日本語能力試験N2の読解及び聴解対策				授業形態	講義
到達目標	日本語能力試験N2レベルの読解力と聴解力を身につける					
使用テキスト	新完全マスターN2聴解・実力アップ日本語能力試験N2(聞く)・必ずできる！JLPT読解N2・N2読解スピードマスター					
成績評価方法	・期末試験70%　平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					

	テーマ	授業内容
1回	読解聴解の基礎	読解聴解:レベルチェック 読解:ウォーミングアップ1 聴解:ポイント理解　1
2回	読解聴解の基礎	読解:ウォーミングアップ2 短文＃1-2 聴解:ポイント理解　2
3回	読解聴解の基礎	読解:ウォーミングアップ3 短文＃3-4 聴解:ポイント理解　3
4回	読解聴解の基礎	読解:ウォーミングアップ4 短文＃5-6 聴解:概要理解　1
5回	読解聴解の基礎	読解:ウォーミングアップ5 短文＃7-8 聴解:概要理解　2
6回	読解聴解の基礎	読解:ウォーミングアップ6 短文＃9-10 聴解:概要理解　3
7回	問題の解き方を身に付ける	読解:練習問題1日目 聴解:概要理解　4
8回	問題の解き方を身に付ける	読解:練習問題2日目 聴解:概要理解　5
9回	問題の解き方を身に付ける	読解:練習問題3日目 聴解:統合理解　1
10回	問題の解き方を身に付ける	読解:練習問題4日目 聴解:統合理解　2
11回	実践形式練習	読解:練習問題5日目 聴解:実践練習
12回	実践形式練習	読解:練習問題6日目 聴解:実践練習
13回	実践形式練習	読解:練習問題7日目 聴解:実践練習
14回	実践形式練習	読解:練習問題8日目 聴解:実践練習
15回	実践形式練習	読解:練習問題9日目 聴解:実践練習

対象学年	1年	学期	通年	学科	観光ビジネス進学科	
科目名	日本語能力試験対策Ⅷ				クラス	I
担当講師(フルネーム)	松田裕美子				実務経験	有
授業概要(内容)	日本語能力試験N2の語彙対策				授業形態	講義
到達目標	日本語能力試験N2レベルの語彙力を身につける					
使用テキスト	新完全マスターN2語彙(第2部)・ドリル＆ドリルN2(文字語彙)・合格できる日本語能力試験N2(抜粋)					
成績評価方法	・期末試験70%　平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					

	テーマ	授業内容
1回	意味がたくさんある言葉の用法	1章　L1動詞①(1) ドリル問題(語形成①・文脈規定①) 実践形式問題(用法①)
2回	意味がたくさんある言葉の用法	1章　L1動詞①(2) ドリル問題(言い換え①・用法①) 実践形式問題(文脈規定①)
3回	意味がたくさんある言葉の用法	1章　L2動詞②(1) ドリル問題(語形成②・文脈規定②) 実践形式問題(用法②)
4回	意味がたくさんある言葉の用法	1章　L2動詞②(2) ドリル問題(言い換え②・用法②) 実践形式問題(文脈規定②)
5回	意味がたくさんある言葉の用法	1章　L3形容詞・名詞(1) ドリル問題(語形成③・文脈規定③) 実践形式問題(用法③)
6回	意味がたくさんある言葉の用法	1章　L3形容詞・名詞(2) ドリル問題(言い換え③・用法③) 実践形式問題(文脈規定③)
7回	意味が似ている言葉の用法	2章　L1副詞・形容詞(1) ドリル問題(語形成④・文脈規定④) 実践形式問題(言い換え類義①)
8回	意味が似ている言葉の用法	2章　L1副詞・形容詞(2) ドリル問題(言い換え④・用法④) 実践形式問題(言い換え類義②)
9回	意味が似ている言葉の用法	2章　L2名詞・動詞(1) ドリル問題(語形成⑤・文脈規定⑤) 実践形式問題(言い換え類義③)
10回	意味が似ている言葉の用法	2章　L2名詞・動詞(2) ドリル問題(言い換え⑤・用法⑤) 実践形式問題(言い換え類義④)
11回	形が似ている言葉の使い分け	3章　形が似ている言葉(1) ドリル問題(語形成⑥・文脈規定⑥) 実践形式問題(言い換え類義⑤)
12回	形が似ている言葉の使い分け	3章　形が似ている言葉(2) ドリル問題(言い換え⑥・用法⑥) 実践形式問題(文脈規定④)
13回	副詞	4章　L1程度・時間・頻度の副詞(1) ドリル問題(語形成⑦・文脈規定⑦) 実践形式問題(用法④)
14回	副詞	4章　L1程度・時間・頻度の副詞(2) ドリル問題(言い換え⑦・用法⑦) 実践形式問題(文脈規定⑤)
15回	副詞	4章　L2後ろに決まった表現が来る副詞(1) ドリル問題(語形成⑧・文脈規定⑧) 実践形式問題(用法⑤)

対象学年	1年	学期	通年	学科	観光ビジネス進学科
科目名	日本語コミュニケーションⅠ			クラス	Iクラス
担当講師(フルネーム)	恵良恭子			実務経験	有
授業概要(内容)	①話題別、性質別(意味・品詞・形式)の言葉を学ぶ。 ②N2能力試験対策――基本練習・実践練習			授業形態	講義
到達目標	N2合格できる力を付けるだけではなく、全般的な語彙力・運用力をつける。				
使用テキスト	・新完全マスターN2語彙　・ドリル＆ドリルN2語彙				
成績評価方法	・期末試験70%　平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験					

	テーマ	授業内容
1回	N2語彙　1章	【1課】 親類・友人・知人――自分の周りにはどんな人がいるか。 意味と読み――音読 基本練習―――今日習ったところの復習・FB
2回	N2語彙　1章	1課小テスト(実践練習) 【2課】 人の性格・特徴――自分の性格の長所と欠点が言えるか。 意味と読み――音読／基本練習
3回	N2語彙　1章	2課小テスト(実践練習) 【3課】 人の対する感情・行動――感情・行動・礼儀・恋愛 意味と読み――音読／基本練習
4回	N2語彙　2章	2課小テスト(実践練習) 【1課】 食生活――好きな料理・味は。 意味と読み――音読／基本練習
5回	N2語彙　2章	1課小テスト(実践練習) 【2課】 家事――料理の作り方、家事全般 意味と読み――音読／基本練習
6回	N2語彙　2章	2課小テスト(実践練習) 【3課】 健康――かぜの症状・体調・病院 意味と読み――音読／基本練習
7回	N2語彙　3章	3課小テスト(実践練習) 【3章】 趣味・娯楽――あなたの趣味はなに。 意味と読み――音読／基本練習
8回	N2語彙　4章	3章小テスト(実践練習) 【1課】 旅行・交通――観光・準備・海外旅行・交通機関 意味と読み――音読／基本練習
9回	N2語彙　4章	1課小テスト(実践練習) 【2課】 自然――自分の町の地形・気温風景・四季を説明する。 意味と読み――音読／基本練習
10回	N2語彙　5章	2課小テスト(実践練習) 【1課】 学校――自分の国の学校教育・制度 意味と読み――音読／基本練習
11回	N2語彙　5章	1課小テスト(実践練習) 【2課】 仕事――就職・仕事／将来目指す仕事・経営 意味と読み――音読／基本練習
12回		N2　能力試験模擬テスト
13回	N2語彙　6章	5章　2課小テスト(実践練習) 【1課】 メディア(報道・広告)―――ニュースを知りたいとき新聞・テレビを利用するか。 意味と読み――音読／基本練習
14回	N2語彙　6章	1課小テスト(実践練習) 【2課】 コンピューター　――メール・文書作成・インターネットなどの語彙を知っているか。 意味と読み――音読／基本練習
15回	前期まとめ	2課小テスト(実践練習) 期末テスト復習

対象学年	1年	学期	通年	学科	観光ビジネス進学科	
科目名	日本語コミュニケーションⅡ(語彙)				クラス	I
担当講師(フルネーム)	永吉美知子				実務経験	無
授業概要(内容)	1週間1課のスピードで進むので 必ず予習・復習をしっかりすること 模擬テスト・過去問題にも重点をおく。				授業形態	講義
到達目標	能力試験 N2合格					
使用テキスト	・完全マスターN2					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					

	テーマ	授業内容
1回	1部 1章 1課	言葉・語形成・例文の確認・基本練習・実戦練習
2回	1部 1章 2課	復習テスト 言葉・語形成・例文の確認・基本練習・実戦練習
3回	1部 1章 3課	復習テスト 言葉・語形成・例文の確認・基本練習・実戦練習
4回	1部 2章 1課	復習テスト 言葉・語形成・例文の確認・基本練習・実戦練習
5回	1部 2章 2課	復習テスト 言葉・語形成・例文の確認・基本練習・実戦練習
6回	1部 2章 3課	復習テスト 言葉・語形成・例文の確認・基本練習・実戦練習
7回	1部 3章	復習テスト 言葉・語形成・例文の確認・基本練習・実戦練習
8回	復習	1章～3章までの復習
9回	1部 4章 1課	復習テスト 言葉・語形成・例文の確認・基本練習・実戦練習
10回	過去問題	FB
11回	模擬テスト	FB
12回	1部 4章 2課	復習テスト 言葉・語形成・例文の確認・基本練習・実戦練習
13回	1部 5章 1課	復習テスト 言葉・語形成・例文の確認・基本練習・実戦練習
14回	1部 5章 2課	復習テスト 言葉・語形成・例文の確認・基本練習・実戦練習
15回	総復習	学期末試験・FB

対象学年	1年	学期	通年	学科	観光ビジネス進学科	
科目名	ペン字				クラス	I
担当講師(フルネーム)	坂口順子				実務経験	有
授業概要(内容)	文字(平仮名、片仮名、数字、、漢字)の形とバランスの習得				授業形態	講義＆演習
到達目標	この授業で習ったことを他の教科で活かして読みやすい文字を書く					
使用テキスト	オリジナルテキスト、ペン2本、下敷き					
成績評価方法	提出物70%、小テスト、授業態度 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					

	テーマ	授業内容
1回	文字の基本を学ぶ①	文字を書くための基本 姿勢、ペンの持ち方、筆記用具の種類など 平仮名の特徴と書き取り練習(名前)
2回	文字の基本を学ぶ②	平仮名 平仮名の特徴と書き取り練習(名前)
3回	文字の基本を学ぶ③	片仮名 片仮名の特徴と書き取り練習(名前)
4回	文字の基本を学ぶ④	片仮名 片仮名の特徴と書き取り練習(名前)
5回	文字の基本を学ぶ⑤	平仮名、片仮名まとめ～言葉の書き取り 平仮名、片仮名の名前のまとめ
6回	文字の基本を学ぶ⑥	読みやすい文字を書くための基本 1字1字の形の取り方とバランス(漢字)①
7回	文字の基本を学ぶ⑦	読みやすい文字を書くための基本 1字1字の形の取り方とバランス(漢字)②
8回	文字の基本を学ぶ⑧	読みやすい文字を書くための基本～縦書き 漢字、平仮名、片仮名交じりの文章の練習～マス目
9回	文字の基本を学ぶ⑨	読みやすい文字を書くための基本～縦書き 漢字、平仮名、片仮名交じりの文章の練習～マス目と行
10回	文字の基本を学ぶ⑩	読みやすい文字を書くための基本～縦書き 漢字、平仮名、片仮名交じりの文章の練習～行(3行、6行)
11回	文字の基本を学ぶ⑪	読みやすい文字を書くための基本～横書き 漢字、平仮名、片仮名交じりの文章の練習～3行
12回	文字の基本を学ぶ⑫	読みやすい文字を書くための基本～横書き 漢字、平仮名、片仮名、数字交じりの文章の練習
13回	文字の基本を学ぶ⑬	読みやすい文字を書くための基本～横書き まとめ
14回	文字の基本を学ぶ⑭	はがきの表書き はがきの表書きの練習～書式とバランスを学ぶ 「暑中見舞い」の書き方
15回	文字の基本を学ぶ⑮	1枚のはがきに「暑中見舞い」を書く (先生に暑中見舞いを出す)まとめ

【実務経験のある教員等による授業科目の一覧表】

■2020年度　ホテルブライダル科　カリキュラム（担当講師の実務経験有無一覧）　※選択科目、行事、実習等除く。

※「実務経験有無」欄について、複数の講師が担当する科目の場合、一部のみ実務経験ありの場合は、〇を表示していません。

	1学年				
	授業科目	単位	担当講師	実務経験有無	実務略歴
前期	レストランバンケットサービス	2	長野　美穂	〇	ホテル業界勤務歴
	ソムリエ＆バーテンダー	2	橋口　淳二	〇	ホテル業界勤務歴
	フロントサービス	2	松本　範子	〇	ホテル業界勤務歴
	ホテル総論	2	小西　翼	〇	ホテル業界勤務歴
	ホテル英会話	2	中牟田　登喜枝／日高　郁子／松本　範子	〇	ホテル業界勤務歴／通訳翻訳業界勤務歴／ホテル業界勤務歴
	TOEIC /英検対策Ⅰ	2	平島　千華　他		高校教諭　他
	TOEIC /英検対策Ⅱ	2	挽田　雅子　他	〇	旅行業界勤務歴　他
	ビジネスマナー	2	徳永　美千留	〇	金融業界勤務歴
	就職活動講座	2	安部　紀美江	〇	ホテル業界勤務歴
	ホテル･ブライダル業界研究	2	橋口　淳二	〇	ホテル業界勤務歴
	和のサービス	2	長野　美穂	〇	ホテル業界勤務歴
	ブライダル総論	2	小西　翼	〇	ホテル業界勤務歴
	ブライダルセールス	2	鷹取　恭子	〇	ブライダル業界勤務歴
	ブライダルMC演習	2	吉良　牧子	〇	ブライダル業界勤務歴
	LHR		（対象外）		
後期	レストランバンケットサービス	2	長野　美穂	〇	ホテル業界勤務歴
	ソムリエ＆バーテンダー	2	橋口　淳二	〇	ホテル業界勤務歴
	フロントサービス	2	松本　範子	〇	ホテル業界勤務歴
	ホテル総論	2	長野　美穂	〇	ホテル業界勤務歴
	ホテル英会話	2	中牟田　登喜枝／日高　郁子／松本　範子	〇	ホテル業界勤務歴／通訳翻訳業界勤務歴／ホテル業界勤務歴
	TOEIC /英検対策Ⅰ	2	平島　千華　他		高校教諭　他
	TOEIC /英検対策Ⅱ	2	挽田　雅子　他	〇	旅行業界勤務歴　他
	面接対策	2	宮前　訓子	〇	航空業界勤務歴
	就職活動講座	2	田中　友加利	〇	ホテル業界勤務歴
	就職筆記対策	2	山本　真美／榎木田　裕夫		旅行業界勤務歴／数学講師
	ブライダルコスチューム		（未定）		
	ウェディングフォト演習		（未定）		
	ブライダルセールス	2	鷹取　恭子	〇	ブライダル業界勤務歴
	ペン字	2	坂口　順子	〇	書道教室経営
	LHR		（対象外）		
単位数計		46			
授業時数換算		690			

【実務経験のある教員等による授業科目の一覧表】

■2020年度　ホテルブライダル科　カリキュラム（担当講師の実務経験有無一覧）　※選択科目、行事、実習等除く。

※「実務経験有無」欄について、複数の講師が担当する科目の場合、一部のみ実務経験ありの場合は、〇を表示していません。

	2学年				
	授業科目	単位	担当講師	実務経験有無	実務略歴
前期	フロントオフィス	2	中牟田　登喜枝	〇	ホテル業界勤務歴
	ホテル英会話	2	中牟田　登喜枝／日高　郁子／松本　範子	〇	ホテル業界勤務歴／通訳翻訳業界勤務歴／ホテル業界勤務歴
	コミュニケーションイングリッシュ	2	松本　範子	〇	ホテル業界勤務歴
	Web広報戦略	2	坂井　隆仁	〇	IT業界勤務歴
	HRS対策（実技）	2	小西　翼	〇	ホテル業界勤務歴
	HRS対策（筆記）	2	長野　美穂	〇	ホテル業界勤務歴
	手話	2	鶴田　由香	〇	航空業界勤務歴
	カラーコーディネート	2	上鵜瀬　茂樹	〇	ブライダル業界勤務歴
	就職活動講座	2	安部　紀美江	〇	ホテル業界勤務歴
	面接対策	2	宮前　訓子	〇	航空業界勤務歴
	SPI言語対策	2	前田　恭子／山本　真美	対象外科目	航空業界勤務歴／旅行業界勤務歴
	SPI非言語対策	2	榎木田　裕夫／北村　正雄	対象外科目	数学講師／大学講師
	LHR		（対象外）		
後期	フロントオフィス	2	中牟田　登喜枝	〇	ホテル業界勤務歴
	ホテル英会話	2	中牟田　登喜枝／日高　郁子／松本　範子	〇	ホテル業界勤務歴／通訳翻訳業界勤務歴／ホテル業界勤務歴
	コミュニケーションイングリッシュ	2	松本　範子	〇	ホテル業界勤務歴
	Web広報戦略	2	坂井　隆仁	〇	IT業界勤務歴
	ホテルマネジメント	2	橋口　淳二	〇	ホテル業界勤務歴
	社会情勢研究	2	前田　恭子	〇	航空業界勤務歴
	ユニバーサルサービス	2	原田　歩	〇	航空業界勤務歴
	ペン字	2	塩塚　輝美	〇	書道教室経営
	LHR		（対象外）		
単位数計		36			
授業時数換算		540			

【実務経験のある教員等による授業科目の一覧表】

■2020年度　観光科　カリキュラム（担当講師の実務経験有無一覧）　※選択科目、行事、実習等除く。

※「実務経験有無」欄について、複数の講師が担当する科目の場合、一部のみ実務経験ありの場合は、〇を表示していません。

	1学年				
	授業科目	単位	担当講師	実務経験有無	実務略歴
前期	観光業界研究	2	友納　真	〇	旅行業界勤務歴
	AXESS（国内予約）	2	横瀬　敦子	〇	航空業界勤務歴
	ビジネスマナー	2	徳永　美千留	〇	金融業界勤務歴
	TOEIC/英検Ⅰ	2	平島　千華　他		高校教諭　他
	TOEIC/英検Ⅱ	2	挽田　雅子　他	〇	旅行業界勤務歴　他
	第二外国語（中国語/韓国語）	2	青山　祐子／権　京愛	〇	中国語講師／韓国語講師
	コンピュータ	2	乙咩　清美	〇	通信業界勤務歴
	旅行業務入門	2	友納　真	〇	旅行業界勤務歴
	国内観光地理Ⅰ	2	友納　真	〇	旅行業界勤務歴
	国内観光地理Ⅱ	2	友納　真	〇	旅行業界勤務歴
	旅行管理者対策（法令）	2	佐藤　大幸	〇	人材派遣会社経営
	旅行管理者対策（約款）	2	佐藤　大幸	〇	人材派遣会社経営
	旅行管理者対策（運賃料金）	2	友納　真	〇	旅行業界勤務歴
	LHR		（対象外）		
後期	観光業界研究	2	友納　真	〇	旅行業界勤務歴
	AXESS（国内予約）	2	横瀬　敦子	〇	航空業界勤務歴
	ビジネスマナー	2	徳永　美千留	〇	金融業界勤務歴
	TOEIC/英検Ⅰ	2	平島　千華　他		高校教諭　他
	TOEIC/英検Ⅱ	2	挽田　雅子　他	〇	旅行業界勤務歴　他
	第二外国語（中国語/韓国語）	2	青山　祐子／権　京愛	〇	中国語講師／韓国語講師
	コンピュータ	2	乙咩　清美	〇	通信業界勤務歴
	ツアープランニング	2	友納　真	〇	旅行業界勤務歴
	国内観光地理	2	友納　真	〇	旅行業界勤務歴
	海外観光地理	2	挽田　雅子	〇	旅行業界勤務歴
	観光ゼミ	2	友納　真	〇	旅行業界勤務歴
	旅行ウェブ広報戦略	2	坂井　隆仁	〇	IT業界勤務歴
	就職活動講座	2	友納　真	〇	旅行業界勤務歴
	就職筆記対策	2	友納　真／榎木田　裕夫		旅行業界勤務歴／数学講師
	面接対策	2	山田　邦幸	〇	旅行業界勤務歴
	LHR		（対象外）		
単位数計		50			
授業時数換算		750			

【実務経験のある教員等による授業科目の一覧表】

■2020年度　観光科　カリキュラム（担当講師の実務経験有無一覧）　※選択科目、行事、実習等除く。

※「実務経験有無」欄について、複数の講師が担当する科目の場合、一部のみ実務経験ありの場合は、〇を表示していません。

	2学年				
	授業科目	単位	担当講師	実務経験有無	実務略歴
前期	国内観光地理	2	友納　真	〇	旅行業界勤務歴
	海外観光地理	2	挽田　雅子	〇	旅行業界勤務歴
	INFINI（国際予約）	2	秋満　陽子	〇	航空業界勤務歴
	コンピュータ	2	乙咩　清美	〇	通信業界勤務歴
	観光ゼミ	2	友納　真	〇	旅行業界勤務歴
	インバウンド概論	2	挽田　雅子	〇	旅行業界勤務歴
	アウトバウンド演習	2	宮原　英利	〇	旅行業界勤務歴
	旅行ウェブ広報戦略	2	坂井　隆仁	〇	IT業界勤務歴
	旅行業英語	2	秋満　陽子	〇	航空業界勤務歴
	サービス接遇検定対策	2	榎本　美和子	〇	旅行業界勤務歴
	面接対策	2	山田　邦幸	〇	旅行業界勤務歴
	SPI言語対策	2	前田　恭子／山本　真美	対象外科目	航空業界勤務歴／旅行業界勤務歴
	SPI非言語対策	2	榎木田　裕夫／北村　正雄	対象外科目	数学講師／大学講師
	ペン字	2	坂口　順子	〇	書道教室経営
	LHR（就職活動講座）		（対象外）		
後期	国内観光地理	2	友納　真	〇	旅行業界勤務歴
	海外観光地理	2	挽田　雅子	〇	旅行業界勤務歴
	INFINI（国際予約）	2	秋満　陽子	〇	航空業界勤務歴
	コンピュータ	2	乙咩　清美	〇	通信業界勤務歴
	社会情勢研究	2	前田　恭子	〇	航空業界勤務歴
	フレッシャーズ教育	2	池田　香織	〇	鉄道業界勤務歴
	コミュニケーション学	2	森田　房子	〇	航空業界勤務歴
	LHR		（対象外）		
単位数計		38			
授業時数換算		570			

【実務経験のある教員等による授業科目の一覧表】

■2020年度　鉄道科　カリキュラム（担当講師の実務経験有無一覧）　※選択科目、行事、実習等除く。

※「実務経験有無」欄について、複数の講師が担当する科目の場合、一部のみ実務経験ありの場合は、〇を表示していません。

	1学年				
	授業科目	単位	担当講師	実務経験有無	実務略歴
前期	鉄道基礎	2	山田　和久	〇	鉄道業界勤務歴
	鉄道係員	2	花生　義一	〇	鉄道業界勤務歴
	ビジネスマナー	2	榎本　美和子	〇	旅行業界勤務歴
	就職活動講座	2	三石　佳代子	〇	鉄道業界勤務歴
	コミュニケーションイングリッシュ	2	ジェフリー　ウォルフォン／グスマン　カルロス	〇	語学学校勤務歴／語学学校マネージャー
	第二外国語（韓国語・中国語）	2	青山　祐子／権　京愛	〇	中国語講師／韓国語講師
	就職筆記対策Ⅰ	2	山本　真美	〇	旅行業界勤務歴
	就職筆記対策Ⅱ	2	北村　正雄		大学講師
	時刻表	2	花生　義一	〇	鉄道業界勤務歴
	交通論	2	西　政明	〇	鉄道業界勤務歴
	旅行管理者対策（法令）	2	佐藤　大幸	〇	人材派遣会社経営
	旅行管理者対策（約款）	2	佐藤　大幸	〇	人材派遣会社経営
	旅行管理者対策（運賃料金）	2	友納　真	〇	旅行業界勤務歴
	国内観光地理Ⅰ	2	友納　真	〇	旅行業界勤務歴
	国内観光地理Ⅱ	2	友納　真	〇	旅行業界勤務歴
	LHR		（対象外）		
後期	鉄道基礎	2	山田　和久	〇	鉄道業界勤務歴
	鉄道係員	2	花生　義一	〇	鉄道業界勤務歴
	ビジネスマナー	2	榎本　美和子	〇	旅行業界勤務歴
	就職活動講座	2	三石　佳代子	〇	鉄道業界勤務歴
	コミュニケーションイングリッシュ	2	ジェフリー　ウォルフォン／グスマン　カルロス	〇	語学学校勤務歴／語学学校マネージャー
	第二外国語（中国語・韓国語）	2	青山　祐子／権　京愛	〇	中国語講師／韓国語講師
	就職筆記対策Ⅰ	2	山本　真美	〇	旅行業界勤務歴
	就職筆記対策Ⅱ	2	北村　正雄		大学講師
	時刻表	2	花生　義一	〇	鉄道業界勤務歴
	鉄道駅実務	2	西　政明	〇	鉄道業界勤務歴
	鉄道業界研究	2	三石　佳代子	〇	鉄道業界勤務歴
	鉄道車両	2	花生　義一	〇	鉄道業界勤務歴
	サービス介助士	2	（未定）		
	面接対策	2	三石　佳代子	〇	鉄道業界勤務歴
	ペン字	2	塩塚　輝美	〇	書道教室経営
	LHR		（対象外）		
単位数計		54			
授業時数換算		810			

【実務経験のある教員等による授業科目の一覧表】

■2020年度　鉄道科　カリキュラム（担当講師の実務経験有無一覧）　※選択科目、行事、実習等除く。

※「実務経験有無」欄について、複数の講師が担当する科目の場合、一部のみ実務経験ありの場合は、〇を表示していません。

	2学年				
	授業科目	単位	担当講師	実務経験有無	実務略歴
前期	鉄道概論	2	花生　義一	〇	鉄道業界勤務歴
	鉄道実務	2	花生　義一	〇	鉄道業界勤務歴
	手話	2	鶴田　由香	〇	航空業界勤務歴
	コンピュータ	2	乙咩　清美	〇	通信業界勤務歴
	コミュニケーションイングリッシュ	2	秋満　陽子	〇	航空業界勤務歴
	鉄道車両Ⅰ	2	花生　義一	〇	鉄道業界勤務歴
	鉄道車両Ⅱ	2	花生　義一	〇	鉄道業界勤務歴
	鉄道業界研究	2	三石　佳代子	〇	鉄道業界勤務歴
	就職活動講座（面接対策）	2	橋本　美智子	〇	航空業界勤務歴
	サービス接遇検定対策	2	榎本　美和子	〇	旅行業界勤務歴
	SPI言語対策	2	前田　恭子／山本　真美	対象外科目	航空業界勤務歴／旅行業界勤務歴
	SPI非言語対策	2	榎木田　裕夫／北村　正雄	対象外科目	数学講師／大学講師
	ペン字	2	塩塚　輝美	〇	書道教室経営
	国内観光地理	2	山本　真美	〇	旅行業界勤務歴
	LHR		（対象外）		
後期	鉄道概論	2	花生　義一	〇	鉄道業界勤務歴
	鉄道実務	2	花生　義一	〇	鉄道業界勤務歴
	手話	2	鶴田　由香	〇	航空業界勤務歴
	コンピュータ	2	乙咩　清美	〇	通信業界勤務歴
	コミュニケーションイングリッシュ	2	秋満　陽子	〇	航空業界勤務歴
	鉄道旅行プランニング	2	花生　義一	〇	鉄道業界勤務歴
	フレッシャーズ教育	2	三石　佳代子	〇	鉄道業界勤務歴
	社会情勢研究	2	前田　恭子	〇	航空業界勤務歴
	コミュニケーション学	2	森田　房子	〇	航空業界勤務歴
	LHR		（対象外）		
単位数計		42			
授業時数換算		630			

【実務経験のある教員等による授業科目の一覧表】

■2020年度　エアライン科 GS・GH・CA　カリキュラム（担当講師の実務経験有無一覧）　※選択科目、行事、実習等除く。

※「実務経験有無」欄について、受講区分が共通の場合のみ〇を表示しています（その他は●を表示し、実務経験あり科目の単位合計から除外）。
また、複数の講師が担当する科目の場合、一部のみ実務経験ありの場合は、〇を表示していません。

	1学年					
	授業科目	受講区分	単位	担当講師	実務経験有無	実務略歴
前期	空港実務	共通	2	原田　歩	〇	航空業界勤務歴
	アルテア	共通	2	横瀬　敦子	〇	航空業界勤務歴
	TOEIC/英検対策Ⅰ	共通	2	挽田　雅子　他	〇	旅行業界勤務歴　他
	TOEIC/英検対策Ⅱ	共通	2	挽田　雅子　他	〇	旅行業界勤務歴　他
	日本語表現	共通	2	久保田　博子	〇	旅行業界勤務歴
	コミュニケーションイングリッシュ	共通	2	久保田　博子	〇	旅行業界勤務歴
	SPI言語対策	共通	2	前田　恭子	対象外科目	航空業界勤務歴
	SPI非言語対策	共通	2	榎木田　裕夫	対象外科目	数学講師
	航空業界研究	GS・GH	2	吉原　正彦	●	航空業界勤務歴
	グランドハンドリング	GS・GH	2	松下　良朗	●	航空業界勤務歴
	エアカーゴ概論	GS・GH	2	元田　孝幸	●	航空業界勤務歴
	空港英語	GS・GH	2	髙木　美希	●	航空業界勤務歴
	ビジネスマナー	GS・GH	2	田中　友加利	●	ホテル業界勤務歴
	就職活動講座	GS・GH	2	吉原　正彦／小林　俊也	●	航空業界勤務歴／自動車関連企業勤務歴
	第二外国語（中国語・韓国語）	GS・GH	2	青山　祐子／権　京愛	●	中国語講師／韓国語講師
	コンピュータ	GS・GH	2	乙咩　清美	●	通信業界勤務歴
	ブラッシュアップ講座	CA	2	脇山　奈津美	●	航空業界勤務歴
	観光地理	CA	2	金森　和彦	●	旅行業界勤務歴
	エアラインマナー	CA	2	脇山　奈津美	●	航空業界勤務歴
	手話	CA	2	鶴田　由香	●	航空業界勤務歴
	CA受験対策	CA	2	脇山　奈津美	●	航空業界勤務歴
	TOEIC Ⅰ	CA	2	日高　郁子	●	通訳翻訳業界勤務歴
	TOEIC Ⅱ	CA	2	日高　郁子	●	通訳翻訳業界勤務歴
	第二外国語（中国語・韓国語）	CA	2	青山　祐子／権　京愛	●	中国語講師／韓国語講師
	エアラインゼミ	CA	2	脇山　奈津美	●	航空業界勤務歴
	LHR			（対象外）		

【実務経験のある教員等による授業科目の一覧表】

■2020年度　エアライン科 GS・GH・CA　カリキュラム（担当講師の実務経験有無一覧）　※選択科目、行事、実習等除く。

※「実務経験有無」欄について、受講区分が共通の場合のみ〇を表示しています（その他は●を表示し、実務経験あり科目の単位合計から除外）。
また、複数の講師が担当する科目の場合、一部のみ実務経験ありの場合は、〇を表示していません。

	1学年					
	授業科目	受講区分	単位	担当講師	実務経験有無	実務略歴
後期	航空業界研究	共通	2	吉原　正彦	〇	航空業界勤務歴
	アルテア	共通	2	横瀬　敦子	〇	航空業界勤務歴
	日本語表現	共通	2	久保田　博子	〇	旅行業界勤務歴
	TOEIC/英検対策Ⅰ	共通	2	挽田　雅子　他	〇	旅行業界勤務歴　他
	TOEIC/英検対策Ⅱ	共通	2	挽田　雅子　他	〇	旅行業界勤務歴　他
	コミュニケーションイングリッシュ	共通	2	久保田　博子	〇	旅行業界勤務歴
	第二外国語（中国語・韓国語）	共通	2	青山　祐子／権　京愛	〇	中国語講師／韓国語講師
	SPI言語対策	共通	2	前田　恭子	対象外科目	航空業界勤務歴
	SPI非言語対策	共通	2	榎木田　裕夫	対象外科目	数学講師
	ペン字	共通	2	坂口　順子／塩塚　輝美	●	書道教室経営／書道教室経営
	空港実務	GS・GH	2	原田　歩	●	航空業界勤務歴
	グランドハンドリング	GS・GH	2	松下　良朗	●	航空業界勤務歴
	エアカーゴ概論	GS・GH	2	元田　孝幸	●	航空業界勤務歴
	空港英語	GS・GH	2	髙木　美希	●	航空業界勤務歴
	ビジネスマナー	GS・GH	2	田中　友加利	●	ホテル業界勤務歴
	就職活動講座	GS・GH	2	吉原　正彦／小林　俊也	●	航空業界勤務歴／自動車関連企業勤務歴
	ユニバーサルサービス	GS・GH	2	原田　歩	●	航空業界勤務歴
	コンピュータ	GS・GH	2	乙咩　清美	●	通信業界勤務歴
	手話	GS・GH	2	鶴田　由香	●	航空業界勤務歴
	ブラッシュアップ講座	CA	2	脇山　奈津美	●	航空業界勤務歴
	CA英語	CA	2	（未定）		
	エアラインマナー	CA	2	脇山　奈津美	●	航空業界勤務歴
	手話	CA	2	鶴田　由香	●	航空業界勤務歴
	CA受験対策	CA	2	脇山　奈津美	●	航空業界勤務歴
	TOEICⅠ	CA	2	日高　郁子	●	通訳翻訳業界勤務歴
	TOEICⅡ	CA	2	日高　郁子	●	通訳翻訳業界勤務歴
	エアラインゼミ	CA	2	脇山　奈津美	●	航空業界勤務歴
	面接対策	CA	2	脇山　奈津美	●	航空業界勤務歴
	LHR			（対象外）		
単位数計			26			
授業時数換算			390			

【実務経験のある教員等による授業科目の一覧表】

■2020年度 エアライン科 GS・GH・CA カリキュラム（担当講師の実務経験有無一覧） ※選択科目、行事、実習等除く。

※「実務経験有無」欄について、複数の講師が担当する科目の場合、一部のみ実務経験ありの場合は、〇を表示していません。

	2学年				
	授業科目	単位	担当講師	実務経験有無	実務略歴
前期	フライトオペレーション	2	吉原 正彦	〇	航空業界勤務歴
	手話	2	鶴田 由香	〇	航空業界勤務歴
	コミュニケーション学	2	吉良 牧子	〇	ブライダル業界勤務歴
	コミュニケーションイングリッシュ	2	秋満 陽子／平島 千華／飛松 絵美		航空業界勤務歴／高校教諭／英語教師
	観光英語	2	挽田 雅子／秋満 陽子／平島 千華		旅行業界勤務歴／航空業界勤務歴／高校教諭
	第二外国語（中国語・韓国語）	2	権 京愛／クォン ヒュッギュ／青山 祐子	〇	韓国語講師／韓国語講師／中国語講師
	観光地理	2	金森 和彦	〇	旅行業界勤務歴
	コンピュータ	2	乙咩 清美	〇	通信業界勤務歴
	ビジネスマナー	1	原田 歩	〇	航空業界勤務歴
	就職活動講座	1	橋本 美智子／原田 歩	〇	航空業界勤務歴／航空業界勤務歴
	航空業界受験対策（GS/CA/GH）	1	原田 歩／脇山 奈津美／吉原 正彦	〇	航空業界勤務歴（3名とも）
	SPI言語対策	1	前田 恭子／山本 真美	対象外科目	航空業界勤務歴／旅行業界勤務歴
	SPI非言語対策	1	榎木田 裕夫／北村 正雄	対象外科目	数学講師／大学講師
	LHR		（対象外）		
後期	航空機概論	2	吉原 正彦	〇	航空業界勤務歴
	コミュニケーションイングリッシュ	2	秋満 陽子／平島 千華／飛松 絵美		航空業界勤務歴／高校教諭／英語教師
	観光英語	2	挽田 雅子／秋満 陽子／平島 千華		旅行業界勤務歴／航空業界勤務歴／高校教諭
	観光地理	2	金森 和彦	〇	旅行業界勤務歴
	コンピュータ	2	乙咩 清美	〇	通信業界勤務歴
	LHR		（対象外）		
単位数計		21			
授業時数換算		315			

【実務経験のある教員等による授業科目の一覧表】

■2020年度　国際ホテルマネジメント科　カリキュラム（担当講師の実務経験有無一覧）　※選択科目、行事、実習等除く。留学生のみの科目除く。
※「実務経験有無」欄について、複数の講師が担当する科目の場合、一部のみ実務経験ありの場合は、〇を表示していません。

	2・3学年				
	授業科目	単位	担当講師	実務経験有無	実務略歴
前期	【2学年前期】 なし				
後期	【2学年後期】				
	バンケットサービス　Ⅰ・Ⅱ	2	長野　美穂	〇	ホテル業界勤務歴
	ソムリエ＆バーテンダー　Ⅰ・Ⅱ	2	橋口　淳二	〇	ホテル業界勤務歴
	SPI対策（言語・非言語）	2	山本　真美／榎木田　裕夫	対象外科目	旅行業界勤務歴／数学講師
	就職活動講座（面接対策含む）	2	安部　紀美江	〇	ホテル業界勤務歴
	実習前教育	2	小西　翼	〇	ホテル業界勤務歴
	TOEIC対策Ⅰ・Ⅱ	2	中牟田　登喜枝	〇	ホテル業界勤務歴
	実習前教育（LHR）		（対象外）		
	単位数計（2学年）	10			
	授業時数換算（2学年）	150			
前期	【3学年前期】				
	フロントオフィス	2	松本　範子	〇	ホテル業界勤務歴
	ホテル英会話	2	中牟田　登喜枝／日高　郁子／松本　範子	〇	ホテル業界勤務歴／通訳翻訳業界勤務歴／ホテル業界勤務歴
	第二外国語（中国語・韓国語）	2	青山　祐子／権　京愛	〇	中国語講師／韓国語講師
	コミュニケーションイングリッシュ	2	ジェフリー　ウォルフォン	〇	語学学校勤務歴
	マナープロトコール	2	池田　香織	〇	鉄道業界勤務歴
	ホテル業界研究	2	橋口　淳二	〇	ホテル業界勤務歴
	SPI対策（言語）	2	山本　真美	対象外科目	旅行業界勤務歴
	SPI対策（非言語）	2	榎木田　裕夫	対象外科目	数学講師
	面接対策	2	安部　紀美江	〇	ホテル業界勤務歴
	ホテルマネジメント	2	中牟田　登喜枝	〇	ホテル業界勤務歴
	TOEIC対策Ⅰ	2	中牟田　登喜枝／志岐　美佳		ホテル業界勤務歴／中学高校講師
	TOEIC対策Ⅱ	2	中牟田　登喜枝／志岐　美佳		ホテル業界勤務歴／中学高校講師
	LHR		（対象外）		
後期	【3学年後期】				
	フロントオフィス	2	松本　範子	〇	ホテル業界勤務歴
	ホテル英会話	2	中牟田　登喜枝／日高　郁子／松本　範子	〇	ホテル業界勤務歴／通訳翻訳業界勤務歴／ホテル業界勤務歴
	第二外国語（中国語・韓国語）	2	青山　祐子／権　京愛	〇	中国語講師／韓国語講師
	コミュニケーションイングリッシュ	2	ジェフリー　ウォルフォン	〇	語学学校勤務歴
	ホテルマネジメント	2	中牟田　登喜枝	〇	ホテル業界勤務歴
	社会情勢研究	2	山本　真美	〇	旅行業界勤務歴
	日本文化	2	（未定）		
	観光地理	2	金森　和彦	〇	旅行業界勤務歴
	TOEIC対策Ⅰ	2	中牟田　登喜枝／志岐　美佳		ホテル業界勤務歴／中学高校講師
	TOEIC対策Ⅱ	2	中牟田　登喜枝／志岐　美佳		ホテル業界勤務歴／中学高校講師
	LHR		（対象外）		
単位数計（3学年）		30			
授業時数換算（3学年）		450			

【実務経験のある教員等による授業科目の一覧表】

■2020年度　夜間総合観光科　カリキュラム（担当講師の実務経験有無一覧）　※選択科目、行事、実習等除く。

※「実務経験有無」欄について、複数の講師が担当する科目の場合、一部のみ実務経験ありの場合は、〇を表示していません。

	1学年				
	授業科目	単位	担当講師	実務経験有無	実務略歴
前期	TOEIC/英検Ⅰ	2	平島　千華　他		高校教諭　他
	TOEIC/英検Ⅱ	2	挽田　雅子　他	〇	旅行業界勤務歴　他
	ビジネスマナー	2	榎本　美和子	〇	旅行業界勤務歴
	SPI言語対策	2	前田　恭子	対象外科目	航空業界勤務歴
	SPI非言語対策	2	榎木田　裕夫	対象外科目	数学講師
	コンピュータ	2	乙咩　清美	〇	通信業界勤務歴
	ホテル・ブライダル業界研究	2	小西　翼	〇	ホテル業界勤務歴
	観光業界研究	2	金森　和彦	〇	旅行業界勤務歴
	就職活動講座（LHR）		（対象外）		
後期	TOEIC/英検Ⅰ	2	平島　千華　他		高校教諭　他
	TOEIC/英検Ⅱ	2	挽田　雅子　他	〇	旅行業界勤務歴　他
	ビジネスマナー	2	榎本　美和子	〇	旅行業界勤務歴
	SPI言語対策	2	前田　恭子	対象外科目	航空業界勤務歴
	SPI非言語対策	2	榎木田　裕夫	対象外科目	数学講師
	コンピュータ	2	乙咩　清美	〇	通信業界勤務歴
	面接対策	2	小林　俊也	〇	自動車関連企業勤務歴
	観光ゼミ	2	友納　真	〇	旅行業界勤務歴
	就職活動講座（LHR）		（対象外）		
単位数計		20			
授業時数換算		300			

【実務経験のある教員等による授業科目の一覧表】

■2020年度　夜間総合観光科　カリキュラム（担当講師の実務経験有無一覧）　※選択科目、行事、実習等除く。

※「実務経験有無」欄について、複数の講師が担当する科目の場合、一部のみ実務経験ありの場合は、〇を表示していません。

	2学年				
	授業科目	単位	担当講師	実務経験有無	実務略歴
前期	コミュニケーションイングリッシュ	2	ジェフリー　ウォルフォン	〇	語学学校勤務歴
	web広報戦略	2	坂井　隆仁	〇	IT業界勤務歴
	観光地理	2	金森　和彦	〇	旅行業界勤務歴
	SPI言語対策	2	前田　恭子	対象外科目	航空業界勤務歴
	SPI非言語対策	2	榎木田　裕夫	対象外科目	数学講師
	サービス接遇検定対策	2	榎本　美和子	〇	旅行業界勤務歴
	面接対策	2	小林　俊也	〇	自動車関連企業勤務歴
	LHR		（対象外）		
後期	コミュニケーションイングリッシュ	2	ジェフリー　ウォルフォン	〇	語学学校勤務歴
	web広報戦略	2	坂井　隆仁	〇	IT業界勤務歴
	観光地理	2	金森　和彦	〇	旅行業界勤務歴
	フレッシャーズ教育	2	（未定）		
	LHR		（対象外）		
単位数計		16			
授業時数換算		240			